

IBM OpenLink



## ユーザーズ・ガイド

バージョン16 リリース2



IBM OpenLink



## ユーザース・ガイド

バージョン16 リリース2



# 目次

<b>第 1 章 概要</b> . . . . .	<b>1</b>
対象読者 . . . . .	2
前提知識 . . . . .	2
翻訳 . . . . .	2
画面キャプチャーと図 . . . . .	2
始める前に . . . . .	3
システム要件 . . . . .	3
IBM Omni-Channel Merchandising サービスについ て . . . . .	4
OpenLink へのログイン . . . . .	5
新規ユーザーとしてのログイン . . . . .	8
パスワードのリセット . . . . .	12
マイ・アカウント・ページ . . . . .	13
IBM OpenLink からのログアウト . . . . .	14
「OpenLink の概要」ページ . . . . .	14
データのインポート . . . . .	15
インポートおよびエクスポート・アクティビティ の表示 . . . . .	16
インポート・ダッシュボード . . . . .	17
エクスポート・ダッシュボード . . . . .	18
ユーザー管理の権限 . . . . .	19
<b>第 2 章 アプリケーション内のナビゲ ーション</b> . . . . .	<b>21</b>
アプリケーション・ページ . . . . .	22
アクション . . . . .	22
レポートの検索 . . . . .	22
クイック・リンク検索を使用した検索 . . . . .	23
ページの情報を探するための検索 . . . . .	23
アイテムの選択 . . . . .	23
最新表示 . . . . .	24
遅いデータ取得のトラブルシューティング . . . . .	24
キャッシュのクリア . . . . .	24
アプリケーション間の移動 . . . . .	25
メインページ間の移動 . . . . .	25
パンくずリストを使用したナビゲート . . . . .	25
アラート受信箱 . . . . .	25
レポートの使用と管理 . . . . .	26
レポート内での編集 . . . . .	27
データ集約 . . . . .	27
検索 . . . . .	27
複数ページにわたる移動 . . . . .	30
アイテム・リストのソート . . . . .	30
レポートのカスタマイズ . . . . .	30
データ・メンテナンス・レポート . . . . .	34
コンテキスト・メニューの使用 . . . . .	35
ユーザー・プリファレンスの編集 . . . . .	35

<b>第 3 章 データのインポートとエクス ポート</b> . . . . .	<b>37</b>
データのインポート . . . . .	37
Excel スプレッドシートの使用 . . . . .	38
データ・ファイル・フォーマット . . . . .	40
データ・ファイルのインポート . . . . .	84
データのエクスポート . . . . .	86
エクスポート・ステータスの確認 . . . . .	87
エクスポートの削除 . . . . .	88
<b>第 4 章 属性設定の概要</b> . . . . .	<b>89</b>
属性設定の仕組み . . . . .	89
属性設定プロセス . . . . .	90
カテゴリ・マネージャー・ワークスペースにつ いて . . . . .	94
<b>第 5 章 属性設定の準備</b> . . . . .	<b>97</b>
カテゴリ変更の表示 . . . . .	97
カテゴリに属さない商品のカテゴリへの移動 . . . . .	98
「コンテンツの編集」ページの使用 . . . . .	99
「カテゴリ・ワークスペース」ページの使用 . . . . .	100
商品ステータス・リゾルバーの実行 . . . . .	102
<b>第 6 章 モデル化の属性設定</b> . . . . .	<b>105</b>
PIF のエクスポート . . . . .	105
PIF から Excel へのエクスポート . . . . .	107
ライン・グループとサイズ関係の自動割り当て . . . . .	109
コンテンツの編集と属性 . . . . .	110
PIF の操作に慣れる . . . . .	111
カテゴリの把握 . . . . .	115
商品のドロップ . . . . .	116
デマンド・グループ構造の取り込み . . . . .	117
サイズと計測単位の換算 . . . . .	118
ブランド名のスクラビング . . . . .	119
Everyday Price Optimization および Everyday Price Management の属性 . . . . .	119
PIF のインポート . . . . .	127
最終チェックの実行 . . . . .	131
換算単位の実行 . . . . .	131
整合性チェックの実行 . . . . .	135
コンテンツの編集 . . . . .	137
モデルの正常性の表示 . . . . .	140
デマンド・グループ関係の作成 . . . . .	143
デマンド・グループへの割り当て . . . . .	144
カテゴリへの割り当て . . . . .	145
デマンド・グループ関係のエクスポート . . . . .	147
デマンド・グループ関係表のインポート . . . . .	148
カテゴリへの属性設定済みのマーク付け . . . . .	149
新商品の検索 . . . . .	151
モデル作成者への通知 . . . . .	153

デマンド・グループの新品への自動割り当て . . . 154

## 第 7 章 カテゴリー階層の維持 . . . . 157

カテゴリー・マップのインポート . . . . . 157

商品階層マッピング . . . . . 159

商品階層マッピングのインポートとエクスポート 161

商品の再分類 . . . . . 162

新規最適化カテゴリーの作成 . . . . . 163

個々の商品のカテゴリーへの移動 . . . . . 164

カテゴリーに属さない商品のカテゴリーへの移動 166

新商品の属性設定 . . . . . 167

商品階層上書きの設定 . . . . . 170

PIF 属性列の構成 . . . . . 171

カテゴリーの管理 . . . . . 172

## 第 8 章 タスク・スケジューラー . . . . 175

新規タスクの作成 . . . . . 175

タスクの編集 . . . . . 180

タスクの削除 . . . . . 180

タスク実行履歴の表示 . . . . . 181

## 第 9 章 ヘルプおよびサポートの利用 183

リリース・ノート . . . . . 184

オンライン・ヘルプ . . . . . 184

オンライン・ヘルプへのアクセス . . . . . 184

ヘルプのナビゲート . . . . . 185

印刷可能なユーザー・ガイド . . . . . 185

IBM Omni-Channel Merchandising お客様サポートへ

のお問い合わせ . . . . . 186

電話によるサポート . . . . . 186

Web サポート . . . . . 187

Internet Explorer のポップアップ・ブロックの無効

化 . . . . . 192

ポップアップ・ブロックの無効化の一時使用 . . 194

IBM Omni-Channel Merchandising 実習およびトレー

ニング . . . . . 194

資料に関するご質問とコメント . . . . . 194

## 第 10 章 用語集 . . . . . 195

## 第 11 章 クイック・リファレンス・ガイド . . . . . 205

属性設定プロセス . . . . . 205

PIF と OpenLink UI の使用比較 . . . . . 208

デマンド・グループに関するヒント . . . . . 209

サイズ計測単位に関するヒント . . . . . 209

ドロップ (モデルに含まれない) . . . . . 209

商品情報ファイル (PIF) に関する一般的注意 . . 210

PIF の詳細 . . . . . 210

## 特記事項 . . . . . 217

---

## 第 1 章 概要

IBM® OpenLink は、データ統合、データ変換、データ・クレンジング、およびデータ・メンテナンスのためのプラットフォームです。これにより、IBM Omni-Channel Merchandising スイートを使用したバック・オフィス・アプリケーションの統合の煩雑さを軽減できます。

IBM OpenLink は、データ統合、データ変換、データ・クレンジング、データ・メンテナンスのためのプラットフォームです。IBM Omni-Channel Merchandising スイートにより、バック・オフィス・アプリケーションの統合の煩雑さを軽減できます。

IBM OpenLink を使用することにより、DBA、価格設定アナリスト、価格設定マネージャーは以下のような操作ができるようになります。

- バックオフィス・アプリケーションとデータウェアハウスをシームレスに統合
- お客様固有のフォーマットで提供されたデータ・ファイルのインポート、検証、承認
- カテゴリーを集計または解析し、カテゴリー間のカニバリズムや補完関係を分析
- コンテンツ・クレンジング製品により、より正確なデータを作成
- デマンド・モデル・カテゴリーから導き出した係数により、最適化結果を予測
- ユーザーによる操作を最低限に抑えて、価格を効率よく店舗へ配信

### 関連トピック

2 ページの『対象読者』

IBM OpenLink は、主として、マーチャンダイジング担当者、カテゴリー・マネージャー、会計担当者、IT 管理者の 4 つのグループのユーザーを対象者として設計されています。

2 ページの『前提知識』

IBM OpenLink を使用するための前提知識については、このセクションを参照してください。

2 ページの『翻訳』

IBM Openlink は、いくつかの各国語バージョンで用意されています。

2 ページの『画面キャプチャーと図』

画面キャプチャーと図は、商品を使用するときのイメージを視覚的に説明するためのものです。

3 ページの『始める前に』

OpenLink を使い始める前に、システム要件について確認してください。

3 ページの『システム要件』

この参照は、IBM Omni-Channel Merchandising サービスを使用するための標準的なシステム要件について知るために使用します。

5 ページの『OpenLink へのログイン』

IBM OpenLink を使い始める前に、ユーザー名とパスワードを使用してまず IBM Omni-Channel Merchandising システムにログインする必要があります。

---

## 対象読者

IBM OpenLink は、主として、マーチャンダイジング担当者、カテゴリ・マネージャー、会計担当者、IT 管理者の 4 つのグループのユーザーを対象者として設計されています。

IBM OpenLink は、マーチャンダイジング担当者、カテゴリ・マネージャー、会計担当者、IT 管理者の主に 4 つのグループのユーザーを対象者として設計されています。

---

## 前提知識

IBM OpenLink を使用するための前提知識については、このセクションを参照してください。

Web ブラウザー、インターネット、および Microsoft Windows オペレーティング・システムの使用経験が必要です。メニューを使用したナビゲーション、様々なボタンの使用、スプレッドシートやレポートでの作業、および Web ページのナビゲーションが自由にできる必要があります。

概念とタスクについて学習する際には、Microsoft Excel に関する十分な知識が前提となります。

---

## 翻訳

IBM Openlink は、いくつかの各国語バージョンで用意されています。

Openlink アプリケーション・インターフェースは、以下の各国語で対応可能です。

- ブラジル・ポルトガル語
- 中国語
- フランス語
- ドイツ語
- 日本語
- ロシア語
- スペイン語

IBM OpenLink では、複数の通貨を使用することができ、ローカライズ版では国際通貨をサポートしています。

---

## 画面キャプチャーと図

画面キャプチャーと図は、商品を使用するときのイメージを視覚的に説明するためのものです。

画面キャプチャーと図は、商品を使用するときのイメージを視覚的に説明するためのものです。これは、ご使用のプラットフォームや、システムのカスタマイズ方法によって異なります。そのため、図はあくまで一例であることをご了承ください。



## 始める前に

OpenLink を使い始める前に、システム要件について確認してください。

OpenLink を使い始める前に、システム要件について確認してください。

### 関連トピック

『システム要件』

この参照は、IBM Omni-Channel Merchandising サービスを使用するための標準的なシステム要件について知るために使用します。

4 ページの『IBM Omni-Channel Merchandising サービスについて』

IBM OpenLink のパフォーマンスは、次の要因に影響されることがあります。

## システム要件

この参照は、IBM Omni-Channel Merchandising サービスを使用するための標準的なシステム要件について知るために使用します。

以下に、IBM Omni-Channel Merchandising サービスを使用する際の標準的なシステム要件の詳細を説明します。

注: これらのリソース要件は、IBM Omni-Channel Merchandising サービスのみに適用されます。他のアプリケーションを同時に実行すると、システムのパフォーマンスが低下する可能性があります。各アプリケーションの要件を参照して、コンピューターで追加調整をすることが必要な場合があります。

	最小	推奨	サポートされていない
RAM	1 GB	1.5 GB	< 1 GB
CPU	1 Ghz	2 Ghz	< 900 Mhz
空きディスク・スペース	50 MB	100 MB	< 50 MB
OS	Windows XP	Windows XP または Windows 7	Windows 以外、Windows 2000、Windows 95/ME、Windows 8
ブラウザ*	Internet Explorer 11 ブラウザでは、128 ビット暗号化のサポートが有効になっている必要があります。	Internet Explorer 11 または Mozilla Firefox ブラウザでは、128 ビット暗号化のサポートが有効になっている必要があります。	Netscape、エンタープライズ・モードでの Internet Explorer 11、Internet Explorer 10 以前、Opera、Safari

エクスポート・アプリケーション	Adobe Acrobat Reader 7  MS Office 2002 (XP) (Excel .xls ファイル形式)	Adobe Acrobat Reader 7 以降  MS Office 2003 または MS Office 2007 (Excel .xls または .xlsx ファイル形式)	
Adobe Flash	Adobe Flash 10.3.181	Adobe Flash 11 以上	Adobe Flash 9 以下
画面解像度	1024 x 768	1024 x 768	> 1900 x 1200
接続	T1	T1	ダイヤルアップ、T1 より低速
マウス	2 ボタン	スクロール機能付き 3 ボタン	-

注: これらのブラウザは、Microsoft Windows オペレーティング・システムのみで認定およびサポートされています。

## IBM Omni-Channel Merchandising サービスについて

IBM OpenLink のパフォーマンスは、次の要因に影響されることがあります。

IBM Omni-Channel Merchandising サービスには、Web ブラウザーを使用してアクセスします。OpenLink 内でボタンをクリックするたびに、ワールド・ワイド・ウェブを通じてデータ要求が送信されます。そのため、OpenLink の処理速度は、次の要因に影響されます。

- Web 上での通信量
- 小売業者のネットワークの帯域幅
- 小売業者が設定しているファイアウォールやその他の Web アクセス制限
- ページに表示される行数

### 関連トピック

『企業ロゴの表示』

IBM では、すべてのアプリケーション・ページの右上隅にお客様の企業ロゴまたは企業ブランドを表示することができます。

### 企業ロゴの表示

IBM では、すべてのアプリケーション・ページの右上隅にお客様の企業ロゴまたは企業ブランドを表示することができます。

IBM では、すべてのアプリケーション・ページの右上隅にお客様の企業ロゴまたは企業ブランドを表示することができます。そうすることで、よりパーソナルな印象をアプリケーションに追加できます。お客様のロゴの表示を要求するには、イメージ・ファイルを添付して「技術サポートへの問い合わせ」を開きます。

You can display your own corporate logo at the top of the DemandTec application pages



送信する前に、イメージ・ファイルのフォーマット設定に関する以下のガイドラインを参照してください。

- ログの高さは 24 ピクセル以下にしてください。
- ログの周囲の空白は、すべて削除してください。
- ログの背景はなるべく透明にしてください。白の背景にすることもできます。
- 推奨されるイメージ形式は GIF と JPG です。

アプリケーション・ページのロゴがバランスよく、見た目に魅力的になるように、IBM でイメージを多少調整することがあります。

---

## OpenLink へのログイン

IBM OpenLink を使い始める前に、ユーザー名とパスワードを使用してまず IBM Omni-Channel Merchandising システムにログインする必要があります。

### このタスクについて

IBM OpenLink を使い始める前に、ユーザー名とパスワードを使用してまず IBM Omni-Channel Merchandising システムにログインする必要があります。

新規ユーザーでログイン情報がない場合には、ログイン・ページからサポート・ケースを開いて、ユーザー名とデフォルトのパスワードを要求できます。サポートでは、ユーザーが IBM に送信した E メール・アドレスに基づいて、固有のユーザー名を生成します。サポートから提供されたパスワードを使用してログインしたら、続行する前にデフォルトのパスワードを変更するように求められます。詳しくは、8 ページの『新規ユーザーとしてのログイン』を参照してください。

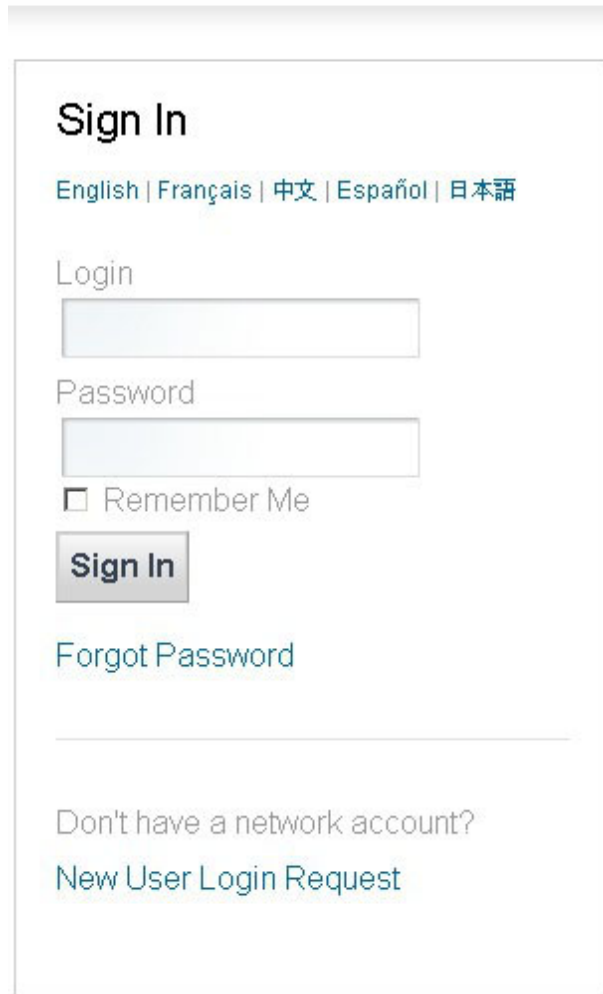
**注:** ユーザーのセキュリティ要件に適合するように、IBM お客様サポートは、組織のユーザーが IBM Omni-Channel Merchandising にログインできるコンピューターの IP アドレスの範囲を指定します。許可される IP アドレスのリストにはない IP アドレスからログインしようとしたユーザーは、すべての IBM Omni-Channel Merchandising アプリケーションへのアクセスが拒否されます。詳しくは、お客様サポートにお問い合わせください。

OpenLink を開始するには、以下のようにします。

### 手順

1. Internet Explorer を開きます。
2. ブラウザーのアドレス・フィールドに IBM Omni-Channel Merchandising 製品の Web アドレス (<https://mydt.demandtec.com> または <https://>

companyname.demandtec.com) を入力して、Enter キーを押します。ログイン・ページが表示されます。



**Sign In**

[English](#) | [Français](#) | [中文](#) | [Español](#) | [日本語](#)

Login

Password

Remember Me

**Sign In**

[Forgot Password](#)

---

[Don't have a network account?](#)

[New User Login Request](#)

- ログイン・ページにユーザー名とデフォルトのパスワードを入力して、「**ログイン**」をクリックします。パスワードを忘れた場合は、12 ページの『パスワードのリセット』を参照してください。
- 「**マイ・アカウント**」ページが表示され、デフォルトのパスワードを次の要件に適合するパスワードに変更するように求められます。
  - 少なくとも 8 文字である
  - 少なくとも 1 つの英文字を含む
  - 1 つ以上の数字 (0 から 9) が含まれている
  - 記号 (!@#\$\$%^\_+ ={}[]:;?! ) が少なくとも 1 つ含まれている (必須ではありませんが、推奨されます)
- 「**再入力**」フィールドにパスワードを再入力します。
- セキュリティー用の質問を選択し、答を入力します。答には少なくとも 4 文字を指定する必要があります。

7. 「保存」をクリックします。確認ページが表示されたら、「ログインを続ける (Continue to login)」リンクをクリックして、ログイン・ページに戻ります。
8. ログイン・ページにユーザー名と新規パスワードを入力して、「ログイン」をクリックします。

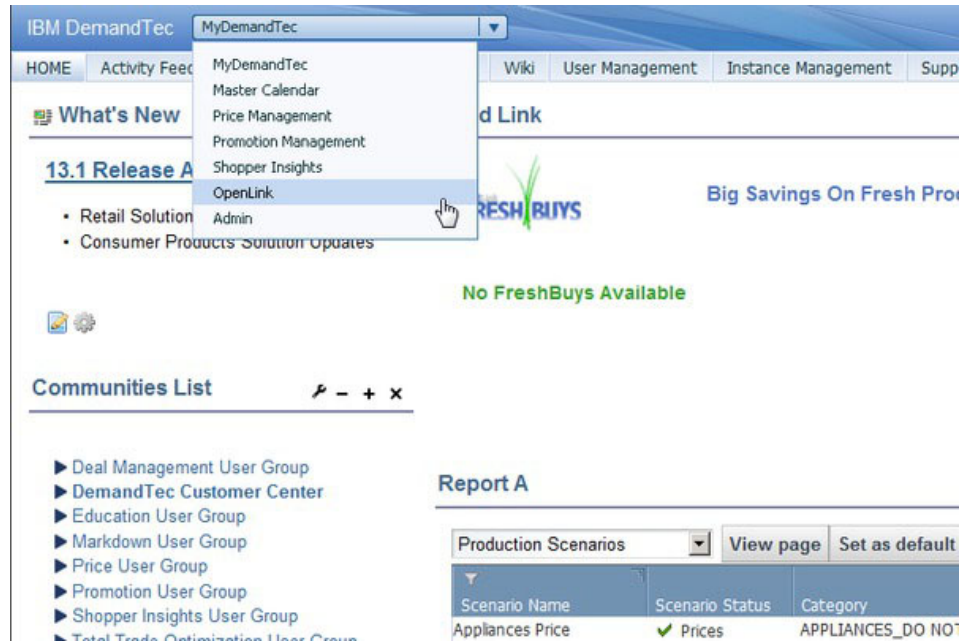
1 つの企業インスタンス (組織) に対してのみアクセス権限があるユーザーは、次のいずれかのページに移動します。

- 「IBM Omni-Channel Merchandising ホーム」ページ
- Deal Management ユーザー用の「Deal Management ホーム」ページ
- 両タイプのユーザー用の「マイ・アカウント」ページ (このページで、プロモーション計画および管理を選択できます)。このページについて詳しくは、13 ページの『マイ・アカウント・ページ』を参照してください。

しかし、ユーザーが複数の組織に対してアクセス権限があると、初回の「組織の選択」ページに、ユーザーがアクセス可能な組織が表示されます。組織を選択すると、上記のページのいずれかに移動します。

注:

- セキュリティー上の理由から、パスワードを 13 週おきに変更するように求められます。パスワードを変更しないと、ロックアウトされてログイン・ページが使用できなくなります。操作を継続するには、お客様サポートにご連絡いただく必要があります。
  - IBM では、「IBM Omni-Channel Merchandising ホーム」ページにブックマークを付けて、Internet Explorer の「お気に入り」に入れておくことをお勧めします。「カスタマー・トレード計画」ページにブックマークを付けることもできます。「お気に入り」のリストからページを選択すると、ログイン後に、該当ページに直接移動します。
9. 「IBM Omni-Channel Merchandising ホーム」ページで、プライマリー・ナビゲーション・ドロップダウンの「価格」、「プロモーション」、「マークダウン」、または「オープン・リンク」をクリックし、アプリケーションを開きます。



10. 「管理」をクリックして概要ページに移動します。概要ページには、全アプリケーションに共通する管理用タスクおよびコンポーネントへのリンクがあります。

#### 関連トピック

『新規ユーザーとしてのログイン』

ログイン情報が不明な場合は、ログイン・ページから登録して、新しい IBM Omni-Channel Merchandising ネットワーク ID を取得する必要があります。

12 ページの『パスワードのリセット』

この手順は、現行パスワードをリセットする場合に使用します。

13 ページの『マイ・アカウント・ページ』

「マイ・アカウント」ページでは、自分のアカウントに関する情報を変更することができます。

14 ページの『IBM OpenLink からのログアウト』

任意のページの上にある「ログアウト」リンクをクリックするだけで、IBM OpenLink を終了できます。

## 新規ユーザーとしてのログイン

ログイン情報が不明な場合は、ログイン・ページから登録して、新しい IBM Omni-Channel Merchandising ネットワーク ID を取得する必要があります。

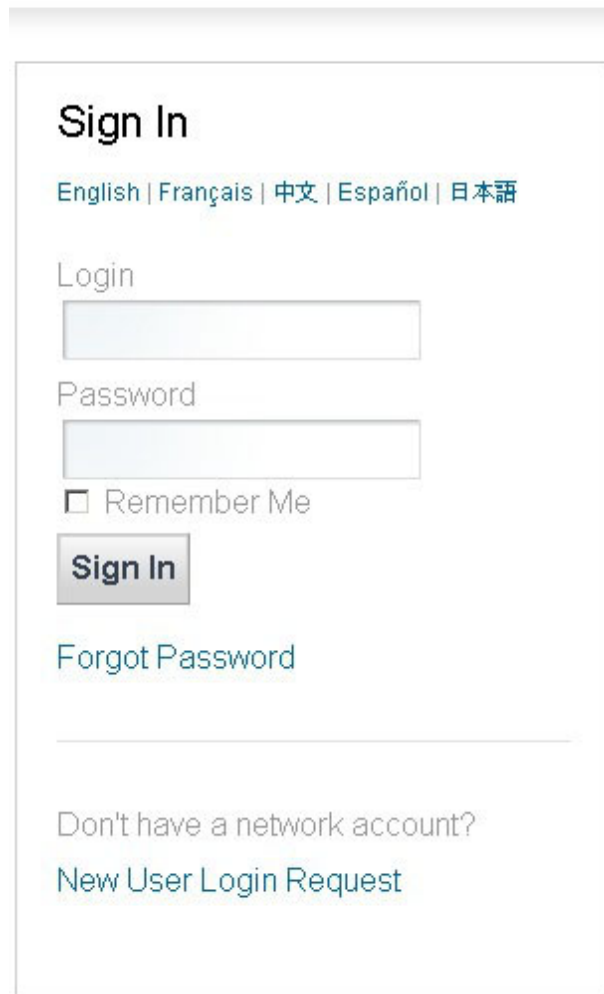
### このタスクについて

ログイン情報が不明な場合は、ログイン・ページから登録して、新しい IBM Omni-Channel Merchandising ネットワーク ID を取得する必要があります。新しいアカウントを登録すると、お客様サポート・チームの手配により、アカウントを利用して、プロモーションやお客様の会社が購入して使用可能にしたその他すべてのサービスにアクセスできるようになります。

新しいアカウントを登録するには、以下のようにします。

## 手順

1. Internet Explorer を開きます。
2. ブラウザーのアドレス・フィールドに IBM Omni-Channel Merchandising 製品の Web アドレス (https://mydt.demandtec.com または https://companyname.demandtec.com) を入力して、Enter キーを押します。IBM Omni-Channel Merchandising システムのログイン・ページが表示されます。



The screenshot shows a web page titled "Sign In". At the top, there are language selection links: "English | Français | 中文 | Español | 日本語". Below this, there are two input fields: "Login" and "Password". Under the "Password" field is a checkbox labeled "Remember Me". A "Sign In" button is positioned below the checkbox. Below the button is a link for "Forgot Password". At the bottom of the form area, there is a link for "New User Login Request" with the text "Don't have a network account?" above it.

3. 新規アカウントを要求するには、「新規ユーザーのログイン要求 (New User Login Request)」をクリックします。

## Network Login User Request

[English](#) | [français](#) | [中文](#) | [español](#) | [日本語](#)

Please use your corporate email address if possible.

**First Name**

**Last Name**

**Company**

**Email Address**

**Phone**

**Ext**

**Login ID**

[Sign In/Forgot Password](#)

Looking for support? Visit our [Customer Support](#) page.

4. 連絡先情報、会社名、および会社の E メール アドレスを入力します。IBM から、アカウント関連のすべての情報が、指定された E メール・アドレスに送信されます。IBM Omni-Channel Merchandising サービスにログインするために使用するログイン ID を選択します。
5. 「送信」をクリックして、新規アカウントを作成します。要求の送信後に、指定された E メール・アドレスに、お客様のアカウントの一時パスワードが記載された E メールが送信されます。
6. ご利用条件を読み、「同意します」をクリックして、アカウントの作成を続行します。次に、パスワードを変更してセキュリティ用の質問を設定するように求められます。



My Account

**My Account**

Please update the security challenge question and answer for your account. John Doe

**Your User Name and Password**

User Name johndoe

Password \*\*\*\*\*

Enter Again \*\*\*\*\*

The password must consist of at least 8 characters. It must contain at least one character/letter and one number (0-9). We strongly suggest including at least one symbol (!@#%\$%^\_+={}|;:?) for a stronger password. Please make sure Caps Lock is off before starting.

Please make a note of your user name and password. You will need your user name and your password to login.

Please select security question and provide answer for that. The answer must be at least 4 characters long.

Please choose a reminder query.

**Password Reminder**

Question  
What is your father's middle name?

Answer  
John

Email address johndoe@supervalu.com

Save

7. ランダムに生成されたパスワードを変更し、以下の条件を満たす新規パスワードを選んでください。
  - 少なくとも 8 文字である
  - 少なくとも 1 つの英文字を含む
  - 1 つ以上の数字 (0 から 9) が含まれている
  - 記号 (!@#%\$%^\_+={}|;:?) が少なくとも 1 つ含まれている (必須ではありませんが、推奨されます)
8. 「再入力」フィールドにパスワードを再入力します。
9. セキュリティー用の質問を選択し、答を入力します。答には少なくとも 4 文字を指定する必要があります。
10. 「保存」をクリックします。確認ページが表示されたら、「ログインを続行 (Continue to login)」リンクをクリックして、ログイン・ページに戻ります。
11. ログイン・ページにユーザー名と新規パスワードを入力して、「ログイン」をクリックします。
12. アカウントを作成すると、サポートから自動的に通知が送信され、該当するすべてのアプリケーションの権限がアカウントに提供されます。このプロビジョニング・プロセスが完了すると、アカウントに指定したアドレスに E メールが送信されます。

**注:**

- セキュリティー上の理由から、パスワードを 13 週おきに変更するように求められます。パスワードを変更しないと、ロックアウトされてログイン・ページが使用できなくなります。操作を継続するには、お客様サポートにご連絡いただく必要があります。
- 「IBM Omni-Channel Merchandising ホーム」ページにブックマークを付けて、Internet Explorer の「お気に入り」に入れておくことをお勧めします。IBM Omni-Channel Merchandising サービス・ページにもブックマークを付けることができます。「お気に入り」のリストからページを選択すると、ログイン後に、該当ページに直接移動します。

- 「IBM Omni-Channel Merchandising ホーム」 ページで、プライマリー・ナビゲーション・ドロップダウンの「オープン・リンク」 セクションをクリックして、IBM OpenLink を開きます。
- 「データ」または「管理」をクリックして概要ページに移動します。概要ページには、全アプリケーションに共通する管理用タスクおよびコンポーネントへのリンクがあります。

## パスワードのリセット

この手順は、現行パスワードをリセットする場合に使用します。

### このタスクについて

現在のパスワードをリセットするには、以下のようにします。

### 手順

- IBM Omni-Channel Merchandising のログイン・ページで、「パスワードを忘れた場合」をクリックします。「パスワードのリカバリー」 ページが表示されます。

Recover Password

[English](#) [français](#) [中文](#) [español](#) [日本語](#)

Screen Name

jdoe

hoi materials.

Type the two words:

hoi of materials.

reCAPTCHA™  
stop spam.  
read books.

Send New Password

[Sign In](#) [Create Account](#)

- ユーザー名を入力して CAPTCHA イメージのワードを入力し、「新規パスワードの送信」をクリックします。

注: 自分のユーザー名が分からない場合や、指定したアドレスで E メールを受信できない場合は、IBM のお客様サポートにご連絡いただく必要があります。

- Eメールの受信ボックスをチェックして、一時アカウント・パスワードを確認します。一時パスワードでログインした後に、アカウントの新規パスワードを選択する必要があります。

## マイ・アカウント・ページ

「マイ・アカウント」ページでは、自分のアカウントに関する情報を変更することができます。

### このタスクについて

ログインした後に、自分のアカウント情報を変更するのは、「マイ・アカウント」ページになります。例えば、複数のインスタンスにアクセス権限がある場合には、異なるインスタンスに切り替えることができます。また、インスタンスが利用可能な商品リストから IBM Omni-Channel Merchandising のサービスを開くこともできます。

注: いくつかのブラウザ・ウィンドウが一度に開くことがありますが、すべてのウィンドウは、同じインスタンスにアクセスします。ユーザーは同じセッションで同時に 2 つのインスタンスにアクセスすることはできません。

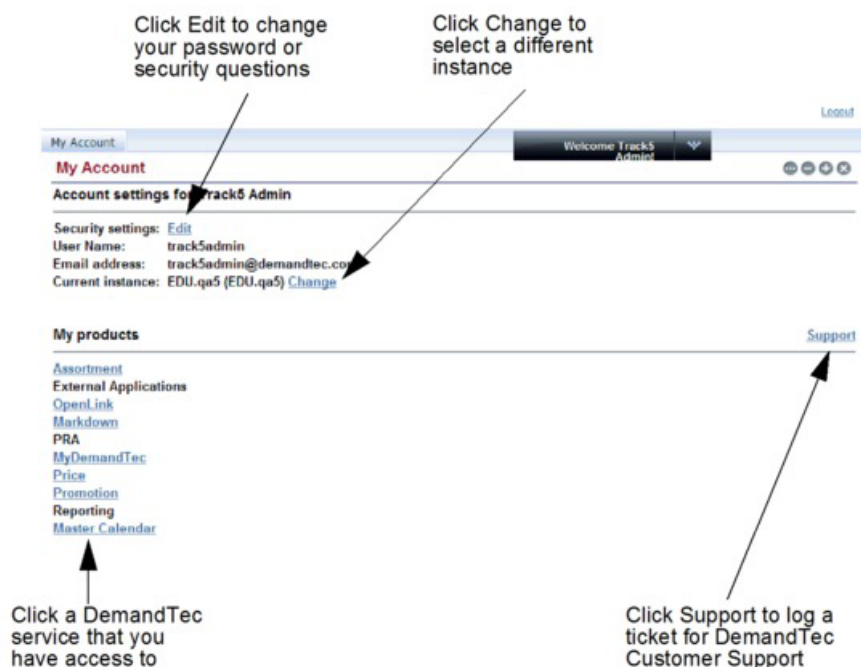
このページには、次のような別のリンクも含まれています。

- 「セキュリティ設定」の横にある「編集」リンクを使用すると、IBM にログインしたままで既存のパスワードやセキュリティ用の質問を変更できます。
- 「サポート」リンクは、「マイ・アカウント」ページの一番右にあります。このリンクから、IBM お客様サポートのサポート・チケットを入力するための Web サポート・サイトが開きます。

インスタンスまたはサービスを変更するには、以下のようにします。

### 手順

1. ページの上部にある「マイ・アカウント」リンクをクリックして、「マイ・アカウント」ページを開きます。



2. インスタンスを変更するには、「**現行インスタンス**」の横にある「**変更**」リンクをクリックします。「**インスタンスの選択**」ページに戻るので、別のインスタンスを選択できます。
3. 別の IBM Omni-Channel Merchandising アプリケーションに切り替えるには、「**マイ商品**」リストからサービスを選択します。アプリケーションの初期ページに移動します。

---

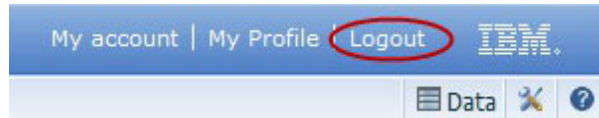
## IBM OpenLink からのログアウト

任意のページの上部にある「**ログアウト**」リンクをクリックするだけで、IBM OpenLink を終了できます。

任意のページの上部にある「**ログアウト**」リンクをクリックするだけで、IBM OpenLink を終了できます。保存済みの設定はすべて、次回のログインに備えて保持されます。ログアウト後は、初期ログイン・ページに戻ります。

ログアウトせずに、ブラウザー・ウィンドウを閉じるか、別の Web ページに移動した場合、非アクティブな状態で 30 分経過すると自動的にログアウトされます。アプリケーションを使用するには、ログイン・ページからログインすることが必要になります。

**注:** IBM のお客様サポートでは、お客様の組織の使用パターンとセキュリティー・ポリシーに基づき、15 分、60 分、120 分、180 分など、異なるセッション・タイムアウト値を構成できます。



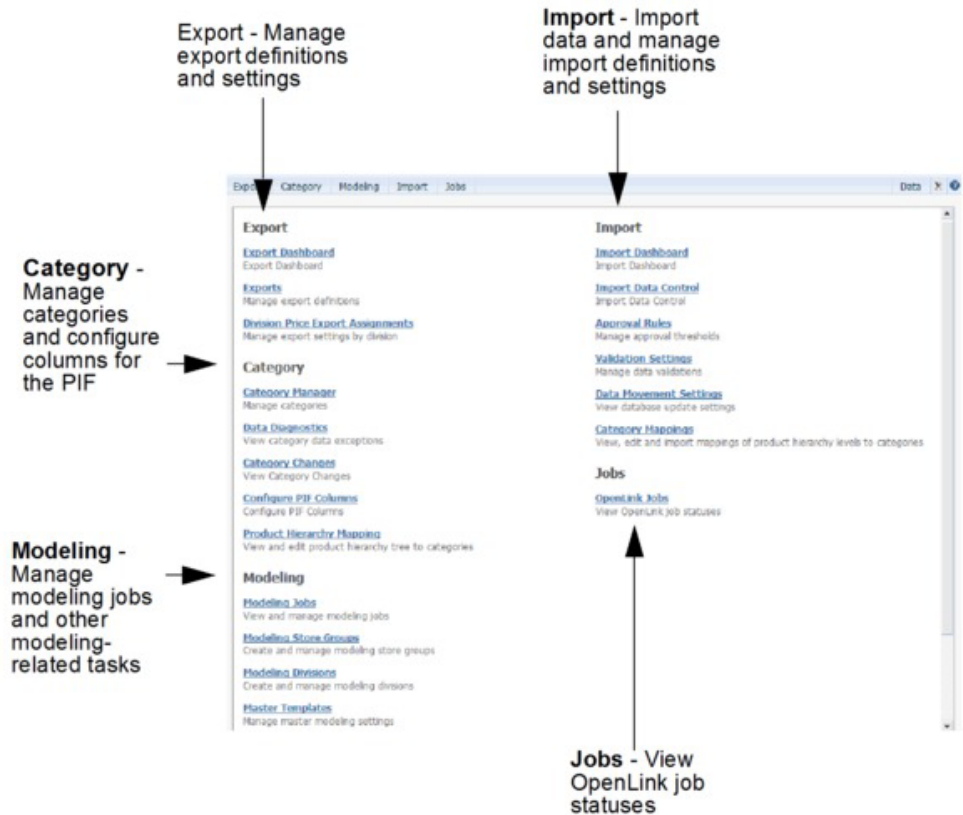
**注:** アプリケーションを使用していない場合は、セキュリティー上の理由およびシステム・リソースの解放のために、ログアウトしてください。

## 「OpenLink の概要」ページ

「**概要**」ページには、OpenLink アプリケーションのすべての機能が表示されています。また、サブタイプごとに機能がグループ化されており、各機能の説明が表示されています。

サービスのドロップダウン・メニューから「**オープン・リンク**」を選択すると、OpenLink の「**概要**」ページに移動します。「**概要**」ページには、OpenLink アプリケーションのすべての機能が表示されています。また、サブタイプごとに機能がグループ化されており、各機能の説明が表示されています。「**オープン・リンク**」のドロップダウン・メニューから同じページにアクセスすることもできます。

このガイドでは、商品への属性設定プロセスに必要なページとタスクについてのみ説明します。属性設定は、一連のタスクであり、モデル化処理と最適化処理のための商品情報を作成します。



## データのインポート

この手順は、IBM OpenLink にデータをインポートする場合に使用します。

### このタスクについて

IBM OpenLink へのデータのインポートには、次の方法を使用します。

### 手順

1. データ (テキスト **.txt** ファイル) は、IBM OpenLink アプリケーションを使用して受信されます。これは、新しいデータをインポートする最も一般的な方法です。ユーザーから、売上、ロケーション、商品、競合価格、商品原価変更についてのデータが毎週 IBM Omni-Channel Merchandising に (FTP 経由で) 送られます。このデータは OpenLink で受信され、自動検証を使用してデータがクリーンであることが確認されます。これらのファイルへの手動の介入、つまりユーザーによる操作はほとんどありません。インポート済みファイルは、「インポート・ダッシュボード」レポートを使用してモニターできます。詳しくは、16 ページの『インポートおよびエクスポート・アクティビティの表示』を参照してください。

一連のデータが多い場合は、OpenLink を通じて送信し、自動データ精度スクリーニングを利用してください。OpenLink は不正確なデータや破損したデータがアプリケーションに入力されるのを防止するために使用するツールです。データは標準形式に書き込まれた後に検証されます。この検証ではエラーをチェック

し、エラーにフラグを付けます。エラーは修正され、検証が再び実行されます。この処理の最終出力は、クリーンで正確なデータです。

- 商品情報ファイル (PIF) エクスポート/インポート処理。この処理では、PIF を MS Excel 形式のファイルにエクスポートし、商品の属性を設定し、その情報をシステムへと再度インポートできます。詳しくは、89 ページの『第 4 章 属性設定の概要』を参照してください。

#### 関連トピック

『インポートおよびエクスポート・アクティビティーの表示』

OpenLink を使用して IBM Omni-Channel Merchandising のファイルをインポートおよびエクスポートすると、データ・ファイルを自動的に管理することができ、商品情報が利用可能になったときに更新されます。

---

## インポートおよびエクスポート・アクティビティーの表示

OpenLink を使用して IBM Omni-Channel Merchandising のファイルをインポートおよびエクスポートすると、データ・ファイルを自動的に管理することができ、商品情報が利用可能になったときに更新されます。

OpenLink を使用して IBM Omni-Channel Merchandising のファイルをインポートおよびエクスポートすると、データ・ファイルを自動的に管理することができ、商品情報が利用可能になったときに更新されます。インポートおよびエクスポートの操作がいつそう複雑になるにつれて、これらの操作の追跡は複雑な作業になる可能性があります。

この問題を解決するために、OpenLink には、直感的に操作が可能なインポート・ダッシュボードとエクスポート・ダッシュボードが実装されています。このダッシュボードを使用して、スケジュール済みデータおよびオンデマンド・データの転送アクティビティーを表示できます。

注: 「インポート・ダッシュボード」 ページは、バージョン 10.1 以前の「インポート」、「承認済みインポート」、および「ファイル・アップロード」 ページの後継機能です。

「インポート・データの制御」 ページを使用して、各種バッチのインポートの頻度および設定を制御できます。このレポートには、ファイル・パターン、数量、履歴範囲、データ・ロード時間のしきい値、その他のインポート情報が表示されます。このページのアクセスと使用について詳しくは、IBM 担当員にお問い合わせください。

#### 関連トピック

17 ページの『インポート・ダッシュボード』

「インポート・ダッシュボード」では、単一ファイルをアップロードできるようにする一方、インポート関連のステータス情報をすべて 1 ページに統合します。

18 ページの『エクスポート・ダッシュボード』

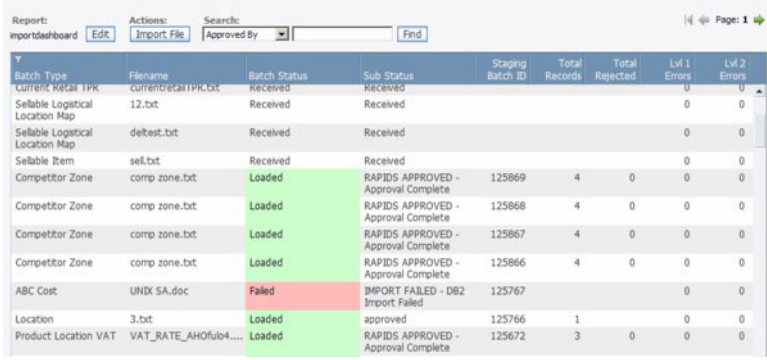
「エクスポート・ダッシュボード」には、OpenLink のすべてのエクスポート・アクティビティーが表示されます。これにより、企業のスケジュール済みエクスポートおよびオンデマンドのエクスポートをモニターできます。



## インポート・ダッシュボード

「インポート・ダッシュボード」では、単一ファイルをアップロードできるようにする一方、インポート関連のステータス情報をすべて 1 ページに統合します。

「インポート・ダッシュボード」では、インポート関連のステータス情報をすべて 1 ページに統合します。また、「ファイルのインポート」ボタンにより、単一ファイルをアップロードできます。このダッシュボードには、現在実行している各インポート・プロセスのリアルタイムの状況と、成功、失敗、および前回のインポートの特性が表示されます。



Batch Type	Filename	Batch Status	Sub Status	Staging Batch ID	Total Records	Total Rejected	Lvl 1 Errors	Lvl 2 Errors
Sellable Logistical Location Map	12.txt	Received	Received		0	0	0	0
Sellable Logistical Location Map	delbest.txt	Received	Received		0	0	0	0
Sellable Item	sel.txt	Received	Received		0	0	0	0
Competitor Zone	comp zone.txt	Loaded	RAPIDS APPROVED - Approval Complete	125869	4	0	0	0
Competitor Zone	comp zone.txt	Loaded	RAPIDS APPROVED - Approval Complete	125868	4	0	0	0
Competitor Zone	comp zone.txt	Loaded	RAPIDS APPROVED - Approval Complete	125867	4	0	0	0
Competitor Zone	comp zone.txt	Loaded	RAPIDS APPROVED - Approval Complete	125866	4	0	0	0
ABC Cost	UNX SA.doc	Failed	IMPORT FAILED - DB2 Import Failed	125767			0	0
Location	3.txt	Loaded	approved	125766	1		0	0
Product Location VAT	VAT_RATE_AHOfu4...	Loaded	RAPIDS APPROVED - Approval Complete	125672	3	0	0	0

OpenLink で各ファイルが処理されるにつれて、インポート・ダッシュボードを使用して、バッチ・ステータス、インポート・プロセス、およびインポート時に発生したエラーを表示できます。このダッシュボードは、各インポートに関する情報が読み取り専用のグリッド形式で含まれています。このグリッドには、以下の列が含まれています。

- 「バッチ・タイプ」：パイプラインにあるデータ・ファイルのデータ・タイプ。
- 「ファイル名」：データ・ファイルのファイル名。
- 「バッチ・ステータス」：パイプラインにあるデータのステータス。ステータス値は、以下のようになります。
- 「受信」：ファイルは適切な OpenLink フォルダに転送済みですが、データ・ロード・プロセスによりピックアップされていません。このファイルに関連付けられているバッチはありません。
- 「読み込み準備完了 (手動)」：ファイルが「ファイルのインポート」ボタンによって手動で読み込まれた場合は、このサブステータスが表示されます。
- 「処理中」：ファイルがデータ・ロード・プロセスによりピックアップされ、現在処理が進行中です。
- 「サブステータス」：「処理中」のサブステータス情報も表示されます。例: 処理中 - 妥当性検査、処理中 - DB 読み込み。
- 「読み込み済み」：ファイルはデータベースに正しく読み込まれました。すべてのレコードが正しく読み込まれています。
- 「読み込み済み (エラーあり)」：ファイルの一部のレコードはデータベースに読み込まれませんが、その他のレコードは正しく読み込まれています。拒否されたレコードは、リジェクト・ファイルで利用できます。
- 失敗: データベースにレコードが読み込まれませんでした。このステータスは、レベル 1 エラーの結果です。

- 「**中間バッチ ID**」：利用可能な場合の、このデータ・ファイルのバッチ ID。ファイルが読み込み対象としてマークされていない場合、このフィールドは空になります。
- 「**総レコード数**」：受信したデータ・ファイル内のレコードの総数。
- 「**却下総数**」：エラーのために拒否されたレコードの総数。
- 「**レベル 1 エラー**」：きわめて重大なエラーを引き起こしたレコード数。インポートは失敗します。
- 「**レベル 2 エラー**」：重大なエラーを引き起こしたレコード数。これらのレコードの読み込みは失敗します。
- 「**レベル 3 エラー**」：小さなエラーのあるレコード数。警告が出ます。
- 「**開始日**」：データ・ファイルがデータ・ロード・プロセスによりピックアップされた日時。
- 「**終了日**」：ファイルのデータ・ロード・プロセスが完了した日時。
- 「**読み込み時間**」：開始日から終了日の間の総経過時間 (分)。
- 「**平均読み込み時間**」：最後の N 回のデータ・ロードにデータ・ファイルのレコード数の重みを付けて算出した、同じタイプのデータの平均読み込み時間。N は、各データ・タイプの「**インポート・データの制御**」ページで構成可能な値です。これはデフォルトではダッシュボードに表示されないオプションのフィールドですが、「**プリファレンス編集**」ページで追加できます。
- 「**数量差異**」：入力ファイルと最後の N 回のデータ・ロードにおける同じデータ・タイプの平均レコード数との間のレコード数の差異。これはデフォルトではダッシュボードに表示されないオプションのフィールドですが、「**プリファレンス編集**」ページで追加できます。
- 「**承認者**」：データ・ロード・プロセスを開始したユーザーのユーザー名。プロセスが自動化されている場合、ユーザーは「Internal User」(内部ユーザー) となります。

#### 関連トピック

15 ページの『データのインポート』

この手順は、IBM OpenLink にデータをインポートする場合に使用します。

## エクスポート・ダッシュボード

「**エクスポート・ダッシュボード**」には、OpenLink のすべてのエクスポート・アクティビティが表示されます。これにより、企業のスケジュール済みエクスポートおよびオンデマンドのエクスポートをモニターできます。

「**エクスポート・ダッシュボード**」には、OpenLink のすべてのエクスポート・アクティビティが表示されます。これにより、企業のスケジュール済みエクスポートおよびオンデマンドのエクスポートをモニターできます。エクスポート・ダッシュボードを表示するには、「**オープン・リンク**」>「**エクスポート・ダッシュボード**」に移動します。基本ダッシュボード・ビューには、以下のものが表示されます。



Type	Export Name	Division	Status	# Records	Start Time	End Time	Elapsed Time (Min.)
MPerfDetail	MC Performance Detail Export		Scheduled		Jul 1, 2010 9:57 PM		
MPerfDetail	MC Performance Detail Export		Scheduled		Jul 4, 2010 9:29 PM		
MPerfDetail	MC Performance Detail Export		Scheduled		Jul 4, 2010 10:33 PM		
DisplayPlanning	Display Planning Export		Exported	1	Jun 30, 2010 5:37 AM	Jun 30, 2010 5:51 AM	14
DisplayPlanning	Display Planning Export		Exported	3176	Jun 29, 2010 12:35 PM	Jun 29, 2010 1:17 PM	42
MPerfDetail	MC Performance Detail Export		Scheduled		Jun 30, 2010 12:55 PM		
MPerfDetail	MC Performance Detail Export		Exported	0	Jun 29, 2010 12:55 PM	Jun 29, 2010 12:55 PM	0
MPerfDetail	MC Performance Detail Export		Exported	0	Jun 29, 2010 1:55 PM	Jun 29, 2010 1:55 PM	0
MPerfDetail	MC Performance Detail Export		Exported	0	Jun 29, 2010 2:55 PM	Jun 29, 2010 2:55 PM	0
MPerfDetail	MC Performance Detail Export		Exported	0	Jun 29, 2010 3:55 PM	Jun 29, 2010 3:55 PM	0
MPerfDetail	MC Performance Detail Export		Exported	0	Jun 29, 2010 4:55 PM	Jun 29, 2010 4:55 PM	0
MPerfDetail	MC Performance Detail Export		Exported	0	Jun 29, 2010 5:55 PM	Jun 29, 2010 5:55 PM	0

「エクスポート・ダッシュボード」ページのフィールドは、すべて読み取り専用です。ダッシュボードは、以下の列で構成されています。

- ・ 「タイプ」：エクスポート・タイプ: 価格、プロモーション詳細、マークダウンなど。
- ・ 「エクスポート名」：ユーザー定義のエクスポート名またはエクスポートの説明。
- ・ 「ディビジョン」：エクスポートに関連するディビジョン。
- ・ 「ステータス」：パイプライン内のデータの状態。「ステータス」列には、複数の値が表示される場合があります。
- ・ 「スケジュール済み」：エクスポートはスケジュールされていますが、まだ実行されていません。
- ・ 「抽出中」：エクスポート処理で、データベースからデータが抽出されています。
- ・ 「エクスポート済み」：データは DB から抽出済みで、エクスポートに付属する後処理スクリプトがすべて正しく実行されました。
- ・ 「エラー」：エクスポートに失敗しました。
- ・ 「レコード数」：エクスポートされたレコード数。
- ・ 「開始時刻」：エクスポートが開始された日時。
- ・ 「終了時刻」：エクスポートが完了した日時。
- ・ 「経過時間」：開始日から終了日の間の総経過時間 (分)。
- ・ 「エクスポート実行者」：データ・エクスポート・プロセスを開始したユーザーのユーザー名。プロセスが自動化されている場合、ユーザーは「Internal User」(内部ユーザー) となります。

86 ページの『データのエクスポート』

87 ページの『エクスポート・ステータスの確認』

## ユーザー管理の権限

ユーザー管理の権限を以下に示します。

- ・ **カレンダー期間定義の管理 (Administer Calendar Period Definitions)** - ユーザーは、「管理」ページの「**カレンダー管理**」セクションでデフォルト・カレンダー期間を変更でき、新規のカレンダー期間定義ファイルをアップロードできます。

- **企業全体の UI プリファレンスの管理** - ユーザーは、企業内のすべてのユーザーを対象に、「レポート編集」ページでデフォルト・レポート設定値を設定できます。
- **表示セットアップの管理** - ユーザーは、陳列テンプレートを読み込み、「陳列計画」ツールを構成し、陳列の特性を管理できます。
- **ジョブ・スケジューラーの管理** - ユーザーは、ジョブ・スケジューラー・キュー内のジョブを編集できます。これらは、ユーザーには意識されずに実行されるプロセスです。
- **通知別名の管理** - ユーザーは、ユーザーのグループがアラートを受信するための通知別名を作成、削除、または編集できます。
- **組織の管理** - IBM Omni-Channel Merchandising サポートおよび IBM Omni-Channel Merchandising 操作に、新規企業の設定、および企業情報の編集を許可します。

注: 「組織の管理」は、IBM Omni-Channel Merchandising サポートおよび IBM Omni-Channel Merchandising 操作のユーザーに対してのみ選択する必要があります。データベース・プロパティの設定を誤ると、アプリケーションが不安定になる可能性があります。

- **タスク・スケジューラーの管理** - ユーザーは、タスク・スケジューラーでタスクを作成および管理できます。
- **権限の編集** - ユーザーはすべてのユーザー権限を編集できます。それぞれの組織内で、少なくとも 1 人のユーザーがこの権限を持っている必要があります。
- **システム構成の編集** - IBM Omni-Channel Merchandising サポートおよび IBM Omni-Channel Merchandising 操作に、企業のシステム構成の編集を許可します。

注: 「システム構成の編集」は、IBM Omni-Channel Merchandising サポートおよび IBM Omni-Channel Merchandising 操作のユーザーに対してのみ選択する必要があります。システム・プロパティの設定を誤ると、アプリケーションが不安定になる可能性があります。

- **ユーザーの編集** - ユーザーは、ユーザーを作成、編集、および削除できます。
- **OpenLink 管理** - IBM Omni-Channel Merchandising サポートおよび IBM Omni-Channel Merchandising 操作に、IBM Omni-Channel Merchandising OpenLink の管理を許可します。
- **ジョブを表示する** - ユーザーは、ジョブ・スケジューラー・キューに入っているジョブを表示できます。

---

## 第 2 章 アプリケーション内のナビゲーション

IBM Omni-Channel Merchandising ワークスペースでは、該当する権限を持っているすべてのアプリケーションにアクセスできます。ほとんどのアプリケーションおよびページは、類似したナビゲーション機能 (検索、レポート、ページ送りなど) を共有しています。すべての機能が、すべてのページ、すべてのアプリケーションで同じように動作します。

IBM Omni-Channel Merchandising の特定のエリアにアクセスできるかどうかは、権限によって決まります。

### 関連トピック

#### 22 ページの『レポートの検索』

レポートは、情報をフィルター処理する方法を事前に定義したものです。さまざまな画面で、さまざまなレポートを使用できます。

#### 27 ページの『レポート内での編集』

レポート内からフィールドを編集するには、この手順を使用します。

#### 27 ページの『データ集約』

いくつかのレポートでは、さまざまな集約レベルでデータを表示できます。

#### 27 ページの『検索』

単語、英文字、数字、または文字を対象に列を検索するには、この手順を使用します。

#### 28 ページの『レポート列内での検索』

ページ上部の「**検索**」フィールドに加えて、**拡張フィルター**機能を使用してレポート項目の検索およびフィルター操作を行うことができます。

#### 30 ページの『複数ページにわたる移動』

複数のページにわたって移動するには、この手順を使用します。

#### 30 ページの『アイテム・リストのソート』

列見出しでアイテム・リストをソートするには、この手順を使用します。

#### 30 ページの『レポートのカスタマイズ』

レポートをカスタマイズするには、この手順を使用します。

#### 31 ページの『列の追加または削除』

列を追加または削除するには、この手順を使用します。

#### 31 ページの『列の順序の変更』

列の順序を変更するには、この手順を使用します。

#### 32 ページの『列のソート』

列をソートするには、この手順を使用します。

#### 32 ページの『列のフィルター』

列をフィルターに掛けるには、この手順を使用します。

## アプリケーション・ページ

IBM Omni-Channel Merchandising の多くのページから、次に示す機能にアクセスできます。

### 関連トピック

『アクション』

「アクション」ボタンをクリックすることによって、新規のアクティビティーが実行されます。

『レポートの検索』

レポートは、情報をフィルター処理する方法を事前に定義したものです。さまざまな画面で、さまざまなレポートを使用できます。

23 ページの『ページの情報を探するための検索』

IBM Omni-Channel Merchandising は、ページの情報を検索する手段をいくつか備えています。

23 ページの『アイテムの選択』

Shift キーと Ctrl キーは、ページ上で複数のアイテムを選択するために使用します。

24 ページの『最新表示』

IBM Omni-Channel Merchandising 内のページのステータスを更新するために、ページを最新表示する必要があります。

24 ページの『遅いデータ取得のトラブルシューティング』

IBM Omni-Channel Merchandising Web ベース・アプリケーションでのデータの取得処理は、「OK」、「保存」、「昇順でソート」などのボタンを選択したときに実行されます。情報の取得中、アプリケーションがフリーズしているように見えることがあります。以下に、データの取得中にページがフリーズしているように見える場合のトラブルシューティングのヒントをいくつか示します。

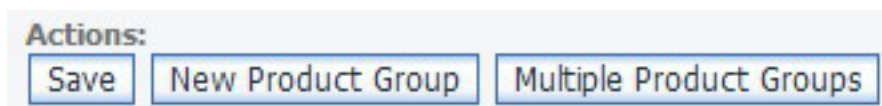
24 ページの『キャッシュのクリア』

キャッシュをクリアするには、この手順を使用します。

## アクション

「アクション」ボタンをクリックすることによって、新規のアクティビティーが実行されます。

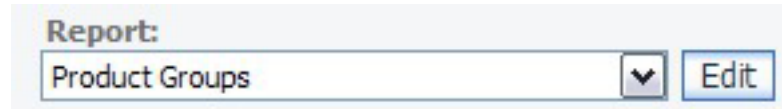
「アクション」ボタンをクリックすることによって、新規のアクティビティーが実行されます。例えば、「**新商品グループ**」アクション・ボタンをクリックすることによって、新商品グループを作成します。「**保存**」ボタンをクリックして、新規のアクティビティーと変更内容を保存できます。



## レポートの検索

レポートは、情報をフィルター処理する方法を事前に定義したものです。さまざまな画面で、さまざまなレポートを使用できます。

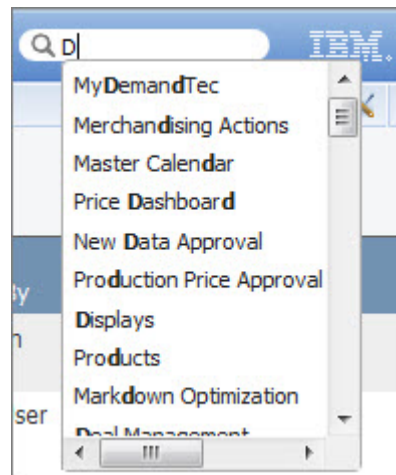
例えば、「商品グループ」ページでは、商品グループ・レポートを含むいくつかのレポートを使用できます。



## クイック・リンク検索を使用した検索

アプリケーション内で素早くナビゲートするには、クイック検索を使用します。

検索フィールドを使用して、アプリケーションの他の領域に素早くナビゲートできます。検索ボックスに入力すると、アプリケーション内で一致するページがドロップダウン・メニューに自動的に取り込まれます。ページをクリックして選択すると、そのページにナビゲートできます。



## ページの情報を探するための検索

IBM Omni-Channel Merchandising は、ページの情報を検索する手段をいくつか備えています。

英文字、単語、数字、または >、<、= などの文字を対象に、検索を実行できます。ワイルドカード文字 \* を使用して、特定の単語を含むアイテムを検索できます。例えば、\*Yogurt\* は Light Yogurt、Plain Yogurt、および Yogurt Drinks を返します。



## アイテムの選択

Shift キーと Ctrl キーは、ページ上で複数のアイテムを選択するために使用します。

複数のアイテムを選択するには、1 つ以上のアイテムを選択して、Shift キーまたは Ctrl キーを押したまま別のアイテムを選択します。

- Shift キー: 連続したアイテムを選択できます
- Ctrl キー: 不連続のアイテムを選択できます

## 最新表示

IBM Omni-Channel Merchandising 内のページのステータスを更新するために、ページを最新表示する必要があります。

画面を最新表示するには、F5 を押すか、Internet Explorer ブラウザー・ツールバーの「リフレッシュ」ボタンをクリックします。

## 遅いデータ取得のトラブルシューティング

IBM Omni-Channel Merchandising Web ベース・アプリケーションでのデータの取得処理は、「OK」、「保存」、「昇順でソート」などのボタンを選択したときに実行されます。情報の取得中、アプリケーションがフリーズしているように見えることがあります。以下に、データの取得中にページがフリーズしているように見える場合のトラブルシューティングのヒントをいくつか示します。

### 手順

1. Internet Explorer ブラウザー・ウィンドウの左下隅を調べて、「作動可能」が表示されていることを確認します。ページの最新表示も試してみてください。
2. ページにアクセスできないか、データを変更できない場合は、正しい証明書を所有していること、証明書が正しくインストールされていること、および証明書に正しい権限が関連付けられていることを確認します。

## キャッシュのクリア

キャッシュをクリアするには、この手順を使用します。

### このタスクについて

ワールド・ワイド・ウェブをナビゲートする際に、アクセスしたページはコンピューターのキャッシュに入れられ (保存され)、訪れた場所が記憶されます。ページは履歴として保管されるので、後でアクセスするときにこれらのページを素早く簡単に表示できます。

ページに対して機能拡張が行われると、コンピューターに保管されている履歴が原因で、更新されたページが表示されない可能性があります。

### 手順

1. Internet Explorer を開きます。
2. 「ツール」 > 「インターネット オプション」を選択します。「インターネット オプション」ダイアログ・ボックスが表示されます。
3. ダイアログ・ボックスの中央で、「ファイルの削除」をクリックします。
4. 表示される「ファイルの削除」メッセージ・ボックスの「OK」をクリックします。これでキャッシュがクリアされます。キャッシュのクリアを以前にほとんどしたことがなかった場合は、処理の完了に数分かかることがあります。



---

## アプリケーション間の移動

アプリケーション・ドロップダウン・メニューを使用して、各アプリケーション内の個々のアプリケーションとエリアに素早くアクセスできます。カスケード・メニューを使用してアプリケーション・ページにナビゲートし、基本タスクを実行します。

---

## メインページ間の移動

メニュー・バーを使用して、アプリケーション内のメインページ間を移動できます。次に示す例は、Promotion Planning & Execution のものです。

アプリケーションの特定のエリアに対するアクセスは、権限によって制御されません。



---

## パンくずリストを使用したナビゲート

パンくずリストは、現行ページに到達するまでにナビゲートしたアプリケーション内のページの階層です。パンくずリストは、多くのページの最上部に表示されます。階層内の特定のページに直接リンクすることも、開始点までナビゲートして戻ることもできます。

現行ページは、階層の最後にある要素です。ページを離れる前に、入力したデータを保存する必要があります。ただし、前のページに入力した検索条件は、パンくずリストを使用してそのページに戻った場合にも保持されます。



---

## アラート受信箱

アラート受信箱を使用して、アプリケーション内のさまざまなイベントおよびアクティビティによって生成された、サブスクライブ対象のアラートを表示できます。

ユーザーは、自身が開始したアクティビティに関するアラートのみを受け取ることも、企業内のいずれかのユーザーがアクティビティを開始した場合にアラートを受け取ることもできます。イベントの例は、新製品の原価が IBM Omni-Channel Merchandising OpenLink にインポートされる時、プロモーションが予測される時などです。アラートはメッセージ・ダイアログ・ボックスに保管され、このダイアログ・ボックスに表示できます。

IBM Omni-Channel Merchandising アプリケーションでアラートを受信するほかに、ユーザー・プロフィールに保管された E メール・アドレスを使用して、E メールでアラートを受信することもできます。

新規メッセージを受け取ると、「**新規アラート (New Alert)**」通知アイコンが IBM Omni-Channel Merchandising アプリケーションの右上側に表示されます。アイコン内に表示される数は、新規メッセージの数を示しています。

アイコンの上にマウスを移動して、ポップアップの「**受信箱に移動**」をクリックし、「**アラート受信箱**」ダイアログ・ボックスを開きます。代わりにアイコンを非表示にすると、新規メッセージが到着するまでアイコンは表示されなくなります。アラート受信箱は、「**ツール**」メニューのオプションとしても選択できます。

「**アラート受信箱**」ダイアログ・ボックス内で、メッセージをダブルクリックするか、右クリック・メニューの「**開く**」を選択して、「**メッセージ詳細**」ダイアログ・ボックスにメッセージを表示します。1 つまたは複数のメッセージを右クリックして削除したり、既読のマークを付けたりすることもできます。受信箱は、最大で 100 件のメッセージを保管します。

「**ユーザー**」ページでは、管理者が社内の他のユーザーのサブスクライブを行うこともできます。ユーザーのアラートへのサブスクライブを行うには、「**アラート・サブスクリプションの管理 (Administer Alert Subscriptions)**」権限が有効であることが必要です。

---

## レポートの使用と管理

ニーズに合わせてレポートをカスタマイズできます。レポートの検索、ソート、フィルター、およびカスタマイズ (列の追加または削除) が可能です。

### 関連トピック

22 ページの『**レポートの検索**』

レポートは、情報をフィルター処理する方法を事前に定義したものです。さまざまな画面で、さまざまなレポートを使用できます。

27 ページの『**レポート内での編集**』

レポート内からフィールドを編集するには、この手順を使用します。

27 ページの『**データ集約**』

いくつかのレポートでは、さまざまな集約レベルでデータを表示できます。

27 ページの『**検索**』

単語、英文字、数字、または文字を対象に列を検索するには、この手順を使用します。

28 ページの『**レポート列内での検索**』

ページ上部の「**検索**」フィールドに加えて、**拡張フィルター機能**を使用してレポート項目の検索およびフィルター操作を行うことができます。

30 ページの『**アイテム・リストのソート**』

列見出しでアイテム・リストをソートするには、この手順を使用します。

30 ページの『**レポートのカスタマイズ**』

レポートをカスタマイズするには、この手順を使用します。



### 31 ページの『列の追加または削除』

列を追加または削除するには、この手順を使用します。

### 31 ページの『列の順序の変更』

列の順序を変更するには、この手順を使用します。

### 32 ページの『列のサイズ変更』

列を手動でサイズ変更するには、この手順を使用します。

### 32 ページの『列のソート』

列をソートするには、この手順を使用します。

### 32 ページの『列のフィルター』

列をフィルターに掛けるには、この手順を使用します。

### 33 ページの『レポートの変更内容のクリア』

レポートの変更内容をクリアするには、この手順を使用します。

### 33 ページの『企業プリファレンスの設定』

レポート用のデフォルトの企業プリファレンスを設定するには、この手順を使用します。企業のデフォルトのレポート・プリファレンスを定義するには、「**企業全体の UI プリファレンスの管理**」権限が必要です。

### 34 ページの『パーソナライズされたレポートの作成』

パーソナライズされたレポートを作成して保存するには、この手順を使用します。

## レポート内での編集

レポート内からフィールドを編集するには、この手順を使用します。

### このタスクについて

フィールドをクリックして、新しい値を入力することによって、レポート内で多くのフィールドを直接編集できます。この方法で編集可能になったフィールドには、列見出しの右上隅に小さな大括弧のシンボルが表示されます。値を変更した後は、前の値を取り出すことはできません。

### 手順

1. Shift (連続した行の場合) キーおよび Ctrl (不連続の行の場合) キーを押しながら、複数の行を編集または選択するフィールドをクリックします。
2. フィールドに新しい値を入力します。
3. 「保存」をクリックします。新規値は、保存されるまで太字体で表示されます。

## データ集約

いくつかのレポートでは、さまざまな集約レベルでデータを表示できます。

レポートの集約を変更するには、「**集約**」ドロップダウン・メニューからレベルを選択します。ページが最新表示され、選択したレベルでデータが表示されます。

## 検索

単語、英文字、数字、または文字を対象に列を検索するには、この手順を使用します。

## このタスクについて

(>, <, <=, >=, =) 記号を使用して検索を実行することにより、検索を絞り込むことができます。コンマを使用して、複数のアイテム、例えば 2 つの商品コード (000419392402, 00014124214) などを検索できます。また、コンマを使用して、指定した範囲外にある値を検索することもできます。例えば、数量変化が 10% を上回る、または下回るアイテムを検索できます (>.10, <-.10)。引用符を使用して、コンマを含む値を囲むことができます (例: "John, Scenario1")。

ワイルドカード文字 (\*) を含む検索も可能です。この例では、商品コード 00012345678910 に対して次の検索を実行できます。

- \*78910 は、78910 で終わる商品コードを検索します。
- 00012345\* は、00012345 で始まるすべての商品コードを検索します。これは、メーカーまたはベンダーのすべてのアイテムを検索する際に便利です。
- \*5678\* は、5678 を含むすべての商品コードを検索します。

## 手順

1. 「検索」ドロップダウン・メニューから列を選択します。選択した列を対象に検索が実行されます。表示されている列のみを検索対象にすることができます。
2. 検索する単語、英文字、または各種文字を入力します。



3. 「検索」をクリックします。検索結果が表示されます。結果の中でさらに検索を行うことはできません。一度にただ 1 つの検索を実行できます。検索をクリアするには、「検索のクリア」をクリックします。アイテム・リストは検索前のアイテム・リストに戻ります。

## レポート列内での検索

ページ上部の「検索」フィールドに加えて、**拡張フィルター**機能を使用してレポート項目の検索およびフィルター操作を行うことができます。

## このタスクについて

**拡張フィルター**は、それぞれのレポート列に含まれる値からなるドロップダウン・リストです。このリストには、最初の列見出しにフィルターのシンボルが表示されているレポート内で、列見出しの左クリック・コンテキスト・メニューからアクセスできます。フィルターに含める 1 つ以上の値を選択できます。

「検索」フィールド内でサポートされている操作のほとんどが、ここでもサポートされています。「検索」フィールドの使用について詳しくは、27 ページの『検索』を参照してください。

- (>, <, <=, >=, =) 記号は検索を絞り込みます。
- コンマを使用して、複数のアイテム、例えば 2 つの商品コード (000419392402, 00014124214) などを検索できます。また、コンマを使用して、指定した範囲外にある値を検索することもできます。例えば、数量変化が 10% を上回る、または

下回るアイテムを検索できます (>.10, <-.10)。コンマ (,) を含む値は、二重引用符で囲む必要があります (例: "My Scenario February 12, 2007")。

- 商品コードなど、テキスト列の値に対しては、ワイルドカード文字 (\*) を含む検索が可能です。

**拡張フィルター**内の現行検索値のリストは、別のビューで参照するために保管されます。すべて、または個別の検索値をクリアすることによって、このリストを更新された状態に保つことができます。値が更新されると、ページが最新表示されます。

**注:** 一部のブール列タイプを検索するには、**拡張フィルター**ではなく「**検索**」フィールドを使用する必要があります。次に、**拡張フィルター**で検索できるブール列のタイプを示します。

- チェック・ボックス (「はい」、「いいえ」が**拡張フィルター**に表示される)
- ロック済みチェック・ボックス (「はい」、「いいえ」が**拡張フィルター**に表示される)
- 取扱停止/アクティブ (「取扱停止」、「アクティブ」が**拡張フィルター**に表示される)
- はい/いいえ (「はい」、「いいえ」が**拡張フィルター**に表示される)
- 警告の感嘆符記号 (「はい」、「いいえ」が**拡張フィルター**に表示される)

**拡張フィルター**を使用した検索は、次の手順で行います。

### 手順

1. レポート内の列見出しを左クリックして、「**フィルターを適用**」を選択します。別のダイアログ・ボックスが開いて、レポートの現行ページにある列の値が表示されます。
2. リストから 1 つ以上の値を選択します。複数のアイテムを選択するには、Shift キーまたは Ctrl キーを使用します。空白のレポート・セルを検索するには、リストの値「(空欄)」を選択します。IBM Omni-Channel Merchandising は、スペース文字のみを含むセルをブランクと見なします。値「(空白ではありません)」を選択すると、空白ではないレポート・セルのみが表示されます。
3. 「**OK**」をクリックします。検索結果が表示されます。検索を実行せずにダイアログ・ボックスを閉じるには、「**キャンセル**」をクリックします。結果の中でさらに検索を実行できます。検索がクリアされるか、レポートが変更されるか、集約が変更されるまで、検索はすべて保持されます。
4. すべての現行検索値のリストを表示するには、見出しに緑色のフィルター・シンボルが付いた左端の列にマウスを重ねます。**拡張フィルター値**が表示されます。「**レポート編集**」ページに入力された**レポート・フィルター**の値も表示されます (32 ページの『列のフィルター』を参照)。ポインターをフィルター・シンボルから離すと、ビューは閉じます。
5. フィルター値をクリアするには、個々のフィルターの前にある「x」ボタンをクリックします。また、「**拡張フィルター値**」の前にある「x」ボタンをクリックすると、すべてのフィルターが一度にクリアされます。

レポート・フィルターをクリアすることもできます。列見出しの左クリック・コンテキスト・メニューで「フィルターをクリア」を選択して、**拡張フィルター値**をクリアすることもできます。

#### 関連トピック

27 ページの『検索』

単語、英文字、数字、または文字を対象に列を検索するには、この手順を使用します。

32 ページの『列のフィルター』

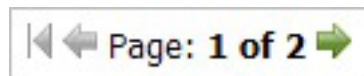
列をフィルターに掛けるには、この手順を使用します。

## 複数ページにわたる移動

複数のページにわたって移動するには、この手順を使用します。

### 手順

1. ページの矢印をクリックします。各ページにリストされるアイテムの数は、「ユーザー・プリファレンス」（「ツール」 > 「ユーザー・プリファレンス」）で設定します。



2. セットの最後のページ、または最初のページに進むには、二重矢印ボタンをクリックします。

## アイテム・リストのソート

列見出しでアイテム・リストをソートするには、この手順を使用します。

### 手順

1. ソートする列見出しを左クリックします。
2. 「昇順でソート」または「降順でソート」を選択します。リストが最新表示され、設定した順序でアイテムが表示されます。

## レポートのカスタマイズ

レポートをカスタマイズするには、この手順を使用します。

レポートごとに、「レポート編集」ページで、リストの列の追加または削除、列の順序の変更、および各列内でのソートとフィルター操作を実行できます。カスタマイズ内容を別のパーソナライズされたレポートに保存することもできます。これらのレポートは、編集したアプリケーション・ページのレポート・ドロップダウン・リストから選択できます。

個人用レポート・プリファレンスの設定に加えて、管理者は企業のデフォルト・プリファレンスを設定することもできます。これらのプリファレンスは、その企業のユーザー全員に対するデフォルトのレポート設定になります。

#### 関連トピック

31 ページの『列の追加または削除』

列を追加または削除するには、この手順を使用します。

### 『列の順序の変更』

列の順序を変更するには、この手順を使用します。

#### 32 ページの『列のサイズ変更』

列を手動でサイズ変更するには、この手順を使用します。

#### 32 ページの『列のソート』

列をソートするには、この手順を使用します。

#### 32 ページの『列のフィルター』

列をフィルターに掛けるには、この手順を使用します。

#### 33 ページの『レポートの変更内容のクリア』

レポートの変更内容をクリアするには、この手順を使用します。

#### 33 ページの『企業プリファレンスの設定』

レポート用のデフォルトの企業プリファレンスを設定するには、この手順を使用します。企業のデフォルトのレポート・プリファレンスを定義するには、「**企業全体の UI プリファレンスの管理**」権限が必要です。

#### 34 ページの『パーソナライズされたレポートの作成』

パーソナライズされたレポートを作成して保存するには、この手順を使用します。

## 列の追加または削除

列を追加または削除するには、この手順を使用します。

### 手順

1. レポート名の隣に表示される「**編集**」をクリックします。「**レポート編集**」ページが表示されます。
2. それぞれの列名の隣にある「表示」チェック・ボックスを選択または選択解除します。
  - このチェック・ボックスを選択すると、グループ・リストに列が表示されるようになります。
  - 選択解除すると、列が除去されます。
3. 「**保存**」をクリックします。変更内容がページに表示されます。

## 列の順序の変更

列の順序を変更するには、この手順を使用します。

### 手順

1. レポート名の隣に表示される「**編集**」をクリックします。「**レポート編集**」ページが表示されます。
2. 変更するそれぞれの列名の隣にある順序番号をクリックします。順序のテキスト・ボックスが表示されます。
3. 順序のテキスト・ボックスに数値を入力します。例えば、**1** はウィンドウの左側に表示される最初の列を表し、**2** は 2 番目の列を表します。
4. 1 つの列を変更した後で「**戻る**」を押すと、残りの列順序が自動的に調整されます。
5. 「**保存**」をクリックします。変更内容がページに表示されます。

## 列のサイズ変更

列を手動でサイズ変更するには、この手順を使用します。

### このタスクについて

列の右側の境界を前後にドラッグすることによって、レポートの列のサイズを手動で変更できます。また、指定したピクセル数の幅に設定することもできます。

レポート内で、列が目的の幅になるまで、列見出しの右側の境界をドラッグします。その他すべての列の幅は変わりません。変更内容は、レポートのプリファレンスに自動的に保存されます。

レポートの「**レポート編集**」ページの「**幅**」フィールドで、特定の列幅 (ピクセル単位) が自動的に設定されます。幅は、手動で調整することも、列幅の値を増減することによって調整することもできます。

### 手順

1. レポート名を見つけます。
2. 「**編集**」をクリックします。「**レポート編集**」ページが表示されます。
3. サイズ変更する列ごとに「**幅**」フィールドをクリックして、7 から 500 までの数値を入力します。この値は、列幅をピクセル単位で表します。手動でサイズ変更された列がある場合は、その列幅も「**列**」フィールドに表示されます。
4. 「**保存**」をクリックします。変更内容がレポートに表示されます。

## 列のソート

列をソートするには、この手順を使用します。

### 手順

1. レポート名の隣に表示される「**編集**」をクリックします。「**レポート編集**」ページが表示されます。
2. レポートの列名の隣にある「**ソート**」列をクリックします。「**ソート**」ドロップダウン・メニューが表示されます。
3. 「**ソート**」ドロップダウン・メニューから、「**昇順**」、「**降順**」、または「**なし**」を選択します。
4. ソート・タイプを設定する列ごとに、「**ソート**」テキスト・ボックスに数値を入力します。例えば、**1** は最初に使用されるソート、**2** は 2 番目に使用されるソートです。**0** は、ソート順序を使用しないことを示します。
5. 「**保存**」をクリックします。ページに変更内容が表示されます。

## 列のフィルター

列をフィルターに掛けるには、この手順を使用します。

### 手順

1. レポート名の隣に表示される「**編集**」をクリックします。「**レポート編集**」ページが表示されます。
2. レポートの列名の隣にある「**フィルター**」列をクリックします。「**フィルター**」テキスト・ボックスが表示されます。



3. 「フィルター」テキスト・ボックスに、列をフィルターに掛ける基準にする単語、文字、または記号を入力します。例えば、列「名前」の「フィルター」テキスト・ボックスに **A** と入力すると、名前に **A** を含むアイテムのみがグループ・リストに表示されるように、列がフィルターに掛けられます。
4. 「保存」をクリックします。ページに変更内容が表示されます。
5. 「フィルターのクリア」をクリックすると、レポートからすべてのフィルターが削除されます。

## レポートの変更内容のクリア

レポートの変更内容をクリアするには、この手順を使用します。

### 手順

1. レポート名の隣に表示される「編集」をクリックします。「レポート編集」ページが表示されます。
2. 「リセット」をクリックします。企業の元のレポート設定をすべて適用してページが保存され、最新表示されます。企業レベルでプリファレンスが設定されていない場合は、元のシステム設定を適用してレポートがリセットされます。レポートに変更内容が表示されます。

## 企業プリファレンスの設定

レポート用のデフォルトの企業プリファレンスを設定するには、この手順を使用します。企業のデフォルトのレポート・プリファレンスを定義するには、「企業全体の UI プリファレンスの管理」権限が必要です。

### このタスクについて

管理者は、企業内ですべてのユーザーに一度に適用されるデフォルトのレポート・プリファレンスを設定できます。その企業に属するすべてのユーザーに対して、例えば列の選択、列のソート、および列の決められた順序について、定義したとおりにレポートが表示されます。「レポート編集」ページで、これらの企業設定をユーザーの個人用設定によって上書きできます。一方、ユーザーはこれらの個人用設定を企業のデフォルトに後でリセットできます。

企業のデフォルトのレポート・プリファレンスを定義するには、「企業全体の UI プリファレンスの管理」権限が必要です。19 ページの『ユーザー管理の権限』を参照してください。

### 手順

1. レポート名の隣に表示される「編集」をクリックします。「レポート編集」ページが表示されます。
2. 「企業設定」タブをクリックして、企業のレポート・プリファレンスを定義します。その後、「保存」ドロップダウン・リストから次のいずれかのオプションを選択します。
  - 「保存して終了」は、企業設定を保存し、個人設定を適用して再びレポートに戻ります。
  - 「保存して企業設定を表示」は、企業設定を保存し、企業設定を適用してレポートを表示します。これはそのレポートの一時的なビューで、外側をクリックするとレポートは個人設定に戻ります。

このタブで企業設定をリセットすることもできます。このためには、「リセット」ドロップダウン・リストから、次のいずれかのオプションを選択します。

- 「IBM Omni-Channel Merchandising のデフォルト値にリセット」を選択すると、企業設定が元のシステム設定にリセットされます。
  - 「個人設定にリセット」を選択すると、企業設定が個人設定にリセットされます。
3. 「個人設定」タブをクリックして、個人用レポート・プリファレンスを設定します。
  4. 「保存」をクリックして変更内容を保存するか、「リセット」をクリックして、企業設定を適用してレポートをリセットします。企業レベルでプリファレンスが設定されていない場合は、元のシステム設定を適用してレポートがリセットされます。

## パーソナライズされたレポートの作成

パーソナライズされたレポートを作成して保存するには、この手順を使用します。

### 手順

1. レポート名の隣に表示される「編集」をクリックします。「レポート編集」ページが表示されます。
2. レポートの「個人設定」タブで列の形式を設定した後 (フィルターの適用、ソート、列順序の設定など)、「パーソナライズ」フィールドに固有の名前を入力して、「別名保存」をクリックします。アプリケーション・ページのレポート・ドロップダウン・リストの最下部に、レポートがアルファベット順に表示されます。引き続き、新規に作成したレポート、またはオリジナルのレポートのバージョンを複数作成できます。The number of reports that can be created is unlimited.

注: 「レポート編集」ページの列に対して行った編集のみが、カスタム・レポートに永続的に保存されます。レポート内の拡張フィルターに追加されたエントリーは、コピーされません。

---

## データ・メンテナンス・レポート

IBM Omni-Channel Merchandising アプリケーションのデータは、レポート内で表示または更新できます。

すべてのデータ・メンテナンス・レポートはディビジョンまたはチェーンのレベルで使用でき、多くのレポートが各種の集約レベルで使用できます。レポートのデータは OpenLink から取り込まれるか、ユーザーが作成してインポートした Excel スプレッドシートから取り込まれます。

### 関連概念:

Price Management & Optimization のレポート

情報レポートにより、グループの設定を行うことができ、カテゴリ詳細の概要が表示されます。データがインポートされた後 (OpenLink または Excel ファイルから)、Price Management および Price Optimization のルールをサポートするレポート内でデータを構成する必要があります。



### Promotion Planning & Execution のレポート

「データ・メンテナンス」ページには、プロモーションの実施に役立つレポートが含まれています。これらのレポートを使用して、商品詳細、将来原価/価格、イベント・ロックのデフォルトなど、さまざまなデータを管理できます。仕入れ原価変更と競合価格を反映するように、データを改訂または更新することもできます。

### Markdown Optimization のレポート

Markdown Optimization をサポートするには、データ・メンテナンス・レポートにデータを取り込む必要があります。

#### レポートの表示

データ・メンテナンス・レポートを表示するには、「データ」 > 「データ・メンテナンス」を選択します。

#### 商品アナライザー・ユーティリティー

商品アナライザー・ユーティリティーには、選択した商品の詳細が表示されます。例えば、商品グループ情報、同じライン価格グループに属する他のアイテム、その商品の価格と原価、競合データ、およびその商品に関連したその他の属性が表示されます。

#### レポート

このセクションでは、データ・メンテナンス・レポートについて詳しく説明します。

---

## コンテキスト・メニューの使用

コンテキスト・メニューにアクセスするには、この手順を使用します。コンテキスト・メニューを使用して、作業しているワークスペースに関連したコマンドに素早くアクセスできます。

### 手順

1. ウィンドウを右クリックします。選択したウィンドウのコンテキスト・メニューが表示されます。レポート・アイテムを右クリックすると、そのアイテムのコンテキスト・メニュー（「編集」や「削除」などのコマンドを含む）が表示されます。
2. コンテキスト・メニューのコマンドを左クリックします。

---

## ユーザー・プリファレンスの編集

ユーザー・プリファレンスを編集するには、この手順を使用します。

### このタスクについて

ユーザー・プリファレンスの編集には、ページのデフォルトの設定が含まれます。例えば、アイテム・リストに表示される行の数や、デフォルト表示カテゴリーなどを設定します。

ユーザー・プリファレンスは、すべての IBM Omni-Channel Merchandising アプリケーションにわたって共有されます。1 つのアプリケーションでユーザー・プリファレンスを変更すると、別のアプリケーションにログインしたときにも変更が適用されます。

## 手順

1. ツール・アイコンをクリックして、ドロップダウン・メニューから「ユーザー・プリファレンス」を選択します。「ユーザー・プリファレンス」ダイアログ・ボックスが表示されます。
2. それぞれのアイテム・リストに設定する表示行数を入力します (例えば、「商品グループ」ページの商品グループの数など)。行数が増えると、ページの読み込み時間が増えることがあります。
3. ページに表示するデフォルトの「広告ゾーン」を選択します。
4. ページに表示するデフォルトの「ディビジョン」 (チェーンなど) を選択します。
5. ページに表示するデフォルトの「カテゴリー」を選択します。
6. ページおよびレポートの「日付範囲」は、企業のデフォルトを常に使用するよう設定することも、最終セッションの日付を使用するように設定することもできます。
7. ホーム・ページの最上部に表示される IBM Omni-Channel Merchandising アプリケーション・タブを選択できます。「順序」列をクリックして新規値を入力することにより、タブの表示順序を変更することもできます。
8. 元の設定を復元する場合は、「リセット」ボタンをクリックします。



9. 「OK」をクリックします。ダイアログ・ボックスが閉じて、設定したプリファレンスが IBM Omni-Channel Merchandising のすべてのページに適用されます。

---

## 第 3 章 データのインポートとエクスポート

IBM Omni-Channel Merchandising サービスにデータをインポートでき、Excel ファイルにデータをエクスポートして確認または編集できます。すべてのインポートとエクスポートのステータスを追跡することもできます。

### 関連トピック

『データのインポート』

データをインポートするには、この手順を使用します。データは、次の 3 つのうちいずれかの方法で IBM Omni-Channel Merchandising サービスにインポートされます。

40 ページの『データ・ファイル・フォーマット』

85 ページの『インポート・ステータスの確認』

データ・インポートは表示のみが可能です。「すべてのインポートを表示」ユーザー権限により、管理者はすべてのユーザーのインポートを表示できます。インポート・ファイル・ステータスを確認するには、この手順を使用します。

86 ページの『データのエクスポート』

アプリケーションからデータをエクスポートするには、「アプリケーションへのデータのエクスポート (Export data to applications)」ユーザー権限が必要です。データをエクスポートするには、この手順を使用します。

87 ページの『エクスポート・ステータスの確認』

データ・エクスポートが開始された後、エクスポート・ステータスを確認するには、この手順を使用します。データ・エクスポートは表示のみが可能です。「すべてのエクスポートを表示」ユーザー権限により、管理者はすべてのユーザーのエクスポートを表示できます。

88 ページの『エクスポートの削除』

エクスポートを削除するには、この手順を使用します。

---

## データのインポート

データをインポートするには、この手順を使用します。データは、次の 3 つのうちいずれかの方法で IBM Omni-Channel Merchandising サービスにインポートされます。

### 手順

1. IBM Omni-Channel Merchandising OpenLink アプリケーションを経由して受け取る。これは、新規データのインポート方法として最も一般的です。顧客の売上、ロケーション、商品、競合価格、および商品原価の変更にに関するデータ (テキスト .txt ファイル) が、毎週 IBM Omni-Channel Merchandising に FTP 経由で送信されます。このデータは IBM Omni-Channel Merchandising OpenLink で受信され、データの整合性を確保するために自動化検証が使用されます。これらのファイルに対する手動の (ユーザーによる) 介入はごくわずかです。インポートされたファイルは、IBM Omni-Channel Merchandising OpenLink の「インポート・ダッシュボード」レポートを使用してモニターされます。

大規模なデータ・セットは、データ正確度の自動化選別を利用するために、IBM Omni-Channel Merchandising OpenLink を経由して送信する必要があります。IBM Omni-Channel Merchandising OpenLink は、不正確なデータや壊れたデータがアプリケーションに取り込まれないようにするために使用されるツールです。データは標準形式で取り込まれた後、検証されます。検証によりエラーがないかどうか検査され、エラーにはフラグが立てられます。エラーは修正され、検証が再び実行されます。この処理の最終的な出力は、整合した正確なデータになります。

**注:** 新しい仕入れ原価や競合価格が IBM Omni-Channel Merchandising OpenLink 経由で取り込まれ、しきい値を超えた場合、これらは価格設定アプリケーションの「**新規データ承認**」ページに送られて、手動での承認が必要になります。

2. Excel スプレッドシートまたは DB IV 形式 (Microsoft Access など) を使用して、IBM Omni-Channel Merchandising サービスに直接。これは通常、編集のためにデータをインポートした後、または少量の新規データをインポートする場合に行われます。Excel スプレッドシートからデータを直接インポートすると、IBM Omni-Channel Merchandising OpenLink の自動化データ検証が不完全になります。詳細については、『Excel スプレッドシートの使用』を参照してください。

**注:** IBM Omni-Channel Merchandising OpenLink 以外の IBM Omni-Channel Merchandising サービスを使用してデータをインポートする場合は、データ・ファイルが標準形式に準拠しているかどうか調べる検証のみが行われます。結果として、無効または誤ったデータをインポートする可能性があります。IBM Omni-Channel Merchandising サービス経由でインポートを行う前に、必ずデータを十分に確認してください。通常は、アプリケーションからデータをエクスポートし、データを編集して、元のアプリケーションにインポートします。

3. 「**データ・メンテナンス**」レポートの編集可能フィールドを使用して、IBM Omni-Channel Merchandising の「**データ・メンテナンス**」ページに直接。例えば、即時に導入する必要がある新しい仕入れ原価または新しい競合相手のデータを受け取った場合は、「**データ・メンテナンス**」ページ内で「**価格/原価**」レポートまたは「**競合商品**」レポートに直接新しいデータを入力できます。詳細については、34 ページの『**データ・メンテナンス・レポート**』を参照してください。

#### 関連トピック

『Excel スプレッドシートの使用』

Excel スプレッドシートを使用すると、IBM Omni-Channel Merchandising サービスにレコードを直接インポートする作業を素早く簡単に実行できます。

## Excel スプレッドシートの使用

Excel スプレッドシートを使用すると、IBM Omni-Channel Merchandising サービスにレコードを直接インポートする作業を素早く簡単に実行できます。

Excel スプレッドシートのレコードを手動で入力した後、スプレッドシートをインポートします。データは「**データ・メンテナンス**」レポートで表示でき、「**商品グループ**」や「**店舗グループ**」など、その他のレポートでも表示できます。

データの挿入 (データベースに新規データを追加する)、または更新 (データベースに既に存在するデータを変更する) が可能です。

一部のデータ・インポートにアクセスできないことがあります。特定のデータのセットのみをインポートできる場合や、まったくインポートできない場合があります。Excel ファイルからアプリケーションにデータをインポートするには、「**アプリケーションへのデータのインポート (Import data to applications)**」ユーザー権限が必要です。

#### 関連トピック

『スプレッドシート作成の例』

Excel スプレッドシートの例

## スプレッドシート作成の例

Excel スプレッドシートの例

Excel スプレッドシートに、40 ページの『データ・ファイル・フォーマット』の表で説明するように列名とデータを入力します。ほとんどの場合、データ・タイプ (店舗グループなど) ごとに別個のスプレッドシートを作成します。完了した後、37 ページの『データのインポート』で説明するように、スプレッドシートを IBM Omni-Channel Merchandising サービスにインポートしてレポートに取り込みます。

次の例は、「複数割引プライス・ポイント」データ・タイプのスプレッドシートのデータ列を示しています。この例では、価格が .48 から .52 の範囲にある場合、自動的に 2 個 1 円が推奨されます。IBM Omni-Channel Merchandising は、販売単位当たりのプライス・ポイントを自動的に .50 として計算します。

ProductCategory	MinUnitPrice	MaxUnitPrice	Multiple	PricePoint
Coffee 1	0.48	0.52	2	1

#### 関連トピック

40 ページの『データ・ファイル・フォーマット』

37 ページの『データのインポート』

データをインポートするには、この手順を使用します。データは、次の 3 つのうちいずれかの方法で IBM Omni-Channel Merchandising サービスにインポートされます。

## スプレッドシートのその他のヒント

スプレッドシートの作成に関するその他のヒントをいくつか示します。

- スプレッドシート内で使用されるカテゴリ名は、大/小文字を含めて、価格設定アプリケーション内のカテゴリ名と一致している必要があります。インポートの前に、IBM Omni-Channel Merchandising でカテゴリ名を確認してください (「編集」 > 「データ・メンテナンス」を選択し、**IBM Omni-Channel Merchandising 「カテゴリ」** レポートを選択します)。
- データ・ファイルの先頭行にフィールド名を入力します。データの実行は、インポート時は無視されます。
- すべての列がデータ・ファイルに存在している必要があります。列をインポートしない場合は、その列を空のままにしますが、ファイルには含めてください。
- 列にブランクを入力することによって、レコードを削除できます。
- カスタム形式のデータ・セルは、インポートされません。

- フィールド名の多くには、括弧で囲まれた別の名前が続きます (店舗番号 (顧客ロケーション・キー))。括弧のない名前は、IBM Omni-Channel Merchandising サービスに表示されるフィールドの名前です。括弧内の名前は、データベースに格納される実際のフィールド名です。名前の後に括弧が付いていない場合、その名前はデータベースとサービスの両方で使用されます。

## データ・ファイル・フォーマット

データ・タイプごとに、ファイルに含まれている必要がある特定のフィールドのセットがあります。また、列の順序は特定の順序に従っている必要があります。

次の表に、インポートできる各データ・タイプを、必須フィールド、列の順序、固有キー、および実行できるインポートのタイプ (データ更新または新規データ挿入、あるいはその両方) とともにリストします。例えば、一部のデータ・タイプでは、新規データのみを挿入できます。これらのデータ・タイプについては、現在 IBM Omni-Channel Merchandising サービス内にあるレコードは更新されません。そのデータ・タイプを必要とする IBM Omni-Channel Merchandising サービスも示されています。

一部のフィールドでは、Excel にテキスト形式で値を保存するために、値の前に単一引用符 (') が必要です。商品コード「000012345678」のようなコードを入力すると、Excel は先行ゼロを取り除いてデータをクリーンアップします。結果の値は「12345678」になります。IBM Omni-Channel Merchandising システムでは、それぞれの文字が商品コードに必要なので、これにより障害が起こります。値の前に単一引用符 (') を必要とするフィールドは、この表で注記されています。

データ・タイプ	使用可能なアクション	IBM Omni-Channel Merchandising のサービス
47 ページの『広告実行デフォルト - 商品グループ』	既存の商品グループに対するデフォルトの見出しコピー、本文コピー、およびイメージの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>Promotion Planning &amp; Execution</li> </ul>
48 ページの『広告実行デフォルト - プロモーション対象商品グループ』	既存のプロモーション対象商品グループに対するデフォルトの見出しコピー、本文コピー、およびイメージの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>Promotion Planning &amp; Execution</li> </ul>
48 ページの『アンカー・クラス』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>Price Management</li> <li>Price Optimization</li> </ul>
49 ページの『アンカー価格』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>Price Management</li> <li>Price Optimization</li> </ul>
49 ページの『ゾーン別のアンカー価格』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>Price Management</li> <li>Price Optimization</li> </ul>
50 ページの『基本原価 1』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>Price Management</li> <li>Price Optimization</li> </ul>
50 ページの『ゾーン別の基本原価 1』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>Price Management</li> <li>Price Optimization</li> </ul>



データ・タイプ	使用可能なアクション	IBM Omni-Channel Merchandising のサービス
51 ページの『基本原価 2』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
51 ページの『ゾーン別の基本原価 2』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
51 ページの『基本原価 3』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
52 ページの『ゾーン別の基本原価 3』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
52 ページの『基本原価』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> <li>• Markdown Optimization</li> <li>• Promotion Planning &amp; Execution</li> <li>• Customer Trade Planning</li> </ul>
52 ページの『ゾーン別の基本原価』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> <li>• Promotion Planning &amp; Execution</li> <li>• Customer Trade Planning</li> </ul>
53 ページの『基本価格』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> <li>• Markdown Optimization</li> <li>• Promotion Planning &amp; Execution</li> <li>• Customer Trade Planning</li> </ul>
53 ページの『ゾーン別の基本価格』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> <li>• Markdown Optimization</li> <li>• Promotion Planning &amp; Execution</li> <li>• Customer Trade Planning</li> </ul>
基本商品対ボーナス商品のマップ	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
54 ページの『ブランド・クラスおよびファミリー』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
54 ページの『ブランド・ルール上書き』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>



データ・タイプ	使用可能なアクション	IBM Omni-Channel Merchandising のサービス
55 ページの『カテゴリー・グループ』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
55 ページの『カテゴリー/ゾーンの競合相手』	新規レコードの挿入 既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
55 ページの『競合価格』	新規レコードの挿入 既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> <li>• Promotion Planning &amp; Execution</li> <li>• Customer Trade Planning</li> </ul>
56 ページの『ゾーン別の競合価格』	新規レコードの挿入 既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> <li>• Promotion Planning &amp; Execution</li> <li>• Customer Trade Planning</li> </ul>
57 ページの『ゾーン別の競合価格 - ライン』	新規レコードの挿入 既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
58 ページの『原価の構成 - ライン/ゾーン』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
58 ページの『原価の構成 - 在庫管理単位/チェーン』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
58 ページの『原価の構成 - 在庫管理単位/ディビジョン』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
59 ページの『原価ファミリー』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
59 ページの『原価粗利』（消費者商品ユーザーの場合）	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> <li>• Customer Trade Planning</li> </ul>
60 ページの『現行価格』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> <li>• Markdown Optimization</li> </ul>
60 ページの『ゾーン別の現行価格』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> <li>• Markdown Optimization</li> </ul>
60 ページの『カスタム関係』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
61 ページの『店舗別の高速価格上書き - 在庫管理単位』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>

データ・タイプ	使用可能なアクション	IBM Omni-Channel Merchandising のサービス
62 ページの『ゾーン別の高速価格上書き - ライン』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
62 ページの『ゾーン別の高速価格上書き - 在庫管理単位』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
63 ページの『最終桁』	新規レコードの挿入 既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
63 ページの『ライン価格』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> <li>• Promotion Planning &amp; Execution</li> <li>• Customer Trade Planning</li> </ul>
63 ページの『ライン対ライン関係』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
64 ページの『ゾーン別のライン対ライン関係』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
65 ページの『ロケーション・グループ・クラスの割り当て』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Promotion Planning &amp; Execution</li> <li>• Customer Trade Planning</li> </ul>
65 ページの『ロケーション・グループ・クラスと店舗のマッピング』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Promotion Planning &amp; Execution</li> <li>• Customer Trade Planning</li> </ul>
65 ページの『固定価格』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
66 ページの『ディビジョン別の固定価格』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
66 ページの『ゾーン別の固定価格』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
67 ページの『マークダウン・データ』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Markdown Optimization</li> </ul>
67 ページの『複数割引プライス・ポイント』	新規レコードの挿入	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
68 ページの『その他クラスおよびファミリー 1』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
68 ページの『その他クラスおよびファミリー 2』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>

データ・タイプ	使用可能なアクション	IBM Omni-Channel Merchandising のサービス
68 ページの『事前価格設定済みフラグ』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> <li>• Promotion Planning &amp; Execution</li> <li>• Customer Trade Planning</li> </ul>
69 ページの『価格上書き』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
70 ページの『価格上書き - ライン』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
71 ページの『ゾーン別の価格上書き』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
72 ページの『ゾーン別の価格上書き - ライン』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
73 ページの『商品グループ』	新規レコードの挿入	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> <li>• Markdown Optimization</li> <li>• Promotion Planning &amp; Execution</li> <li>• Customer Trade Planning</li> </ul>
73 ページの『商品リンク』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> <li>• Promotion Planning &amp; Execution</li> <li>• Customer Trade Planning</li> </ul>
74 ページの『商品ステータス』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> <li>• Markdown Optimization</li> <li>• Promotion Planning &amp; Execution</li> <li>• Customer Trade Planning</li> </ul>
74 ページの『ゾーン別の商品ステータス』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> <li>• Markdown Optimization</li> <li>• Promotion Planning &amp; Execution</li> <li>• Customer Trade Planning</li> </ul>
74 ページの『商品対商品の関係』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>

データ・タイプ	使用可能なアクション	IBM Omni-Channel Merchandising のサービス
75 ページの『ゾーン別の商品対商品関係』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
76 ページの『プロモーション対象商品グループ - LU』	新規のプロモーション対象商品グループの作成  既存の商品グループに新規の物流単位を追加	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Promotion Planning &amp; Execution</li> </ul>
77 ページの『プロモーション対象商品グループ - SU』	新規のプロモーション対象商品グループの作成  既存のプロモーション対象商品グループに商品を追加	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Promotion Planning &amp; Execution</li> </ul>
77 ページの『サイズ・クラスおよびファミリー』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
78 ページの『在庫管理単位属性』	既存のレコードの更新  ヌル値を含む既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
78 ページの『在庫管理単位/ゾーン属性』	最大 6 つの属性を指定した既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
79 ページの『店舗属性』	既存のレコードの更新  ヌル値を含む既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
80 ページの『店舗グループ』	新規レコードの挿入	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> <li>• Markdown Optimization</li> <li>• Promotion Planning &amp; Execution</li> <li>• Customer Trade Planning</li> </ul>
80 ページの『店舗価格ゾーン』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> <li>• Markdown Optimization</li> </ul>
80 ページの『階層クラスおよびファミリー』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
81 ページの『店舗別の移転価格』	既存の商品コードに対する移転価格の追加または変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
81 ページの『ゾーン別の移転価格』	既存の商品コードに対する移転価格の追加または変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
82 ページの『ゾーン例外』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>

データ・タイプ	使用可能なアクション	IBM Omni-Channel Merchandising のサービス
82 ページの『ゾーン・グループの割り当て』	新規レコードの挿入 既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> <li>• Markdown Optimization</li> </ul>
83 ページの『ゾーン上書き』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> </ul>
83 ページの『ゾーン/ロケーション・マッピング』	既存のレコードの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Price Management</li> <li>• Price Optimization</li> <li>• Markdown Optimization</li> </ul>

## ABC 商品の直接原価

ABC 商品の直接原価のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード
顧客ロケーション・キー	必須、値の前に単一引用符 (') を使用します  店舗番号または ID
配送センター・キー	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  配送センター番号または ID
週平均ケース	配送センターによって処理されるケースの週平均数
バッグ費用	配送センターの地域で商品のショッピング・バッグにかかる合計費用
パッケージ単位チェックアウト費用	チェックアウトを完了するためにかかるパッケージ当たりの費用
パッケージ当たりの DC 請求費用	配送センターでのパッケージ当たりの在庫費用
パッケージ当たりの DC 人件費	配送センターでのパッケージ当たりの人件費 (受領方法に応じた)
週平均ケース合計	配送センターによって処理されるケースの週平均合計数
ロケーション・カウント	配送センターの数
平均 DC 在庫日数	平均の在庫日数
平均ケース容積	平均のケース容積数
DC スペース	在庫日数とケース用席数の計算
DC 容積	配送センターで個々の容積によって占有されるスペースの平均量。

データ列 (最初から最後まで)	説明
店舗当たりの DC スペース費用	商品保管タイプに応じて、店舗にサービスを提供するためのスペース費用を計算します
HQ 在庫処理	商品ケース・パックで除算した請求処理費用
平均配信頻度	ロケーション配信頻度の平均
平均ケース容積	商品ケース容積の平均
ロケーション容積	商品ケース容積、週平均容積、およびロケーション配信頻度の計算

## 広告実行デフォルト - 商品グループ

「広告実行デフォルト - 商品グループ」のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品グループ名	必須: 指定された商品グループが存在しない場合、行はインポートされません。  商品グループの名前
商品グループ・コード	最大 20 文字  商品グループのコード
カテゴリ ID	商品カテゴリの識別番号。
見出しコピー	必須: ブランクのままにすると、IBM Omni-Channel Merchandising は既存のデフォルトを削除します。  商品グループのデフォルト見出しコピー
本文コピー	必須: ブランクのままにすると、IBM Omni-Channel Merchandising は既存のデフォルトを削除します。  商品グループのデフォルト本文コピー
イメージ 1	必須: ブランクのままにすると、IBM Omni-Channel Merchandising は既存のデフォルトを削除します。  商品グループのデフォルト・イメージ
イメージ 2	必須: ブランクのままにすると、IBM Omni-Channel Merchandising は既存のデフォルトを削除します。  商品グループのデフォルト・イメージ
イメージ 3	必須: ブランクのままにすると、IBM Omni-Channel Merchandising は既存のデフォルトを削除します。  商品グループのデフォルト・イメージ

## 広告実行デフォルト - プロモーション対象商品グループ

「広告実行デフォルト - プロモーション対象商品グループ」のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで順序)	説明
商品グループ名	必須: 指定されたプロモーション対象商品グループが存在しない場合、行はインポートされません。  プロモーション対象商品グループの名前
商品グループ・コード	最大 20 文字  商品グループのコード
見出しコピー	必須: ブランクのままにすると、IBM Omni-Channel Merchandising は既存のデフォルトを削除します。  プロモーション対象商品グループのデフォルト見出しコピー
本文コピー	必須: ブランクのままにすると、IBM Omni-Channel Merchandising は既存のデフォルトを削除します。  プロモーション対象商品グループのデフォルト見出しコピー
イメージ 1	必須: ブランクのままにすると、IBM Omni-Channel Merchandising は既存のデフォルトを削除します。  商品グループのデフォルト・イメージ
イメージ 2	必須: ブランクのままにすると、IBM Omni-Channel Merchandising は既存のデフォルトを削除します。  商品グループのデフォルト・イメージ
イメージ 3	必須: ブランクのままにすると、IBM Omni-Channel Merchandising は既存のデフォルトを削除します。  商品グループのデフォルト・イメージ

## アンカー・クラス

インポートされたブランド・ファミリーとブランド・クラスのセットは、「アンカー・クラス」レポートに取り込まれます。同じブランド・ファミリーに属するただ 1 つのブランド・クラスが、アンカー・クラスになることができます。複数のブランド・クラスがインポート・ファイル内でアンカーとして設定されている場合は、最後に定義されたアンカー・クラスが前に定義されたものを上書きします。アンカー・クラスのデータ列と説明を以下に示します。



データ列 (最初から最後まで)	説明
商品カテゴリー	必須 競合相手データが適用される商品カテゴリー
ブランド・ファミリー	値の前に単一引用符 (') を使用します ブランド・ファミリー名
ブランド・クラス	値の前に単一引用符 (') を使用します ブランド・クラス名
アンカー	1 はブランド・クラスがアンカー・クラスであることを示し、0 はブランド・クラスがアンカー・クラスでないことを示します

### アンカー価格

インポートされたアンカー価格のセットが、「アンカー価格」レポートに取り込まれます。そのカテゴリーに含まれる全商品および店舗の既存のアンカー価格は、すべて上書きされます。アンカー価格のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します 20 桁の商品コード
店舗番号 (顧客ロケーション・キー)	必須、値の前に単一引用符 (') を使用します 店舗番号または ID
アンカー価格	アンカー価格は、価格ドリフト・ルールを作成する基準になるカテゴリーの価格のセットです。このルールにより、価格はアンカー価格から特定の範囲内に収まるように制約されます。

### ゾーン別のアンカー価格

インポートされたアンカー価格のセットが、「アンカー価格」レポートに取り込まれます。そのカテゴリーに含まれる全商品および店舗の既存のアンカー価格は、すべて上書きされます。ゾーン別のアンカー価格のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します 20 桁の商品コード
ディビジョン	必須 ディビジョン名
ゾーン	必須 ゾーン名
アンカー価格	アンカー価格は、価格ドリフト・ルールを作成する基準になるカテゴリの価格のセットです。このルールにより、価格はアンカー価格から特定の範囲内に収まるように制約されます。

## 基本原価 1

基本原価 1 のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します 20 桁の商品コード
店舗番号 (顧客ロケーション・キー)	必須、値の前に単一引用符 (') を使用します 店舗番号または ID
基本原価 1	商品の単位原価 (ユーザー定義)

## ゾーン別の基本原価 1

ゾーン別の基本原価 1 のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します 20 桁の商品コード
ディビジョン	必須 ディビジョン名
ゾーン	必須 ゾーン名
基本原価 1	商品の単位原価 (ユーザー定義)

## 基本原価 2

基本原価 2 のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します 20 桁の商品コード
店舗番号 (顧客ロケーション・キー)	必須、値の前に単一引用符 (') を使用します 店舗番号または ID
基本原価 2	商品の単位原価 (ユーザー定義)

## ゾーン別の基本原価 2

ゾーン別の基本原価 2 のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します 20 桁の商品コード
ディビジョン	必須 ディビジョン名
ゾーン	必須 ゾーン名
基本原価 2	商品の単位原価 (ユーザー定義)

## 基本原価 3

基本原価 3 のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します 20 桁の商品コード
店舗番号 (顧客ロケーション・キー)	必須、値の前に単一引用符 (') を使用します 店舗番号または ID
基本原価 3	商品の単位原価 (ユーザー定義)

### ゾーン別の基本原価 3

ゾーン別の基本原価 3 のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します 20 桁の商品コード
ディビジョン	必須 ディビジョン名
ゾーン	必須 ゾーン名
基本原価 2	商品の単位原価 (ユーザー定義)

### 基本原価

基本原価のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します 20 桁の商品コード
店舗番号 (顧客ロケーション・キー)	必須、値の前に単一引用符 (') を使用します 店舗番号または ID
平均単位原価 (単位原価)	商品の単位原価

### ゾーン別の基本原価

ゾーン別の基本原価のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します 20 桁の商品コード
ディビジョン	必須 ディビジョン名
ゾーン	必須 ゾーン名
平均単位原価 (単位原価)	商品の単位原価

## 基本価格

基本価格のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード
店舗番号 (顧客ロケーション・キー)	必須、値の前に単一引用符 (') を使用します  店舗番号または ID
複数割引	必須  複数割引数量: 例えば、商品が 3 個で 1 円の場合は、この列に 3 を入力します。
複数割引価格	必須  複数割引価格: 例えば、商品が 3 個で 1 円の場合は、この列に 1 を入力します。

## ゾーン別の基本価格

ゾーン別の基本価格のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード
ディビジョン	必須  ディビジョン名
ゾーン	必須  ゾーン名
複数割引	必須  複数割引数量: 例えば、商品が 3 個で 1 円の場合は、この列に 3 を入力します。
複数割引価格	必須  複数割引価格: 例えば、商品が 3 個で 1 円の場合は、この列に 1 を入力します。

## ブランド・クラスおよびファミリー

ブランド・クラスおよびファミリーのデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します 20 桁の商品コード
ブランド・クラス (BrandClass)	値の前に単一引用符 (') を使用します ブランド・クラス名
ブランド・ファミリー (BrandFamily)	値の前に単一引用符 (') を使用します ブランド・ファミリー名

## ブランド・ルール上書き

ブランド・ルール上書きのデータ列と説明を以下に示します。

特定の商品ペアのブランド・ルールを上書きするには、このインポートを使用します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
名前	必須、値の前に単一引用符 (') を使用します これら 2 つの商品について上書きするブランド・ルールの名前。
説明	ルールの説明
商品カテゴリー	商品が属する特定の商品カテゴリー。「すべてのカテゴリー」を指定する場合は、ヌルを使用します。
親ブランド・ルール	親ブランド・ルールの名前 (「価格ルール」ページに示されている)
左商品コード	必須 20 桁の商品コード
右商品コード	必須 20 桁の商品コード
ブランド・ルール以下の率 (最小値)	必須 価格範囲の下限額
ブランド・ルール以上の率 (最大値)	必須 価格範囲の上限額

## カテゴリー・グループ

カテゴリー・グループのデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
カテゴリー・グループ	値の前に単一引用符 (') を使用します カテゴリー・グループ名
商品カテゴリー	カテゴリー・グループ内の商品カテゴリー

## カテゴリー/ゾーンの競合相手

カテゴリー/ゾーンの競合相手のデータ列と説明を以下に示します。

インポートの前に、まず「競合相手」ページで競合相手名を入力する必要があります。

データ列 (最初から最後まで)	説明
ディビジョン	必須 ディビジョン名
商品カテゴリー	必須 競合相手データが適用される商品カテゴリー
ゾーン・グループ	ゾーン・グループ名
ゾーン	必須 ゾーン名
第 1 競合相手	必須、固有キー 第 1 競合相手の名前または ID
第 2 競合相手	必須、固有キー 第 2 競合相手の名前または ID
第 3 競合相手	必須、固有キー 第 3 競合相手の名前または ID

## 競合価格

インポートの前に、「競合相手」ページで競合相手名を入力する必要があります。このデータ・セットは、遵守価格にも使用されます。競合価格のデータ列と説明を以下に示します。

Excel ファイル内で価格がブランクになっていて、指定された商品コード/店舗/競合相手のレコードが存在する場合、IBM Omni-Channel Merchandising はインポート時にアプリケーションから競合情報を削除します。警告メッセージにより、レコードが削除されることが通知されます。



データ列 (最初から最後まででの順序)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード
店舗番号 (顧客ロケーション・キー)	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  顧客の店舗番号または ID <ul style="list-style-type: none"> <li>• 複数割引 (推奨複数割引) - 数量。例えば、商品が 3 個で 1 円の場合は、この列に 3 を入力します。</li> <li>• 複数割引価格</li> <li>• (価格タイプ) - SHELF または 0。タイプの前に単一引用符 (') を使用します。</li> <li>• 開始日 - インポートする競合価格の発効開始日</li> </ul>
競合相手 (競合相手キー)	必須、固有キー  競合相手の名前または ID
複数割引 (推奨複数割引)	複数割引数量: 例えば、商品が 3 個で 1 円の場合は、この列に 3 を入力します。
複数割引価格	複数割引価格: 例えば、商品が 3 個で 1 円の場合は、この列に 1 を入力します。
(価格タイプ)	値の前に単一引用符 (') を使用します  SHELF または 0 を入力します
開始日	インポートする競合価格の発効開始日

## ゾーン別の競合価格

インポートの前に、「競合相手」ページで競合相手名を入力する必要があります。ゾーン別の競合価格のデータ列と説明を以下に示します。

Excel ファイル内で価格がブランクになっていて、指定された商品コード/ディビジョン/ゾーン/競合相手のレコードが存在する場合、競合情報はインポート時にアプリケーションから削除されます。警告メッセージにより、レコードが削除されることが通知されます。

データ列 (最初から最後まででの順序)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード
ディビジョン	必須  ディビジョン名

データ列 (最初から最後まででの順序)	説明
ゾーン	必須 ゾーン名
競合相手 (競合相手キー)	必須、固有キー 競合相手の名前または ID
複数割引 (推奨複数割引)	複数割引数量: 例えば、商品が 3 個で 1 円の場合は、この列に 3 を入力します。
複数割引価格	複数割引価格: 例えば、商品が 3 個で 1 円の場合は、この列に 1 を入力します。
開始日	インポートする競合価格の発効開始日

### ゾーン別の競合価格 - ライン

インポートの前に、「競合相手」ページで競合相手名を入力する必要があります。  
「ゾーン別の競合価格 - ライン」のデータ列と説明を以下に示します。

Excel ファイル内で価格が空白になっていて、指定された商品コード/ライン/ディビジョン/ゾーン/競合相手のレコードが存在する場合、競合情報はインポート時にアプリケーションから削除されます。警告メッセージにより、レコードが削除されることが通知されます。

データ列 (最初から最後まででの順序)	説明
商品カテゴリー	必須 競合相手データが適用される商品カテゴリー
ライン (ライン・グループ)	値の前に単一引用符 (') を使用します ライン・グループの名前
ディビジョン	必須 ディビジョン名
ゾーン	必須 ゾーン名
競合相手 (競合相手キー)	必須、固有キー 競合相手の名前または ID
複数割引 (推奨複数割引)	複数割引数量: 例えば、商品が 3 個で 1 円の場合は、この列に 3 を入力します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
複数割引価格	複数割引価格: 例えば、商品が 3 個で 1 円の場合は、この列に 1 を入力します。
開始日	インポートする競合価格の発効開始日

### 原価の構成 - ライン/ゾーン

「原価の構成 - ライン/ゾーン」のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品カテゴリ	必須 原価タイプが適用される商品カテゴリ
ディビジョン	必須 ディビジョン名
ライン (ライン・グループ)	必須、値の前に単一引用符 (') を使用します ライン・グループの名前
ゾーン	必須 ゾーン名
原価ソース	在庫管理単位/チェーン・レベルで商品に使用される原価ソース

### 原価の構成 - 在庫管理単位/チェーン

「原価の構成 - 在庫管理単位/チェーン」のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します 20 桁の商品コード
原価ソース	在庫管理単位/チェーン・レベルで商品に使用される原価ソース

### 原価の構成 - 在庫管理単位/ディビジョン

「原価の構成 - 在庫管理単位/ディビジョン」のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します 20 桁の商品コード
ディビジョン	必須 ディビジョン名

データ列 (最初から最後まで)	説明
原価ソース	在庫管理単位/ディビジョン・レベルで商品に使用される原価ソース

## 原価ファミリー

原価ファミリーのデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20桁の商品コード
原価ファミリー	値の前に単一引用符 (') を使用します  原価ファミリー名

## 原価粗利

この表は、消費者商品ユーザーのみを対象としています。原価粗利のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品カテゴリ	必須  商品カテゴリ名
ディビジョン	必須  ディビジョン名
メーカー	必須  メーカー名、またはワイルドカード文字を示すアスタリスク (*)
ブランド	必須  ブランド名、またはワイルドカード文字を示すアスタリスク (*)
原価粗利	必須  原価粗利パーセンテージ値: 例えば、5.0%
原価粗利を使用	必須  入力した原価粗利を今すぐに使用しない場合は、0 を入力します。原価粗利を使用する場合は、1 を入力します。

## 現行価格

現行価格のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード
店舗番号 (顧客ロケーション・キー)	必須、値の前に単一引用符 (') を使用します  店舗番号または ID
複数割引	複数割引数量: 例えば、商品が 3 個で 1 円の場合は、この列に 3 を入力します。
現行価格	個別商品価格または複数割引価格  複数割引価格を入力する場合は、「複数割引」列に商品数に対する合計価格を入力します。例えば、商品が 3 個で 1 円の場合は、この列に 1 を入力します。

## ゾーン別の現行価格

ゾーン別の現行価格のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード
ディビジョン	必須  ディビジョン名
ゾーン	必須  ゾーン名
複数割引	複数割引数量: 例えば、商品が 3 個で 1 円の場合は、この列に 3 を入力します。
現行価格	個別商品価格または複数割引価格  複数割引価格を入力する場合は、「複数割引」列に商品数に対する合計価格を入力します。例えば、商品が 3 個で 1 円の場合は、この列に 1 を入力します。

## カスタム関係

このインポートにより、企業固有の商品の関係が作成されます。ユーザーはこれらの関係を使用して、価格設定アクションで使用するカスタム関係ルールを作成できます。カスタム関係のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
関係タイプ	必須 関係のタイプを設定するためのユーザー定義フィールド
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します 20 桁の商品コード
カスタム・ファミリー	ユーザー定義カスタム・ファミリー名
カスタム・クラス	ユーザー定義カスタム・クラス名

注: アプリケーションからカスタム・リレーションシップのレコードを削除するには、カスタム・ファミリーおよびカスタム・クラスのフィールドがブランクの状態です。データを再インポートします。

### 店舗別の高速価格上書き - 在庫管理単位

「店舗別の高速価格上書き - 在庫管理単位」のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
(高速価格設定実行 ID)	必須、固有キー 高速価格設定実行 ID: この ID は、実行ごとに「高速価格設定」ページに表示され、最初にエクスポートを行った場合は自動的に表示されます。この列を変更しないでください。
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します 20 桁の商品コード
店舗番号 (顧客ロケーション・キー)	必須、値の前に単一引用符 (') を使用します 店舗番号または ID
複数割引の上書き	上書き価格に関連した複数割引数量: 例えば、商品が 3 個で 1 円の場合は、この列に 3 を入力します。
上書き価格	必須 高速価格として使用される上書き価格
原価の上書き	必須
価格発効日	インポートする上書き価格の発効開始日

## ゾーン別の高速価格上書き - ライン

「ゾーン別の高速価格上書き - ライン」のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
(高速価格設定実行 ID)	必須、固有キー  高速価格設定実行 ID: この ID は、実行ごとに「高速価格設定」ページに表示され、最初にエクスポートを行った場合は自動的に表示されます。この列を変更しないでください。
商品カテゴリ	必須  商品カテゴリ名
ライン (ライン・グループ)	必須、値の前に単一引用符 (') を使用します  ライン・グループ名
ディビジョン	ディビジョン名
ゾーン	必須  ゾーン名
複数割引の上書き	上書き価格に関連した複数割引数量: 例えば、商品が 3 個で 1 円の場合は、この列に 3 を入力します。
上書き価格	必須  高速価格として使用される上書き価格
原価の上書き	原価の上書き
価格発効日	インポートする上書き価格の発効開始日

## ゾーン別の高速価格上書き - 在庫管理単位

「ゾーン別の高速価格上書き - SKU」のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
(高速価格設定実行 ID)	必須、固有キー  高速価格設定実行 ID: この ID は、実行ごとに「高速価格設定」ページに表示され、最初にエクスポートを行った場合は自動的に表示されます。この列を変更しないでください。
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード
ゾーン	必須  ゾーン名
複数割引の上書き	上書き価格に関連した複数割引数量: 例えば、商品が 3 個で 1 円の場合は、この列に 3 を入力します。



データ列 (最初から最後まで)	説明
上書き価格	必須 高速価格として使用される上書き価格
価格発効日	インポートする上書き価格の発効開始日

## 最終桁

最終桁のデータ列と説明を以下に示します。

このインポートを使用して、価格の特定の最終桁を設定します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
名前	必須、値の前に単一引用符 (') を使用します
説明	ルールの説明
商品カテゴリ	商品が属する特定の商品カテゴリ。「すべてのカテゴリ」を指定する場合は、ヌルを使用します。
複数割引	必須 複数割引数量: 例えば、商品が 3 個で 1 円の場合は、この列に 3 を入力します。
最終桁 (最終桁文字列)	値の前に単一引用符 (') を使用します 価格の末尾に付けることが許可される最終桁 (例えば、95、45)

## ライン価格

ライン価格のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します 20 桁の商品コード
ライン (ライン・グループ)	値の前に単一引用符 (') を使用します ライン・グループ名

## ライン対ライン関係

ライン対ライン関係のデータ列と説明を以下に示します。

この機能は、商品またはライン関係ルールに使用される、ライン・グループ対ライン・グループ関係のデータをインポートします。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品カテゴリ	必須 商品またはライン関係ルールが適用される商品カテゴリ
ライン (1)	ライン・グループ名
ライン (2)	ライン・グループ名
関係タイプ	「乗数」または「相対」を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>乗数: 値はライン (1) の最適化価格で乗算されます。</li> <li>相対: 値はライン (2) の最適化価格に加算されます。</li> </ul> インポート・ファイル内の「関係タイプ」フィールドがブランクの場合、関係は IBM Omni-Channel Merchandising に表示されません。関係が既に存在する場合、IBM Omni-Channel Merchandising はその関係を削除します。
関係値	次に示す計算のとおり、ライン (2) の新規価格を決定するために使用される数値 (乗数の場合はゼロより大きい)。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ライン (2) の価格 = ライン (1) の価格 * 乗数値</li> <li>ライン (2) の価格 = ライン (1) の価格 + 相対値</li> </ul>

## ゾーン別のライン対ライン関係

この機能は、商品またはライン関係ルールに使用される、ゾーン別のライン・グループ対ライン・グループ関係のデータをインポートします。ゾーン別のライン対ライン関係のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品カテゴリ	必須 商品またはライン関係ルールが適用される商品カテゴリ
ゾーン	必須 ゾーン名
ライン (1)	ライン・グループ名
ライン (2)	ライン・グループ名

データ列 (最初から最後まで)	説明
関係タイプ	<p>「乗数」または「相対」を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>乗数: 値はライン (1) の最適化価格で乗算されます。</li> <li>相対: 値はライン (2) の最適化価格に加算されます。</li> </ul> <p>インポート・ファイル内の「関係タイプ」フィールドがブランクの場合、関係は IBM Omni-Channel Merchandising に表示されません。関係が既に存在する場合、IBM Omni-Channel Merchandising はその関係を削除します。</p>
関係値	<p>次に示す計算のとおり、ライン (2) の新規価格を決定するために使用される数値 (乗数の場合はゼロより大きい)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ライン (2) の価格 = ライン (1) の価格 * 乗数値</li> <li>ライン (2) の価格 = ライン (1) の価格 + 相対値</li> </ul>

### ロケーション・グループ・クラスの割り当て

ロケーション・グループの更新については、統合サービス担当員にご連絡ください。

### ロケーション・グループ・クラスと店舗のマッピング

ロケーション・グループの更新については、統合サービス担当員にご連絡ください。

### 固定価格

このインポートは、ファイルにリストされているすべての商品コードの価格をロックします。固定価格のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	<p>必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します</p> <p>20桁の商品コード</p>
ゾーン (名前)	<p>値の前に単一引用符 (') を使用します</p> <p>店舗ゾーンの名前 (「データ・メンテナンス」 &gt; 「店舗ゾーン」レポートに含まれる)</p>

データ列 (最初から最後まで)	説明
店舗番号 (顧客ロケーション・キー)	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  店舗番号または ID
ロック済み上書き (Locked Override) (ユーザー・ロック済み (Is UserLocked))	価格をロックします。ロック解除には 0、ロックには 1 を使用します。  IBM Omni-Channel Merchandising ユーザー・インターフェース内で、固定価格の隣にロック・アイコンが表示されます。

注: デイビジョンに分けられたカスタマーの場合、「デイビジョン」というラベルの、5 つ目のデータ列が必要です。

### デイビジョン別の固定価格

このインポートは、ファイルにリストされているすべての商品コードの価格をロックします。デイビジョン別の固定価格のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード
デイビジョン	必須  デイビジョン名
ロック済み上書き (Locked Override) (ユーザー・ロック済み (Is UserLocked))	価格をロックします。ロック解除には 0、ロックには 1 を使用します。  IBM Omni-Channel Merchandising ユーザー・インターフェース内で、固定価格の隣にロック・アイコンが表示されます。

### ゾーン別の固定価格

このインポートは、ファイルにリストされているすべての商品コードの価格をロックします。ゾーン別の固定価格のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード

データ列 (最初から最後まで)	説明
ディビジョン	必須 ディビジョン名
ゾーン	必須 ゾーン名
ロック済み上書き (Locked Override) (ユーザー・ロック済み (Is UserLocked))	価格をロックします。ロック解除には 0、ロックには 1 を使用します。  IBM Omni-Channel Merchandising ユーザー・インターフェース内で、固定価格の隣にロック・アイコンが表示されます。

## マークダウン・データ

マークダウン・データのデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード
店舗番号 (顧客ロケーション・キー)	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  顧客の店舗番号または ID
顧客満了日	商品を店舗の棚で販売できる最終の日付。
マークダウン開始日	商品ロケーションのマークダウンが開始される日付 (MM/DD/YYYY 形式)
顧客マークダウン・コード	最大 10 文字  商品ステータスの指標。例えば、C はマークダウンの候補、M は 1 つ以上のマークダウンが発生したことを示します。
在庫	在庫日付現在、ロケーションで販売可能な単位。
在庫日付	在庫量が適用される日付 (MM/DD/YYYY 形式)

## 複数割引プライス・ポイント

複数割引プライス・ポイントのデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品カテゴリー	IBM Omni-Channel Merchandising が複数のプライス・ポイントを挿入する特定の商品カテゴリー

データ列 (最初から最後まで)	説明
最小単位価格	複数のプライス・ポイントに割り当てられた、最も低い新価格
最大単位価格	複数のプライス・ポイントに割り当てられた、最も高い新価格
複数割引	複数割引数量: 例えば、商品が 3 個で 1 円の場合は、この列に 3 を入力します。
プライス・ポイント	価格の値: 例えば、商品が 3 個で 1 円の場合は、この列に ¥1 を入力します。

## その他クラスおよびファミリー 1

その他クラスおよびファミリー 1 のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード
その他 1 クラス	値の前に単一引用符 (') を使用します  クラス名
その他 1 ファミリー	値の前に単一引用符 (') を使用します  ファミリー

## その他クラスおよびファミリー 2

その他クラスおよびファミリー 2 のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード
その他 2 クラス	値の前に単一引用符 (') を使用します  クラス名
その他 2 ファミリー	値の前に単一引用符 (') を使用します  ファミリー

## 事前価格設定済みフラグ

事前価格設定済みフラグのデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード

データ列 (最初から最後まで)	説明
事前設定価格 (事前価格設定済み)	必須  0 は商品が事前価格設定済みでないことを示し、1 は商品が事前価格設定済みであることを示します

## 価格上書き

この機能は、シナリオの最適化された価格を上書きするファイルをインポートします。通常は、「価格上書き」レポートをエクスポートします。価格上書きのデータ列と説明を以下に示します。

86 ページの『データのエクスポート』を参照し、価格を変更して、ファイルを再び IBM Omni-Channel Merchandising にインポートします。

データ列 (最初から最後まで)	説明
(シナリオ実行 ID)	必須、固有キー  シナリオ ID: この ID は、「シナリオ詳細」ページの URL に含まれ、最初にエクスポートを行った場合は自動的に表示されます。この列を変更しないでください。
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード
店舗番号 (顧客ロケーション・キー)	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  店舗番号または ID
複数割引 (上書き最適化複数割引 (OverOptMultiple))	上書き価格に関連付けられた複数割引。この列を変更しないでください。
手動上書き (Manual Override) (上書き最適化複数割引 (OverOptMultiplePrice))	必須  最適化価格を置き換える上書き価格
価格発効日	インポートする上書き価格の発効開始日
移転価格上書き複数割引 (Transfer Price Override Multiple)	移転価格の上書きに関連した複数割引 - フランチャイズの価格設定のユーザーのみに表示されます。
移転価格の上書き (Transfer Price Override)	商品コードに対して指定された移転価格の上書き - フランチャイズの価格設定のユーザーのみに表示されます。

## 関連トピック

86 ページの『データのエクスポート』  
アプリケーションからデータをエクスポートするには、「アプリケーションへのデータのエクスポート (Export data to applications)」ユーザー権限が必要です。データをエクスポートするには、この手順を使用します。

## 価格上書き - ライン

この機能は、シナリオの最適化された価格を上書きするファイルをインポートします。通常は、「価格上書き」レポートをエクスポートします。「価格上書き - ライン」のデータ列と説明を以下に示します。

86 ページの『データのエクスポート』を参照し、価格を変更して、ファイルを再び IBM Omni-Channel Merchandising にインポートします。

データ列 (最初から最後まで)	説明
(シナリオ実行 ID)	必須、固有キー  シナリオ ID: この ID は、「シナリオ詳細」ページの URL に含まれ、最初にエクスポートを行った場合は自動的に表示されます。この列を変更しないでください。
ライン (ライン・グループ)	値の前に単一引用符 (') を使用します  ライン・グループ名
店舗番号 (顧客ロケーション・キー)	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  店舗番号または ID
複数割引 (上書き最適化複数割引 (OverOptMultiple))	上書き価格に関連付けられた複数割引。この列を変更しないでください。
手動上書き (Manual Override) (上書き最適化複数割引 (OverOptMultiplePrice))	必須  最適化価格を置き換える上書き価格
価格発効日	インポートする上書き価格の発効開始日
移転価格上書き複数割引 (Transfer Price Override Multiple)	移転価格の上書きに関連した複数割引 - フランチャイズの価格設定のユーザーのみに表示されます。
移転価格の上書き (Transfer Price Override)	ライン・グループに対して指定された移転価格の上書き - フランチャイズの価格設定のユーザーのみに表示されます。

### 関連トピック

86 ページの『データのエクスポート』  
アプリケーションからデータをエクスポートするには、「アプリケーションへのデータのエクスポート (Export data to applications)」ユーザー権限が必要です。データをエクスポートするには、この手順を使用します。



## ゾーン別の価格上書き

この機能は、シナリオの最適化された価格を上書きするファイルをインポートします。通常は、「価格上書き」レポートをエクスポートします。ゾーン別の価格上書きのデータ列と説明を以下に示します。

86 ページの『データのエクスポート』を参照し、価格を変更して、ファイルを再び IBM Omni-Channel Merchandising にインポートします。

データ列 (最初から最後まで)	説明
(シナリオ実行 ID)	必須、固有キー  シナリオ ID: この ID は、「シナリオ詳細」ページの URL に含まれ、最初にエクスポートを行った場合は自動的に表示されます。この列を変更しないでください。
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード
ゾーン	必須  ゾーン名
複数割引 (上書き最適化複数割引 (OverOptMultiple))	上書き価格に関連付けられた複数割引。この列を変更しないでください。
手動上書き (Manual Override) (上書き最適化複数割引 (OverOptMultiplePrice))	必須  最適化価格を置き換える上書き価格
価格発効日	インポートする上書き価格の発効開始日
移転価格上書き複数割引 (Transfer Price Override Multiple)	移転価格の上書きに関連した複数割引 - フランチャイズの価格設定のユーザーのみに表示されます。
移転価格の上書き (Transfer Price Override)	商品コード/ゾーンに対して指定された移転価格の上書き - フランチャイズの価格設定のユーザーのみに表示されます。

### 関連トピック

86 ページの『データのエクスポート』  
アプリケーションからデータをエクスポートするには、「**アプリケーションへのデータのエクスポート (Export data to applications)**」ユーザー権限が必要です。データをエクスポートするには、この手順を使用します。

## ゾーン別の価格上書き - ライン

この機能は、シナリオの最適化された価格を上書きするファイルをインポートします。通常は、「価格上書き」レポートをエクスポートします。「ゾーン別の価格上書き - ライン」のデータ列と説明を以下に示します。

86 ページの『データのエクスポート』を参照し、価格を変更して、ファイルを再び IBM Omni-Channel Merchandising にインポートします。

注: IBM Omni-Channel Merchandising は、OpenLink を使用した、ライン/ゾーン集約レベルでの上書き価格の自動読み込みを構成することもできます。詳しくは、IBM Omni-Channel Merchandising 担当員にお問い合わせください。

データ列 (最初から最後まで)	説明
(シナリオ実行 ID)	必須、固有キー  シナリオ ID: この ID は、「シナリオ詳細」ページの URL に含まれ、最初にエクスポートを行った場合は自動的に表示されます。この列を変更しないでください。
ライン (ライン・グループ)	値の前に単一引用符 (') を使用します  ライン・グループ名
ゾーン	必須  ゾーン名
複数割引 (上書き最適化複数割引 (OverOptMultiple))	上書き価格に関連付けられた複数割引。この列を変更しないでください。
手動上書き (Manual Override) (上書き最適化複数割引 (OverOptMultiplePrice))	必須  最適化価格を置き換える上書き価格
価格発効日	インポートする上書き価格の発効開始日
移転価格上書き複数割引 (Transfer Price Override Multiple)	移転価格の上書きに関連した複数割引 - フランチャイズの価格設定のユーザーのみに表示されます。
移転価格の上書き (Transfer Price Override)	ライン/ゾーンに対して指定された移転価格の上書き - フランチャイズの価格設定のユーザーのみに表示されます。

### 関連トピック

86 ページの『データのエクスポート』

アプリケーションからデータをエクスポートするには、「**アプリケーションへのデータのエクスポート (Export data to applications)**」ユーザー権限が必要です。データをエクスポートするには、この手順を使用します。

## 商品グループ

商品グループのデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します 20 桁の商品コード
名前	必須、最大 50 文字 商品グループ名

## 商品リンク

商品リンクのデータ列と説明を以下に示します。

次のエラーが発生した場合、IBM Omni-Channel Merchandising はインポート時に商品リンクを作成しません。エラーが「インポート・ステータス」ダイアログ・ボックスに表示されます。85 ページの『インポート・ステータスの確認』を参照してください。

- 新商品の商品コード、および成熟商品の商品コードが無効である
- 成熟商品にモデル化係数が指定されていない

データ列 (最初から最後まで)	説明
新商品の商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します 新商品の 20 桁の商品コード
成熟商品の商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します 成熟商品の 20 桁の商品コード
リンク・タイプ	<ul style="list-style-type: none"><li>• LINEEXT: ライン拡張: 新商品は、成熟商品を含む既存のライン・グループの拡張として導入されます。</li><li>• DIRECTREP: 直接置換: 新商品は、品揃えに含まれる成熟商品を置き換えます。</li><li>• NULL: 新商品は、既存のライン・グループを拡張せず、成熟商品を置き換えることもありません。</li></ul>
予測される週の数量	成熟商品が取扱停止になった場合の、新商品の予測される週の数量。
数量割合増分	成熟商品が取扱停止になった場合の、予測される数量割合増分。

### 関連トピック

85 ページの『インポート・ステータスの確認』

データ・インポートは表示のみが可能です。「すべてのインポートを表示」ユー

ザー権限により、管理者はすべてのユーザーのインポートを表示できます。インポート・ファイル・ステータスを確認するには、この手順を使用します。

## 商品ステータス

商品ステータスのデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まででの順序)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード
店舗番号 (顧客ロケーション・キー)	必須、値の前に単一引用符 (') を使用します  店舗番号または ID
商品ステータス (pIncPrd)	商品のステータス: <b>1</b> は商品がアクティブであることを示し、 <b>0</b> は商品が取扱停止になったことを示します。

## ゾーン別の商品ステータス

ゾーン別の商品ステータスのデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まででの順序)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード
ディビジョン	必須  ディビジョン名
ゾーン	必須  ゾーン名
商品ステータス (pIncPrd)	商品のステータス: <b>1</b> は商品がアクティブであることを示し、 <b>0</b> は商品が取扱停止になったことを示します。

## 商品対商品の関係

この機能は、商品またはライン関係ルールに使用される、商品対商品の関係のデータをインポートします。商品対商品の関係のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まででの順序)	説明
商品コード (1)	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード

データ列 (最初から最後まで順序)	説明
商品コード (2)	<p>必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します</p> <p>20 桁の商品コード</p>
関係タイプ	<p>「乗数」または「相対」を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>乗数: 値は商品コード (1) の最適化価格で乗算されます。</li> <li>相対: 値は商品コード (1) の最適化価格に加算されます。</li> </ul> <p>インポート・ファイル内の「関係タイプ」フィールドがブランクの場合、関係は IBM Omni-Channel Merchandising に表示されません。関係が既に存在する場合、IBM Omni-Channel Merchandising はその関係を削除します。</p>
関係値	<p>次に示す計算のとおり、商品コード (2) の新規価格を決定するために使用される数値 (乗数の場合はゼロより大きい)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商品コード (2) の価格 = 商品コード (1) の価格 * 乗数値</li> <li>商品コード (2) の価格 = 商品コード (1) の価格 + 相対値</li> </ul>

## ゾーン別の商品対商品関係

この機能は、商品またはライン関係ルールに使用される、商品対商品の関係のデータをインポートします。ゾーン別の商品対商品関係のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで順序)	説明
ディビジョン	<p>必須</p> <p>ディビジョン名</p>
ゾーン	<p>必須</p> <p>ゾーン名</p>
商品コード (1)	<p>必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します</p> <p>20 桁の商品コード</p>
商品コード (2)	<p>必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します</p> <p>20 桁の商品コード</p>

データ列 (最初から最後まで)	説明
関係タイプ	<p>「乗数」または「相対」を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>乗数: 値は商品コード (1) の最適化価格で乗算されます。</li> <li>相対: 値は商品コード (1) の最適化価格に加算されます。</li> </ul> <p>インポート・ファイル内の「関係タイプ」フィールドがブランクの場合、関係は IBM Omni-Channel Merchandising に表示されません。関係が既に存在する場合、IBM Omni-Channel Merchandising はその関係を削除します。</p>
関係値	<p>次に示す計算のとおり、商品コード (2) の新規価格を決定するために使用される数値 (乗数の場合はゼロより大きい)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商品コード (2) の価格 = 商品コード (1) の価格 * 乗数値</li> <li>商品コード (2) の価格 = 商品コード (1) の価格 + 相対値</li> </ul>

## プロモーション対象商品グループ - LU

「プロモーション対象商品グループ - LU」のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品グループ名	<p>必須、最大 50 文字</p> <p>プロモーション対象商品グループ名: 指定された名前が存在しない場合は、IBM Omni-Channel Merchandising が新規のプロモーション対象商品グループを作成します。</p>
商品グループ・コード	<p>最大 20 文字</p> <p>プロモーション対象商品グループの固有コード</p>
物流アイテム識別子	<p>最大 30 文字</p> <p>物流単位コード: 選択した物流単位 (またはその物流単位にリンクした商品コード) が既に別のプロモーション対象商品グループに属している場合、IBM Omni-Channel Merchandising はその行を無視します。</p>

## プロモーション対象商品グループ - SU

「プロモーション対象商品グループ - SU」のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
名前	必須、最大 50 文字  プロモーション対象商品グループ名: 指定された名前が存在しない場合は、IBM Omni-Channel Merchandising が新規のプロモーション対象商品グループを作成します。
コード	最大 20 文字  プロモーション対象商品グループの固有コード
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード: 選択した商品コードが既に別のプロモーション対象商品グループに属している場合、IBM Omni-Channel Merchandising はその行を無視します。

## サイズ・クラスおよびファミリー

サイズ・クラスおよびファミリーのデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード
サイズ・クラス	値の前に単一引用符 (') を使用します  サイズ・クラス名: 許容されるサイズ・クラスの形式は、カテゴリに対して定義されているサイズ・クラスです。クラスがまだ定義されていない場合は、デフォルト (XXX-LARGE、XX-LARGE、X-LARGE、LARGE、MEDIUM、SMALL、X-SMALL、XX-SMALL、XXX-SMALL) を使用します。これは、後から IBM Omni-Channel Merchandising で更新できます。
サイズ・ファミリー	値の前に単一引用符 (') を使用します  サイズ・ファミリー名

## 在庫管理単位属性

在庫管理単位属性のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード
属性 0	在庫管理単位属性: ブランクのままにした場合は、インポートの後、「データ・メンテナンス」 > 「在庫管理単位/ゾーン属性」レポートで商品に属性を割り当てることができます。  レポートには、10 個の属性フィールドが含まれます (属性 <0 から 9>)。企業によっては、これらのフィールドを使用しない場合や、一部のみを使用する場合があります。

## 在庫管理単位/ゾーン属性

在庫管理単位/ゾーン属性のデータ列と説明を以下に示します。

最大 6 つの属性を定義できます。

**注:** システムのデフォルト CPI 属性 (「極めて重要」、「重要」、「ある程度重要」、「重要ではない」、「未定義 1」、「未定義 2」) を置き換えるユーザー独自の属性をインポートする前に、IBM Omni-Channel Merchandising サポートに連絡する必要があります。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード
ディビジョン	必須  ディビジョン名
ゾーン・グループ	必須  ゾーン・グループ名
ゾーン	必須  ゾーン名



データ列 (最初から最後まで)	説明
競合価格指数属性	次のいずれかを入力するか、ブランクのままにします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 極めて重要</li> <li>• 重要</li> <li>• ある程度重要</li> <li>• 重要ではない</li> <li>• 未定義 1</li> <li>• 未定義 2</li> </ul>
属性 0	在庫管理単位/ゾーン属性: ブランクのままにした場合は、インポートの後、「データ・メンテナンス」 > 「在庫管理単位/ゾーン属性」レポートで商品に属性を割り当てることができます。  レポートには、5 個の属性フィールドが含まれます (属性 <0 から 4>)。企業によっては、これらのフィールドを使用しない場合や、一部のみを使用する場合があります。

## 店舗属性

店舗属性のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
店舗番号 (顧客ロケーション・キー)	必須、値の前に単一引用符 (') を使用します  店舗番号または ID
レベル 1 説明	このレポートには、「レベル <1 から 12> 説明」の列が含まれます。それぞれの列には、異なる店舗属性の説明が格納されます。これらの属性は、レポート作成のためにのみ使用されます。企業によっては、これらのフィールドを使用しない場合や、一部のみを使用する場合があります。
レベル 1 コード	このレポートには、「レベル <1 から 12> コード」の列が含まれます。それぞれの列には、異なる店舗属性のコードが格納されます。このコードは、説明フィールドに関連しています。これらの属性は、レポート作成のためにのみ使用されます。企業によっては、これらのフィールドを使用しない場合や、一部のみを使用する場合があります。
属性 1	企業の定義による店舗属性: この値はオプションで、レポート作成のためにのみ使用されます。  インポートは、4 個の属性フィールドが含まれます (属性 <1 から 4>)。

## 店舗グループ

店舗グループのデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まででの順序)	説明
店舗番号 (顧客ロケーション・キー)	必須、値の前に単一引用符 (') を使用します 店舗番号または ID
名前	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します 店舗グループ名
ディビジョン	ディビジョン名

## 店舗価格ゾーン

店舗価格ゾーンのデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まででの順序)	説明
ディビジョン	ディビジョン名
店舗番号 (顧客ロケーション・キー)	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します 店舗番号または ID
名前	必須、値の前に単一引用符 (') を使用します 店舗グループ名

## 階層クラスおよびファミリー

階層クラスおよびファミリーのデータ列と説明を以下に示します。

階層クラスおよびファミリーをインポートするには、「階層化価格設定の管理」権限が必要です。価格の権限を参照してください。

データ列 (最初から最後まででの順序)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します 20 桁の商品コード
階層クラス (TierClass)	値の前に単一引用符 (') を使用します 階層クラス名
階層ファミリー (TierFamily)	値の前に単一引用符 (') を使用します 階層ファミリー名

## 時系列商品ステータス

時系列商品ステータスのデータ列と説明を以下に示します。

時系列商品ステータスを使用して、IBM Omni-Channel Merchandising に読み込まれた商品ごとに発効日を指定できます。発効日の適用について詳しくは、IBM Omni-Channel Merchandising 担当員にお問い合わせください。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード
ロケーション・キー	固有のロケーション、ロケーション・グループ、またはロケーション・グループ・クラス・キー
ステータス・コード (StatusCode)	商品ステータスのステータス・コード (「データ」 > 「商品ステータス・マッピング」レポートで定義されている)
発効日	指定されたステータス・コードが商品コードに対して有効になる日付 (mm/dd/yyyy 形式)

### 店舗別の移転価格

移転価格をインポートするには、「フランチャイズの価格設定」権限が必要です。店舗別の移転価格のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード
店舗番号	値の前に単一引用符 (') を使用します  店舗番号または ID
移転複数割引	必須  複数割引数量: 例えば、商品が 3 個で 1 円の場合は、この列に 3 を入力します。
移転価格	必須  フランチャイズに販売するアイテムの価格。複数割引価格を使用する場合は、「移転複数割引」フィールドに単位数の価格を入力します。

### ゾーン別の移転価格

移転価格をインポートするには、「フランチャイズの価格設定」権限が必要です。ゾーン別の移転価格のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 ( ) を使用します 20 桁の商品コード
ディビジョン	必須 ディビジョン名
ゾーン	必須 ゾーン名
移転複数割引	必須 複数割引数量: 例えば、商品が 3 個で 1 円の場合は、この列に 3 を入力します。
移転価格	必須 フランチャイズに販売するアイテムの価格。複数割引価格を使用する場合は、「移転複数割引」フィールドに単位数の価格を入力します。

## ゾーン例外

ゾーン例外のデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 ( ) を使用します 20 桁の商品コード
ディビジョン	ディビジョン名
ゾーン (名前)	店舗ゾーン
店舗番号 (顧客ロケーション・キー)	値の前に単一引用符 ( ) を使用します 店舗番号または ID
ゾーン上書き (ゾーン例外)	商品にゾーン上書きを指定しない場合は、0 を入力します。商品にゾーン上書きを指定する場合は、1 を入力します。

## ゾーン・グループの割り当て

ゾーン・グループの割り当てのデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
商品カテゴリー	ゾーン・グループが適用される商品カテゴリー

データ列 (最初から最後まで)	説明
ディビジョン	ディビジョン名
ゾーン・グループ	ゾーン・グループ名

## ゾーン上書き

この機能は、シナリオの最適化された価格を上書きするファイルをインポートします。通常は、「価格承認」レポートをエクスポートします。ゾーン上書きのデータ列と説明を以下に示します。

86 ページの『データのエクスポート』を参照し、価格を変更して、ファイルを再び IBM Omni-Channel Merchandising にインポートします。

データ列 (最初から最後まで)	説明
(シナリオ実行 ID)	必須、固有キー  シナリオ ID: この ID は、「シナリオ詳細」ページの URL に含まれ、最初にエクスポートを行った場合は自動的に表示されます。この列を変更しないでください。
商品コード	必須、固有キー、値の前に単一引用符 (') を使用します  20 桁の商品コード
ゾーン	必須  ゾーン名
複数割引 (上書き最適化複数割引 (OverOptMultiple))	上書き価格に関連付けられた複数割引。この列を変更しないでください。
手動上書き (Manual Override) (上書き最適化複数割引 (OverOptMultiplePrice))	必須  最適化価格を置き換える上書き価格
価格発効日	インポートする上書き価格の発効開始日

### 関連トピック

86 ページの『データのエクスポート』

アプリケーションからデータをエクスポートするには、「**アプリケーションへのデータのエクスポート (Export data to applications)**」ユーザー権限が必要です。データをエクスポートするには、この手順を使用します。

## ゾーン/ロケーション・マッピング

このインポートは、ロケーションをゾーンにマップします。ゾーンが存在しない場合は、インポート後に新規ゾーンが作成されます。また、ゾーンがインポート・ファイル内で空/NULL に設定されている場合は、現行マッピングが削除されます。つまり、ゾーンへの店舗の割り当てが解除されます。ゾーン/ロケーション・マッピングのデータ列と説明を以下に示します。

データ列 (最初から最後まで)	説明
ディビジョン	必須 ディビジョン名
ゾーン・グループ	必須 ゾーン・グループ名
ゾーン (名前)	店舗ゾーン
店舗番号 (顧客ロケーション・キー)	必須、値の前に単一引用符 (') を使用します 店舗番号または ID

## データ・ファイルのインポート

データ・ファイルをインポートするには、この手順を使用します。ローカル・ファイルからアプリケーションにデータをインポートするには、「**アプリケーションへのデータのインポート (Import data to applications)**」ユーザー権限が必要です。

### このタスクについて

「インポート」ダイアログ・ボックスを使用して、IBM Omni-Channel Merchandising サービスにデータをインポートできます。

### 手順

1. 「データ」 > 「インポート」を選択して、「インポート」ダイアログ・ボックスを開きます。
2. 「データ・タイプ」ドロップダウン・メニューからインポートするデータのタイプを選択します。
3. 「説明」テキスト・ボックスに、ファイルの説明を入力します。これは、インポートするデータのタイプを識別するために役立ちます。例えば、インポートするカテゴリや、行った編集のタイプが分かる説明を使用してください。この説明は、「インポート・ステータス」ダイアログ・ボックスでファイルを見つけるために最適な方法です。
4. 「ファイルのアップロード」セクションにファイル名を入力します。ファイル名に含まれる文字が 8 文字以下であることを確認してください。8 文字を超えると、インポートは失敗します。
5. 「インポート」をクリックします。
6. データのインポート処理が完了すると、「インポート・ステータス」ダイアログ・ボックスが開き、インポート内容のリストが表示されます。

### 関連トピック

85 ページの『インポート・ステータスの確認』

データ・インポートは表示のみが可能です。「**すべてのインポートを表示**」ユーザー権限により、管理者はすべてのユーザーのインポートを表示できます。インポート・ファイル・ステータスを確認するには、この手順を使用します。

## インポート・ステータスの確認

データ・インポートは表示のみが可能です。「すべてのインポートを表示」ユーザー権限により、管理者はすべてのユーザーのインポートを表示できます。インポート・ファイル・ステータスを確認するには、この手順を使用します。

### このタスクについて

データ・ファイルが IBM Omni-Channel Merchandising サービスにインポートされるとき、有効な列の数、正しいデータのタイプ (該当するレコード内でテキストまたは数値のどちらか)、必須フィールド、およびレコードの挿入または更新が許可されているかどうか、インポート・プロセスによって検査されます。

「インポート・ステータス」ダイアログ・ボックスでステータスを確認できます。データ・ファイルは、インポート対象のキュー内にあるか、インポート処理中、完了済み、またはエラーありの状態になります。ファイルにエラーがある場合は、元のファイル内でエラーを修正し、再インポートする必要があります。

### 手順

1. 「データ」 > 「インポート・ステータス」を選択します。「インポート・ステータス」ダイアログ・ボックスが開きます。

それぞれのインポートが、数値 ID、ファイル名 (通常はユーザー名)、ステータス、およびファイルのインポート時に入力した説明とともにリストされます。

ステータスは次のいずれかです。

- **処理中** - ファイルはキュー内にあり、インポートの開始を待機しています。
  - **インポート中** - ファイルはインポート中です。
  - **終了** - ファイルは正常にインポートされ、該当するページで表示できます (例えば、商品グループ・データは「商品グループ」ページに表示されます)。
  - **エラー** - ファイルは正常にインポートされませんでした。インポート・ログを表示してエラーを確認してください。インポート・ログを表示するには、ファイル名 (下線の付いたリンク) をクリックします。「ログのインポート」ダイアログ・ボックスが開きます。すべてのエラーがこのダイアログ・ボックスに 1 行ずつリストされます。エラーがある場合は、元のファイルの該当する行に進んで、エラーを修正し、新規インポートを開始できます。
2. インポートが完了した後、表示内容を整理するために、「インポート・ステータス」ダイアログ・ボックスからインポートを削除できます。インポートを削除するには、インポートを右クリックして「削除」を選択します。削除を実行するかどうか確認するダイアログ・ボックスが表示されます。「はい」をクリックします。ページが最新表示され、インポートが削除されます。

## アラート・サブスクリプションの設定

「Excel からのマーケットまたは新商品のインポート」を行う場合、アラートを受け取るようにサブスクライブするには、この手順を使用します。

## このタスクについて

「Excel からのマーケットまたは新商品のインポート」を行う場合、インポートが「開始」、「失敗」、およびまたは「完了」した時点でアラートを受け取るように申し込むことができます。

### 手順

1. 任意のページで上部ナビゲーション・バーにあるツールボックス・アイコンをクリックします。「アラート・サブスクリプション」ポップアップ・ウィンドウが開きます。
2. 「品揃え」タブをクリックします。
3. チェック・ボックスを使用して、受け取りたいインポート・アラートのタイプを選択します。
  - 「E メール」列の下のボックスにチェック・マークを付けた場合、アプリケーションに登録された E メール・アドレスにアラートが送信されます。
  - 「受信箱」の下のボックスにチェック・マークを付けた場合、「アラート受信箱」にアラートが送信されます。
  - 品揃えインポート失敗通知のボックスにチェック・マークを付けた場合、インポート・エラー・ログ・ファイルへのリンクが示された E メールを受信します。
4. 受け取りたいインポート・アラートのタイプの選択が済んだら、「完了」をクリックします。

---

## データのエクスポート

アプリケーションからデータをエクスポートするには、「アプリケーションへのデータのエクスポート (Export data to applications)」ユーザー権限が必要です。データをエクスポートするには、この手順を使用します。

### このタスクについて

IBM Omni-Channel Merchandising サービスからデータをエクスポートして、Excel で編集または確認できます。データ・ファイル (商品グループなど)、およびレポート (データ・メンテナンス・レポートなど) をエクスポートできます。

### 手順

1. 「データ」 > 「エクスポート」を選択します。「エクスポート」ダイアログ・ボックスが開きます。
2. 「レポート」ドロップダウン・メニューから、エクスポートするデータのタイプを選択します。
3. 「説明」テキスト・ボックスに、ファイルの説明を最大 8 文字で入力します。これは、エクスポートするデータのタイプを識別するために役立ち、「エクスポート・ステータス」ページでファイルを見つけるために最適な方法です。
4. エクスポートするファイル・タイプとして、Excel 97-2003 (.xls)、Excel 2007 (.xlsx)、または CSV を選択します。大量のデータ (130,000 レコードを超える) をエクスポートする場合には、ご使用のコンピューターのメモリー構成によってパフォーマンスに差が生じる可能性があるため、CSV 形式を使用することをお



勧めします。「**レコード数の取得**」ボタンをクリックして、エクスポートの前にレポート内にあるレコードの総数を表示できます。次に、CSV ファイルにエクスポートする場合のレポート・フィールドの形式について説明します。

- 二重引用符は、区切り文字に使用する必要がある場合を除き、フィールドに追加されません (例えば、数値フィールドのいずれかに小数点としてコンマが指定される場合)。
  - すべての数値/10 進数タイプで、小数点以下の桁数の最小は 2、最大は 3 です。IBM Markdown Optimization では、小数点の前に指定できる桁数は 5 桁です。
  - 通貨フィールドは、ロケールに基づいて表示されます。小数点と千の位の分離文字は、ロケールに基づいて表示されます。
  - すべての日付が短形式 (mm/dd/yy または dd/mm/yy) で表示され、ロケールに従って書式設定されます。日付を時刻とともに表示する必要がある場合は、短形式で表示されます。大きな CSV ファイルは、Excel ではなくメモ帳などのテキスト・エディターを使用して開く必要があります。CSV ファイルの表示に Excel を使用する必要がある場合は、Excel アプリケーションにファイルをインポートします。
5. 「**ディビジョン**」ドロップダウン・メニューから、エクスポートするディビジョンを選択します。「**ディビジョン**」ドロップダウン・メニューは、レポートのエクスポートのためにディビジョンが必要な場合のみ表示されます。一部のレポートについては、Shift クリックまたは Ctrl クリックを使用して、複数のディビジョンを選択できます。
  6. 「**エクスポート・カテゴリー**」ドロップダウン・メニューから、エクスポートする商品カテゴリーを選択します。「**エクスポート・カテゴリー**」ドロップダウン・メニューは、レポートのエクスポートのために商品カテゴリーが必要な場合のみ表示されます。一部のレポートについては、Shift クリックまたは Ctrl クリックを使用するか、「**全カテゴリー**」を選択して、複数のカテゴリーを選択できます。
  7. 「**エクスポート店舗グループ (Export Store Group)**」ドロップダウン・メニューから、エクスポートする店舗グループを選択します。「**エクスポート店舗グループ (Export Store Group)**」ドロップダウン・メニューは、レポートのエクスポートのために店舗グループが必要な場合のみ表示されます。
  8. 「**エクスポート**」をクリックします。「**エクスポート・ステータス**」ダイアログ・ボックスが開き、エクスポートがリストされます。

## エクスポート・ステータスの確認

データ・エクスポートが開始された後、エクスポート・ステータスを確認するには、この手順を使用します。データ・エクスポートは表示のみが可能です。「**すべてのエクスポートを表示**」ユーザー権限により、管理者はすべてのユーザーのエクスポートを表示できます。

### このタスクについて

#### 手順

「**データ**」 > 「**エクスポート・ステータス**」を選択します。「**エクスポート・ステータス**」ダイアログ・ボックスが開きます。

それぞれのエクスポートが、数値 ID、ファイル名 (通常はユーザー名)、ステータス、およびファイルのインポート時に入力した説明とともにリストされます。ステータスは次のいずれかです。

- **エクスポート中** - ファイルはエクスポート中です。
- **終了** - ファイルは正常にエクスポートされました。ファイル名 (下線の付いたリンク) をクリックして、ファイルを表示できます。ファイルは Excel ブラウザー・ウィンドウで開きます。このウィンドウでファイルを印刷、編集、または保存できます。
- **エラー** - ファイルは正常にエクスポートされませんでした。

エクスポートが完了した後、表示内容を整理するために、「エクスポート・ステータス」ダイアログ・ボックスからエクスポートを削除できます。

## エクスポートの削除

エクスポートを削除するには、この手順を使用します。

### 手順

1. エクスポートを右クリックします。
2. 「削除」を選択します。削除を実行するかどうか確認するダイアログ・ボックスが開きます。
3. 「はい」をクリックします。ページが最新表示され、エクスポートが削除されます。

---

## 第 4 章 属性設定の概要

商品への属性設定プロセスは IBM OpenLink の一連のタスクであり、モデル化処理と最適化処理のための商品情報を作成します。

商品への属性設定プロセスは IBM OpenLink の一連のタスクであり、モデル化処理と最適化処理のための商品情報を作成します。属性設定には、エラーの修正や、サイズ、ブランド、計測単位などの商品属性の矛盾の修正などが含まれます。属性は、デマンド・グループの在庫管理単位データと、同じデマンド・グループ内の既存の価格履歴の関連付けに使用されます。デマンド・グループが在庫管理単位に関連付けられると、ベイズ推論という統計学上の分析技法を使用し、他の商品の情報と詳細な需要履歴と組み合わせて、需要データが不十分な他の商品の需要曲線を作成できるようになります。

デマンド・グループは、代替可能性の高い商品の集合体です。一般的な消費者が、価格と商品属性に基づいて選ぶ商品となります。例えば、ペーパー・タオルや洗濯用液体洗剤などが挙げられます。デマンド・グループ内のすべての商品において、カニバリゼーションが発生します。

アプリケーションでは、商品の属性設定をするにあたり、次の 2 つのオプションを用意しています。

- 商品情報ファイル (PIF) エクスポート/インポート処理 - この処理では、PIF を MS Excel ファイルにエクスポートし、商品に属性設定し、その情報をシステムへと再度インポートできます。
- 属性設定 UI - カテゴリー・レベルでの属性設定のルールをアプリケーションで直接設定できます。

PIF は現在のところ最も一般的なプロセスであるため、詳しく説明します。

### 関連トピック

『属性設定の仕組み』

この参照は、OpenLink の属性プロセスを知るために使用します。

94 ページの『カテゴリー・マネージャー・ワークスペースについて』

「カテゴリー・マネージャー」には、インポート済みカテゴリーと一般統計が表示されます。カテゴリー・マネージャーを使用して、商品ステータスの実行や換算単位の実行などの、属性設定プロセスを管理します。

---

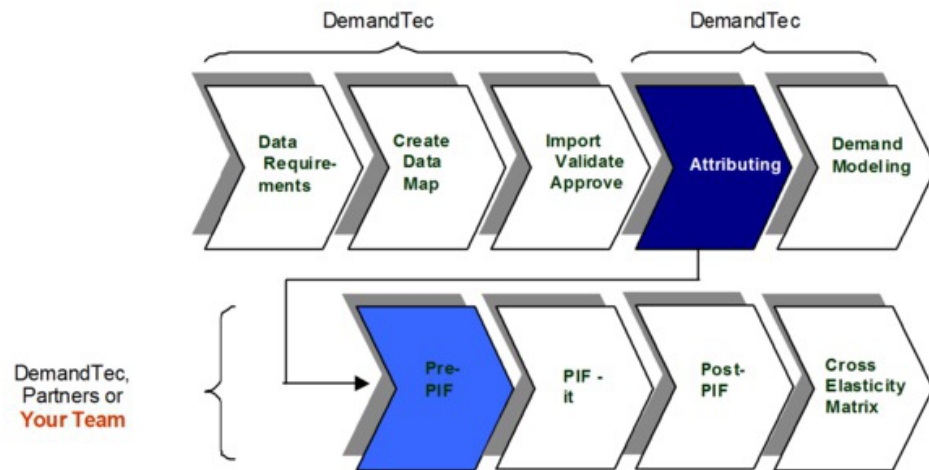
## 属性設定の仕組み

この参照は、OpenLink の属性プロセスを知るために使用します。

属性設定プロセスは、OpenLink 全体のプロセスの一部です。

- POS、データウェアハウス、サプライ・チェーン、レガシー・システムなどのデータのインポート
- OpenLink ステージング・データベースに適したフォーマットにデータを変換
- 検証、エラー・チェック、データ承認

- 属性設定 - モデル化処理、最適化処理のためにデータを準備。商品カテゴリ内の全商品のカテゴリ化、属性への値の割り当て、およびサイズ、計測単位、ブランドなどの属性の検証が含まれます。Everyday Price Optimization と Everyday Price Management の最適化では、ライン・グループ、事前価格設定、サイズ・ファミリー/サイズ・クラス、ブランド・ファミリー/ブランド・クラス、およびその他ファミリー/その他クラスに値を追加します。
- デマンド・モデル・データ



### 関連トピック

『属性設定プロセス』

属性設定プロセスは、通常、IBM OpenLink と Microsoft Excel の両方を使用して実行します。

## 属性設定プロセス

属性設定プロセスは、通常、IBM OpenLink と Microsoft Excel の両方を使用して実行します。

属性設定プロセスは、通常、IBM OpenLink と Microsoft Excel の両方を使用して実行します。以下は、プロセスの各手順の概要です。

手順	説明	Notes®	ツール
1	カテゴリ移動を承認/却下する (該当する場合)	商品がカテゴリを移動しているか確認します。孤立商品については、 <b>未カテゴリ化</b> カテゴリをチェックします。	OpenLink

2	商品ステータス・リゾルバーを実行する(店舗レベルのステータスが送信されていない場合)	価格更新プロセスを実施する前に、PSR を実行してください。これにより、商品のステータスが更新されます。カスタマーによっては、OpenLink で毎週 POS ファイルが承認された後に PSR を実行したいと考える場合もあります。	OpenLink
3	PIF をエクスポートする	PIF のエクスポートが完了したときに、OpenLink により送信された自動 E メール・メッセージ経由で PIF にアクセスします。リンクをコピーするか、新しいインターネット・ブラウザ・ウィンドウにリンクを貼り付けます。	OpenLink

4	<p>PIF を使用してコンテンツを編集する</p> <p>a. デマンド・グループ</p> <p>b. サイズ</p> <p>c. 計測単位</p> <p>d. ブランド</p> <p>e. モデルに含まれる</p> <p>f. サイズ・クラス/ファミリー **</p> <p>g. ブランド・クラス/ファミリー **</p> <p>h. ライン・グループ **</p> <p>i. 事前設定価格</p> <p>j. その他クラス/ファミリー 1**</p> <p>k. その他クラス/ファミリー 2**</p>	<p>PIF (商品情報ファイル) は、Excel スプレッドシートであり、そのように扱う必要があります。PIF から列を削除しないでください。ただし、列を移動 (再配列) することは問題ありません。商品をモデル化しない場合、<b>モデルに含まれる</b>をいいえに変更して、PIF から除外します。</p> <p>小さなデマンド・グループ構造とより多くのデマンド・グループ関係を選択します。(可能な場合、単一商品のデマンド・グループは避けるようにします)。</p> <p>注: ライン・グループ、事前設定価格、サイズ・ファミリー/サイズ・クラス、ブランド・ファミリー/ブランド・クラス、およびその他ファミリー/クラスの値は、PIF に配置でき、OpenLink にインポートできますが、これらの値は、Everyday Price Optimization と Everyday Price Management で最適化に使用されます。また、モデル化処理には必要ではありません。</p>	Excel PIF
5	PIF をインポートする	すべてのフォーマットが正しいこと、追加のワークシートが削除されていることを確認します。インポートするファイル名の長さを制限します。	OpenLink

6	換算単位を実行する	モデル化のために PIF を提出する前に、換算対象 POS 数が 0 であることを確認します。	OpenLink
7	整合性チェックを実行する	カテゴリ明細レポート - ブランドおよびデマンド・グループ集約を使用しません。必要に応じてエラーを受け入れるか修正します。	OpenLink
8	コンテンツを編集する (該当する場合)	ブランド名を再度チェックして、換算の問題を修正します。必要な単位を設定します。この手順を再度完了するまでに、いくつかの手順のプロンプトが表示される場合があります。	OpenLink
9	デマンド・グループ関係を完成する	推奨するデマンド・グループ関係が表示されています。必要に応じて、検証して更新してください。	OpenLink
10	商品に属性設定済みのマークを付ける	商品に属性設定済みのマークを付けます。また、「属性未設定数」列をゼロに「リセット」して、初回の属性設定が IBM Omni-Channel Merchandising の統計担当者に送信された後に、新商品を簡単に識別できるようにします。	OpenLink
11	カテゴリ・ステータスを設定する	IBM Omni-Channel Merchandising の統計担当者に、カテゴリをモデル化する準備ができたことを示すアラートを送ります。統計担当者がこのアラート通知を受け取るように登録している場合には、Eメールを統計担当者が受け取ります。	OpenLink

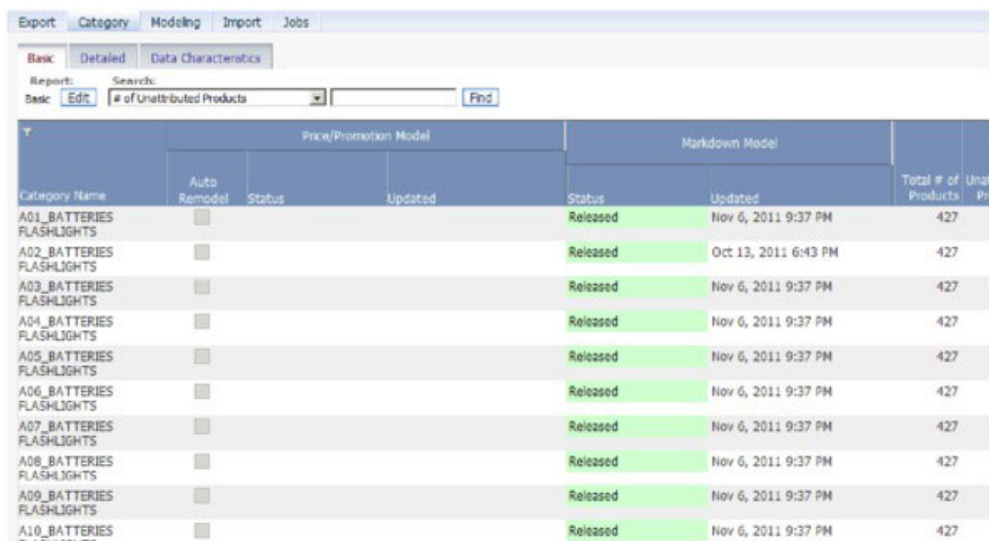
## カテゴリ・マネージャー・ワークスペースについて

「カテゴリ・マネージャー」には、インポート済みカテゴリと一般統計が表示されます。カテゴリ・マネージャーを使用して、商品ステータスの実行や換算単位の実行などの、属性設定プロセスを管理します。

「カテゴリ・マネージャー」には、インポート済みカテゴリと一般統計が表示されます。カテゴリ・マネージャーを使用して、商品ステータスの実行や換算単位の実行などの、属性設定プロセスを管理します。

「基本」タブには、カテゴリ名、カテゴリ内の商品の合計数、カテゴリ内で属性が設定されていない商品数、カテゴリで最後にスキャンされた日付など、ページで最もよく表示される列が表示されます。「詳細」タブには、これらの列と、カテゴリに関する詳細情報が表示されます。

「データ特性」タブには、各カテゴリに関する情報が表示されます。これらの情報には、モデル化に関連した情報のほか、カテゴリ実績（広告に出す場合の数量比など）に関する基本情報を表示するレポート指標、「欠落週数」などのデータの乏しさに関する情報が含まれています。



The screenshot shows the 'Basic' tab of the Category Manager interface. It features a table with columns for 'Category Name', 'Auto Remodel', 'Status', 'Updated', and 'Total # of Units'. The table lists categories A01 through A10, all with a status of 'Released' and a total of 427 units. The 'Updated' column shows dates and times, with A02 being the most recent at Oct 13, 2011 6:43 PM.

Category Name	Auto Remodel	Status	Updated	Total # of Units
A01_BATTERIES FLASHLIGHTS	<input type="checkbox"/>	Released	Nov 6, 2011 9:37 PM	427
A02_BATTERIES FLASHLIGHTS	<input type="checkbox"/>	Released	Oct 13, 2011 6:43 PM	427
A03_BATTERIES FLASHLIGHTS	<input type="checkbox"/>	Released	Nov 6, 2011 9:37 PM	427
A04_BATTERIES FLASHLIGHTS	<input type="checkbox"/>	Released	Nov 6, 2011 9:37 PM	427
A05_BATTERIES FLASHLIGHTS	<input type="checkbox"/>	Released	Nov 6, 2011 9:37 PM	427
A06_BATTERIES FLASHLIGHTS	<input type="checkbox"/>	Released	Nov 6, 2011 9:37 PM	427
A07_BATTERIES FLASHLIGHTS	<input type="checkbox"/>	Released	Nov 6, 2011 9:37 PM	427
A08_BATTERIES FLASHLIGHTS	<input type="checkbox"/>	Released	Nov 6, 2011 9:37 PM	427
A09_BATTERIES FLASHLIGHTS	<input type="checkbox"/>	Released	Nov 6, 2011 9:37 PM	427
A10_BATTERIES FLASHLIGHTS	<input type="checkbox"/>	Released	Nov 6, 2011 9:37 PM	427

カテゴリを右クリックして、「コンテンツの編集」または「カテゴリ・ワークスペース」を選択すると、カテゴリ内の個々の商品を表示できます。また、「販売可能アイテム」レポートの全商品をカテゴリ別に表示したり、「データ・メンテナンス」内の使用可能な商品をすべて表示したりすることもできます。

注: 「カテゴリ・マネージャー」ページにアクセスするには、「カテゴリ・マネージャーの有効化」権限が設定されている必要があります。



Export Category Modeling Import Jobs Data

**Edit Content**

Product Category: CALCULATORS 1

Actions: Save Return To Category Manager Drop Outdated Products Hide Dropped Products Report: All Products Edit

Search: Attributed No Find

Attributed	Has Recent POS	Is Seasonal	Opt. Category	UPC	Description	Model Demand Group	Size
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0113803003826	CANON LS-100TS BASIC CALCULATOR	CALC_BASIC	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0113803009538	CANON LS-270 BASIC CALCULATOR	CALC_BASIC	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0120963011004	SEIKO SPELL CHECKER	SPELL_DICT_BASIC	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0120963054025	SEIKO DICTIONARY	DEFAULT_DEMAND_G...	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0122447143249	ROYAL 52KB MEMORY PERSONAL ORGANIZER	PERS_ORGANIZER	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0122447143812	ROYAL BASIC HANDHELD CALCULATOR	CALC_BASIC	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0122447143843	ROYAL X60 DUAL POWER DESKTOP CALCULATOR	CALC_BASIC	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0122447143850	ROYAL DESKTOP CALCULATOR	CALC_BASIC	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0122447144307	ROYAL WS22 DESKTOP WEATHER STATION	WEATHER_DSKTP	1

97 ページの『カテゴリー変更の表示』

166 ページの『カテゴリーに属さない商品のカテゴリーへの移動』

102 ページの『商品ステータス・リゾルバーの実行』

105 ページの『PIF のエクスポート』

110 ページの『コンテンツの編集と属性』

131 ページの『最終チェックの実行』



---

## 第 5 章 属性設定の準備

商品情報ファイル (PIF) の属性設定のための内容を準備するために、いくつかのタスクを完了しておく必要があります。

商品情報ファイル (PIF) の属性設定のための内容を準備するために、いくつかのタスクを完了しておく必要があります。

### 関連トピック

『カテゴリ変更の表示』

この手順は、カテゴリ変更を表示する場合に使用します。

98 ページの『カテゴリに属さない商品のカテゴリへの移動』

アプリケーションが商品ファイルの新しい商品階層を認識しない場合は、商品には「未カテゴリ化 (Uncategorized)」というラベルが付けられます。

102 ページの『商品ステータス・リゾルバーの実行』

商品ステータス・リゾルバーは、カテゴリ内の商品が取扱中、または取扱停止のいずれであるかを示します。

---

## カテゴリ変更の表示

この手順は、カテゴリ変更を表示する場合に使用します。

### このタスクについて

新しいカテゴリ階層構造が承認されると、商品のカテゴリが変更される場合がよくあります。また、変則データにより、カテゴリが変更される場合があります。システムで生成されたこれらの商品カテゴリの変更は、承認または却下する必要があります。ユーザーが開始したカテゴリ変更は、レビューの必要はありません。特定のカテゴリの変更を表示したり、すべてのカテゴリにおける変更を表示したりすることもできます。

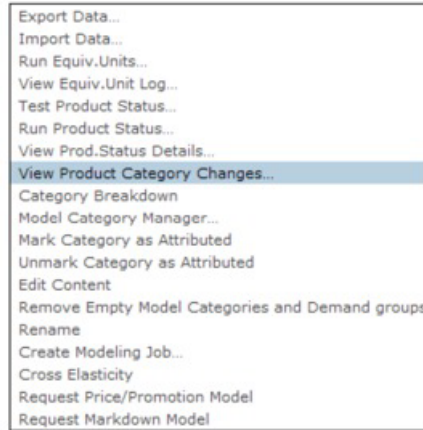
商品カテゴリの変更を表示するには、以下のようになります。

### 手順

1. 「オープン・リンク」>「カテゴリ・マネージャー」を選択し、「カテゴリ・マネージャー」ページを開きます。

注: すべてのカテゴリにおける変更を表示するには、「カテゴリ」>「商品カテゴリの変更を表示」を選択して、ステップ 4 で説明されている「商品カテゴリの変更」ページを開きます。

2. 「詳細」タブの「カテゴリ追加商品数」列で、ゼロ以外の値を持つカテゴリを探します。この値は、カテゴリ内の新規商品数です。
3. 変更を表示したいカテゴリを右クリックします。コンテキスト・メニューが表示されます。



4. 「商品カテゴリーの変更を表示」を選択します。「商品カテゴリーの変更」ページには、カテゴリーへの追加を指定されたすべての商品が表示されます。
5. すべての商品が承諾可能な場合は「すべて承認」をクリックし、承諾不可能な場合は「すべて却下」をクリックします。

注: カテゴリーの変更を承認するために実行依頼したい特定の品目を選択すると、「すべて承認」オプションは使用不可になります。これにより、すべての適格なカテゴリーの変更を誤って承認しないようになります。

6. 個々の商品を選択するには、各商品の隣にある「承諾」または「却下」のチェック・ボックスにチェックを入れます。
7. 「送信」をクリックします。承認された商品がカテゴリーに追加されます。

---

## カテゴリーに属さない商品のカテゴリーへの移動

アプリケーションが商品ファイルの新しい商品階層を認識しない場合は、商品には「未カテゴリー化 (Uncategorized)」というラベルが付けられます。

すべての商品データが OpenLink にインポートされると、その後、商品ファイルを再び読み込むときには、オリジナルの小売業者の商品階層ではなく、IBM Omni-Channel Merchandising カテゴリーが使用されます。アプリケーションが商品ファイルの新しい商品階層を認識しない場合は、商品はデフォルトの最適化カテゴリーである UNCATEGORIZED に移動されます。これらの商品は、「コンテンツの編集」ページまたは「カテゴリー・ワークスペース」ページでカテゴリーに割り当てることができます。

OpenLink に商品ファイルをインポートする際に、新しい商品階層の検証で、UNCATEGORIZED に属するすべての商品にフラグがつけられます。この検証が無視されると、すべての商品が UNCATEGORIZED へ送られ、手動で移動するまでそこに残ります。

また、不明商品 (過去の商品レコードがない商品) のあらゆる POS、原価、あるいは価格データは、「ダミー」商品レコードが UNCATEGORIZED カテゴリーに置かれる原因となるため、これらも手動で移動しなければなりません。

属性設定されているカテゴリーに商品を移動している場合、属性設定プロセスが新商品に実施されていることを確認する必要があります。これには、PSR の再実行 (必要な場合)、デマンド・グループの割り当て、サイズ、計測単位の確認、ブランド、および換算単位の確認が含まれます。

注: 「コンテンツの編集」 ページおよび「カテゴリー・ワークスペース」 ページにアクセスするには、「属性設定の有効化」 権限が設定されている必要があります。

### 関連トピック

『「コンテンツの編集」 ページの使用』

この手順は、「コンテンツの編集」 ページで、カテゴリーに属さない商品を移動する場合に使用します。

100 ページの『「カテゴリー・ワークスペース」 ページの使用』

この手順は、「カテゴリー・ワークスペース」 ページで、カテゴリーに属さない商品を移動する場合に使用します。

## 「コンテンツの編集」 ページの使用

この手順は、「コンテンツの編集」 ページで、カテゴリーに属さない商品を移動する場合に使用します。

### このタスクについて

「コンテンツの編集」 ページで、カテゴリーに属さない商品の移動を行うには、以下のようにします。

### 手順

1. 「カテゴリー・マネージャー」 ページで移動する商品が含まれる UNCATEGORIZED カテゴリーを右クリックし、コンテキスト・メニューから「コンテンツの編集」を選択します。「コンテンツの編集」 ページが表示されます。

Attributed	Has Recent	POs	Is Seasonal	Opt Category	UPC	Description	Model Demand Group	Size UOM
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	UNCATEGORIZED	000000000000585	UNKNOWN	DEFAULT_DEMAND_G...	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	UNCATEGORIZED	000000000000585BCDEF	UNKNOWN	DEFAULT_DEMAND_G...	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	UNCATEGORIZED	000000000000585ERTYU	ALLEN'S BLAKEYES WITH SNAPS	DEFAULT_DEMAND_G...	15.5 OZ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	UNCATEGORIZED	00002700066696	UNKNOWN	DEFAULT_DEMAND_G...	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	UNCATEGORIZED	00007560201469	GOLDEN BATCH CREME WAFERS 5.5OZ	DEFAULT_DEMAND_G...	5.5 OZ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	UNCATEGORIZED	00007618316018	SNAPPLE DRINK 4PK/16OZ - Training1	DEFAULT_DEMAND_G...	4 PK
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	UNCATEGORIZED	00007618316363	SNAPPLE DRINK 4PK/16OZ - Training2	DEFAULT_DEMAND_G...	4 PK
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	UNCATEGORIZED	00007618316364	SNAPPLE DRINK 4PK/16OZ -	DEFAULT_DEMAND_G...	4 PK

2. 「レポート」 ドロップダウン・メニューで「全商品」 レポートを選択します。
3. 移動する商品の「最適化カテゴリー」 列をクリックし、カテゴリーのドロップダウン・リストから新規カテゴリーを選択します。商品に新しい最適化カテゴリーが割り当てられます。



Select a new category for which to move the products from the UNCATEGORIZED category

4. 「コンテンツの編集」ページの右上隅にある「保存」をクリックします。商品が宛先カテゴリ、デフォルトのモデル・グループ、および新しい最適化カテゴリのデフォルトのモデル・カテゴリに移動します。

「カテゴリ・マネージャー」ページに、新しい移動先のカテゴリに移動した項目が表示されます。移動先のカテゴリの商品数は、移動した商品数に応じて増加します。

## 「カテゴリ・ワークスペース」ページの使用

この手順は、「カテゴリ・ワークスペース」ページで、カテゴリに属さない商品を移動する場合に使用します。

### このタスクについて

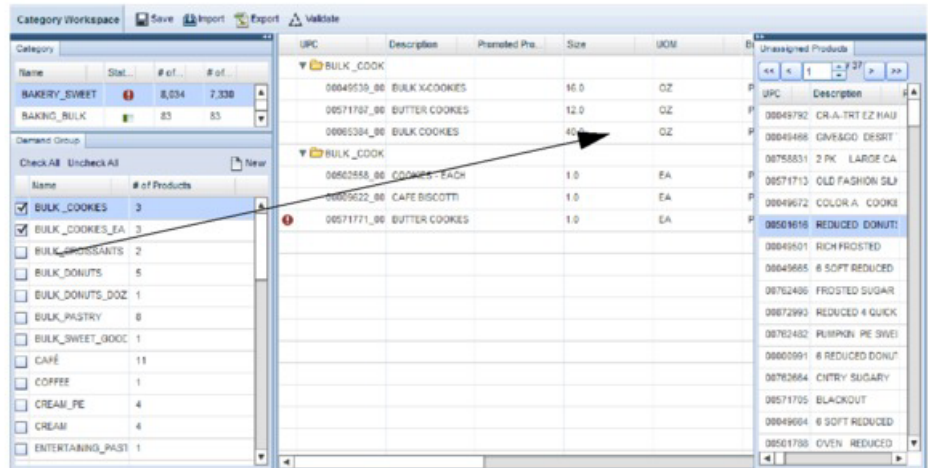
「カテゴリ・ワークスペース」ページで、カテゴリに属さない商品の移動を行うには、以下のようにします。

### 手順

1. 「カテゴリ・マネージャー」ページで、移動する商品が含まれる UNCATEGORIZED カテゴリを右クリックし、コンテキスト・メニューから「カテゴリ・ワークスペース」を選択します。「カテゴリ・ワークスペース」ページが表示されます。

商品がカテゴリのデフォルトのデマンド・グループに格納された後、「カテゴリ」パネルの UNCATEGORIZED カテゴリが強調表示され、すべての商品が「未割当商品」パネルにリストされます。

Products in the UNCATEGORIZED category (and Default Demand Group) are listed in Unassigned Products



2. 移動する商品については、各商品を「未割当商品」パネルから選択して「カテゴリ」パネルのカテゴリにドラッグします。移動する商品の名前が太線の下にあるカテゴリに投影されたら、マウスのボタンを放します。商品がデフォルトのデマンド・グループ内の移動先のカテゴリに追加され、商品の数が増えたことがわかります。

Name	Status	# of Products	# of unassign...
BAKERY_SWEET	!	8,034	7,330
BAKING_BULK	■	83	83
BAKING_MIXES_SYRUPS	✓	7,356	6,657
BAKING_SUPPLIES_DECORATION	■	652	114
BALLOONS	✓	77	77
BATH	✓	216	56
BATTERIES_FLASHLIGHTS	✓	197	51
BBQ	✓	0	0
BEEF	✓	777	777
BEEF_CHICKEN_PORK	!	0	0
BEER	!	0	0

You can select and drag a product from the Unassigned Products panel to a category in the Category panel. The product will be added to the category underneath the bolded line.

注: 商品ステータス・リゾルバーが実行中の場合や、商品ステータス・リゾルバーが正常に実行された場合は、「ステータス」列に、カテゴリにエラーがあるかないかが表示されます。ステータス・インディケーター・アイコンの上にマウスを移動して、ステータス・メッセージの表示やエラー数の確認を行うことができます。



3. 移動先のカテゴリが選択されている状態で、「デマンド・グループ」パネルでドラッグ・アンド・ドロップの機能を使用することで、デフォルトのデマンド・グループから特定のデマンド・グループへと商品を移動できます。

このページについて詳しくは、139 ページの『「カテゴリ・ワークスペース」ページでのコンテンツの編集』を参照してください。

---

## 商品ステータス・リゾルバーの実行

商品ステータス・リゾルバーは、カテゴリ内の商品が取扱中、または取扱停止のいずれであるかを示します。

### このタスクについて

商品ステータス・リゾルバーは、カテゴリ内の商品が取扱中、または取扱停止のいずれであるかを示します。ステータスは商品情報に表示されます。取扱中および取引停止の両方の商品がモデル化されますが、取扱中の商品のみが予測に含まれます。最適化処理において、ステータスが取扱停止である商品には、最適化された価格は割り当てられません。

**注:** 在庫管理単位店舗ステータス・ロケーション・ファイルを IBM Omni-Channel Merchandising に送信済みの場合には (この方法を推奨)、商品ステータス・リゾルバーを実行する必要はありません。この状態でタスクを開始すると、タスクは実行されますが、デフォルトでは、ステータス・ファイル経由で読み込まれたステータス値が更新されません。システム設定 (PSR\_Overrides\_Status\_Files) を構成することで、上書き動作を制御できます。詳しくは、IBM 担当員にお問い合わせください。

デフォルトでは、現在の商品ステータスの決定には次の基準が使用されます。

- アイテムが季節商品である場合、過去 365 日以内に販売されていれば、商品は取扱中と設定されます。それ以外の場合は、取扱停止となります。
- アイテムが季節商品でない場合、過去 90 日以内に販売されていれば、商品は取扱中と設定されます。それ以外の場合は、取扱停止となります。

商品ステータス・リゾルバーは、選択済みカテゴリに対して手動で実行するか、タスク・スケジューラーの自動プロセスとして、設定時間ごとに 1 つ以上のカテゴリに対して実行することができます。

商品ステータス・リゾルバーを手動で実行するには、以下のようになります。

### 手順

1. 「オープン・リンク」>「カテゴリ・マネージャー」を選択し、「カテゴリ・マネージャー」ページを開きます。
2. 商品ステータス・リゾルバーを実行したいカテゴリを右クリックします。コンテキスト・メニューが表示されます。





6. ステータスが変更 (取扱中から取扱停止へ、または取扱停止から取扱中へ) されたカテゴリ内の商品を表示するには、カテゴリを右クリックして「商品ステータスの詳細の表示」を選択します。「商品ステータス変更の詳細」ページが開きます。

Product Status Change Details

Actions: [View Log](#) Report: [Product Status Change Approval](#) [Edit](#) Category: [ARRANGEMENTS\\_BOUQUETS\\_BALLOONS](#) Search: [New Status](#) [Find](#)

Old Status	New Status	Product Name
Active	Discontinued	ASC 9" CLASSICO BUDVASE
Active	Discontinued	FRSH BQT HOT COLORS
Active	Discontinued	FRSH BQT HOT COLORS
Active	Discontinued	FRSH BQT HOT COLORS
Active	Discontinued	BULK70CM MAJESTIC ROSE ASST
Active	Discontinued	BULK70CM MAJESTIC ROSE ASST
Active	Discontinued	BULK70CM MAJESTIC ROSE ASST
Active	Discontinued	FRESH BQT PASSOVER CELEBRATION
Active	Discontinued	FRESH BQT PASSOVER CELEBRATION
Active	Discontinued	FRESH BQT PASSOVER CELEBRATION
Active	Discontinued	FRESH BQT PASSOVER CELEBRATION
Active	Discontinued	FRESH BQT PASSOVER CELEBRATION
Active	Discontinued	FRESH BQT PASSOVER CELEBRATION
Active	Discontinued	FRESH BQT PASSOVER CELEBRATION
Active	Discontinued	FRSH BQT DOZ ROSE 60/40 50CM
Active	Discontinued	FRSH BQT DOZ ROSE 60/40 50CM

7. 「ログの表示」をクリックして、「商品ステータス・ジョブ・ログ」ページに戻ります。

---

## 第 6 章 モデル化の属性設定

属性設定では、デマンド・グループ、サイズ、計測単位、およびその他の属性を商品情報ファイル (PIF) の商品に割り当てる作業があります。

属性設定では、デマンド・グループ、サイズ、計測単位、およびその他の属性を商品情報ファイル (PIF) の商品に割り当てる作業があります。この処理により、デマンドのモデル化のための商品カテゴリーが準備されます。

### 関連トピック

#### 『PIF のエクスポート』

商品情報を、商品情報ファイル (PIF) と呼ばれる Microsoft Excel 形式のファイルにエクスポートし、商品の属性設定を行うことができます。

#### 110 ページの『コンテンツの編集と属性』

基本的に、PIF での属性設定では、デマンド・グループ、サイズ、計測単位、およびその他の属性を PIF の商品に割り当てる作業があります。

#### 127 ページの『PIF のインポート』

この手順は、PIF をインポートする場合に使用します。

#### 131 ページの『最終チェックの実行』

PIF に属性を設定し OpenLink にインポートした後、最終チェックを実行してモデル化処理で用いられる商品情報が確実にクリーンなものになるようにします。

#### 143 ページの『デマンド・グループ関係の作成』

デマンド・グループ関係は、モデル化処理を簡素化するために、統計担当者に提供されるものです。

#### 149 ページの『カテゴリーへの属性設定済みのマーク付け』

この手順は、カテゴリーに属性設定済みのマークを付ける場合に使用します。

#### 153 ページの『モデル作成者への通知』

属性を設定後、モデル作成者に、カテゴリーはモデル化の準備ができていることを通知できます。

#### 154 ページの『デマンド・グループの新商品への自動割り当て』

カテゴリーを再モデル化する前に、追加されている新商品をデマンド・グループに割り当てる必要があります。

---

## PIF のエクスポート

商品情報を、商品情報ファイル (PIF) と呼ばれる Microsoft Excel 形式のファイルにエクスポートし、商品の属性設定を行うことができます。

商品情報を、商品情報ファイル (PIF) と呼ばれる Microsoft Excel 形式のファイルにエクスポートし、商品の属性設定を行うことができます。PIF は OpenLink からエクスポートし、処理後に再度 OpenLink にインポートします。商品データベースの現在値が、PIF の属性列に取り込まれます。PIF はユーザー編集可能です。これらの列に値が欠落している場合、その列は空欄で表示されます。この空欄にはユーザー独自の値を入力できます。エクスポート後には、データの整合性維持、および

インポートの制限のために、Excel ファイルにある PIF 列構造を変更しないことが重要です。属性列については、112 ページの『属性テーブル』を参照してください。

商品属性列を選択して、PIF 出力における順番を決定できます。選択した属性列は、「コンテンツの編集」ページにも表示されます。選択可能な属性列はオプションと見なされ、モデル化に必須ではないものです。例えば、ブランド・クラスやサイズ・クラスなどの列は主に IBM Price Optimization ルールで使用され、レベル 1 コード/説明の列は、顧客の商品階層レベルであり、多くの場合はデマンド・グループを設定するための参照として使用されます。

商品は、PIF エクスポート処理の一環として、ライン・グループ、サイズ・クラス、およびサイズ・ファミリーに自動的に割り当てられます。既存の値も保持するよう選択すると、商品は既存グループに追加されます。既存の割り当ても維持されます。既存の値を保持しない場合は、ブランド、測定量、および基本原価/価格を使用して新しいライン・グループが作成されます。また、商品名/説明、ブランド、および測定量を使用してサイズ関係が作成されます。アプリケーションに既存の値がなく、ラインまたはサイズ関係を最初に設定している場合に、この機能を最も有効に使用できます。詳しくは、109 ページの『ライン・グループとサイズ関係の自動割り当て』を参照してください。「カテゴリー・マネージャー」ページの「商品関係の割り当て」右クリック・オプション・メニューを選択して、商品への割り当てを行うこともできます。

注: エクスポートする前に、以下のことを確認してください。

- 商品ステータス・リゾルバーを実行済みである。
- 最終スキャン日が最近である。「カテゴリー・マネージャー」ページ（「オープン・リンク」>「カテゴリー・マネージャー」）の「最終スキャン」列で最終スキャン日を確認できます。

The screenshot shows a software interface with a search bar and a table. The search bar contains the text "# of Unattributed Products". The table has a header row with columns: "odel", "Markdown", "Category Name", "Status", and "Upda". Below the header, there are three rows of data: "ANALGESICS 1", "ANALGESICS 10", and "ANALGESICS 11". An arrow labeled "Last scan date" points to the "Upda" column header.

- サマリー統計の最終実行日が最近である。サマリー統計には、例えば、売上や数量などの統計が含まれます。最近サマリー統計を実行していない場合、1 つ以上のカテゴリでタスク・スケジューラーの自動プロセスとしてサマリー統計を更新できます。

注: サマリー統計は、最初にタスク・スケジューラーで 1 回実行する必要があります。フル実行により、2 年間の POS データを基準にしてサマリー統計が更新されます。その後は、新規 POS データがそれぞれ読み込まれた後に統計が自動的に更新されるので、ジョブをスケジュールする必要はありません。「詳細」タブにある「カテゴリ・マネージャー」ページ（「オープン・リンク」>「カテゴリ・マネージャー」）の「最終サマリー統計実行」列で最終サマリー統計実行日を表示できます。

Last Summary Statistics run date

Category Name	Category Type	Total # of Products	Product Moving Category	Last Summary Stats Run	Last Scan	Mei Weeks to Retire Link	Total # of Linked New Products	Total # Inv
ARRANGEMENTS_BOU...	Modeled	1578		Aug 31, 2006	Jan 6, 2007		0	
AUDIO_VIDEO_HOME_...	Modeled	133		Aug 10, 2006	Jan 6, 2007		0	
AUTOMOTIVE_GM	Modeled	171		Jan 9, 2007	Jan 6, 2007		0	
AUTOMOTIVE_WHSE	Modeled	26		Jan 9, 2007	Jan 6, 2007		0	
BABYFOOD_FORMULA...	Modeled	876		Jan 10, 2007	Jan 6, 2007		0	
BABY_ACCESSORIES	Modeled	322		Aug 2, 2006	Jan 6, 2007		0	
BABY_NEEDS	Modeled	222		Jul 14, 2006	Jan 6, 2007		0	
BACON	Modeled	170		May 9, 2006	Jan 6, 2007		0	
BAKED_GOODS_FROZEN	Modeled	243		Sep 18, 2006	Jan 6, 2007		0	
BAKERY_SWEET	Modeled	880		Nov 22, 2006	Jan 6, 2007		0	
BAKING_BULK	Modeled	83		Jan 9, 2007	Jan 6, 2007		0	
BAKING_MIXES_SYRUPS	Modeled	766		Oct 2, 2006	Jan 6, 2007		0	
BAKING SUBSTITUTES...	Modeled	695		Jul 3, 2006	Jan 6, 2007		0	

## 関連トピック

112 ページの『属性テーブル』

属性列の説明、許容値、PIF に取り込まれたデータの取得元については、次の表を参照してください。

109 ページの『ライン・グループとサイズ関係の自動割り当て』

商品は、PIF エクスポート処理の一環として、ライン・グループ、サイズ・クラス、およびサイズ・ファミリーに自動的に割り当てられます。

『PIF から Excel へのエクスポート』

この手順は、PIF をエクスポートする場合に使用します。

## PIF から Excel へのエクスポート

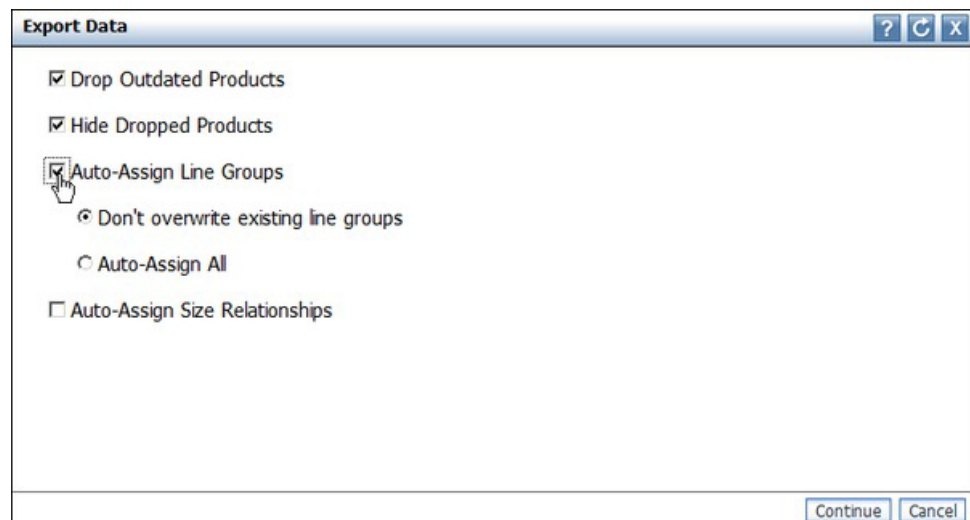
この手順は、PIF をエクスポートする場合に使用します。

### このタスクについて

PIF をエクスポートするには、以下のようにします。

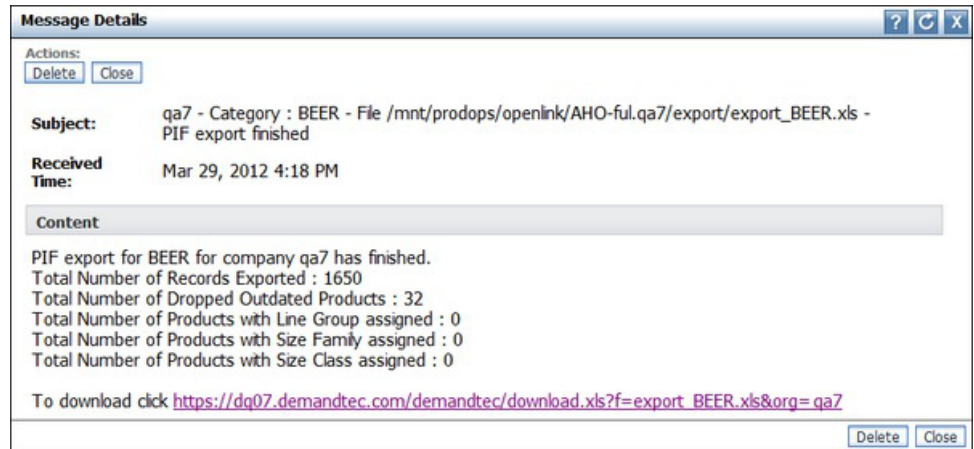
## 手順

1. 「オープン・リンク」 > 「カテゴリー・マネージャー」を選択し、「カテゴリー・マネージャー」ページを開きます。
2. エクスポートするカテゴリーを右クリックし、「データのエクスポート」を選択します。「データのエクスポート」ダイアログ・ボックスが、デフォルトで「古い商品のドロップ」および「ドロップ済み商品を非表示」オプションが設定された状態で、表示されます。
3. 「古い商品のドロップ」をチェックしたままにして、モデル化タスクから古くなった商品を削除します。これらの商品は、エクスポート・ファイルに含まれなくなります。古くなった商品とは、最後にスキャンされたのが、モデル化期間 (デフォルトでは 104 週) の前となっている商品です。このチェック・ボックスをオフにすると、このカテゴリーに割り当てられているすべての商品がエクスポートされますが、そのステータスは変更されません。
4. 「ドロップ済み商品を非表示」をチェックしたままにして、エクスポートされた PIF のカテゴリーからドロップされた商品を削除します。このチェック・ボックスをクリアすると、前にドロップした商品が、エクスポートされる PIF ファイルに含まれます。



5. 「ライン・グループの自動割り当て」チェック・ボックス、または「サイズ関係の自動割り当て」チェック・ボックス、またはその両方をセットして、商品データベースの商品をライン・グループ、サイズ・クラス、サイズ・ファミリーに割り当てます。既存の割り当てを保持したまま既存グループに商品を割り当てるには、「既存のライン・グループを上書きしない」を設定します。既存のライン・グループ情報を破棄して、全ライン・グループの自動生成を試みる場合は、「すべてを自動割り当て」を選択します。OpenLink は、商品属性と POS 統計に基づいて新規のラインまたはサイズ関係を作成します。
6. 「続行」をクリックします。PIF のエクスポートが完了したときに、アラートを受け取るように登録している場合、PIF をエクスポートしたユーザーの E メール・アカウント、またはアプリケーションの右上にあるアラート受信箱、またはその両方に E メールが自動的に送付されます。E メールには、PIF へのリンクが記載されています。アラートの設定について詳しくは、25 ページの『アラート受信箱』を参照してください。





7. リンクを選択し、PIF をダウンロードして開きます。

## ライン・グループとサイズ関係の自動割り当て

商品は、PIF エクスポート処理の一環として、ライン・グループ、サイズ・クラス、およびサイズ・ファミリーに自動的に割り当てられます。

PIF エクスポート・プロセスの一部として、商品をライン・グループ、サイズ・クラス、およびサイズ・ファミリーに自動的に割り当てることができます。また、「カテゴリー・マネージャー」ページの「商品関係の割り当て」オプションを選択して、割り当てすることもできます。この機能の概要については、105 ページの『PIF のエクスポート』を、「データのエクスポート」ダイアログ・ボックスでこの機能を有効にする手順については、107 ページの『PIF から Excel へのエクスポート』を参照してください。

**注:** PIF エクスポートで、ラインやサイズ関係が自動的に割り当てられた場合、これらの値を使用してデータベースが更新され、PIF に読み込まれます。推奨値を消去または変更したい場合には、PIF でこれらの値を編集して、その PIF をインポートします。これにより、データベースが後で更新されます。「カテゴリー・マネージャー」からこのプロセスを実行した場合も、データベースが更新されます。推奨値を削除または変更するには、「コンテンツの編集」ページでこれらの値を編集してレポートを保存する必要があります。

新しいライン・グループは、ブランド、測定量、および基本原価/価格を使用して作成されます。サイズ関係は、商品名/説明、ブランド、および測定量を使用して作成されます。以下に、ライン・グループおよびサイズ関係の割り当て方法のロジックを説明します。

- ライン・グループ - 同じブランド、類似原価 (5% 以内の変動)、および類似数量 (2% 以内の変動) の 2 つの商品は同じライン・グループに分類されます。
- サイズ・ファミリー - 同じブランドおよび同じ商品説明の 2 つの商品は同じサイズ・ファミリーに分類されます。商品説明のマッチングは以下の手順で行われます。
- 各商品説明が、有効な語のリストに分割されます。有効な語とは、ブランドや計測単位以外の、長さが  $\geq 3$  の語で、\* や % などの特殊文字を除いたものです。

- 商品間の有効な語は、「ファジー・マッチ」です。ファジー・マッチとは、単語への自然言語処理です。例えば、基本的に MILK と MLK は一致とされます。
- 各商品についてマッチング・スコアが高いもの、例えば、商品説明で 2 語以上が一致する場合、スコアが  $\geq 2$  のものを取り出します。ブランドも同様にマッチングする必要があります。
- サイズ・クラス - サイズ・クラスは、サイズ変動が 10% のサイズ・ファミリー内で割り当てられます。例えば、サイズ・ファミリーにサイズが 2、4、8 の 3 商品があり、それぞれに Small、Medium、Large を割り当てるものとします。サイズが 20、40、80 の場合も同様に割り当てます。サイズが 20 と 40 の場合は、それぞれに Small と Large を割り当てます。サイズが 2、4、8、16 の場合は、それぞれに X-Small、Small、Large、X-Large を割り当てます。Medium サイズは、サイズ・ファミリーの商品数が奇数の場合のみ割り当てられます。

#### 関連トピック

105 ページの『PIF のエクスポート』

商品情報を、商品情報ファイル (PIF) と呼ばれる Microsoft Excel 形式のファイルにエクスポートし、商品の属性設定を行うことができます。

107 ページの『PIF から Excel へのエクスポート』

この手順は、PIF をエクスポートする場合に使用します。

---

## コンテンツの編集と属性

基本的に、PIF での属性設定では、デマンド・グループ、サイズ、計測単位、およびその他の属性を PIF の商品に割り当てる作業があります。

基本的に、PIF での属性設定では、デマンド・グループ、サイズ、計測単位、およびその他の属性を PIF の商品に割り当てる作業があります。また、PIF のコンテンツの編集および修正によって、整合性を維持し、エラーを修正することができます。これらの作業は、正確なモデル化を確実に実行するために役立ちます。

**注:** PIF の列は、どれも絶対に削除しないでください。新しい列を追加した場合、それらはモデル化プロセスでは認識されず、無視されます。

**注:** PIF はマークダウン最適化には必要ありません。

#### 関連トピック

111 ページの『PIF の操作に慣れる』

商品情報ファイル (PIF) とは、モデル化処理に必要な商品属性情報を含む Excel のスプレッドシートです。

112 ページの『属性テーブル』

属性列の説明、許容値、PIF に取り込まれたデータの取得元については、次の表を参照してください。

115 ページの『カテゴリーの把握』

以下のリソースを使用して、商品およびカテゴリーを調査できます。

116 ページの『商品のドロップ』

PIF から商品を削除するのは適切ではないため、ドロップする商品に対しては PIF に値を入力します。

117 ページの『デマンド・グループ構造の取り込み』

デマンド・グループは、代替可能性の非常に高い商品の集まりです。



118 ページの『サイズと計測単位の換算』

データ・プロバイダーからのサイズ情報と計測単位 (UOM) 情報は、必ずしもモデル化処理で使用できるわけではありません。

119 ページの『ブランド名のスクラビング』

属性設定プロセスにおけるブランド割り当ては、一貫性のあるブランド・ルールを確実に実施するために非常に重要です。

119 ページの『Everyday Price Optimization および Everyday Price Management の属性』

商品関係属性は、モデル化プロセスには必要ありませんが、Everyday Price Optimization ルールと Everyday Price Management ルールで使用されます。

## PIF の操作に慣れる

商品情報ファイル (PIF) とは、モデル化処理に必要な商品属性情報を含む Excel のスプレッドシートです。

商品情報ファイル (PIF) とは、モデル化処理に必要な商品属性情報を含む Excel のスプレッドシートです。このファイルは、コンテンツの属性設定に便利な形式です。

PIF の列ヘッダー・プレフィックスは、情報の行き先、例えば、モデル化データベースなのか、最適化データベースなのかを示します。時には、情報が 2 つの領域に同時に送られる場合もあります。

エクスポート済み PIF は次のようになります:

Ref UPC	Ref Customer	PreIncluded in Model	Model Category	Description	MC Demand Group	Demand Group
00004690000102	00004690000102	Yes	CANNED BEANS	RANCH STYLE BEANS		STHWST_BEAN
00001119438166	00001119438166	No	CANNEDDRYSOAS	S&W OVEN BKD BEANS		BAKED_BEANS
00001119438489	00001119438489	No	CANNEDDRYSOAS	S W CHILI BEANS		CHILI_BEANS
00001119438588	00001119438588	No	CANNEDDRYSOAS	S W BBO TX RANCH STYLE BE		STHWST_BEAN
00001119438596	00001119438596	No	CANNEDDRYSOAS	S W MAPLE SUGAR BEANS		BAKED_BEANS
00001119439164	00001119439164	No	CANNEDDRYSOAS	S&W CECI BEANS (CHK PS)		CHICK_PEAS
00001119439305	00001119439305	No	CANNEDDRYSOAS	S W CHICK PEAS CECI BEANS		CHICK_PEAS
00001300045160	00001300045160	Yes	CANNEDDRYSOAS	HEINZ VEGETARIAN BEANS		BAKED_BEANS
00001760008802	00001760008802	Yes	CANNEDDRYSOAS	CASA FIESTA REFRIED BEANS		REFRIED_BNS
00002000010967	00002000010967	Yes	CANNEDDRYSOAS	GRN GIANT BLACK BEANS FRL		BLACK_BEANS
00002000011174	00002000011174	Yes	CANNEDDRYSOAS	GREEN GIANT RED BEANS		RED_BEANS
00003470041410	00003470041410	Yes	CANNEDDRYSOAS	ALLEN DARK RED KIDNEY BEA		KIDNEY_BEANS
00003470042317	00003470042317	Yes	CANNEDDRYSOAS	ALLEN BAKED BEANS		BAKED_BEANS
00003470042417	00003470042417	Yes	CANNEDDRYSOAS	ALLEN BAKED BEANS		BAKED_BEANS
00003470059410	00003470059410	Yes	CANNEDDRYSOAS	ALLEN S PURPLE HULL PEAS		BLACKKEYD_PS
00003470059410	00003470059410	Yes	CANNEDDRYSOAS	ALLEN S CROWDER PEAS		BLACKKEYD_PS
00003470062410	00003470062410	Yes	CANNEDDRYSOAS	ALLEN S BLACKEYES WITH SN		BLACKKEYD_PS
00003470081410	00003470081410	Yes	CANNEDDRYSOAS	ALLEN LIGHT RED KIDNEY BEA		KIDNEY_BEANS
00003639350100	00003639350100	Yes	CANNEDDRYSOAS	GLORY FOODS BLACK EYED P		BLACKKEYD_PS
00003639350400	00003639350400	Yes	CANNEDDRYSOAS	GLORY FOODS SSND GRT NRT		SOUPBEANS
00003639350500	00003639350500	Yes	CANNEDDRYSOAS	GLORY FOODS SEASONED FLI		BLACKKEYD_PS
00003639350600	00003639350600	Yes	CANNEDDRYSOAS	GLORY FOODS SEAS FLD PS V		BLACKKEYD_PS
00003639350800	00003639350800	Yes	CANNEDDRYSOAS	GLORY FOODS SEASONED BTI		BUTTER_BEAN
00003940001368	00003940001368	Yes	CANNEDDRYSOAS	BUSH S FRESH BLACKEYE PE		BLACKKEYD_PS

注: 「参照」列プレフィックスの命名は、この情報が参照用のみであり、変更できないことを示しています。

### 関連トピック

112 ページの『属性テーブル』

属性列の説明、許容値、PIF に取り込まれたデータの取得元については、次の表を参照してください。

## 属性テーブル

属性列の説明、許容値、PIF に取り込まれたデータの取得元については、次の表を参照してください。

属性列の説明、許容値、PIF に取り込まれたデータの取得元については、次の表を参照してください。強調表示された行は、属性が編集可能であり、PIF で設定を完了する必要があることを示しています。

属性名	属性の説明	カテゴリの許容値 - PIF の完成方法	データ・ソース - あらかじめ入力されているデータの取得元
参照商品コード	小売業者の商品コード	変更不可	小売業者が定義する商品コード
参照顧客商品キー	小売業者の商品番号付けシステム。利用できない場合は、商品コードがデフォルトになります。	変更不可	マップで定義される商品コードまたは小売業者 ID
承認取消し済み	カテゴリが最後にモデル化されて以降、新商品に自動的に割り当てられたデマンド・グループが承認されたか拒否されたかを示します (154 ページの『デマンド・グループの新商品への自動割り当て』を参照)。	「はい」または「いいえ」	デマンド・グループ列のモデル・デマンド・グループ。承認する前に、これを別のデマンド・グループに変更することができます。  デマンド・グループへの商品の自動割り当てを有効にする権限 (自動割り当て済みの商品を表示するための権限) がある場合のみ表示されます。
自動割り当て済みの日付	デマンド・グループが新商品に自動的に割り当てられた日付 (154 ページの『デマンド・グループの新商品への自動割り当て』を参照)	変更不可	新商品の属性と既存のデマンド・グループをどのように調整するかに基づいて、デマンド・グループが自動的に割り当てられます。  デマンド・グループへの商品の自動割り当てを有効にする権限 (自動割り当て済みの商品を表示するための権限) がある場合のみ表示されます。

モデル化に含まれる	価格/プロモーション・モデルに商品を含める必要があるかどうかを示します。	「はい」または「いいえ」(商品のモデル・ステータスが取扱停止の場合)	商品のモデル・ステータス
説明	Everyday Price Management に送信される商品説明	数字/英字	小売業者の説明。小売業者の説明が複数ある場合には、マップを確認します。
デマンド・グループ	代替可能性の高い商品の集合体。	最大 50 文字の英数字。	デフォルトは、「DEFAULT_demand_group」です。
サイズ	小売業者/ディビジョン/カテゴリー・レベルでのモデル化に使用されるサイズ (測定量)。このサイズは予測できます。	数値。無料またはボーナス商品である場合、基本サイズにプラスして無料の商品量を含めます。(無料商品については、基本商品 VOM でサイズ・クラス・コードがグループ化されていることを確認します)。	小売業者の商品ファイル
計測単位	小売業者/カテゴリー・レベルでのモデル化および最適化に使用される計測単位。計測単位はデマンド・グループ内で一貫性がある必要があります。	英字の CT、OZ、LOAD、SHEET、LB	小売業者の商品ファイル
ブランド	モデル化に使用する修正済み/予測済みのブランド。ブランドは、PIF または OpenLink の「カテゴリー明細」ページで簡素化できます。	英字。正しくない文字 (&、/、*) を含まないこと	小売業者の商品ファイル
メーカー	ユーザー定義の商品のメーカー。これは、PIF または「コンテンツの編集」画面で定義できます。	英字。正しくない文字 (&、/、*) を含まないこと	該当なし

参照 DT ステータス	商品ステータス・リゾルバー・ルールの結果の集約により決定されます。任意のロケーションの商品をスキャンすると、参照 DT ステータスはアクティブになります。	変更不可	商品ステータス・リゾルバーの結果から(実行する場合)。
参照顧客ステータス	小売業者から送信される時の商品ステータス	変更不可	小売業者のロケーション・ステータス・ファイル。値が送信されていない場合は、ACTIVE がデフォルトになります。
参照現行小売価格	店舗間での過去 12 カ月間の現行動小売価格の平均 (読み込まれている場合)	変更不可	小売業者 POS スキャン・データから
参照平均スキャン価格	POS データから引き出された過去 12 カ月間の数量加重平均スキャン価格	変更不可	小売業者 POS スキャン・データから
計測単位当たりの参照価格	参照平均スキャン価格/サイズ	変更不可	該当なし
参照原価	POS データから引き出された過去 12 カ月間の数量加重平均スキャン価格	変更不可	小売業者 POS スキャン・データから
参照週平均数量	チェーン・レベルの全店舗間での過去 12 カ月間の週平均数量。IBM Omni-Channel Merchandising にある週の記録がない場合でも、数量のカウントはゼロにはなりません。	変更不可	小売業者 POS スキャン・データから
参照総収益	商品の総収益	変更不可	小売業者 POS スキャン・データから
参照スキャン日 (最初)	カテゴリー内の商品 (全店舗間) を最初にスキャンした時刻。	変更不可	小売業者 POS スキャン・データから

最終スキャン日付 (最後)	カテゴリ内の商品 (全店舗間) を最後にスキャンした時刻。 2003 年 1 月 20 日 (月) に最後の POS ファイルを受信しており、最後の商品のスキャンが 2003 年 1 月 10 日 (金) であった場合、最終スキャン日は 2003 年 1 月 10 日 となります。	変更不可	小売業者 POS スキャン・データから
参照顧客レベル 1 説明からレベル 6 説明	参照顧客レベル 1 コードからレベル 6 コードの説明。顧客の階層はデマンド・グループ構造をエミュレートしているため、デマンド・グループ名を割り当てるときに非常に有効です。	変更不可	小売業者の商品データから
属性あり	商品に属性があるかどうかを示します。	1 - あり、0 - なし	商品の属性設定ステータス  これは、「カテゴリ・マネージャー」ページで商品のカテゴリに属性設定済みのマークが付いている場合、または「コンテンツの編集」ページで商品に対してすでに「属性設定済み」列が設定されている場合に取られます。
参照商品 ID	割り当てる固有の在庫管理単位 ID	変更不可	システムにより生成
参照商品カテゴリ	小売業者のカテゴリ名	変更不可	小売業者の商品データから

### 関連トピック

154 ページの『デマンド・グループの新商品への自動割り当て』  
 カテゴリを再モデル化する前に、追加されている新商品をデマンド・グループに割り当てる必要があります。

## カテゴリの把握

以下のリソースを使用して、商品およびカテゴリを調査できます。

PIF 全体を確認し、商品とカテゴリを把握します。換算単位、サイズ、カスタマーの商品購買動向について把握することは大切です。調査には、次のリソースを使用できます。

- カテゴリ・マネージャーへのインタビュー - カテゴリ・マネージャーは役に立つ情報源です。店舗のウォークスルーを行ったり、カテゴリ・マネージャーへのインタビューを実施したりすることは、属性設定プロセスの前にカテゴリについての知識を深めるのに役立ちます。商品を把握するだけでなく、商品の配置や、カテゴリ内の知らない商品や新商品の発見にも役立ちます。
- 店舗ウォークスルー - 店舗ウォークスルーを実行することで、貴重な情報を得ることができます。サブカテゴリ構造が必要な時は特に有効です。カテゴリ・マネージャーと協力して、最適化戦略と、価格の最適化について理解を深めることができます。
- WWW - 下記の Web サイトからは、ユーザー・マニュアル、換算単位の詳細に到るまでの商品情報に加え、重要なプリファレンスや意思決定ツリーなどの情報を得ることができます。
- UPCdatabase.com
- 企業の Web サイト
- メーカーの Web サイト
- Google、Yahoo!、MSN などの選択した検索エンジンに入力された特定の UPC

## 商品のドロップ

PIF から商品を削除するのは適切ではないため、ドロップする商品に対しては PIF に値を入力します。

取扱停止の商品や、期限切れの商品は、モデル化処理と最適化処理のときに無視されるよう、ドロップできます。PIF から商品を削除するのは適切ではないため、ドロップする商品に対しては PIF に値を入力します。

商品が PIF からドロップされるのは、一般に以下のような理由からです。

- PIF のすべての商品に属性設定する必要はありません。OpenLink は、POS データに関わらず、小売業者の商品ファイル中のすべての商品をエクスポートします。そのため、PIF に含まれているものの、モデル化処理や最適化処理には使用されない商品があります。PIF 内のこのようなわずかな商品を識別するには、以下のような商品を探します。
- 参照顧客ステータスまたは参照 DT ステータス = 取扱中止
- 最後にスキャンした日付 > カテゴリの最終スキャンの 90日前
- 週平均数量が、ある単位以下である
- 販売できない商品 - 小売業者には販売できない商品であっても、補充のために商品一覧に記載されている場合があります。パンフレット、表示項目、出荷業者などの項目は、PIF には含まれていますが、販売対象ではなく、共有モデルにも影響を与えないため、属性を設定する必要はありません。
- 識別できない商品 - 商品の説明が、商品コードを識別するには不十分である場合があります。PIF には取扱中の商品と、取扱停止された商品の両方が含まれるため、Web サイトを検索しても、商品コードが分からない場合があります。この間



題が発生した場合は、「顧客ステータス」フィールドを確認してください。取り扱い中止となっている場合、商品を除外します。

商品をドロップするには、「モデルに含まれる」列に「いいえ」と入力します。これによってモデル化プロセスがトリガーされ、その商品はモデル化処理の際に無視され、最適化処理からも商品が除外されるようになります。

C
Included in Model
Yes
No
No
No
No
No
No

Enter No in the Included in Model column

PIF をインポートすると、ドロップしたすべての商品は、DROPPED\_FROM\_MODELING デマンド・グループに自動的に移動されます (このシステム設定を有効にしている場合)。商品を手動で PIF 内のデマンド・グループに移動すると、「モデルに含まれる」は、PIF によるインポート時に自動的に「いいえ」に設定されます。このシステム設定が無効である場合には、ドロップされた商品は、既存のデマンド・グループに残ります。

注: IBM Price Optimization および IBM Price Management でルール・グループおよび価格設定アクションにドロップされた商品を定期的を含める場合には、DROPPED\_FROM\_MODELING デマンド・グループにドロップされた商品を自動的に移動するためのシステム設定を有効にしないでください。有効にすると、DROPPED\_FROM\_MODELING デマンド・グループと NON\_MODELED モデル・カテゴリーに商品が自動的に割り当てられ、ルール・グループ内のその他商品の割り当てによっては、ルール違反が作成される可能性があるためです。

PIF の「モデルに含まれる」列で「いいえ」を「はい」に変更して、モデル化処理に商品を含めるように後で選択する場合は、商品の新しいデマンド・グループを指定する必要があります。デマンド・グループがない商品は、新商品と一緒にデフォルトのデマンド・グループに自動的に割り当てられます。

## デマンド・グループ構造の取り込み

デマンド・グループは、代替可能性の非常に高い商品の集まりです。

デマンド・グループは、代替可能性の非常に高い商品の集まりです。グループ内のあるアイテムの価格とプロモーションは、他のアイテムの需要に直接影響します。デマンド・グループ名は 50 文字以下の長さで指定できます。例えば、LARGE EGGS、EGGS SUBSTITUTE、DIET SOFT DRINKS というようなデマンド・グループ名を指定できます。PIF では、「デマンド・グループ」列にデマンド・グループを割り当てます。

商品と一緒にデマンド・グループを取り込む前に、次の点について考慮してください。

- 季節商品は、それぞれ専用のデマンド・グループに含める必要があります
- 商品は同様のサイズである必要があります。試供品サイズや業務用サイズ (非常に大きい) の商品は、それぞれ専用のデマンド・グループに入れてください。
- 商品は代替可能性が非常に高いため、プライス・ポイントは同様である必要があります。
- 検討事項: 棚に並ぶ商品をどのように宣伝するか - カスタマーは購入決定の際に何を確認するのか?
- 検討事項: ある商品に対してプロモーションを行うと、どの商品にカニバリゼーションが発生する?
- 平均的カスタマーが店舗でカテゴリーを購入する方法を常に念頭に置いてください。

デマンド・グループを PIF に保存するときには、以下のようなベスト・プラクティスがあります。

- 「デマンド・グループ」フィールドにデマンド・グループを入力します。
- カスタム・フィルターを使用すると便利です。
- 「参照レベル」フィールド (商品階層) 情報を使用します。
- PIF の列を移動または非表示にして、重要な情報を横に並べます

デマンド・グループの名前を入力するときにはいくつかのルールがあります。

- 最大 50 文字
- 英数字のみ
- デマンド・グループ名はすべて大文字にする
- 小さなデマンド・グループの選択:
  - 一般的な経験則により、デマンド・グループには 15 から 50 の商品を含める
  - 可能な場合、単一商品のデマンド・グループは避ける
  - サフィックスを使用してデマンド・グループを分離する
  - PRM = プレミアム (例えば、LOTION\_PRM)
  - ECON = エコノミー (例えば、LOTION\_ECON)
  - TS = 試供品サイズ (例えば、LOTION に対して LOTION\_TS)
  - IND = 業務用サイズまたは大容量サイズ (例えば、TOMATO\_SAUCE に対して TOMATO\_SAUCE\_IND)

## サイズと計測単位の換算

データ・プロバイダーからのサイズ情報と計測単位 (UOM) 情報は、必ずしもモデル化処理で使用できるわけではありません。

データ・プロバイダーからのサイズ情報と計測単位 (UOM) 情報は、必ずしもモデル化処理で使用できるわけではありません。モデル化に適切なサイズと計測単位を適用するには、消費者動向の把握が必要です。例えば、チョコレート・バーに関するデータは以下のとおりです。

- Hersheys アーモンド・バー 6 オンス



- Milky Way バー 5.3 オンス
- Three Musketeers バー 6.2 オンス

消費者は、チョコレート・バーの重さに基づいて価格を支払っているわけではありません。そうではなく、消費者はチョコレート・バーを 1 つと数えて選んでいるのです。そのため、サイズは 1、計測単位は数 (CT) となるべきです。

別の例で、洗濯用液体洗剤に関するデータは以下のとおりです。

- Tide 128 オンス (32 回分)、¥9.99
- Tide Ultra 64 オンス (32 回分)、¥9.99
- Tide 64 オンス (16 回分)、¥5.99

消費者は、パッケージの重さに基づいて価格を支払っているわけではありません。その代わりに、消費者は各商品で完了できる洗濯回数を考慮して価格を支払っています。サイズおよび洗濯回数の計測単位を変更することで、商品を換算でき、価格に相対するサイズ/計測単位がより意味を持つようになります。

デマンド・グループ内に計測単位が 2 つあることは好ましくありませんが、必要である場合があります。例えば、マニキュアの除光液には、重さ (オンス) と数の両方の単位が存在します。各計測単位での商品の分布が均等である場合、これは問題にならない可能性があります。モデル化処理は、各計測単位に固有の換算値を割り当てます。しかし、サンプリングが十分でない単位の値が 1 つでも存在する場合、その単位の中心価格が正しくない場合があります。

## ブランド名のスクラビング

属性設定プロセスにおけるブランド割り当ては、一貫性のあるブランド・ルールを確実に実施するために非常に重要です。

属性設定プロセスにおけるブランド割り当ては、一貫性のあるブランド・ルールを確実に実施するために非常に重要です。以下のような例に対応する必要があります。

- ブランドは、ブランドではなく、メーカーを表す場合があります。シリアルなどのカテゴリーにおいては、「ブランド」フィールドは通常メーカー名です (例えば、Cheerios ではなく General Mills)。PIF のブランド名が実際のブランドを反映するように変更することで、Everyday Price Optimization および Everyday Price Management にルールを適用することができます。
- ブランド名は統一されていません。何年もの間に多くの人がカテゴリーのデータを管理しているため、ブランド名の不整合はよく起こります (例えば、Natural Grain が NaturalGrain となっている、または Starkist が Strkst、SK、Stkst となっている)。
- ブランド名が提供されない場合があります。その場合は PIF で入力する必要があります。

## Everyday Price Optimization および Everyday Price Management の属性

商品関係属性は、モデル化プロセスには必要ありませんが、Everyday Price Optimization ルールと Everyday Price Management ルールで使用されます。

商品関係属性は、モデル化プロセスには必要ありませんが、Everyday Price Optimization ルールと Everyday Price Management ルールで使用されます。Price アプリケーションで最適化シナリオを作成する予定の場合は、商品情報ファイル (PIF) にこれらの属性を追加します。105 ページの『第 6 章 モデル化の属性設定』で説明されている必須属性のモデルについては、モデル化チームが処理しますが、ユーザーはこのオプション属性に値を割り当てることができます。

商品関係属性により、異なるライン・グループ、サイズ、ブランド、または最適化シナリオのその他の分類タイプ間で価格関係が確立されます。

**注:** PIF のモデル化からドロップ済みの商品は、商品関係属性が割り当て済みであってまだアクティブである場合には、Everyday Price Optimization および Everyday Price Management の最適化シナリオに含まれることになります。価格設定アクションに商品を含めない場合には、商品関係属性を商品に割り当てないでください。

### 関連トピック

105 ページの『第 6 章 モデル化の属性設定』

属性設定では、デマンド・グループ、サイズ、計測単位、およびその他の属性を商品情報ファイル (PIF) の商品に割り当てる作業があります。

『属性表』

商品関係属性列の説明、許容値、PIF に取り込まれたデータの取得元については、次の表を参照してください。

115 ページの『カテゴリの把握』

以下のリソースを使用して、商品およびカテゴリを調査できます。

124 ページの『ライン・グループの割り当て』

ライン価格グループは、同様の価格の「類似」商品 (同一商品の別のフレーバーや香りなど) で構成されます。

124 ページの『サイズ・ファミリーとサイズ・クラスの割り当て』

サイズ・ファミリーとサイズ・クラスを使用すると、Everyday Price Optimization および Everyday Price Management からの推奨に従って、常に確実に、サイズの大きい方の価格を小さい方より高くし、同じ商品では換算サイズの大きい方を換算サイズの小さい方より割安にすることができます。

125 ページの『ブランド・ファミリーとブランド・クラスの割り当て』

ブランド・ファミリー名は商品同士を結合し、ブランド・クラスはブランド内の商品を区別します。

126 ページの『その他 1 および 2 のファミリーとその他 1 および 2 のクラスの割り当て』

その他ファミリー/その他クラスは、多くの場合、「良、優、および最良」または「最低価格」などの価格戦略をサポートする関係を作成するために使用します。

### 属性表

商品関係属性列の説明、許容値、PIF に取り込まれたデータの取得元については、次の表を参照してください。

商品関係属性列の説明、許容値、PIF に取り込まれたデータの取得元については、次の表を参照してください。

属性名	属性の説明	カテゴリの許容値 - PIF の完成方法	データ・ソース - あらかじめ入力されているデータの取得元
サイズ・クラス (Size Class)	<p>IBM OpenLink または IBM Price Management に適用されます。サイズ・ファミリーの各アイテムに番号/レベルが指定されます: 8 oz = SMALL、16 oz = MEDIUM、24 oz = LARGE</p>	<p>許容されるサイズ・クラス・フォーマットは、IBM Price Management のカテゴリに定義されたサイズ・クラスです。サイズ・クラスが定義されていない場合は、デフォルトのサイズ・クラス (XXX-LARGE、XX-LARGE、X-LARGE、LARGE、MEDIUM、SMALL、X-SMALL、XX-SMALL、XXX-SMALL) が使用されます。これらは後で、IBM Price で変更できます。最大 50 文字。</p> <p>サイズ・クラスには、ボーナス商品や試供品/トラベル・サイズを含めないでください。</p>	空欄
サイズ・ファミリー (Size Family)	<p>IBM OpenLink または Price Optimization に適用されます。サイズ・ファミリーは、絶対的な基準を基本にして (例えば、Small &lt; Medium &lt; Large の価格設定など)、また、換算価格による相対的な基準を基本にして (例えば、大きなサイズの商品は中サイズの商品よりも良い換算価格があるなど)、同じ商品の異なるサイズの価格をどのように設定するかを決定するルールとなります。</p>	最大 50 文字の英字。	空欄

ブランド・クラス (Brand Class)	ファミリー内の 2 つの商品を差別化する値。この場合、ブランド・クラスがブランド・ファミリー内の商品を差別化します。	ナショナル、自社ラベル、その他必要に応じて定義される値。最大 50 文字。	小売業者の商品ファイル。通常は空欄。
ブランド・ファミリー	ルールにより比較する目的で 2 つの商品を互いにリンクする値。ブランド・ファミリーは、通常、ブランド間で比較される商品のタイプとサイズを示します。	英字。正しくない文字文字 (&, /, *) を含まないこと。最大 50 文字	小売業者の商品ファイル。通常は空欄。
ライン・グループ	小売業者により送信されるライン価格グループの値。	英数字。スペースや正しくない文字 (&, /, *) を含まないこと。最大 50 文字	小売業者の商品ファイル
事前価格設定済み	小売業者により提供される事前価格設定済みの商品を示します。事前価格設定済みの商品の場合、1 が入ります。事前価格設定済み商品の価格は、最適化中に変更されません。	事前価格設定済み商品 = 1 事前に価格が設定されない商品 = 0	デフォルトは 0 です。小売業者がこの値を指定する場合、1 は事前価格設定済み商品であることを示します。
その他クラス 1	ファミリー内の 2 つの商品を差別化する値。この場合、その他クラス 1 は、その他ファミリー 1 内の商品とは差別化されます。	最大 50 の英数字。	空欄
その他ファミリー 1	ルールにより比較する目的で 2 つの商品を互いにリンクする値。商品のその他ファミリー 1 のグループは、商品の特性を基準とします。	最大 50 の英数字。	空欄
その他クラス 2	ファミリー内の 2 つの商品を差別化する値。この場合、その他クラス 2 は、その他ファミリー 2 内の商品とは差別化されます。	最大 50 の英数字。	空欄

その他ファミリー 2	ルールにより比較する目的で 2 つの商品を互いにリンクする値。商品のその他ファミリー 2 のグループは、商品の特性を基準とします。	最大 50 の英数字。	空欄
------------	---	-------------	----

## 事前価格設定済み商品のレビュー

事前価格設定済みアイテムにルールを割り当てて、最適化中に金額が動かないようにする必要があります。

事前価格設定済み商品には、決められた価格が存在します。これらのアイテムには、決められた価格を超えないようにするため、価格設定の規制が設定されています。結果として、アイテムにルールを割り当てて最適化中に金額が移動しないようにする必要があります。

PIF において、「事前価格設定済み」列には、1 または 0 が設定されます (事前価格設定済み商品には 1、事前価格設定済み商品でない場合は 0)。ほとんどの商品には事前に価格は設定されていませんが、スナックなど、カテゴリーによっては多くの事前価格設定済みアイテムが存在する場合があります。

F
Pre Priced
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0
0

The Pre Priced column shows 0 for non-pre-priced items.

フィールドが空欄である場合、事前価格設定された商品かどうかを識別する方法がいくつかあります。

- 文字の組み合わせ (PP、PPC) が商品の説明に含まれている。
- 商品の説明フィールド内に価格が含まれている。
- 割り当てられている他の属性が、事前価格設定済み商品に指定されている。

## ライン・グループの割り当て

ライン価格グループは、同様の価格の「類似」商品 (同一商品の別のフレーバーや香りなど) で構成されます。

ライン価格グループは、同様の価格の「類似」商品 (同一商品の別のフレーバーや香りなど) で構成されます。ライン・グループは、ライン・グループ・ルールで使用されます。

ライン・グループの値は、通常、小売業者により送信されるため、ユーザーはライン・グループ列を変更する必要は全くありません。PIF の「ライン・グループ」フィールドの値を変更すると、新しい情報が Everyday Price Optimization と Everyday Price Management に送信されます。

## サイズ・ファミリーとサイズ・クラスの割り当て

サイズ・ファミリーとサイズ・クラスを使用すると、Everyday Price Optimization および Everyday Price Management からの推奨に従って、常に確実に、サイズの大きい方の価格を小さい方より高くし、同じ商品では換算サイズの大きい方を換算サイズの小さい方より割安にすることができます。

### このタスクについて

サイズ・ファミリーとサイズ・クラスを使用すると、Everyday Price Optimization および Everyday Price Management からの推奨に従って、常に確実に、サイズの大きい方の価格を小さい方より高くし、同じ商品では換算サイズの大きい方を換算サイズの小さい方より割安にすることができます (例えば、Twinlab Vitamin C 30 CT の最適化された価格は Twinlab Vitamin C 60 CT よりも安くなりますが、60 個の方が、タブレットあたりの値段は安くなります)。つまり、サイズが大きい方が得になります。

サイズ・ファミリーとサイズ・クラスは、「コンテンツの編集」画面から変更することができます。詳しくは、138 ページの『「コンテンツの編集」ページでのコンテンツの編集』を参照してください。

**注:** サイズ・ファミリー名は、同一ブランド内でのみ使用できます。

次の例では、サイズ・ファミリーとサイズ・クラスがどのように使用されるかを説明します。

Product Description	Demand Group	Brand	Size	UOM	Size Family	Size Class
Contadina Tomato Sauce	Tomato_sauce	Contadina	8	OZ	Contadina Sauce	SMALL
Contadina Tomato Sauce	Tomato_sauce	Contadina	15	OZ	Contadina Sauce	MEDIUM
Contadina Tomato Sauce	Tomato_sauce	Contadina	24	OZ	Contadina Sauce	LARGE
Contadina Tomato Sauce	Ind_tomato_sauce	Contadina	128	OZ		
Private Label Tomato Sauce	Tomato_sauce	Private Label	8	OZ	PL Sauce	SMALL
Private Label Tomato Sauce	Tomato_sauce	Private Label	15	OZ	PL Sauce	MEDIUM
Private Label Tomato Sauce	Tomato_sauce	Private Label	24	OZ	PL Sauce	LARGE
Hunts Tomato Sauce	Tomato_sauce	Hunts	8	OZ	Hunts Sauce	SMALL
Hunts Tomato Sauce	Tomato_sauce	Hunts	15	OZ	Hunts Sauce	MEDIUM
Hunts Tomato Sauce	Tomato_sauce	Hunts	24	OZ	Hunts Sauce	LARGE

この例では、サイズ・ファミリー (Contadina ソース) が 3 つの商品をリンクしています。サイズ・クラス (Small、Medium、Large) は、ファミリー内の個々の商品を区別します。サイズ・クラスに指定可能な値は次のとおりです。

- XXX-SMALL
- XX-SMALL
- X-SMALL
- SMALL
- MEDIUM
- LARGE
- X-LARGE
- XX-LARGE
- XXX-LARGE

注: 無料商品は大きなサイズに設定してはなりません。例えば、12 オンスのシャンプーと、15 オンス (12 オンス + 無料分 3 オンス) のシャンプーは、実質的には同じサイズになります。

サイズ・ファミリーとサイズ・クラスを割り当てるには、以下のようにします。

### 手順

1. PIF をブランド、サイズの順番で並び替えます。

注: 商品の説明が完了している場合、まず商品の説明ごとに並び替えることができます。

2. 自然なグループ分けを探し、構造を割り当てます。ボーナス商品に注意し、商品の価格を再確認します。

### ブランド・ファミリーとブランド・クラスの割り当て

ブランド・ファミリー名は商品同士を結合し、ブランド・クラスはブランド内の商品を区別します。



## このタスクについて

ブランド・ファミリーとブランド・クラスの値は、Everyday Price Optimization および Everyday Price Management で使用されます。ブランド・ファミリー名は商品同士を結合し、ブランド・クラスはブランド内の商品を区別します。

次の例では、ブランド・ファミリーとブランド・クラスがどのように使用されるかを説明します。

Product Description	Demand Group	Brand	Size	UOM	Brand Family	Brand Class
Contadina Tomato Sauce	Tomato_sauce	Contadina	8	OZ	8 oz	National
Contadina Tomato Sauce	Tomato_sauce	Contadina	15	OZ	15 oz.	National
Contadina Tomato Sauce	Tomato_sauce	Contadina	24	OZ	24 oz.	National
Contadina Tomato Sauce	Ind_tomato_sauce	Contadina	128	OZ		
Private Label Tomato Sauce	Tomato_sauce	Private Label	8	OZ	8 oz	Private
Private Label Tomato Sauce	Tomato_sauce	Private Label	15	OZ	15 oz.	Private
Private Label Tomato Sauce	Tomato_sauce	Private Label	24	OZ	24 oz.	Private
Hunts Tomato Sauce	Tomato_sauce	Hunts	8	OZ	8 oz	National
Hunts Tomato Sauce	Tomato_sauce	Hunts	15	OZ	15 oz.	National
Hunts Tomato Sauce	Tomato_sauce	Hunts	24	OZ	24 oz.	National

ブランド・ファミリーとブランド・クラスを割り当てるには、以下のようにします。

### 手順

1. PIF をサイズ、ブランドの順番で並び替えます。
2. 自然なグループ分けを探し、構造を割り当てます。

### その他 1 および 2 のファミリーとその他 1 および 2 のクラスの割り当て

その他ファミリー/その他クラスは、多くの場合、「良、優、および最良」または「最低価格」などの価格戦略をサポートする関係を作成するために使用します。

その他ファミリーおよびその他クラスは、ブランド・ファミリー/クラスがすでに活用されている場合に、その他の関係を確立します。その他ファミリー/その他クラスは、多くの場合、「良、優、および最良」または「最低価格」などの価格戦略をサポートする関係を作成するために使用します。

その他ファミリー/クラスは、以下の状況におけるさまざまな価格ルール目標に使用できます。

- ファミリーにより、サイズで比較される商品が結合されている。
- クラスにより、ファミリー内の商品が差別化されている。

IBM Omni-Channel Merchandising は、その他ファミリー/その他クラスの値を 2 セット提供しています。そのため、その他ファミリー 1/その他クラス 1 とその他ファミリー 2 /その他クラス 2 の 2 つを利用できます。

注: その他 1 同士、その他 2 同士を常に一緒に使用してください。そうしなければ、最適化中にこのルールが正しく適用されません。



次の例では、その他ファミリーとその他クラスの値がどのように使用されるかを説明します。

例 1: 良、優、最良戦略 (エコノミー vs プレミアム)。ここで小売業者は以下の条件を必要としています。

- ストロー・ブランド = 良
- スティック・ブランド = 優
- ブリック・ブランド = 最良

Product Description	Size / Unit of Measure	Other Family 1	Other Class 1
Straw	1 count	1 ct building material	Good
Straw	4 count	4 ct building material	Good
Straw	8 count	8 ct building material	Good
Sticks	1 count	1 ct building material	Better
Sticks	4 count	4 ct building material	Better
Sticks	8 count	8 ct building material	Better
Brick	1 count	1 ct building material	Best
Brick	4 count	4 ct building material	Best
Brick	8 count	8 ct building material	Best

例 2: 最低価格戦略。この戦略ではカテゴリ内の他のブランド戦略に関わらず、小売業者は 1 つのブランドを棚出しの最低価格に使用します。

最低価格ブランド = スーパー・セーバー

Product Description	Size / Unit of Measure	Other Family 1	Other Class 1
Cottonelle	Single	Single	Other
Cottonelle	4 pack	4 pack	Other
Cottonelle	8 pack	8 pack	Other
Charmin	Single	Single	Other
Charmin	4 pack	4 pack	Other
Charmin	8 pack	8 pack	Other
Super Saver	Single	Single	Low
Super Saver	4 pack	4 pack	Low
Super Saver	8 pack	8 pack	Low

## PIF のインポート

この手順は、PIF をインポートする場合に使用します。

### このタスクについて

PIF の値をすべて入力したら、PIF を OpenLink に再度インポートできます。インポートする前に確認しておく有用なヒントがいくつかあります。

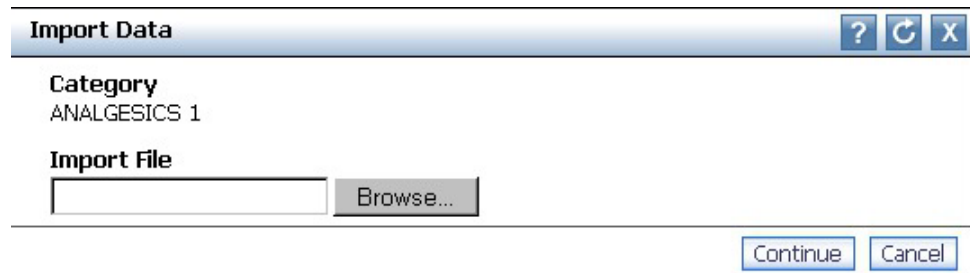
- PIF を保存し、保存した場所を覚えておきます。

- PIF は、開いた状態または閉じた状態でインポートできます。
- 式を削除します (「形式を選択して貼り付け」>「値」)。
- PIFファイルのフィルターはオフにします。
- 追加列を削除します (列は移動できます)。
- Excel ワークブックの他のスプレッドシートは削除します。

PIF をインポートするには、以下のようにします。

## 手順

1. 「オープン・リンク」>「カテゴリー・マネージャー」を選択し、「カテゴリー・マネージャー」ページを開きます。
2. インポートするカテゴリーを右クリックし、「データのインポート」を選択します。「データのインポート」ダイアログ・ボックスが表示されます。



3. PIF を見つけるには、「参照」をクリックします。
4. 「続行」をクリックします。PIF のインポートが完了したときにアラートを受け取るように登録している場合、PIF をインポートしたユーザーの E メール・アカウント、またはアプリケーションの右上にあるアラート受信箱、またはその両方に E メールが自動的に送付されます。アラートの設定について詳しくは、25 ページの『アラート受信箱』を参照してください。

注: 「続行」をクリックした後すぐにエラーが表示される場合には、以下を確認してください。

- PIF が Excel ワークブックの最初のスプレッドシートになっている。
  - PIF の名前 (Excel のスプレッドシート名) が長すぎない。
5. E メールを開いて、インポートの状況メッセージを表示します。このメッセージには、エラーがなく PIF が正しくインポートされたことが表示されるか、インポート・エラーが表示されます。
    - 成功メッセージは次のようになります:

**Subject:** edu1.edu - File 6\_6\_export\_ORAL+CARE+1\_answers.xls - PIF import finished  
**Received Time:** Feb 10, 2009 4:47 PM

**Content**

PIF import for company edu1.edu has finished.  
Number of Records Imported : 402  
Number of records with null mandatory fields: 0

**Additional Information:**

---

Total Processed Records = 402  
Total Imported Records = 402

- エラー・メッセージは次のようになります:

1.

PIF import for company ed1.edu has finished.  
Number of Records Imported : 402  
Number of records with null mandatory fields: 1

List of records with null mandatory fields:			
Column Description	Sheet Name	Row #	Column #
Demand Group	Sheet0	34	6

Additional Information:  
Detect invalid size class [MEDIUM], all valid size classes are: XXX-LARGE, XX-LARGE, X-LARGE, LARGE, MEDIUM, SMALL, X-SMALL, XX-SMALL, XXX-SMALL, Sheet [Sheet0]

Number of products skipped because of size class invalid: 1  
And in line this error occurs, Line number: 48

Total Processed Records = 402  
Total Imported Records = 402

This means that a Demand Group is blank

This indicates that the size class 'MEDIUM' is invalid. In this case, it was misspelled in the PIF.

2.

PIF import for company sas1.com has finished.  
Number of Records Imported : 0  
Number of records with null mandatory fields: 0

Additional Information:  
UPC productid not match, productid [163371], skipping Line 3 in the Sheet[Sheet1]  
UPC productid not match, productid [163453], skipping Line 4 in the Sheet[Sheet1]  
UPC productid not match, productid [364835], skipping Line 5 in the Sheet[Sheet1]  
UPC productid not match, productid [163446], skipping Line 6 in the Sheet[Sheet1]  
UPC productid not match, productid [364928], skipping Line 7 in the Sheet[Sheet1]  
UPC productid not match, productid [362048], skipping Line 8 in the Sheet[Sheet1]  
UPC productid not match, productid [163622], skipping Line 9 in the Sheet[Sheet1]  
UPC productid not match, productid [364290], skipping Line 10 in the Sheet[Sheet1]  
UPC productid not match, productid [163444], skipping Line 11 in the Sheet[Sheet1]  
UPC productid not match, productid [363844], skipping Line 12 in the Sheet[Sheet1]  
UPC productid not match, productid [163468], skipping Line 13 in the Sheet[Sheet1]  
UPC productid not match, productid [163474], skipping Line 14 in the Sheet[Sheet1]  
UPC productid not match, productid [163687], skipping Line 15 in the Sheet[Sheet1]  
UPC productid not match, productid [163403], skipping Line 16 in the Sheet[Sheet1]  
UPC productid not match, productid [163557], skipping Line 17 in the Sheet[Sheet1]

.The file was likely sorted inaccurately.

3.

This means the products were moved to a different category that you do not have permission to access. This is the only reason that you can delete products from a PIF.

PIF import for company sas1.com has finished.  
Number of Records Imported : 261  
Number of records with null mandatory fields: 0

Additional Information:  
You do not currently have permissions to access this product's category in database. Product UPC: 0000016333\_003, Category Name: GM\_PET\_CARE, skipping Line 215, Sheet: Sheet1  
You do not currently have permissions to access this product's category in database. Product UPC: 0000016330\_003, Category Name: GM\_PET\_CARE, skipping Line 220, Sheet: Sheet1

Total Processed Records = 263  
Total Imported Records = 261

- 3 つすべての場合で、PIF を編集し、エラーを修正して PIF を再インポートできます。

## 最終チェックの実行

PIF に属性を設定し OpenLink にインポートした後、最終チェックを実行してモデル化処理で用いられる商品情報が確実にクリーンなものになるようにします。

PIF に属性を設定し OpenLink にインポートした後、最終チェックを実行してモデル化処理で用いられる商品情報が確実にクリーンなものになるようにします。

「モデルの正常性」レポートには、Everyday Price Optimization および Everyday Price Management と、指定のカテゴリのプロモーション計画および最適化サービスで使用されるアクティブ・モデルのステータスを表示する表があります。再モデル化の時期やユーザーが定義するしきい値を基準にモデル更新を実行する時期を決定する上でこれが役立ちます。

### 関連トピック

『換算単位の実行』

換算単位のチェックでは、代替可能性の高い商品内での価格範囲に含まれない商品を見つけます。

135 ページの『整合性チェックの実行』

「**カテゴリ明細**」ページで、デマンド・グループとブランドの整合性チェックを行います。

137 ページの『コンテンツの編集』

商品情報の最終的な編集を行うことができます。

154 ページの『デマンド・グループの新商品への自動割り当て』

カテゴリを再モデル化する前に、追加されている新商品をデマンド・グループに割り当てる必要があります。

140 ページの『モデルの正常性の表示』

「**モデルの正常性**」レポートでは、カテゴリに対する売上履歴と品揃え構成が変更されることによって、それらのカテゴリに対してこれまで実行されたモデルがどのような影響を受けるかを把握できます。

## 換算単位の実行

換算単位のチェックでは、代替可能性の高い商品内での価格範囲に含まれない商品を見つけます。

デマンド・グループは、代替可能性の非常に高い商品の集まりであるため、それらの商品は比較的価格が近いものにする必要があります。例えば、¥2.59 の歯ブラシと、¥34.99 の電動歯ブラシを、同じデマンド・グループに含めることはできません。

換算単位のチェックでは、代替可能性の高い商品内での価格範囲に含まれない商品を見つけます。商品が範囲外であるとみなされるのは、その商品のサイズが、デマンド・グループ・サイズの中央値の 50% より大きい場合か小さい場合、または、換算価格が価格比率の 5% より大きい場合か小さい場合です。

換算単位は、「**カテゴリ・マネージャー**」ページ、または「**カテゴリ・ワークスペース**」ページから実行できます。

### 関連トピック

『「カテゴリ・マネージャー」 ページでの換算単位の実行』

この手順は、「カテゴリ・マネージャー」 ページで換算単位を実行する場合に使用します。

133 ページの『「カテゴリ・ワークスペース」 ページでの換算単位の実行』

この手順は、「カテゴリ・ワークスペース」 ページで換算単位を実行する場合に使用します。

## 「カテゴリ・マネージャー」 ページでの換算単位の実行

この手順は、「カテゴリ・マネージャー」 ページで換算単位を実行する場合に使用します。

### このタスクについて

「カテゴリ・マネージャー」 ページで換算単位を実行するには、以下のようになります。

### 手順

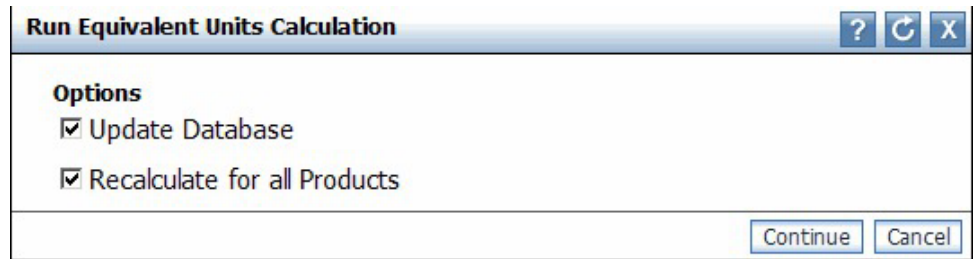
1. 「オープン・リンク」 > 「カテゴリ・マネージャー」 を選択し、「カテゴリ・マネージャー」 ページを開きます。

「詳細」 タブの「換算対象 POS 数」 列には、属性設定プロセスでカテゴリが完了済みに変更される前に換算単位を実行しなければならない POS データのある商品数が表示されます。このページを編集して、「換算対象数」 列を表示し、換算単位を実行しなければならない商品の合計数を参照することもできます。この情報は未モデル化カテゴリに役立ちます。

# with POS to be Equalized and # to be Equalized columns

Category Name	# of Unattributed Products	# without POS	# with POS to be Equalized	# to be Equalized	# of Dropped Products	# of Products Leaving Category	# of Products Entering Category	Production Optimization	Price Delivery Pending
ARRANGEMENTS_BOU...	0	636	0	0	281	3	3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
AUDIO_VIDEO_HOME...	0	17	0	0	4	0	0	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
AUTOMOTIVE_GM	0	3	0	0	20	0	0	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
AUTOMOTIVE_WHSE	0	3	0	0	0	0	0	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
BABYFOOD_FORMULA...	0	21	0	0	56	0	0	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
BABY_ACCESSORIES	0	8	0	0	26	0	0	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
BABY_NEEDS	0	13	0	0	27	0	0	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
BACON	4	41	0	4	4	0	0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
BAKED_GOODS_FROZEN	3	22	0	3	12	0	0	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
BAKERY_SWEET	0	242	0	0	159	2	1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2. カテゴリを右クリックし、「換算単位の実行」 を選択します。「換算単位計算の実行」 ダイアログ・ボックスが表示されます。



3. 「データベースの更新」を設定して、モデル化データベースを換算単位の値で更新します。この処理は、モデル化を開始する前に完了しなければなりません。また、更新処理や、サブセットの最適化処理のためにも実行する必要があります。
4. 「すべての商品を再計算」を設定し、カテゴリ内のすべての商品の換算単位を計算します。これにより、カテゴリ内の既存の換算単位はすべて更新されます。そのため、初回のカテゴリ最適化や、カテゴリの完全な再モデル化でのみ実行します。

注: 「すべての商品を再計算」オプションにより、すでにモデル化されているカテゴリのモデル化係数が削除されます。

5. 「OK」をクリックします。この処理によって、商品のすべての単価とサイズが制限範囲内であることがチェックされます。

注: モデル化の準備が整った場合は、「データベースの更新」オプションと「すべての商品を再計算」オプションの両方を設定する必要があります。それ以外の場合は、「データベースの更新」オプションのみを設定します。

### 「カテゴリ・ワークスペース」ページでの換算単位の実行

この手順は、「カテゴリ・ワークスペース」ページで換算単位を実行する場合に使用します。

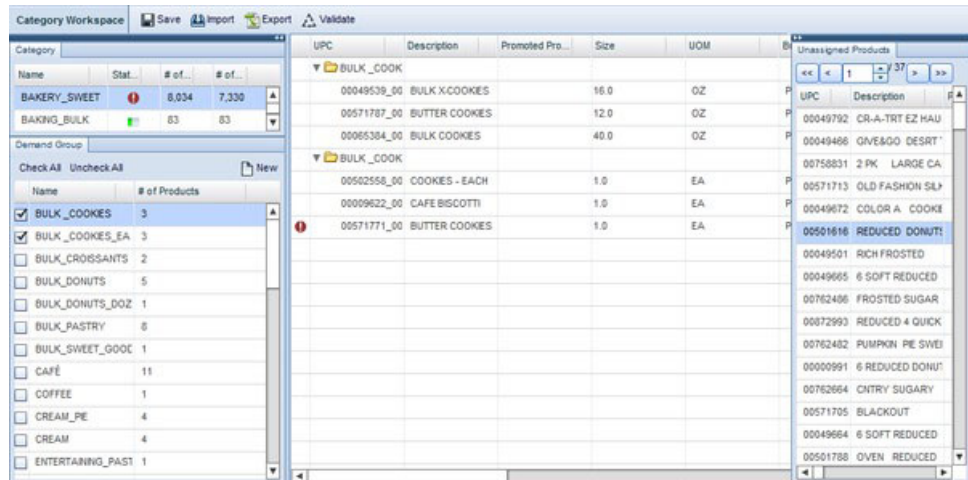
#### このタスクについて

「カテゴリ・ワークスペース」ページで換算単位を実行するには、以下のようになります。

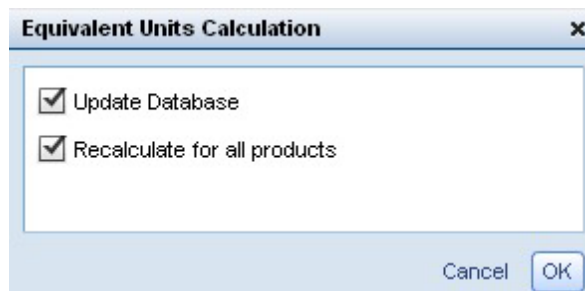
#### 手順

1. 「オープン・リンク」>「カテゴリ・マネージャー」を選択し、「カテゴリ・マネージャー」ページを開きます。
2. カテゴリを右クリックし、「カテゴリ・ワークスペース」を選択して「カテゴリ・ワークスペース」ページを開きます。





- 「カテゴリ」パネルでカテゴリーを選択した後で、「デマンド・グループ」パネルでデマンド・グループを 1 つ以上選択します。選択したデマンド・グループのすべての商品が、ページの中央の「割り当て済み商品」リストに表示されます。デフォルトのデマンド・グループ内のすべての商品が「未割当商品」パネルに表示されます。
- ページ上部にある「検証」ボタンをクリックし、「換算単位のチェック」を選択します。「換算単位計算の実行」ダイアログ・ボックスが表示されます。



- 「データベースの更新」を設定して、モデル化データベースを換算単位の値で更新します。この処理は、モデル化を開始する前に完了しなければなりません。また、更新処理や、サブセットの最適化処理のためにも実行する必要があります。
- 「すべての商品を再計算」を設定し、カテゴリー内のすべての商品の換算単位を計算します。これにより、カテゴリー内の既存の換算単位はすべて更新されます。そのため、初回のカテゴリー最適化や、カテゴリーの完全な再モデル化でのみ実行します。

注: 「すべての商品を再計算」オプションにより、すでにモデル化されているカテゴリーのモデル化係数が削除されます。

- 「OK」をクリックします。この処理によって、商品のすべての単価とサイズが制限範囲内であることがチェックされます。検証の実行中は、「検証」ボタンに「検証を実行中」と表示され、すべてのパネルが読み取り専用になります。
- 「リフレッシュ」ボタンをクリックします。検証が完了すると、割当済みと未割当のどちらの商品についても、エラーが検出されたフィールドが強調表示されま



す。強調表示されているフィールドにポインターを移動すると、エラー・ツールチップにエラーの説明が表示されます。フィールド値を変更してから、換算単位のチェックを再実行します。

注: 「未割当商品」パネルの列は編集できないため、「コンテンツの編集」ページでエラーのあるフィールドを更新する必要があります。このページでは、カテゴリーを「デフォルトのデマンド・グループ」でフィルタリングすることで、未割当商品を表示します。

注: モデル化の準備が整った場合は、「データベースの更新」オプションと「すべての商品を再計算」オプションの両方を設定する必要があります。それ以外の場合は、「データベースの更新」オプションのみを設定します。

## 整合性チェックの実行

「カテゴリー明細」ページで、デマンド・グループとブランドの整合性チェックを行います。

### このタスクについて

「カテゴリー明細」ページで、デマンド・グループとブランドの整合性チェックを行います。新商品の場合や、商品変更の数が少ない場合の修正は、「コンテンツの編集」ページや PIF で実行できます。

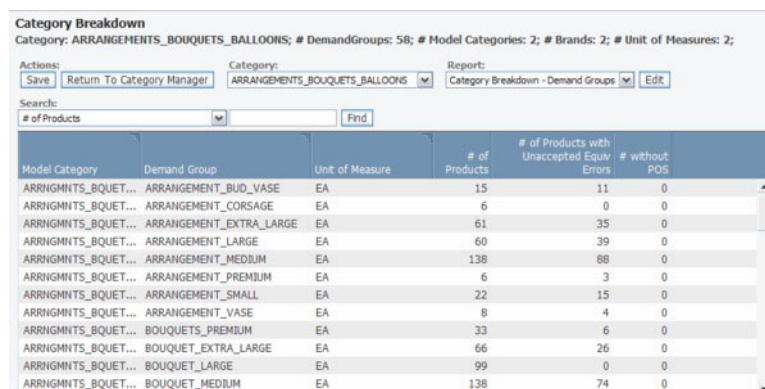
以下の項目についてチェックを実行できます。

- 複数の計測単位が含まれるデマンド・グループ
- 承諾されていない換算エラー (サイズと価格)
- デフォルトのデマンド・グループ内の複数商品
- スキャン履歴の存在する、デフォルトのデマンド・グループ内の商品
- ミススペルや変則データによる、ブランド名の重複

整合性チェックは以下のように実行します。

### 手順

1. 「オープン・リンク」> 「カテゴリー・マネージャー」を選択し、「カテゴリー・マネージャー」ページを開きます。
2. カテゴリーを右クリックし、「カテゴリー明細」を選択します。「カテゴリー明細」ページが表示されます。



Category Breakdown  
Category: ARRANGEMENTS\_BOUQUETS\_BALLOONS; # DemandGroups: 58; # Model Categories: 2; # Brands: 2; # Unit of Measures: 2;

Actions: Save | Return To Category Manager | Category: ARRANGEMENTS\_BOUQUETS\_BALLOONS | Report: Category Breakdown - Demand Groups | Edit

Search: # of Products [Find]

Model Category	Demand Group	Unit of Measure	# of Products	# of Products with Unaccepted Equiv Errors	# without POS
ARRNGMNTS_BQUET...	ARRANGEMENT_BUO_VASE	EA	15	11	0
ARRNGMNTS_BQUET...	ARRANGEMENT_CORSAGE	EA	6	0	0
ARRNGMNTS_BQUET...	ARRANGEMENT_EXTRA_LARGE	EA	61	35	0
ARRNGMNTS_BQUET...	ARRANGEMENT_LARGE	EA	60	39	0
ARRNGMNTS_BQUET...	ARRANGEMENT_MEDIUM	EA	138	88	0
ARRNGMNTS_BQUET...	ARRANGEMENT_PREMIUM	EA	6	3	0
ARRNGMNTS_BQUET...	ARRANGEMENT_SMALL	EA	22	15	0
ARRNGMNTS_BQUET...	ARRANGEMENT_VASE	EA	8	4	0
ARRNGMNTS_BQUET...	BOUQUETS_PREMIUM	EA	33	6	0
ARRNGMNTS_BQUET...	BOUQUET_EXTRA_LARGE	EA	66	26	0
ARRNGMNTS_BQUET...	BOUQUET_LARGE	EA	99	0	0
ARRNGMNTS_BQUET...	BOUQUET_MEDIUM	EA	138	74	0

3. デマンド・グループに関連するアイテムをチェックするには、「レポート」ドロップダウン・メニューの「**カテゴリ明細 - デマンド・グループ**」を選択します。デマンド・グループ・レポートには、モデル・カテゴリのすべてのデマンド・グループがリストされます。
4. デマンド・グループを集計します。デマンド・グループ構造を確認し、変則的なデマンド・グループ名が存在しないことを確実にします。また、元々分離されているデマンド・グループ (LOW\_FAT\_COOKIES、NO\_FAT\_COOKIES など) を 1 つのデマンド・グループにまとめることができます。
5. 同じデマンド・グループに複数の計測単位が存在しないかをチェックします。エラーが存在する場合、エラーのある行を右クリックし、「**コンテンツの編集**」を選択して「**コンテンツの編集**」ページを開きます。
6. 異なる計測単位の商品を検索し、「**計測単位**」列をクリックして計測単位を変更します。

Attributed	Size	UOM	Included in Model	Customer Status	First Scanned Date	Last Scanned Date	Use Prod Map
✓	1	CT	✓	Active		Dec 18, 2004	✓
✓	1	EA	✓	Active			✓
✓	1	EA	✓	Active			✓
✓	1	EA	✓	Discontinued			✓
✓	1	EA	✓	Active			✓
✓	1	EA	✓	Active		Feb 4, 2006	✓
✓	1	EA	✓	Active		Apr 24, 2004	✓

You can change the units of measure in the drop-down lists that appear when you click in the UOM column.

7. 「**コンテンツの編集**」ページで、右にスクロールして、デフォルトのデマンド・グループ内のスキャン履歴のある商品を確認できます。
8. 承諾されていない換算エラーが存在する場合、これらのエラーのある商品の数が「**カテゴリ明細**」ページの「**未承諾換算エラー商品数**」列に表示されます。エラーを修正するには、デマンド・グループを右クリックし、「**換算詳細の表示**」を選択して「**換算詳細の表示**」ページを開きます。
9. 「**エラーあり**」チェック・ボックスがオンになっている商品を探します。右にスクロールし、「**価格エラー**」チェック・ボックスまたは「**サイズ・エラー**」チェック・ボックスがオンになっているかどうかを確認します。価格が、デマンド・グループの中心価格の 5 倍より大きい場合または 5 分の 1 より小さい場合は、価格エラーが存在します (価格は現在の小売価格または POS の基本価格です)。換算単位が中心のデマンド・グループ・サイズの 10 倍より大きい場合または 0.1 倍より小さい場合は、サイズ・エラーが存在します。

10. 換算エラーを修正するには、エラーのある行を右クリックし、「計測単位の変更」または「デマンド・グループの変更」を選択します。「計測単位の変更」または「デマンド・グループの変更」ダイアログ・ボックスが表示されます。
11. 計測単位またはデマンド・グループを変更し、「続行」をクリックして変更を保存します。
12. ブランドに関連するアイテムをチェックするには、「レポート」ドロップダウン・メニューの「カテゴリー明細 - ブランド」を選択します。ブランド・レポートには、モデル・カテゴリーのすべてのブランドのリストが表示されます。
13. ミススペルのあるブランドを探します。このレポートの「ブランド」列でブランド名をクリックし、ドロップダウン・リストから正しい名前を選択します。

Brand	# of Products	# of Products with Unaccepted Equip Errors	# without POS
NOT_PROVIDED	9	1	8
PRIVATE_LABEL	1569	47	626

You can choose a correct brand name in the Brand column

## コンテンツの編集

商品情報の最終的な編集を行うことができます。

商品情報の最終的な編集は、「コンテンツの編集」または「カテゴリー・ワークスペース」ページで実行できます。ほとんどのフィールドが編集可能です。「コンテンツの編集」と「カテゴリー・ワークスペース」のどちらのページにもオンライン PIF が表示されます。このページについて詳しくは、139 ページの『「カテゴリー・ワークスペース」ページでのコンテンツの編集』を参照してください。

**注:** コンテンツ編集時の変更により、換算される POS データがある商品数が変更される場合があります。すべてのデータが修正され、「カテゴリー・マネージャー」ページの「詳細」タブにある「換算対象 POS 数」列がゼロになるまで、換算単位のチェックを再実行する必要があります。詳しくは、131 ページの『換算単位の実行』を参照してください。

**注:** 「コンテンツの編集」ページおよび「カテゴリー・ワークスペース」ページにアクセスするには、「属性設定の有効化」権限が設定されている必要があります。

### 関連トピック

139 ページの『「カテゴリ・ワークスペース」ページでのコンテンツの編集』  
「カテゴリ・ワークスペース」ページを使用すると、異なるカテゴリの商品  
を表示し、属性を変更し、商品を 1 つの店舗のデマンド・グループにまとめる  
ことができます。

131 ページの『換算単位の実行』  
換算単位のチェックでは、代替可能性の高い商品内での価格範囲に含まれない商品  
を見つけます。

『「コンテンツの編集」ページでのコンテンツの編集』  
この手順は、コンテンツを編集する場合に使用します。

## 「コンテンツの編集」ページでのコンテンツの編集

この手順は、コンテンツを編集する場合に使用します。

### このタスクについて

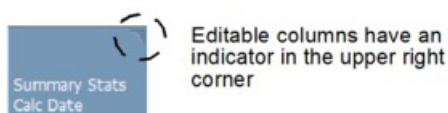
コンテンツを編集するには、以下のようにします。

### 手順

1. 「オープン・リンク」>「カテゴリ・マネージャー」を選択し、「カテゴリ  
・マネージャー」ページを開きます。
2. カテゴリを右クリックし、「コンテンツの編集」を選択して「コンテンツの編  
集」ページを開きます。

Attributed	Has Recent POS	Is Seasonal	Opt Category	UPC	Description	Model Demand Group	Size
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0113803003826	CANON LS-100TS BASIC CALCULATOR	CALC_BASIC	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0113803009538	CANON LS-270 BASIC CALCULATOR	CALC_BASIC	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0120963011004	SEIKO SPELL CHECKER	SPELL_DICT_BASIC	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0120963054025	SEIKO DICTIONARY	DEFAULT_DEMAND_G...	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0122447143249	ROYAL 52KB MEMORY PERSONAL ORGANIZER	PERS_ORGANIZER	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0122447143812	ROYAL BASIC HANDHELD CALCULATOR	CALC_BASIC	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0122447143843	ROYAL X60 DUAL POWER DESKTOP CALCULATOR	CALC_BASIC	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0122447143850	ROYAL DESKTOP CALCULATOR	CALC_BASIC	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0122447144307	ROYAL WS22 DESKTOP WEATHER STATION	WEATHER_DSKTP	1

3. 「レポート」ドロップダウン・メニューで「全商品」レポートを選択します。
4. 編集列で、値を変更するフィールドをクリックします。ドロップダウン・メニュー、または、編集可能フィールドが表示されます。



5. 左上隅にある「保存」をクリックして、変更を保存します。

## 「カテゴリー・ワークスペース」 ページでのコンテンツの編集

「カテゴリー・ワークスペース」 ページを使用すると、異なるカテゴリーの商品を表示し、属性を変更し、商品を 1 つの店舗のデマンド・グループにまとめることができます。

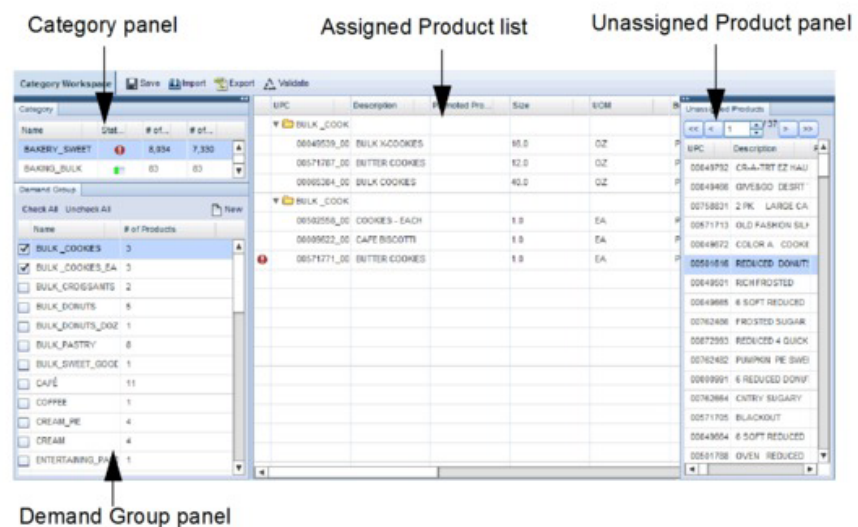
### このタスクについて

「カテゴリー・ワークスペース」 ページを使用すると、異なるカテゴリーの商品を表示し、属性を変更し、商品を 1 つの店舗のデマンド・グループにまとめることができます。ドラッグ・アンド・ドロップの機能を使用して、商品を簡単に他のカテゴリーやデマンド・グループに移動できます。

注: 「カテゴリー・ワークスペース」 ページにアクセスするには、「属性設定の有効化」権限が必要です。

「カテゴリー・ワークスペース」には、主な領域が 4 つあります。

- 「カテゴリー」パネル - カテゴリーのリストが表示され、各カテゴリー内の商品数、未割り当て商品数、カテゴリーの状況も表示されます。サイズ・エラーおよび平均スキャン価格エラーを含む検証エラー数を参照するには、エラー・アイコンの上にマウスを移動します。検証エラー数がゼロと表示されている場合は、検証が実行されていない可能性があります。
- 「デマンド・グループ」パネル - カテゴリー内のすべてのデマンド・グループが表示され、各デマンド・グループ内の商品数も表示されます。
- 「割り当て済み商品」リスト - 選択したデマンド・グループ内のすべての商品が表示されます。
- 「未割り当て商品」パネル - 選択したカテゴリー内の、デマンド・グループに割り当てられていないすべての商品が表示されます。



コンテンツを編集するには、以下のようにします。



## 手順

1. 「オープン・リンク」 > 「カテゴリ・マネージャー」を選択し、「カテゴリ・マネージャー」ページを開きます。
2. カテゴリを右クリックし、「カテゴリ・ワークスペース」を選択して「カテゴリ・ワークスペース」ページを開きます。
3. 「カテゴリ」パネルでカテゴリを選択した後で、「デマンド・グループ」パネルでデマンド・グループを1つ以上選択します。選択したデマンド・グループのすべての商品が、ページの中央の「割り当て済み商品」リストに表示されます。デフォルトのデマンド・グループ内のすべての商品が「未割当商品」パネルに表示されます。
4. 「割り当て済み商品」リストの編集列で、値を変更するフィールドをクリックします。ドロップダウン・メニュー、または、編集可能フィールドが表示されます。

「サイズ」列などの検証エラーがあるフィールドは、強調表示されます。強調表示されているフィールドにポインターを移動すると、エラー・ツールチップにエラーの説明が表示されます。フィールド値を変更してから、「換算単位のチェック」の検証を再実行します（詳しくは、133ページの『「カテゴリ・ワークスペース」ページでの換算単位の実行』を参照してください）。

UPC	Description	Promoted Pro...	Size	UOM	Brand	Manufacturer
▼ BACON_CAN						
00308124_00	CANADIAN	33718	5.0	OZ	NEIDER	UNKNOWN
00308023_00	CHUNK	mx1 PPG single cal	12.0	OZ	HORMEL	UNKNOWN
00281169_00	TWIN PK	33718	78.0	OZ	TO	UNKNOWN
00885779_00	SMKD	33718	10.0	OZ	CAM	UNKNOWN

This product has size error, and please update size to remove this error.

5. 左上にある「保存」をクリックして、変更を保存します。

### 関連トピック

133ページの『「カテゴリ・ワークスペース」ページでの換算単位の実行』この手順は、「カテゴリ・ワークスペース」ページで換算単位を実行する場合に使用します。

## モデルの正常性の表示

「モデルの正常性」レポートでは、カテゴリに対する売上履歴と品揃え構成が変更されることによって、それらのカテゴリに対してこれまで実行されたモデルがどのような影響を受けるかを把握できます。

Report: Model Health    Search: # of Active Products    Find

Health Status	Category	Division	Annual Revenue	# of Active Products	# Weeks since Model	# of New Products	% Volume from New Products	% Revenue from New Products
	CANNEDDRYSOAKBEANS	Chain	\$0	0	0	0	0.0%	0.0%
	DRYRICE	Chain	\$0	0	0	0	0.0%	0.0%
	BAKINGMIXES	Chain	\$0	0	52	29	0.0%	0.0%
	CANNEDMILKORDRY	Chain	\$0	0	52	10	0.0%	0.0%
	DISHDETERGENT	Chain	\$0	0	0	0	0.0%	0.0%
	FROZENBREAKFASTPR...	Chain	\$0	0	0	0	0.0%	0.0%
	MARSHMALLOWS	Chain	\$0	0	0	0	0.0%	0.0%

「モデルの正常性」レポート（「オープン・リンク」>「モデルの正常性」）を使用すると、カテゴリの売上履歴と分類構成の変更が、以前に実行したそのカテゴリのモデルにどのような影響を与えたかを調べることができます。レポートは、ユーザー定義のしきい値に基づいてカラーによる強調表示（交通信号方式）を示します。交通信号方式と組み合わされた指標は、再モデル化を実行する時期を判断するのに役立ちます。

所定のしきい値を超過してステータス変更をトリガーした個々の指標が強調表示されます。しきい値のタイプには、最後にモデル化してから経過した週数、新商品からの数量の割合、カテゴリを最後にモデル化してから開店した新規店舗の割合などがあります。このような指標の現在の値は、レポートに表示されます。

赤、黄色、緑の強調表示の意味は以下のとおりです。

- 赤 – モデルの状態は不良です。今月、再モデル化をスケジュールリングしてください。
- 黄色 – モデルの状態は正常です。来月、再モデル化のスケジュールリングを検討してください。
- 緑 – (超過したしきい値がない場合の「正常性ステータス」列のデフォルトのステータス) モデルの状態は良好です。まだ再モデル化は必要ありません。

交通信号方式のしきい値の構成については、システム管理者にお問い合わせください。モデルの正常性の計算は、通常は週に一度のペースで実行されるようスケジュールされているため、指標は毎週更新されます。このタスクの実行頻度もシステム管理者が設定します。

### 関連トピック

『レポート列』

この参照は、OpenLink のレポート列について知るために使用します。

## レポート列

この参照は、OpenLink のレポート列について知るために使用します。

列	列の内容
正常性ステータス	定義したしきい値に基づいて、赤、黄色、または緑が表示されます。  モデル全体の正常性を示します。



カテゴリー名	カテゴリー名
ディビジョン	ディビジョン名
年間収益	一番最近読み込まれた POS の週から 1 年間さかのぼって計算された、昨年のカテゴリーの売上の合計。  カテゴリー重要度のランク
新商品数	カテゴリーが最後にモデル化されてからスキャンを開始した商品数  新規の、未モデル化商品に関する品揃えの変更を測定します。
アクティブ商品数	(ステータス・インポートまたは PSR によって指定されているように) ステータスがアクティブ状況で前年に少なくとも一度スキャンされている商品。  現在の品揃えのサイズを示します。
モデルからの経過週数	カテゴリーが最後にモデル化されてから経過した週数。  基礎となるモデルの「経過時間」を示します。
新商品による数量率	過去 4 週間に POS データに入力された新商品によって表されるカテゴリー数量の割合。  新規の、未モデル化商品に関する品揃えの変更を測定します。
新商品による収益率	過去 4 週間の POS において、POS に入力された新商品がカテゴリー収益に貢献した割合。  新規の、未モデル化商品に関する品揃えの変更を測定します。
取引停止商品による数量率	カテゴリーが最後にモデル化されてから取扱停止になった商品によって表されるカテゴリー数量の割合。この指標は、どのぐらいのモデルが取扱中止となった商品に依存していたかを示します。この指標は、最後のモデル化期間の最後の 90 日のカテゴリー数量を使用します。  取扱停止商品に関する品揃えの変更を測定します。

取引停止商品による収益率	最終モデル日以降の取扱停止商品からのカテゴリ売上割合。この指標は、どのぐらいのモデルが取扱中止となった商品に依存していたかを示します。この指標は、最後のモデル化期間の最後の 90 日のカテゴリ収益を使用します。  取扱停止商品に関する品揃えの変更を測定します。
新店舗率	カテゴリが最後にモデル化されてから開店した店舗 (新規店舗) の割合。  非モデル化店舗を測定します。
正常性レポートの最終実行日	カテゴリの正常性の指標がカテゴリに対して最後に計算された日。  タスク・スケジューラーのスケジュール済みタスクとして、更新がトリガーされます。 POS データの読み込み時間に応じて、POS データが読み込まれた後で実行するようにセットアップできます。  指標が最新であることを示します。

## デマンド・グループ関係の作成

デマンド・グループ関係は、モデル化処理を簡素化するために、統計担当者に提供されるものです。

デマンド・グループ関係は、モデル化処理を簡素化するために、統計担当者に提供されるものです。カテゴリ内のデマンド・グループ間のクロス条件が表に記載されます (類似性、カニバリズム、または無関係のいずれか)。類似性とは、デマンド・グループ内の互いを補完するような関係です (例えば、ドライ・ヘア用のシャンプーとドライ・ヘア用のリンス)。カニバリズムとは、デマンド・グループ内で他の商品の替わりとなるような関係です (例えば、通常のヘア用のシャンプーとオイル・ヘア用のリンス)。

モデル化処理ではこれらのクロス条件を使用し、カテゴリ内の 2 つのデマンド・グループ間の関係を見つけます。関係は、設定に応じて、商品カテゴリ・レベル、または、デマンド・グループ・レベルのどちらかで表示できます。

デマンド・グループ・レベルでは、ページ上部で「デマンド・グループ」を選択します (ドライバー・デマンド・グループ)。その他すべてのデマンド・グループはレポートに表示されます (ドリブン・デマンド・グループ)。クロス条件はドリブン・デマンド・グループに割り当てられます。関係のロジックは、「ドライバー・デマンド・グループはドリブン・デマンド・グループの購入に対してカニバリゼーションまたは促進を起こす」というものです。

商品カテゴリ・レベルでは、1 つのページで両方のデマンド・グループを選択します。両デマンド・グループ間の関係を定義し、相関関係であるかどうかを定義します。作成する関係が数個しかない場合は、この方法が最も簡単です。

代替方法として、デマンド・グループ関係をエクスポートして処理し、OpenLink にインポートして戻すことができます。デマンド・グループが多く、たくさんの関係を作成する場合は、Excel の表で編集するほうがより簡単と言えます。

デマンド・グループ関係は自動的に作成されないため、実際の売上アクティビティに基づいて関係を選択することができます。データがシステムに残っている場合、クロス条件がデータ内に見つかる場合がありますが、正確ではないことがあります。例えば、小売業者は同時期に 17 インチ・モニターと 19 インチ・モニターのプロモーションを行う場合があります。その結果、これらの 2 つのデマンド・グループの数量が同時に急上昇します。モデル化では、これらの 2 つのデマンド・グループ間に類似関係があるとみなす場合がありますが、19 インチが 17 インチに対してカニバリゼーションを起こしている可能性があります。そのため、アプリケーションで手動でデマンド・グループ関係を定義することが望ましい場合があります。

**注:** モデル化で 2 つのデマンド・グループ間に関係が見つけれない場合、無理に関係が設定されることはありません。デマンド・グループ関係の割り当ては、単にこのタイプの関係を検索するようにモデルに指示するだけです。

#### 関連トピック

『デマンド・グループへの割り当て』

この手順は、デマンド・グループ・レベルでデマンド・グループ関係を割り当てる場合に使用します。

145 ページの『カテゴリへの割り当て』

この手順は、カテゴリ・レベルでデマンド・グループ関係を割り当てる場合に使用します。

147 ページの『デマンド・グループ関係のエクスポート』

この手順は、デマンド・グループ関係をエクスポートする場合に使用します。

148 ページの『デマンド・グループ関係表のインポート』

この手順は、デマンド・グループ関係表をインポートする場合に使用します。

## デマンド・グループへの割り当て

この手順は、デマンド・グループ・レベルでデマンド・グループ関係を割り当てる場合に使用します。

### このタスクについて

デマンド・グループ・レベルでデマンド・グループ関係を割り当てるには、以下のようになります。

#### 手順

1. 「オープン・リンク」 > 「カテゴリ・マネージャー」を選択し、「カテゴリ・マネージャー」ページを開きます。
2. カテゴリを右クリックし、「デマンド・グループ関係」を選択します。「デマンド・グループ関係」ページに、選択したカテゴリの既存の関係がすべて表示されます。

**Demand Group Relationships**  
Product Category: ANALGESICS 1

Actions: [Return To Category Manager](#) | [Import Relationships](#) | [Export Relationships](#) | [New Relationship](#) | [View by DG](#)

Driver DG	Driven DG	Coefficient	Reciprocal?
SEDATIVE	STIMULANT	Cannabalem	<input checked="" type="checkbox"/>
STIMULANT	SEDATIVE	Cannabalem	<input checked="" type="checkbox"/>

- 「デマンド・グループ別に表示」をクリックして、「デマンド・グループ別のデマンド・グループ関係 (Demand Group Relationships by Demand Group)」ページを開きます。

Actions: [Save](#) | [View by Product Category](#) | Search:  Coefficient  No Relation  Find  Demand Group:  1 of 6

Driven DG	Coefficient	Reciprocal?
DEFAULT_DEMAND_G...	No Relation	<input type="checkbox"/>
IBUPROFEN	No Relation	<input type="checkbox"/>
MOTION_SICKN	No Relation	<input type="checkbox"/>
SEDATIVE	No Relation	<input type="checkbox"/>
STIMULANT	No Relation	<input type="checkbox"/>

- ページの右上部にある「デマンド・グループ」ドロップダウン・リストからドライバー・デマンド・グループを選択します。

**Demand Group:**

4 of 57

- 「係数」列で係数をクリックし、ドロップダウン・リストから「関係なし」、「類似性」、または「カニバリズム」を選択します。これにより、係数が「ドリブン・デマンド・グループ」列のドリブン・デマンド・グループに割り当てられます。ドライバー・デマンド・グループはドリブン・デマンド・グループの購入に対して、カニバリゼーションまたは促進を起こします。
- 相互に関係がある場合、「相互関係」チェック・ボックスをオンにします (ほとんどの場合は当てはまります)。例えば、洗濯用液体洗剤は液体柔軟材に類似性があり、液体柔軟材は洗濯用液体洗剤に類似性があります。  
  
相互関係でないものは一方向のみに当てはまります。例えば、6 個パックの AAA 電池は 2 個パックの AAA 電池に対してカニバリゼーションを起こしますが、逆の場合は起こりません。
- 各デマンド・グループにおいて、「係数」列で関係を変更できます (「関係なし」、「類似性」、または「カニバリズム」)。
- 完了したら「保存」をクリックします。

## カテゴリーへの割り当て

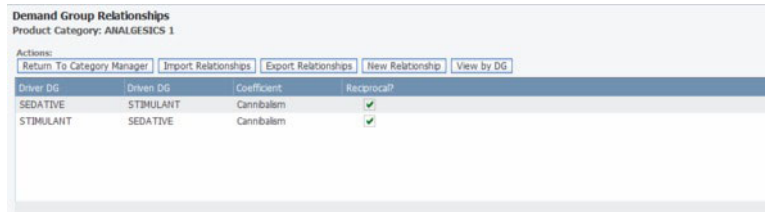
この手順は、カテゴリー・レベルでデマンド・グループ関係を割り当てる場合に使用します。

## このタスクについて

カテゴリー・レベルでデマンド・グループ関係を割り当てるには、以下のようにします。

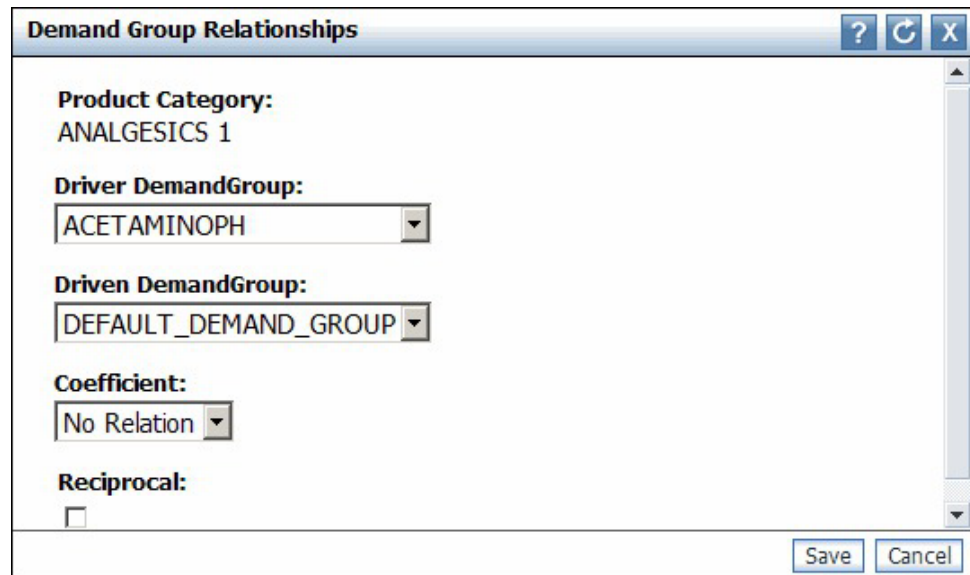
## 手順

1. 「オープン・リンク」 > 「カテゴリー・マネージャー」を選択し、「カテゴリー・マネージャー」ページを開きます。
2. カテゴリーを右クリックし、「デマンド・グループ関係」を選択します。「デマンド・グループ関係」ページに、選択したカテゴリーの既存の関係がすべて表示されます。



Driver DG	Driven DG	Coefficient	Reciprocal?
SEDATIVE	STIMULANT	Cannbalem	✓
STIMULANT	SEDATIVE	Cannbalem	✓

3. 「新規関係」をクリックして、「デマンド・グループ関係」ダイアログ・ボックスを開きます。



**Demand Group Relationships**

Product Category: ANALGESICS 1

Driver DemandGroup: ACETAMINOPH

Driven DemandGroup: DEFAULT\_DEMAND\_GROUP

Coefficient: No Relation

Reciprocal:

Save Cancel

4. ドロップダウン・リストから、ドライバー・デマンド・グループおよびドリブン・デマンド・グループを選択します。
5. 「係数」ドロップダウン・リストから「関係なし」、「類似性」、または「カニバリズム」を選択します。これにより、係数がドリブン・デマンド・グループに割り当てられます。ドライバー・デマンド・グループはドリブン・デマンド・グループの購入に対して、カニバリゼーションまたは促進を起こします。
6. 相互に関係がある場合、「相互関係」チェック・ボックスをオンにします (ほとんどの場合は当てはまります)。例えば、洗濯用液体洗剤は液体柔軟材に類似性があり、液体柔軟材は洗濯用液体洗剤に類似性があります。

相互関係でないものは一方向のみに当てはまります。例えば、6 個パックの AAA 電池は 2 個パックの AAA 電池に対してカニバリゼーションを起こしますが、逆の場合は起こりません。

7. 完了したら「保存」をクリックします。同じ関係がすでに存在する場合は、新規のデマンド・グループ関係がすでにあることを知らせるメッセージが「デマン

ド・グループ関係」ダイアログ・ボックスの上部に表示されます。このダイアログ・ボックスで設定を調整し、関係を再保存できます。新しいデマンド・グループ関係が「デマンド・グループ関係」ページに表示されます。

## デマンド・グループ関係のエクスポート

この手順は、デマンド・グループ関係をエクスポートする場合に使用します。

### このタスクについて

モデル化に多くの関係が必要な場合、デマンド・グループ関係をエクスポートできます。特定のカテゴリのファイルを変更し、IBM OpenLink にファイルをインポートして戻ることが可能です。

デマンド・グループ関係をエクスポートするには、以下のようになります。

### 手順

1. 「オープン・リンク」>「カテゴリ・マネージャー」を選択し、「カテゴリ・マネージャー」ページを開きます。
2. カテゴリを右クリックし、「デマンド・グループ関係」を選択します。「デマンド・グループ関係」ページが表示されます。

Driver DG	Driven DG	Coefficient	Reciprocal?
SEDATIVE	STIMULANT	Cannibalem	<input checked="" type="checkbox"/>
STIMULANT	SEDATIVE	Cannibalem	<input checked="" type="checkbox"/>

3. このページで「関係のエクスポート」をクリックします。デマンド・グループ関係表は、Excel で開く .csv ファイルに次のフォーマットで出力されます。適切な相互関係設定で関係の係数を追加し、ファイルを変更できます (148 ページの『デマンド・グループ関係表ファイルの変更』を参照してください)。

注: OpenLink はこの形式でファイルのエクスポートとインポートを行います。必要であれば .csv ファイルを標準的な表レイアウトに変換したり、元の形式に戻したりしなければなりません。支援が必要な場合は、IBM 担当員にお問い合わせください。

Ref Model Category	Driver Demand Group	Related Demand Group	Relation Coefficient	Reciprocal
ANALGESICS	ACETAMINOPH	ARTHRITIS	1	One Way
ANALGESICS	ACETAMINOPH	ASPIRIN	1	Two Way
ANALGESICS	ACETAMINOPH	CHLDRENS_LQD	1	Two Way
ANALGESICS	ACETAMINOPH	CHLDRN_TBLTS	1	Two Way

### 関連トピック

148 ページの『デマンド・グループ関係表ファイルの変更』

この手順は、デマンド・グループ関係表ファイルを変更する場合に使用します。



## デマンド・グループ関係表ファイルの変更

この手順は、デマンド・グループ関係表ファイルを変更する場合に使用します。

### このタスクについて

デマンド・グループ関係表ファイルの修正、関係係数の追加と変更、および相互関係設定が可能です。表のデマンド・グループは適切なカテゴリー内に既に存在している必要があります。

デマンド・グループ関係表ファイルを変更するには、以下のようになります。

### 手順

1. デマンド・グループ間で関係を作成し、関係係数を追加します。係数は関連デマンド・グループに割り当てられます。ドライバー・デマンド・グループは関連(ドリブン) デマンド・グループの購入に対して、カニバリゼーションまたは促進を起こします。

有効な関係係数は、1 と -1 です。

- 1 は類似/補完関係に相当します
- -1 はカニバリゼーション/代替関係に相当します。

2. 相互関係の設定は以下のようにして変更できます。

- カスタマーがドライバー・デマンド・グループの商品 (咳止め薬など) を購入する際、関連デマンド・グループの商品 (のど飴など) は購入するが、のど飴を買うという理由で咳止め薬を購入しないといった場合は「一方向」と入力します。
- ドライバー・デマンド・グループ、および関連デマンド・グループの両方がお互いに同じ影響を与える場合は、「双方向」と入力します。

## デマンド・グループ関係表のインポート

この手順は、デマンド・グループ関係表をインポートする場合に使用します。

### このタスクについて

変更したデマンド・グループ関係表ファイルをインポートして OpenLink に戻すことができます。

注: OpenLink 内の現在のデマンド・グループ関係表の変更は、インポートにより上書きされます。

デマンド・グループ関係表をインポートするには、以下のようになります。

### 手順

1. 「オープン・リンク」 > 「カテゴリー・マネージャー」を選択し、「カテゴリー・マネージャー」ページを開きます。
2. カテゴリーを右クリックし、「デマンド・グループ関係」を選択します。「デマンド・グループ関係」ページが表示されます。



Demand Group Relationships			
Product Category: ANALGESICS 1			
Actions: <a href="#">Return To Category Manager</a>   <a href="#">Import Relationships</a>   <a href="#">Export Relationships</a>   <a href="#">New Relationship</a>   <a href="#">View by DG</a>			
Driver DG	Driven DG	Coefficient	Reciprocal?
SEDATIVE	STIMULANT	Cannabalem	✓
STIMULANT	SEDATIVE	Cannabalem	✓

- このページで「インポート」「関係」をクリックします。「インポート」「デマンド・グループ関係」ダイアログ・ボックスが表示されます。

? ↺ ✕

### Import Demand Group Relationships

**Product Category**  
ANALGESICS 1

**Import File**

- 「参照」をクリックして Excel の .csv ファイルを指定し、「続行」をクリックします。

## カテゴリーへの属性設定済みのマーク付け

この手順は、カテゴリーに属性設定済みのマークを付ける場合に使用します。

### このタスクについて

属性設定の完了後、そのカテゴリーに属性設定済みのマークを付けることができます。この設定は、カテゴリーの商品が全てのテストを通過し、クレンジングされ、いつでもモデル化ができる状態であることを意味します。

属性設定済みのマークが付けられたカテゴリーは、後でマーク解除することもできます。カテゴリー内に属性設定済みのマークを付けるべきではない商品がある場合、この設定を解除できます。「カテゴリー・マネージャー」ページの「属性未設定商品数」列が更新されます。この列を参照して、カテゴリーに新規の属性未設定の商品が入っているか、属性を設定する準備ができているかを確認することもできます。新規の属性未設定の商品を識別する別の方法については、151 ページの『新商品の検索』を参照してください。

カテゴリーに属性設定済みのマークを付けるには、以下のようになります。

- 「オープン・リンク」>「カテゴリー・マネージャー」を選択し、「カテゴリー・マネージャー」ページを開きます。
- 「詳細」タブで、カテゴリーを右クリックし、「カテゴリーを属性設定済みにマーク付け」を選択します。「属性設定済み」列に現在日付が表示され、「属性設定者」列にユーザー名が表示されます。

Category Name	Category Type	Total # of Products	Product Moving Category	Last Scan	Min Weeks to Retire Link	Total # of Linked New Products
ANALGESICS	Non-Modele					0
APPAREL	Non-Modele					0
APPLES	Non-Modele					0
APPLIANCES	Non-Modele					0
ARTACTIVITY	Modeled					0
ARTSCRAFTS	Non-Modele					0
AUDIOVIDEO	Non-Modele					0
AUDIOVIDEOENTERTA...	Non-Modele					0
AUDIOVIDEOTELEPHO...	Non-Modele					0
AUTHENTICMEXICANF...	Non-Modele					0
AUTOCHEMICALS	Non-Modele					0
AUTOMOTIVE	Modeled					0
AUTOMOTIVEACCESS...	Non-Modele					0
AUTOMOTIVECHEMIC...	Non-Modele					0

3. 後でカテゴリの属性設定済みマークを解除する場合は、「**カテゴリ・マネージャー**」ページのカテゴリを右クリックし、「**「カテゴリを属性設定済み」のマーク解除**」を選択します。

商品属性の編集は、次のように行います。

1. 「**カテゴリ・マネージャー**」ページでカテゴリを右クリックし、「**コンテンツの編集**」を選択して「**コンテンツの編集**」ページを開きます。カテゴリの各商品について「**属性設定済み**」チェック・ボックスがオンになります。

Attributed	Has Recent POS	Opt Category
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ANALGESICS
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ANALGESICS
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ANALGESICS
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ANALGESICS
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ANALGESICS
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ANALGESICS
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ANALGESICS

2. 属性設定済みマークを解除したい商品の「**属性設定済み**」チェック・ボックスをクリアします。属性設定済みではない商品はすべて、「**カテゴリ・マネージャー**」ページの「**属性未設定商品数**」列にカウントされます。

関連トピック

### 『新商品の検索』

カテゴリに新商品が入っており、属性設定が必要な場合は、新商品であることを識別するために参照できるいくつかのレポート列が IBM OpenLink およびその他のアプリケーションにあります。

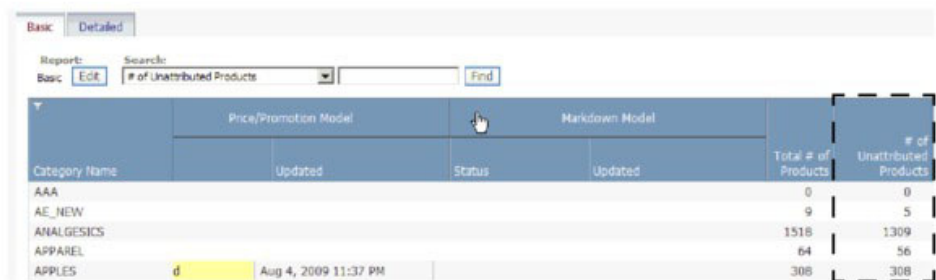
## 新商品の検索

カテゴリに新商品が入っており、属性設定が必要な場合は、新商品であることを識別するために参照できるいくつかのレポート列が IBM OpenLink およびその他のアプリケーションにあります。

カテゴリに新商品が入っており、属性設定が必要な場合は、新商品であることを識別するために参照できるいくつかのレポート列が IBM OpenLink およびその他のアプリケーションにあります。このセクションの説明に従って新商品を検索したら、167 ページの『新商品の属性設定』の説明に従って属性設定プロセスを続行できます。

以下の列はカテゴリ・レベルで更新されます。

- 「**カテゴリ・マネージャー**」ページの「**属性未設定商品数**」の値が増加します。



Category Name	Price/Promotion Model		Markdown Model		Total # of Products	# of Unattributed Products
	Updated	Status	Updated	Status		
AAA					0	0
AE_NEW					9	5
ANALGESICS					1518	1309
APPAREL					64	56
APPLES	d	Aug 4, 2009 11:37 PM			308	308

- IBM OpenLink の「**モデルの正常性**」レポートで「**新商品数**」列が更新されます（このレポートの詳細については、140 ページの『モデルの正常性の表示』を参照してください）。
- IBM Price Optimization のユーザーである場合には、「**新商品数**」列は、「**カテゴリ管理**」ページの「**カテゴリ・アクティビティ**」レポートで更新されます。

カテゴリ内の新商品を表示するには、「**カテゴリ・マネージャー**」ページでカテゴリを右クリックし、「**コンテンツの編集**」を選択して「**コンテンツの編集**」ページを開きます。このページの以下の列で、カテゴリ内の新しい、属性未設定の商品を識別できます。

- 「**属性設定済み**」チェック・ボックスはクリアされます。

**Edit Content**  
Product Category: DRY DOGFOOD 9

Actions:     Report:

Search:

Attributed	Has Recent POS	Opt. Category	UPC	Description	Model Demand Group	Size	UOM
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	DRY DOGFOOD 9	D0907910010786	NEW BITS N BITES BURGERS N CHEEZ	DEFAULT_DEMAND_GROUP	17.6	LB
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	DRY DOGFOOD 9	D0907910010791	NEW BITS N BITES HOMESTYLE CHICKEN VEG	DEFAULT_DEMAND_GROUP	4	LB
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	DRY DOGFOOD 9	D0907910012127	NEW BITS N BITES ORIGINAL BONUS	DEFAULT_DEMAND_GROUP	5	LB

- 「モデルに含まれる」チェック・ボックスはクリアされます。

**Edit Content**  
Product Category: PAPER TOWELS 3

Actions:     Report:

Search:

Attributed	Avg Scan Price	Price per UOM	Cost	Avg Weekly Volume	Included in Model	Customer Status	First Scanned Date	Last Scanned Date	Use
<input type="checkbox"/>		\$0.22	\$1.120		<input checked="" type="checkbox"/>	Discontinued		Apr 13, 2004	
<input type="checkbox"/>		\$0.01	\$0.568		<input type="checkbox"/>	Active		Jan 20, 2004	
<input type="checkbox"/>		\$0.33	\$1.133		<input type="checkbox"/>	Active		Sep 2, 2003	

- 「モデル・デマンド・グループ」は DEFAULT\_DEMAND\_GROUP になります。

**Edit Content**  
Product Category: PAPER TOWELS 3

Actions:     Report:

Search:

Attributed	UPC	Description	Model Demand Group	Size	UOM	Brand
<input type="checkbox"/>	P0301258703100	HANDWIPE DISPOSABLE TOWELS	DEFAULT_DEMAND_GROUP	6	SH	HANE
<input type="checkbox"/>	P0301310050123	HOLIDAY PRINT TOWELS	DEFAULT_DEMAND_GROUP	80	CT	HOLI
<input type="checkbox"/>	P0301310077030	SPA PAPER TOWELS 3 ROLL	DEFAULT_DEMAND_GROUP	3	RL	SPAR

### 関連トピック

140 ページの『モデルの正常性の表示』

「モデルの正常性」レポートでは、カテゴリーに対する売上履歴と品揃え構成が変更されることによって、それらのカテゴリーに対してこれまで実行されたモデルがどのような影響を受けるかを把握できます。

## モデル作成者への通知

属性を設定後、モデル作成者に、カテゴリはモデル化の準備ができていることを通知できます。

### このタスクについて

属性を設定したら、Everyday Price Optimization および Everyday Price Management、プロモーション計画および最適化、マークダウン最適化の各アプリケーションでカテゴリをモデル化に使用する準備ができたことをモデル作成者に通知できます。それには、「**カテゴリ・マネージャー**」ページで設定します。タスクを完了したら、モデル作成者はステータスを「**モデル化カテゴリ**」ページで設定できます。ステータスを設定すると、電子メールの通知が送信され、属性設定プロセスとモデル化処理の進捗状況が他のユーザーに通知されます。

注: それぞれの属性設定アクションまたはモデル化アクションの E メール通知を受け取るには、「**アラート・サブスクリプション**」ページでこれらのアラートを登録する必要があります (「**ツール**」メニューから「**アラート・サブスクリプション**」を選択します)。

- 「**価格/プロモーション・モデルの要求**」 / 「**マークダウン・モデルの要求**」 - 属性設定者がモデル化対象のカテゴリを要求するために「**要求済み**」のステータスに設定すると、ユーザーは E メール通知を受け取ります。モデル作成者がカテゴリのモデル化の準備ができていないと判断し、「**再呼び出し済み**」のステータスに設定した場合、別の E メール通知が送信されます。
- 「**進行中の価格/プロモーション・モデル**」 / 「**進行中のマークダウン・モデル**」 - モデル作成者がカテゴリのモデル化を行うために「**進行中**」のステータスに設定すると、ユーザーは E メール通知を受け取ります。
- 「**価格/プロモーション・モデルのリリース**」 / 「**マークダウン・モデルのリリース**」 - モデル作成者が作成するモデルをリリースするために「**リリース済み**」のステータスに設定すると、ユーザーは E メール通知を受け取ります。モデル作成者がカテゴリのモデル化の準備ができていないと判断し、「**再呼び出し済み**」のステータスに設定した場合、別の E メール通知が送信されます。
- 「**価格/プロモーション・モデルのリターン (Return Price/Promotion Model)**」 - モデル作成者が複数の属性設定作業で属性設定者にカテゴリを返すために「**リターン済み**」に設定すると、ユーザーは E メール通知を受け取ります。

カテゴリの属性設定ステータスを設定するには、以下のようになります。

### 手順

1. 「**オープン・リンク**」 > 「**カテゴリ・マネージャー**」を選択し、「**カテゴリ・マネージャー**」ページを開きます。
2. 「**基本**」タブまたは「**詳細**」タブで、1 つ以上のカテゴリを右クリックし、「**価格/プロモーション・モデルの要求**」か「**マークダウン・モデルの要求**」を選択します。
3. コメント・ダイアログ・ボックスにコメントを入力して、「**OK**」をクリックします。ダイアログ・ボックスが閉じると、「**カテゴリ・マネージャー**」のカテゴリごとに、「**要求済み**」のステータスと現在日付が「**価格/プロモーション・モデル・ステータス**」列または「**マークダウン・モデル・ステータス**」列に表示



されます。また、以下の情報を含む E メール通知が、このアラートを受け取るように登録したすべてのユーザーに送信されます。

- アクション - 「価格/プロモーション・モデルが要求されました」 / 「マークダウン・モデルが要求されました」
- カテゴリ名と商品カテゴリ ID
- ユーザー ID (ユーザー名または E メール・アドレス)
- 日時
- コメント・ダイアログ・ボックスに入力されたコメントと、最新のステータス変更

---

## デマンド・グループの新商品への自動割り当て

カテゴリを再モデル化する前に、追加されている新商品をデマンド・グループに割り当てる必要があります。

### このタスクについて

カテゴリを再モデル化する前に、追加されている新商品をデマンド・グループに割り当てる必要があります。タスク・スケジューラーで「**新商品の自動割り当て**」タスクをスケジュールして、新商品が属性を基準に自動的に既存のデマンド・グループに割り当てられるようにします。デマンド・グループにまだ割り当てられていない、デフォルトのデマンド・グループ内の既存商品も自動的に割り当てられます。自動割り当て商品を確認して、割り当てを承認するか、承認する前に手動で異なるデマンド・グループを再度割り当てます。「**新商品の自動割り当て**」タスクを含む、タスクの作成についての詳細は、175 ページの『**新規タスクの作成**』を参照してください。

再モデル化でカテゴリを準備する場合の推奨されるワークフローは、以下のとおりです。

- 自動的に割り当てられた新商品を確認して、変更するか、デマンド・グループの割り当てを承認します。
- 換算単位のチェックを実行します。
- 整合性チェックを実行します。
- カテゴリはモデル化の準備ができていることを示すステータスを設定します (オプション)。

注: この処理を実行するには、以下の権限を持っている必要があります。

- 自動的に割り当てられた商品を確認する「**新商品の自動割り当てを有効化**」権限。
- デマンド・グループを割り当てるための自動タスクをスケジュールする「**新商品の自動割り当てタスクを有効化**」権限。

新商品に割り当てたデマンド・グループを確認するには、以下のようになります。

### 手順

1. 「**オープン・リンク**」 > 「**カテゴリ・マネージャー**」を選択し、「**カテゴリ・マネージャー**」ページを開きます。

2. 「自動割り当て商品未承認数」列で未承認の自動割り当て商品があるカテゴリを右クリックします。商品数がゼロより多い場合には、列が黄色で強調表示されます。
3. コンテキスト・メニューの「自動割り当てされた商品の確認」を選択します。

「コンテンツの編集」ページに表示される「全商品」レポートでは、未承認商品および自動割り当て済み商品は、「未承認の自動割り当て」列にチェック・マークで示されます。デマンド・グループに割り当てられた商品のデータは、「自動割り当て日」列に表示されます。

Auto-Assign Unapproved	Date	Attributed	Has Recent PDS	Opt Category	Model Category	UPC	Description
<input checked="" type="checkbox"/>	Mar 16, 2009	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ANALGESICS	ANALGESICS	00004116718103	PRO THERAPY X LRG KNEE BRACE
<input checked="" type="checkbox"/>	Mar 16, 2009	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ANALGESICS	ANALGESICS	00004116718105	PRO THERAPY MEDIUM KNEE BRAC
<input checked="" type="checkbox"/>	Mar 16, 2009	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ANALGESICS	ANALGESICS	00004116718112	PRO THERAPY BACK BRACE
<input checked="" type="checkbox"/>	Mar 16, 2009	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ANALGESICS	ANALGESICS	00004116718201	PRO THERAPY MED FOAM INSERT
<input checked="" type="checkbox"/>	Mar 16, 2009	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ANALGESICS	ANALGESICS	00004116718203	PRO THERAPY LONG DUR HOT INSRK

4. 右方向にスクロール・バーをスライドすると、「モデル・デマンド・グループ」列で割り当てられたデマンド・グループを表示できます。新しい値は強調表示されます。この列をクリックして、ドロップダウン・メニューでデマンド・グループの選択を変更することもできます。

Auto-Assign Unapproved	UPC	Description	Model Demand Group	Size	Uom	Brand
<input checked="" type="checkbox"/>	S 00004116718103	PRO THERAPY X LRG KNEE BRACE	EXT_PAIN_PATCH	1.00	CT	PRO
<input checked="" type="checkbox"/>	S 00004116718105	PRO THERAPY MEDIUM KNEE BRACE	EXT_PAIN_PATCH	1.00	CT	PRO
<input checked="" type="checkbox"/>	S 00004116718112	PRO THERAPY BACK BRACE	EXT_PAIN_PATCH	1	CT	PRO
<input checked="" type="checkbox"/>	S 00004116718201	PRO THERAPY MED FOAM INSERT	EXT_PAIN_PATCH	1	CT	PRO
<input checked="" type="checkbox"/>	S 00004116718203	PRO THERAPY LONG DUR HOT INSRK	EXT_PAIN_PATCH	1	CT	PRO

5. 1 つ以上の未承認商品および自動割り当て済み商品を選択して、右クリック・メニューの「承認」を選択します。承認する各デマンド・グループの割り当てについて、「未承認の自動割り当て」チェック・ボックスをクリアします。
6. 変更作業が終わったら、「保存」をクリックします。「カテゴリ・マネージャー」ページに戻ると、「自動割り当て商品未承認数」列が更新されます。





---

## 第 7 章 カテゴリー階層の維持

OpenLink は、カテゴリー・マップを作成することで、ご使用の商品ファイルからの商品にカテゴリー階層構造を割り当てます。

IBM Omni-Channel Merchandising はカテゴリー・マップを作成することで、ご使用の商品ファイルからの商品にカテゴリー階層構造を割り当てます。以降のすべてのアプリケーションへの商品情報の読み込みにはカテゴリー・マップを使用します。効率的な処理を行うには、初期の商品読み込みと一致するカテゴリー階層構造を取得することが重要です。

また、カテゴリー階層構造を変更して、最適化するために再設定することができます。例えば、大きなカテゴリーを小さなカテゴリーに分割したり、カテゴリーを結合したり、商品を新しいカテゴリーに移動したりするなどの調整が可能です。変更後は商品属性設定プロセスを実行して、データをモデル化する準備をします。

### 関連トピック

『カテゴリー・マップのインポート』

商品階層を持つカテゴリー・マップは、通常は導入時にすでに OpenLink にインポートされています。

162 ページの『商品の再分類』

販売階層に「再分類」プロセスなどの変更があった場合や、商品を誤って不適切なカテゴリーに置いた場合などは、商品の再分類が必要になることがあります。

170 ページの『商品階層上書きの設定』

この手順は、商品階層上書きを設定する場合に使用します。

172 ページの『カテゴリーの管理』

この手順は、カテゴリーの名前を変更する場合に使用します。

---

## カテゴリー・マップのインポート

商品階層を持つカテゴリー・マップは、通常は導入時にすでに OpenLink にインポートされています。

### このタスクについて

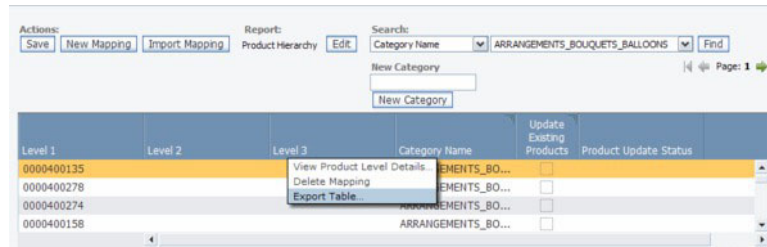
商品階層を持つカテゴリー・マップは、通常は導入時にすでに OpenLink にインポートされています。インポートされていない場合は、まず Excel スプレッドシートのカテゴリー情報をインポートし、「**カテゴリー・マッピング**」ページに取り込みます。

**注:** 強化された商品階層データ・スキーマを使用している場合は、代わりに「**商品階層マッピング**」ページを使用できます。詳しくは、159 ページの『商品階層マッピング』を参照してください。

カテゴリー・マップをインポートするには、以下のようにします。

## 手順

1. 「オープン・リンク」 > 「カテゴリー・マッピング」を選択し、「カテゴリー・マッピング」ページを開きます。



2. レポート内の任意の行を右クリックして「表のエクスポート」を選択し、レポートの列を Excel スプレッドシートにエクスポートします。「エクスポート」ダイアログ・ボックスが表示されます。
3. 「エクスポート」をクリックします。ファイルのエクスポートが終了するまで「エクスポート・ステータス」ダイアログ・ボックスの右上隅にあるリフレッシュ・ボタンをクリックします。



4. ファイルのステータスが「終了」に変わったなら、「エクスポート・ステータス」ダイアログ・ボックスのファイル名をクリックし、スプレッドシート・ファイルを開きます。
5. 以下の表に示す説明に従って、スプレッドシートのフィールドに入力します。列は表と正確に同じ順序になっていなければなりません。そうでないとインポートは失敗します。

列	追加する情報
列 A	レベル 1 階層 (通常はカテゴリー名)
列 B	レベル 2 階層 (通常は分類)
列 C	レベル 3 階層 (通常はサブ分類名)
列 D	カテゴリー名。プロモーション、価格、またはマークダウン・サービスで表示される最適化カテゴリー。
列 E	マップを持つデータベースにある既存の商品を更新する。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 1 - はい</li><li>• 0 または空欄 - いいえ</li></ul>

	A	B	C	D	E	F
1	Level 1	Level 2	Level 3	Category Name	Update Existing Products	Product Update Status
2	L1DESC_A	L1DESC_B	L1DESC_C	COFFEE		1
3	L1DESC_A	L1DESC_B	L1DESC_C	COFFEE		1
4	511VEG_1	511VEG_2		CANNEDDRYISOAKBEANS		1
5	level1111	level2222		CANNEDDRYISOAKBEANS		1
6	level_1	level2		ANALGESICS		1
7	LEVEL1C	LEVEL2C		COFFEE		0

- Excel ファイルを任意の場所に保存します。
- 「エクスポート・ステータス」ダイアログ・ボックスを閉じます (開いている場合)。
- 「カテゴリー・マッピング」ページで「マッピングのインポート」をクリックします。「カテゴリー・マッピングに商品階層をインポート」ダイアログ・ボックスが表示されます。

**Import Product Hierarchy to Category Mapping** ? ↻ ✕

**Actions:**

**Import File**

---

- 「参照」をクリックして Excel のマッピング・ファイルを指定し、「送信」をクリックします。「カテゴリー・マッピング」ページにファイルからの情報が記載されます (最初にページのリフレッシュが必要な場合があります)。「商品更新ステータス」列に、新しいマップで更新するように指示したこれらの既存の商品については「既存の商品を更新するために待機しています」というステータスが表示されます。

**注:** マッピング・ファイルにエラーがある場合は、「カテゴリー・マッピングに商品階層をインポート」ダイアログ・ボックスに各エラーと行番号がリストされます。マッピング・ファイルのこれらのエラーを訂正して、再インポートする必要があります。

#### 関連トピック

『商品階層マッピング』

「商品階層マッピング」ページを使用して、商品階層内にある商品ごとにカテゴリー・レベルを定義できます。

## 商品階層マッピング

「商品階層マッピング」ページを使用して、商品階層内にある商品ごとにカテゴリー・レベルを定義できます。

### このタスクについて

「カテゴリー・マッピング」ページの代わりに、「商品階層マッピング」ページを使用して、商品階層内にある商品ごとにカテゴリー・レベルを定義できます。「商

品階層マッピング」ページでは、商品ごとに 10 個までのサブカテゴリを利用できます。カテゴリの分類や変更のプロセスを、次の手順で簡素化できます。

- 直感的な操作が可能な階層ツリーを使用して、サブレベルを動的にマッピングします。
- 簡易フィルターを使用して商品を素早く割り当てることで、すべての商品を階層的に編成します。

商品階層マッピングをエクスポートしたりインポートしたりすることもできます。詳しくは、161 ページの『商品階層マッピングのインポートとエクスポート』を参照してください。

注: 「商品階層マッピング」ページにアクセスするには、「商品階層ツリーの使用」権限が設定されている必要があります。

「商品階層マッピング」ページを使用するには、以下のようにします。

## 手順

1. 「オープン・リンク」>「商品階層マッピング」を選択します。マッピングされたすべての商品および未分類の商品の階層ツリーが表示されます。ノードを選択して展開すると、商品階層ツリーが自動的に更新され、要求したデータが取得されます。
2. 「カテゴリ」列で、カテゴリを指定するアイテムの行をクリックします。
3. カテゴリ化する商品階層の特定の部分を検索するには、検索フィールドを使用します。検索しているノード名のすべてまたは部分を入力したら、「検索」をクリックして、結果を表示します。
4. 商品階層で結果を表示して、他の類似商品がどのようにカテゴリ化されているか表示するには、「階層で表示」をクリックします。
5. フィールドに名前を入力し、先読み検索機能を使用してカテゴリ・リストをフィルタリングします。

一致するものが見つからないと、クリックしたときにフィールドが赤で強調表示されます。名前を削除してやり直すことも、ページの上にある「カテゴリの追加」をクリックして新しいカテゴリを作成することもできます。「カテゴリの追加」ダイアログ・ボックスで新しいカテゴリを追加したら、「作成」をクリックします。新しいカテゴリがカテゴリ・リストから選択できるようになります。

6. 新しいカテゴリを追加するか、既存のカテゴリ名を変更すると、「既存商品の更新」チェック・ボックスが設定され、変更を保存したときに商品が新しいカテゴリに移動します。このチェック・ボックスをクリアすると、商品は新しいカテゴリに移動しません。
7. 必要があれば、商品の階層内のカテゴリ名を調整できます。新しいカテゴリや変更されたカテゴリは太字で表示されます。

以下のアイコンのうちの 1 つが「ステータス」列に表示されます。

•



この商品のカテゴリが変更され、階層内でこの商品の子である 1 つ以上の商品が変更されました。

•



この商品のカテゴリが変更され、階層内でこの商品の子である商品もその変更を継承しました。

•



階層内の 1 つ以上の子が変更されました。

8. 新規または更新済み商品のマッピング変更をコミットするには「保存」をクリックします。前回保存した変更に戻すには「前回の保存状態に戻す」をクリックします。

#### 関連トピック

『商品階層マッピングのインポートとエクスポート』

この手順は、既存の商品階層マッピングのインポートおよびエクスポートを行う場合に使用します。

## 商品階層マッピングのインポートとエクスポート

この手順は、既存の商品階層マッピングのインポートおよびエクスポートを行う場合に使用します。

### このタスクについて

「商品階層マッピング」画面でマッピングを作成する代わりに、マッピングを Excel にエクスポートし、手動で変更できます。既存の商品階層マッピングをエクスポートするには、以下のようにします。

1. 「データ」>「エクスポート」に進み、「レポート」ドロップダウンから「商品履歴ノードからカテゴリへのマッピング」を選択します。

2. 「エクスポート」をクリックします。
3. 「エクスポート・ステータス」画面の該当のリンクをクリックして、マッピング・ファイルをダウンロードします。
4. Excel または任意のエディターを使用してファイルを編集します。

ファイルの編集が終了したら、以下のようにして OpenLink にインポートできます。

1. 「データ」>「インポート」に進み、「データ・タイプ」ドロップダウンから「商品履歴ノードからカテゴリへのマッピング」を選択します。
2. 「参照」をクリックして、商品階層マッピングにある編集済みファイルを指定します。
3. 「インポート」をクリックします。

商品階層マッピングのインポートの正しいフォーマットについては、IBM の担当員にお問い合わせください。

---

## 商品の再分類

販売階層に「再分類」プロセスなどの変更があった場合や、商品を誤って不適切なカテゴリに置いた場合などは、商品の再分類が必要になることがあります。

### このタスクについて

販売階層に「再分類」プロセスなどの変更があった場合や、商品を誤って不適切なカテゴリに置いた場合などは、商品の再分類が必要になることがあります。

OpenLink へのアイテムの移動を適切に完了するには、以下の手順を実行します。またこれにより確実に、アイテムを IBM Omni-Channel Merchandising サービスでの予測の準備が整った状態にすることができます。



## 手順

1. 新しい最適化カテゴリを作成します (特定の商品に必要なと判断した場合)。
2. 「コンテンツの編集」ページまたは「カテゴリ・ワークスペース」ページにアイテムを移動します。
3. 属性設定プロセスを実行します。
4. モデル化プロセスまたはモデルのリフレッシュ・プロセスを実行します。
5. オリジナルの商品階層を使用するか、IBM Omni-Channel Merchandising 商品階層の処理を進めるかを決定します。

### 関連トピック

『新規最適化カテゴリの作成』

この手順は、新規最適化カテゴリを作成する場合に使用します。

164 ページの『個々の商品のカテゴリへの移動』

この手順は、カテゴリ間で商品を移動する場合に使用します。

166 ページの『カテゴリに属さない商品のカテゴリへの移動』

アプリケーションが商品ファイルの新しい商品階層を認識しない場合は、商品はデフォルトの最適化カテゴリである「未カテゴリ化 (Uncategorized)」に移動されます。

167 ページの『新商品の属性設定』

この手順は、カテゴリ内の新規商品の属性を設定する場合に使用します。

## 新規最適化カテゴリの作成

この手順は、新規最適化カテゴリを作成する場合に使用します。

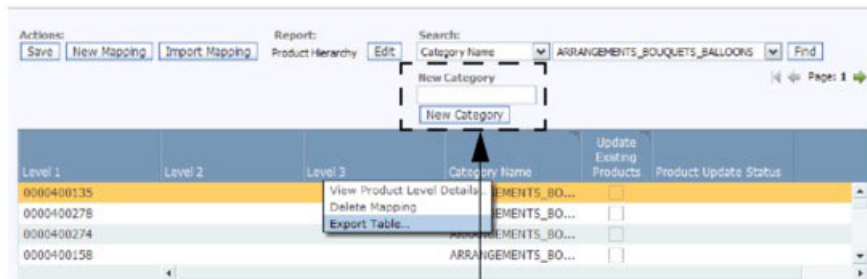
### このタスクについて

OpenLink に新しい最適化カテゴリを作成できます。

新しい最適化カテゴリを作成するには、以下のようにします。

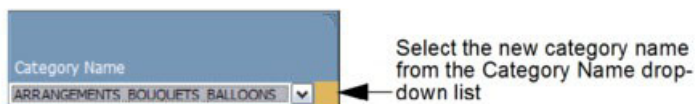
### 手順

1. 「オープン・リンク」>「カテゴリ・マッピング」を選択し、「カテゴリ・マッピング」ページを開きます。
2. 「新規カテゴリ」フィールドに新規カテゴリ名を入力して、「新規カテゴリ」ボタンをクリックします。このページの「カテゴリ名」ドロップダウンメニューで新規カテゴリが選択可能になります。



Enter a new optimization category name and click New Category

3. 既存のカテゴリ階層の新規カテゴリを選択する場合は、カテゴリ名の隣をクリックして、ドロップダウン・リストにある新規カテゴリ名を選択します。



Select the new category name from the Category Name drop-down list

4. 階層構造にあるすべての商品を新しい最適化カテゴリに移動するには、「既存商品の更新」チェック・ボックスをチェックします。
5. 「カテゴリ・マッピング」ページの左上隅にある「保存」をクリックします。「商品更新ステータス」列に「既存の商品の更新を待機しています」というステータスが表示されます。プロセスが完了してメッセージが表示されなくなるまで、ページをリフレッシュします。

## 個々の商品のカテゴリへの移動

この手順は、カテゴリ間で商品を移動する場合に使用します。

### このタスクについて

「コンテンツの編集」ページまたは「カテゴリ・ワークスペース」ページで、個々の商品を簡単に新規カテゴリに移動することができます。

「コンテンツの編集」ページでカテゴリ間の商品の移動を行うには、以下のようになります。

1. 「オープン・リンク」 > 「カテゴリ・マネージャー」を選択し、「カテゴリ・マネージャー」ページを開きます。
2. 移動する商品があるカテゴリを右クリックし、コンテキスト・メニューから「コンテンツの編集」を選択します。「コンテンツの編集」ページが表示されます。

Export Category Modeling Import Jobs Data

**Edit Content**  
Product Category: CALCULATORS 1

Actions: Save Return To Category Manager Drop Outdated Products Hide Dropped Products Report: All Products Edit

Search: Attributed No Find

Attributed	Has Recent POS	Is Seasonal	Opt Category	UPC	Description	Model Demand Group	Size
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0113803003826	CANON LS-100TS BASIC CALCULATOR	CALC_BASIC	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0113803009538	CANON LS-270 BASIC CALCULATOR	CALC_BASIC	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0120963011004	SEIKO SPELL CHECKER	SPELL_DICT_BASIC	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0120963054025	SEIKO DICTIONARY	DEFAULT_DEMAND_G...	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0122447143249	ROYAL 52KB MEMORY PERSONAL ORGANIZER	PERS_ORGANIZER	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0122447143812	ROYAL BASIC HANDHELD CALCULATOR	CALC_BASIC	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0122447143843	ROYAL X60 DUAL POWER DESKTOP CALCULATOR	CALC_BASIC	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0122447143850	ROYAL DESKTOP CALCULATOR	CALC_BASIC	1
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CALCULATORS 1	C0122447144307	ROYAL WS22 DESKTOP WEATHER	WEATHER_DSKTP	1

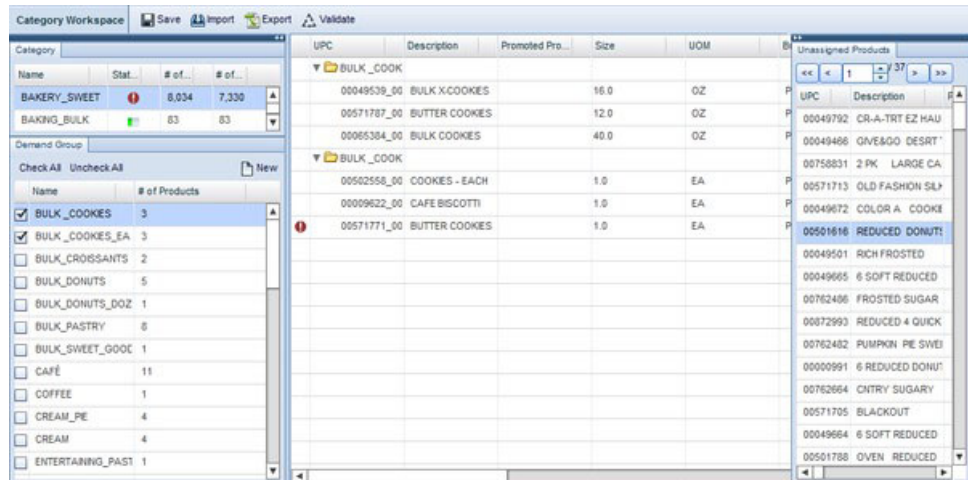
- 「レポート」ドロップダウン・メニューで「全商品」レポートを選択します。
- 移動する商品の「最適化カテゴリー」列をクリックし、カテゴリーのドロップダウン・リストから新規カテゴリーを選択します。商品に新しい最適化カテゴリーが割り当てられます。



- 「コンテンツの編集」ページの左上隅にある「保存」をクリックします。商品が移動先のカテゴリー、デフォルトのデマンド・グループ、および新しい最適化カテゴリーのデフォルトのモデル・カテゴリーに移動します。

「カテゴリー・ワークスペース」ページで、カテゴリー間の商品の移動を行うには、以下のようにします。

- 「オープン・リンク」>「カテゴリー・マネージャー」を選択し、「カテゴリー・マネージャー」ページを開きます。
- カテゴリーを右クリックし、「カテゴリー・ワークスペース」を選択して「カテゴリー・ワークスペース」ページを開きます。



- 「カテゴリ」パネルでカテゴリーを選択した後で、「デマンド・グループ」パネルでデマンド・グループを 1 つ以上選択します。デマンド・グループのすべての商品が、ページの中央の「割り当て済み商品」リストに表示されます。
- 「割り当て済み商品」リストから個々の商品を選択して、「カテゴリ」パネルのカテゴリーにドラッグします。移動する商品の名前が太線の下にあるカテゴリーに投影されたら、マウスのボタンを放します。移動した商品が移動先のカテゴリーのデフォルトのデマンド・グループに追加されます。

Name	Error	# of Prod...
ANALGESICS 1	265	350
ANALGESICS 1	265	356
<b>ANALGESICS 1</b>	<b>200.0</b>	<b>353</b>
ANALGESICS 2	265	353
ANALGESICS 3	265	353
ANALGESICS 4	265	353

You can select and drag a product from the Assigned Products panel to a category in the Category panel. The product will be added to the category underneath the bolded line.

## カテゴリーに属さない商品のカテゴリーへの移動

アプリケーションが商品ファイルの新しい商品階層を認識しない場合は、商品はデフォルトの最適化カテゴリーである「未カテゴリー化 (Uncategorized)」に移動されます。

すべての商品データが OpenLink にインポートされると、その後、商品ファイルを再び読み込むときには、オリジナルの小売業者の商品階層ではなく、IBM Omni-Channel Merchandising カテゴリーが使用されます。アプリケーションが商品ファイルの新しい商品階層を認識しない場合は、商品はデフォルトの最適化カテゴリーである UNCATEGORIZED に移動されます。これらの商品は、「コンテンツの編集」ページまたは「カテゴリー・ワークスペース」ページでカテゴリーに割り当てることができます。詳しくは、『カテゴリーに属さない商品のカテゴリーへの移動』を参照してください。

## 新商品の属性設定

この手順は、カテゴリ内の新規商品の属性を設定する場合に使用します。

### このタスクについて

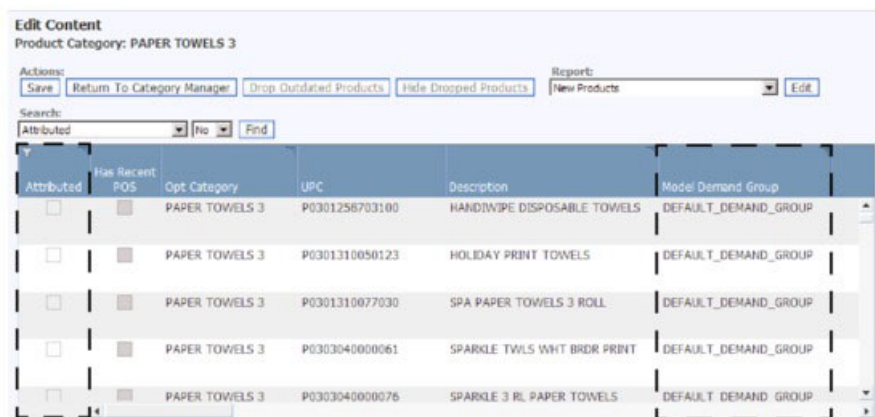
商品は新しい最適化カテゴリに承認されると、デマンド・グループ構造に割り当てられ、新しいカテゴリ構造で換算されます。「コンテンツの編集」ページまたは「カテゴリ・ワークスペース」ページで、商品の属性設定を直接行うことができます。

この処理により、カテゴリに入った商品を確実に予測に含めることができます。商品がデマンド・グループ構造に割り当てられていないと、予測から除外され、予測と実際の結果に不均衡が生じます。属性設定プロセスについて詳しくは、97ページの『第5章 属性設定の準備』を参照してください。換算サイズと計測単位について詳しくは、118ページの『サイズと計測単位の換算』を参照してください。

注: 「コンテンツの編集」ページおよび「カテゴリ・ワークスペース」ページにアクセスするには、「属性設定の有効化」権限が設定されている必要があります。

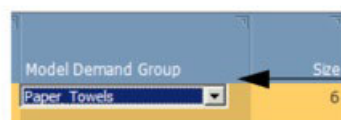
「コンテンツの編集」ページでカテゴリの新商品の属性設定を行うには、以下のようになります。

1. 「カテゴリ・マネージャー」ページで属性を設定する商品があるカテゴリを右クリックし、コンテキスト・メニューから「コンテンツの編集」を選択します。カテゴリ内の新商品には通常は属性が設定されておらず、モデル化もされていません。また、デフォルトのデマンド・グループが関連付けられています。



Attributed	Has Recent POS	Opt Category	UPC	Description	Model Demand Group
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	PAPER TOWELS 3	P0301256703100	HANDWIPE DISPOSABLE TOWELS	DEFAULT_DEMAND_GROUP
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	PAPER TOWELS 3	P0301310050123	HOLIDAY PRINT TOWELS	DEFAULT_DEMAND_GROUP
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	PAPER TOWELS 3	P0301310077030	SPA PAPER TOWELS 3 ROLL	DEFAULT_DEMAND_GROUP
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	PAPER TOWELS 3	P0303040000061	SPARKLE TWLS WHT BRDR PRINT	DEFAULT_DEMAND_GROUP
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	PAPER TOWELS 3	P0303040000076	SPARKLE 3 RL PAPER TOWELS	DEFAULT_DEMAND_GROUP

2. 「モデル・デマンド・グループ」列をクリックし、ドロップダウン・リストから既存のデマンド・グループを選択します。これにより、自動的に適切なモデル・カテゴリが商品に割り当てられます。



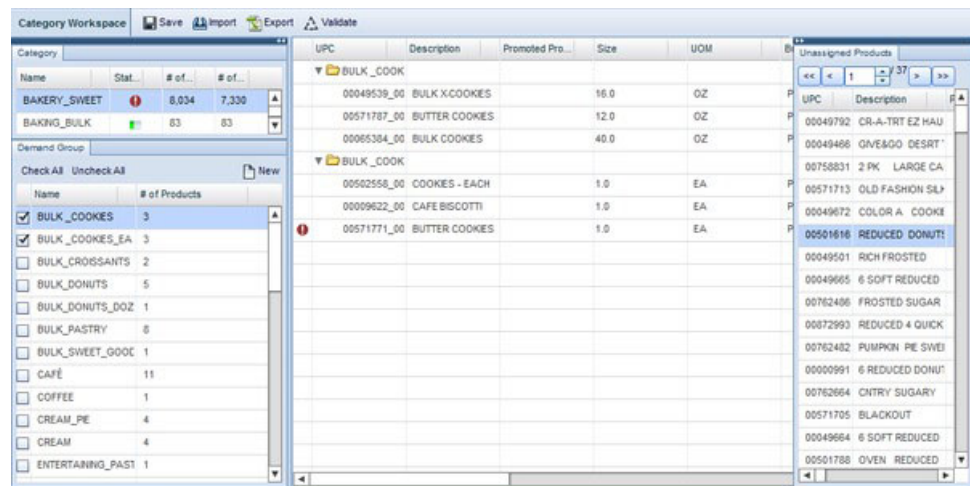
Choose an existing Demand Group for the category from the Model Demand Group drop-down list



- このページの残りの属性設定プロセスを完了し、カテゴリのモデル化準備が確実に整った状態にします。
- 「コンテンツの編集」ページの左上隅にある「保存」をクリックします。

「カテゴリ・ワークスペース」ページでカテゴリの新商品の属性設定を行うには、以下のようにします。

- 「オープン・リンク」>「カテゴリ・マネージャー」を選択し、「カテゴリ・マネージャー」ページを開きます。
- カテゴリを右クリックし、「カテゴリ・ワークスペース」を選択して「カテゴリ・ワークスペース」ページを開きます。



- 「カテゴリ」パネルでカテゴリを選択します。すべての未割当商品がカテゴリのデフォルトのデマンド・グループに保管され、「未割当商品」パネルに表示されます。カテゴリ内の新商品には通常、属性が設定されておらず、モデル化もされていません。
- 「未割当商品」パネルから個々の商品を選択して、「デマンド・グループ」パネルのデマンド・グループにドラッグします。移動する商品の名前が太線の下にあるデマンド・グループに表示されたら、マウスのボタンを放します。移動した商品が移動先のデマンド・グループに追加されます。

デマンド・グループが選択されている状態で、商品を直接、ページの真中の「割り当て済み商品」リストにドラッグすることもできます。移動した商品が太線の下にある新規行に追加されます。

UPC	Description	Size	UOM	Brand	Attributed	Unassigned Products
▼ ACETAMINOPH						
A1031981000892	EXCEDRIN SOCT-TE	50.0T ABL	CT	EXCEDRIN	No	Unassigned Products
A1030045048205	X ST, TY PM 50S C	54.0	CT	TYLENOL	No	UPC Description
A1030045070230	TYLENOL PM ARTH	100.0	CT	TYLENOL	No	A1031981000184 EXCEDRI

### 関連トピック

169 ページの『新しいデマンド・グループの作成』

この手順は、新しいデマンド・グループを作成する場合に使用します。

## 新しいデマンド・グループの作成

この手順は、新しいデマンド・グループを作成する場合に使用します。

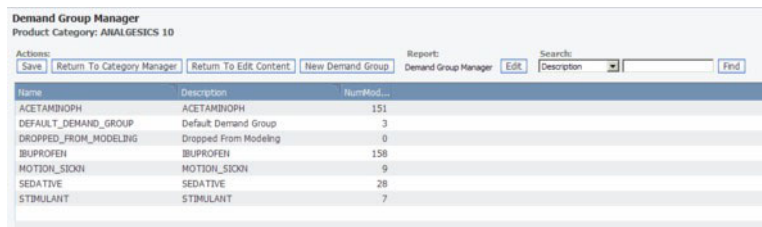
### このタスクについて

「デマンド・グループ・マネージャー」 ページか、「カテゴリ・ワークスペース」 ページで新しいデマンド・グループを作成することができます。

注: 「カテゴリ・ワークスペース」 ページにアクセスするには、「属性設定の有効化」 権限が設定されている必要があります。

「デマンド・グループ・マネージャー」 ページで新しいデマンド・グループを作成するには、以下のようにします。

1. 「カテゴリ・マネージャー」 ページで、新しいデマンド・グループを作成したいカテゴリを右クリックし、コンテキスト・メニューから「デマンド・グループ・マネージャー」を選択します。「デマンド・グループ・マネージャー」 ページが表示されます。



Name	Description	NumMod...
ACETAMINOPH	ACETAMINOPH	151
DEFAULT_DEMAND_GROUP	Default Demand Group	3
DROPPED_FROM_MODELING	Dropped From Modeling	0
IBUPROFEN	IBUPROFEN	158
MOTION_SICKN	MOTION_SICKN	9
SEDATIVE	SEDATIVE	28
STIMULANT	STIMULANT	7

2. 「新しいデマンド・グループ」 をクリックします。「New\_DemandGroup」という名前の新しいデマンド・グループが「デマンド・グループ・マネージャー」に追加されます。この名前フィールドをクリックして名前を変更することができます。ただし名前は固有のものでなければなりません。

注: デマンド・グループ名は、50 文字を超えてはなりません。



Name	Description	# of Products
FRESH_CUT_MIXED_GREENS	FRESH_CUT_MIXED_GREENS	16
FRESH_CUT_POMS	FRESH_CUT_POMS	21
HARDGOOD_CONTAINER_PLANTER	Default Demand Group	0
HARDGOOD_SUPPLY	HARDGOOD_SUPPLY	1
HRDGD_CONTAINER_PLANTER	HRDGD_CONTAINER_PLANTER	1
New_DemandGroup		0

Click the New\_DemandGroup name field to change the name

3. 「デマンド・グループ・マネージャー」 ページの左上隅にある 「保存」 をクリックします。これで新しいデマンド・グループがアプリケーションで使用可能になります。

「カテゴリ・ワークスペース」 ページで新しいデマンド・グループを作成するには、以下のようにします。



1. 「**カテゴリー・ワークスペース**」ページで、「**デマンド・グループ**」パネルの右上隅にある「**新規**」をクリックします。
2. 「**新しいデマンド・グループ**」ダイアログ・ボックスで固有のデマンド・グループ名を入力し、「**作成**」をクリックします。
3. 表示される状況メッセージで「**OK**」をクリックすると、新しいデマンド・グループが「**デマンド・グループ**」リストの末尾に追加されます。

---

## 商品階層上書きの設定

この手順は、商品階層上書きを設定する場合に使用します。

### このタスクについて

商品階層の変更が行われても、小売業者のシステムには影響がなく、複数の商品階層が最適化目的のために管理できるようになります。小売業者は週ごとにシステムヘデータを送信しているため、商品階層の変更が以降の小売業者のデータ読み込みによって上書きされないようにすることが重要です。「**コンテンツの編集**」ページか「**商品レベル詳細**」ページで「**マップを使用 (Use Map)**」設定をクリアして、インポート済みのカテゴリー・マップが常に小売業者の新規商品ファイル・カテゴリー・マッピングを上書きするように設定できます。

**注:** 小売業者の商品ファイルの構造が大幅に変更されている場合は、「**マップを使用 (Use Map)**」設定にチェック・マークを入れて、大規模なカテゴリー変更が次の商品ファイルの読み込み時に組み込まれるようにすることもできます。

「**コンテンツの編集**」ページで、商品階層の上書きを設定するには、以下のようになります。

1. 「**オープン・リンク**」>「**カテゴリー・マネージャー**」を選択し、「**カテゴリー・マネージャー**」ページを開きます。
2. 変更済みのカテゴリー階層を右クリックし、コンテキスト・メニューから「**コンテンツの編集**」を選択します。「**コンテンツの編集**」ページが表示されます。
3. 「**全商品**」レポートで、個々の商品の隣にある「**商品マップを使用**」チェック・ボックスがクリアされていることを確認します。このチェック・ボックスが空欄であれば、カテゴリー・マップが、インポートのたびに常に小売業者の商品ファイル・カテゴリー・マッピングを確実に上書きします。これがデフォルト設定です。

「**商品レベル詳細**」ページで、商品階層の上書きを設定するには、以下のようになります。

1. 「**オープン・リンク**」>「**カテゴリー・マッピング**」を選択し、「**カテゴリー・マッピング**」ページを開きます。
2. 変更済みのカテゴリー階層を右クリックし、コンテキスト・メニューから「**商品レベル詳細の表示**」を選択します。「**商品レベル詳細**」ページが表示されます。
3. 「**商品マップ詳細**」レポートで、個々の商品の隣にある「**マップを使用 (Use Map)**」チェック・ボックスがクリアされていることを確認します。このチェック・ボックスが空欄であれば、カテゴリー・マップが、インポートのたびに常に小売業者の商品ファイル・カテゴリー・マッピングを確実に上書きします。これがデフォルト設定です。

## PIF 属性列の構成

PIF を設定して、属性設定のために、あるいは Everyday Price Optimization や Everyday Price Management のルールにとって有用なフィールドを追加できます。

### このタスクについて

PIF を設定して、属性設定のために、あるいは Everyday Price Optimization や Everyday Price Management のルールにとって有用なフィールドを追加できます。これらの商品属性を選択して PIF での順番を決定することは、企業の全ユーザーについて一度だけ実行する必要がある管理手順です。

以下の参照フィールドは、属性を設定する上で役立ちます。

- 参照レベル 1 から 12 のコードと説明
- 参照属性 0 から 9

これらの商品関係フィールドは、Price アプリケーションの最適化ルールでのみ必要となります。

- ライン・グループ (プロモーション計画および最適化でも役立ちます)
- 事前設定価格
- サイズ・ファミリー (Size Family)
- サイズ・クラス (Size Class)
- ブランド・ファミリー (Brand Family)
- ブランド・クラス (Brand Class)
- その他ファミリー 1
- その他クラス 1
- その他ファミリー 2
- その他クラス 2

注: PIF 列を構成するには、「**PIF 列の構成を有効化**」権限が設定されている必要があります。

PIF 属性列を設定するには、以下のようにします。

### 手順

1. 「オープン・リンク」>「PIF 列の構成」を選択して、「PIF 列の構成」ページを開きます。PIF に表示される列の名前のリストが表示され、商品データベースにあるレコードからサンプルの属性値と一緒に表示されます。サンプル値は、列が属性設定プロセスに役立つかどうかを判断するのに役立ちます。



Export Order	Export	Name	Sample Value
1	<input checked="" type="checkbox"/>	Size Class	MEDIUM
2	<input checked="" type="checkbox"/>	Size Family	PAIN CAPLET
3	<input checked="" type="checkbox"/>	Brand Class	NATIONAL BRAND
4	<input checked="" type="checkbox"/>	Brand Family	PAIN_RELIEF_CAPS
5	<input checked="" type="checkbox"/>	Line Group	LP_00838910
6	<input checked="" type="checkbox"/>	Is Pre Priced	0

2. PIF エクスポートに含める属性列を「**含める**」列に設定します。デフォルトでは、次の列が設定されます。これらの列はクリアすることができます。
  - サイズ・クラス (Size Class)
  - サイズ・ファミリー (Size Family)
  - ブランド・クラス (Brand Class)
  - ブランド・ファミリー (Brand Family)
  - ライン・グループ
  - 事前価格設定済み
  - レベル 1 説明
  - レベル 2 説明
  - レベル 3 説明
  - レベル 4 説明
  - レベル 5 説明
  - レベル 6 説明
3. 「**順序**」列をクリックすると、列の順序を変更できます。これらの属性はすべて、エクスポート済みの PIF にある他の属性列の右側のブロックに表示されません。

---

## カテゴリーの管理

この手順は、カテゴリーの名前を変更する場合に使用します。

### このタスクについて

カテゴリー階層を再編した後や、あるカテゴリーにある全商品を別のカテゴリーに移動した後に、いくつかのカテゴリーが使用できなくなる場合があります。「**カテゴリー・マネージャー**」ページで、これらのカテゴリーを整理のために簡単に削除できます。

カテゴリーに新しい命名規則を適用したり、不正な名前をカテゴリーに指定したりする場合があります。「**カテゴリー・マネージャー**」でカテゴリー名を変更することもできます。ただし、デフォルトの UNCATEGORIZED カテゴリーなどの予約済みのカテゴリー名は変更できません。

**注:** 商品カテゴリーを削除するには、「**カテゴリーの削除を有効化**」権限が設定されている必要があり、商品カテゴリーの名前を変更するには、「**カテゴリーの名前変更を有効化**」権限が設定されている必要があります。

カテゴリー名を変更するには、以下のようにします。

1. 「**オープン・リンク**」 > 「**カテゴリー・マネージャー**」を選択し、「**カテゴリー・マネージャー**」ページを開きます。
2. カテゴリーを右クリックし、コンテキスト・メニューから「**名前変更**」を選択します。

**注:** カテゴリーに未完了のモデル化ジョブがある場合には、確認メッセージが表示されます。カテゴリー名を変更すると、モデル化ジョブが失敗する場合があります。名前変更を続行する場合は「**はい**」をクリックします。

3. 表示されるダイアログ・ボックスで、固有のカテゴリ名を入力して「保存」をクリックします。カテゴリ名が「**カテゴリ・マネージャー**」で変更されません。

カテゴリを削除するには、以下のようにします。

1. 「**オープン・リンク**」 > 「**カテゴリ・マネージャー**」を選択し、「**カテゴリ・マネージャー**」ページを開きます。
2. カテゴリを右クリックし、コンテキスト・メニューから「**削除**」を選択します。以下の条件を満たすカテゴリは削除できます。
  - 商品が存在しない、またはこのカテゴリに現在移動中の商品が存在しない。
  - シナリオ、競合価格指数 (CPI)、カテゴリ・グループ、ルール・グループ、または商品グループがこのカテゴリに存在しない。
  - プロモーション、カレンダー、またはパッケージがこのカテゴリに存在しない。
  - マークダウン計画がこのカテゴリに存在しない。
3. すべての条件を満たす場合、確認メッセージが表示されます。削除を続行するには、「**はい**」をクリックします。

**注:** カテゴリが削除されたマッピングはすべて、「**カテゴリ・マッピング**」ページから削除されます。このページについて詳しくは、157 ページの『**カテゴリ・マップのインポート**』を参照してください。

#### **関連トピック**

157 ページの『**カテゴリ・マップのインポート**』

商品階層を持つカテゴリ・マップは、通常は導入時にすでに OpenLink にインポートされています。



---

## 第 8 章 タスク・スケジューラー

タスク・スケジューラーは、IBM Omni-Channel Merchandising サービスの自動化タスクを管理するために使用されます。

タスクは、明確に定義された入力、出力、および依存関係を持つ IBM Omni-Channel Merchandising プロシージャ、またはワークフローです。タスクの例は、モデル化ジョブ、インポート、エクスポート、商品ステータス・リゾルバー・アクティビティ、自動化された価格更新などです。開始時刻と開始日、および頻度を指定してタスクをスケジュールに入れることができます。タスク実行の履歴を表示することもできます。

### 関連トピック

『新規タスクの作成』

新規タスクを作成するには、この手順を使用します。「タスク・スケジューラー」ページで新規タスクを作成して、スケジュールに入れることができます。

180 ページの『タスクの編集』

タスクを編集するには、この手順を使用します。

180 ページの『タスクの削除』

タスクを削除するには、この手順を使用します。

181 ページの『タスク実行履歴の表示』

タスク実行履歴を表示するには、この手順を使用します。

---

### 新規タスクの作成

新規タスクを作成するには、この手順を使用します。「タスク・スケジューラー」ページで新規タスクを作成して、スケジュールに入れることができます。

#### 手順

1. 「管理」 > 「設定」 > 「タスク・スケジューラー」を選択して、「タスク・スケジューラー」ページを開きます。このページには、タスク・タイプ別のすべてのタスク、タスクの定義と説明、直近の開始日、最新の実行ステータス（スケジュール済み、開始、実行中、終了、エラー）、次回開始日、タスク・ステータス（アクティブ、非アクティブ、完了済み）、およびタスクを開始したユーザーがリストされます。

**注:** タスク・スケジューラー・サービスが使用できない場合は、エラー・メッセージが表示され、タスクを作成できなくなります。IBM Omni-Channel Merchandising 担当員に連絡して、支援を受けてください。

2. 「新規タスク」をクリックして「新規タスク」ダイアログ・ボックスを開きます。
3. タスクを定義するには、次のタスク・タイプとタスク定義のいずれかを選択してから、関連したタスクの詳細を入力します。

タスク・タイプ	タスク定義	タスクの詳細
インポート	<p>中間インポート - IVA フレームワークを使用してデータをインポートします。</p> <p>RAPIDS - RAPIDS フレームワークを使用して大量データをインポートします。</p>	<p>説明 - ID として使用されるタスクの説明。</p> <p>データ・タイプ - (「中間インポート」および「RAPIDS」に適用) インポートするデータのタイプ。</p> <p>アクティブ / 非アクティブ - (すべてのタスクに共通) このチェック・ボックスが設定されている場合は、タスクのスケジュールがアクティブです。クリアされている場合、タスク・スケジューラーはタスクを実行しません。</p> <p>インポート後のアクション/シンプル・アクション - データのインポート後に行われるアクションを説明します。</p> <p>承認 - インポートしたデータをデータベースに取り込みます。</p> <p>検証 - データ検証の後、インポート・プロセス後に停止します。</p>
エクスポート	<p>プロモーション予測のエクスポート - 店舗、商品、週のレベルで、販売数量の予測をエクスポートします。</p> <p>MC 実施詳細のエクスポート - Master Calendar から実施詳細をエクスポートします。</p> <p>拡張 MC 実施詳細のエクスポート - パブリック・カレンダー上のプロモーションに属する実施詳細をエクスポートします。</p> <p>拡張イベント詳細のエクスポート - パブリック・カレンダー上のプロモーションに属するイベントおよび関連した詳細をエクスポートします。</p> <p>イベント詳細のエクスポート - イベントおよび関連した詳細 (店舗、ロケーション・グループ・クラスなど) をエクスポートします。</p> <p>プロモーション TPM のエクスポート - SAP TPM との統合に関するプロモーション詳細をエクスポートします。</p> <p>マークダウン価格のエクスポート - シナリオの実装承認が行われたときに、店舗に推奨価格をエクスポートします。</p> <p>キャンペーン詳細のエクスポート - 現在は使用されていません。</p> <p>パッケージ詳細のエクスポート - パッケージおよび関連した詳細 (パッケージ・ヘッダー情報、ロケーション・グループ、商品グループ、商品グループの詳細など) をエクスポートします。</p> <p>陳列計画のエクスポート - 陳列計画機能からすべての陳列計画情報をエクスポートします。</p> <p>カスタム・エクスポート - カスタマイズしたデータ・タイプをエクスポートします (商品対商品関係、ライン対ライン関係など)。これは主に、IBM Omni-Channel Merchandising 技術サービスによって使用されます。</p> <p>価格シナリオのエクスポート - 価格更新の詳細をエクスポートします。このエクスポートには、「全価格」レポートのすべてのフィールドが含まれます。</p> <p>品揃えのエクスポート - 棚割りクラスター製品データ、製品属性と評価指標の構成可能なセット、承認日、およびクラスター詳細 (店舗) をエクスポートします。また、クラスターへの店舗のマッピングをリストするオプションのクラスター店舗ファイルも含まれます。承認対象としてマークを付けられているすべてのシナリオをエクスポートします。</p>	<p>説明 - ID として使用されるタスクの説明。</p> <p>アクティブ / 非アクティブ - (すべてのタスクに共通) このチェック・ボックスが設定されている場合は、タスクのスケジュールがアクティブです。クリアされている場合、タスク・スケジューラーはタスクを実行しません。</p> <p>タスク定義のエクスポート - カスタマイズされたタスク定義のエクスポート。</p> <p>増分エクスポートまたはフルエクスポート - 増分エクスポートは、最後のエクスポート以降に変更された要素のみをエクスポートします。フルエクスポートは、すべての要素をエクスポートします。</p> <p>地域レベルまたは国レベルでの集約 - 予測がエクスポートされるレベル。</p> <p>エクスポート・ファイルのディレクトリー - エクスポート・ファイルが格納されているディレクトリー。</p> <p>エクスポート・ファイルの圧縮しきい値 - 圧縮のしきい値 (バイト単位で指定)。しきい値より大きなエクスポート・ファイルは圧縮され、エクスポート・ディレクトリーに格納されます。</p> <p>マークダウンのみ:</p> <p>推奨期間のエクスポート - 現在の週、または現在から最後の週の推奨価格をエクスポートします。</p> <p>価格推奨 - すべての価格推奨、または前にエクスポートされた価格から変更された価格推奨のみをエクスポートします。</p> <p>マークダウン価格しきい値のエクスポート - 前にエクスポートされた推奨価格と比較した新規推奨価格をエクスポートするためのしきい値。例えば、値が 0.10 の場合は、前の推奨と現在の推奨の差額が少なくとも 0.10 円であることが必要です。</p> <p>既にエクスポートされた推奨を除く - 「はい」に設定されている場合は、既にエクスポートされた推奨価格がすべて除外されます。「いいえ」に設定されている場合は、既にエクスポートされた推奨価格がすべて再エクスポートされます。</p>
価格配信	<p>基本価格配信 - ディビジョン・レベルでの店舗と商品の基本価格。</p> <p>基本価格配信 (ゾーン・レベル) - ゾーン・レベルでの基本価格。</p> <p>高速価格設定 - 標準シナリオ・プロセスの外で、店舗に高速価格設定を直接エクスポートします。</p> <p>高速価格設定 (ゾーン・レベル) - ゾーン・レベルのエクスポート・テーブルから読み取って、高速価格エクスポート・ファイルを作成します。</p> <p>移転価格 - 移転価格を含むエクスポート・ファイルを作成します。</p> <p>基本/移転価格 - 基本価格と移転価格を含むエクスポート・ファイルを作成します。</p> <p>カスタム配信 - 内部で使用されます。</p>	<p>説明 - ID として使用されるタスクの説明。</p> <p>アクティブ / 非アクティブ - (すべてのタスクに共通) このチェック・ボックスが設定されている場合は、タスクのスケジュールがアクティブです。クリアされている場合、タスク・スケジューラーはタスクを実行しません。</p> <p>ディビジョン - プロセスのディビジョン。</p>



タスク・タイプ	タスク定義	タスクの詳細
シナリオおよびデータ・メンテナンス	<p><b>価格シナリオの削除</b> - Everyday Price Optimization および Everyday Price Management で、使用されていない古いシナリオを削除します。</p> <p><b>競合相手データの削除</b> - 指定した日数より古い競合相手データをデータベースから消去します。</p> <p><b>シナリオのアーカイブ</b> - システム・パフォーマンスを改善するために、指定した日数より古いシナリオをアーカイブします (180 日を推奨)。次のタイプのシナリオは、アーカイブに含まれません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実動シナリオ</li> <li>・ カテゴリ/ディビジョンに関するシナリオの最後の実行</li> <li>・ 「保持」のマークが付いたシナリオ</li> <li>・ 削除処理中のステータスにあるシナリオの永続的削除 (シナリオの消去)</li> </ul>	<p><b>説明</b> - ID として使用されるタスクの説明。</p> <p><b>アクティブ / 非アクティブ</b> - (すべてのタスクに共通) このチェック・ボックスが設定されている場合は、タスクのスケジュールがアクティブです。クリアされている場合、タスク・スケジューラーはタスクを実行しません。</p> <p><b>カテゴリ</b> - プロセスのカテゴリ。</p> <p><b>ディビジョン</b> - プロセスのディビジョン。</p> <p><b>競合相手</b> - 競合相手データのソフト削除の対象である特定の競合相手。</p> <p>「より古い」 (日数) - データが削除されるまでの日数 (シナリオ実行日から起算)。</p>
価格メンテナンス	<p><b>価格更新</b> - データ変更を監視するプロセスを実行した後、価格更新を実行します。次に、価格更新を起動するデータ変更の主なタイプを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規の仕入れ原価</li> <li>・ 新規の競合情報</li> <li>・ 新規の遵守</li> <li>・ 新商品</li> <li>・ 新規の VAT 率</li> <li>・ ゾーン構造</li> </ul> <p><b>再計算</b> - IBM Omni-Channel Merchandising が価格上書きデータを自動的にインポートした対象のシナリオを再計算します。これらのシナリオは、「<b>要再計算: 最適化価格が変更されています (Recalculate! Optimized prices have been changed)</b>」というステータスを持ち、タスクに対して選択されたカテゴリとディビジョンに属しています。</p> <p><b>ルール適用価格設定</b> - 変更を検出してルール適用価格設定を自動的に実行する、ルール・ベース価格設定シナリオのルール適用価格設定プロセスをスケジュールに入れます。</p> <p><b>価格承認</b> - シナリオがエクスポートされおらず、「<b>実動価格承認</b>」画面に表示されている場合に、すべてのシナリオに「<b>エクスポートの承認</b>」のマークを付けます。商品が自動的に承認されたときに通知を受けるには、「<b>自動価格承認タスクのステータス</b>」アラートにサブスクライブします。</p>	<p><b>説明</b> - ID として使用されるタスクの説明。</p> <p><b>アクティブ / 非アクティブ</b> - (すべてのタスクに共通) このチェック・ボックスが設定されている場合は、タスクのスケジュールがアクティブです。クリアされている場合、タスク・スケジューラーはタスクを実行しません。</p> <p><b>カテゴリ</b> - プロセスのカテゴリ。Ctrl クリックを使用してカテゴリを複数選択でき、また Shift クリックを使用して複数の隣接したカテゴリを選択できます。</p> <p><b>ディビジョン</b> - プロセスのディビジョン。</p> <p><b>データ・タイプ (オプション)</b> - 価格更新を実行する前に IBM Omni-Channel Merchandising OpenLink によって読み込む必要があるデータ・ファイル。カテゴリ/ディビジョンのデータ・ファイルの読み込みに失敗した場合は、E メール通知が送信されます。データが正常に読み込まれたカテゴリ/ディビジョンに対して、プロセスが実行されます。</p>
商品ステータスの計算	<p><b>商品ステータス・リゾルバー</b> - PSR プロセスを実行して、売上履歴に基づいて店舗商品レベルのステータスを分析します。</p> <p><b>商品統計サマリー</b> - 売上データから各種のサマリー統計を計算するプロセスを実行します。</p> <p><b>商品統計の最適化</b> - 商品レベルで平均価格と原価を計算し、店舗レベルでモデル化係数を持つアクティブ商品を計算するプロセスを実行します。これは店舗をリンクする前に実行する必要があります。</p>	<p><b>説明</b> - ID として使用されるタスクの説明。</p> <p><b>アクティブ / 非アクティブ</b> - (すべてのタスクに共通) このチェック・ボックスが設定されている場合は、タスクのスケジュールがアクティブです。クリアされている場合、タスク・スケジューラーはタスクを実行しません。</p> <p><b>カテゴリ</b> - プロセスのカテゴリ。Ctrl クリックを使用してカテゴリを複数選択でき、また Shift クリックを使用して複数の隣接したカテゴリを選択できます。</p>
ワークフロー	<p><b>OpenLink ワークフロー</b> - 商品、原価、ロケーションなどのデータを正しい順序で自動的に読み込むワークフロー。</p> <p><b>Openlink 自動データ読み込み</b> - データ・ファイルが事前に構成された頻度で到着した直後に、到着データが自動的に読み込まれるようにします。このワークフローにより、データ読み込み処理や、データ・ファイルが到着したときに行う操作をスケジュールリングする必要がなくなります。</p> <p>注: このタスクを有効にするには、「Openlink 自動データ読み込みを有効化」権限が必要です。</p>	<p><b>説明</b> - ID として使用されるタスクの説明。</p> <p><b>アクティブ / 非アクティブ</b> - (すべてのタスクに共通) このチェック・ボックスが設定されている場合は、タスクのスケジュールがアクティブです。クリアされている場合、タスク・スケジューラーはタスクを実行しません。</p> <p><b>ワークフロー</b> - プロセスのワークフロー。</p> <p><b>ポーリング間隔 (分)</b> - ワークフローが新規データ・ファイルの有無についてファイル・システムを検索する頻度。ポーリング間隔は 10 分以上に設定することをお勧めします。</p> <p><b>ポーリング期間 (時間)</b> - ワークフローが新規データ・ファイルの有無についてポーリングを行う時間の長さ。このパラメーターは、すべてのデータ読み込みを固定の時間フレーム内に制限するために使用されます。</p>
モデル化	<p><b>モデル化タスク</b> - モデル化ジョブを実行します。</p>	<p><b>説明</b> - ID として使用されるタスクの説明。</p> <p><b>アクティブ / 非アクティブ</b> - (すべてのタスクに共通) このチェック・ボックスが設定されている場合は、タスクのスケジュールがアクティブです。クリアされている場合、タスク・スケジューラーはタスクを実行しません。</p> <p><b>商品カテゴリ</b> - プロセスのカテゴリ。</p> <p><b>基本モデル化ジョブ</b> - 商品カテゴリに関連したモデル化ジョブ。すべての繰り返しは、基本モデル化ジョブのコピーです。</p>
最適化	<p><b>マークダウンの再最適化</b> - マークダウンの再最適化を実行します。</p>	<p><b>説明</b> - ID として使用されるタスクの説明。</p> <p><b>アクティブ / 非アクティブ</b> - (すべてのタスクに共通) このチェック・ボックスが設定されている場合は、タスクのスケジュールがアクティブです。クリアされている場合、タスク・スケジューラーはタスクを実行しません。</p> <p><b>カテゴリ</b> - プロセスのカテゴリ。</p> <p><b>ディビジョン</b> - プロセスのディビジョン。</p>

タスク・タイプ	タスク定義	タスクの詳細
その他	<p><b>通知サマリー</b> - E メール・メッセージを累積して、毎日または毎週、ユーザーに一括して送信します。</p> <p><b>時間ベースのイベント・ロック</b> - ロックしきい値を超えたイベントをロックするプロセスを実行します。</p> <p><b>モデルの正常性計算</b> - 全カテゴリを対象に、モデルの正常性計算を実行します。これにより、「モデルの正常性」レポートが更新されます。</p> <p><b>TLog MBI の計算</b> - マーケット・バスケット評価指標の計算を実行します。これにより、ホーム・ページの「マーケット・バスケット分析」レポート、および「プロモーションの最適化」商品選択の MBI 評価指標が更新されます。IBM Omni-Channel Merchandising OpenLink によって前処理と検証が行われたトランザクション・ログ・データを使用します。このタスクは、週に 1 回実行されるように構成する必要があります。</p> <p><b>競合価格のロールオーバー</b> - 競合価格履歴データ・ストアからゾーン・レベル競合価格エントリーに競合価格を読み込みます。</p> <p><b>新商品の自動割り当て</b> - IBM Omni-Channel Merchandising OpenLink で既存のデマンド・グループを新商品に割り当てるプロセスを実行します。全カテゴリを対象に実行することも (デフォルト)、「カテゴリ」ドロップダウン・メニューで選択した 1 つ以上のカテゴリに対して実行することもできます。</p> <p><b>粗利をベースにした原価計算</b> - 商品のユーザー定義の原価粗利から原価を計算するプロセスを実行します。</p> <p><b>マークダウン計画シナリオの消去</b> - Markdown Optimization でソフト削除済みのマークダウン計画とシナリオを永続的に削除します。</p> <p><b>店舗配送の拡張</b> - Promotion Optimization アプリケーションで店舗のセット全体にわたる予測を取得できるように、既存店舗から新店舗に新商品のモデル化係数をコピーします。新店舗には新規商品の履歴データが存在せず、予測に使用するためのモデル化係数を見積もることができません。</p> <p>注: このタスクを有効にするには、「店舗間の係数のコピー・タスクを有効化」権限が必要です。</p> <p><b>消費者商品の店舗配送の拡張</b> - Promotion Optimization アプリケーションで予測を取得できるように、既存ロケーションから新規ロケーションに新商品のモデル化係数をコピーします。</p> <p>注: このタスクを有効にするには、「店舗間の係数のコピー・タスクを有効化」権限が必要です。</p> <p><b>衝突検出</b> - チームおよびパブリック・カレンダーのアイテム間に衝突が生じていないことを検証する、衝突検出検査を定期的に行うために使用されます。</p> <p><b>データ・インポート・モニター</b> - 最近のデータ・インポートを検査して、サイズと読み込み時間について予想される範囲内であることを確認します。異常なデータ読み込みと欠落ファイルの検査も行い、エラーがある場合は該当するアラートを送信します。</p> <p><b>陳列計画の検証</b> - 陳列計画の特性が衝突していないことを確認し、エラーがある場合は該当するアラートを出します。</p> <p><b>イベントの検証</b> - イベント計画で作成されたイベント間に衝突が発生しているかどうかを検出し、エラーがある場合は該当するアラートを出します。</p> <p><b>マーケティング・カレンダーの集約</b> - イベント計画で作成されたイベントについて、予測と実際のデータを事前に集約して、将来の計画時にこれらの計算結果を使用できるようにします。</p>	<p><b>説明</b> - ID として使用されるタスクの説明。</p> <p><b>アクティブ / 非アクティブ</b> - (すべてのタスクに共通) このチェック・ボックスが設定されている場合は、タスクのスケジュールがアクティブです。クリアされている場合、タスク・スケジューラーはタスクを実行しません。</p> <p><b>カテゴリ</b> - (デマンド・グループの自動割り当てに適用可能) デマンド・グループを新商品に割り当てる対象のカテゴリ。</p> <p><b>マークダウンのみ:</b></p> <p><b>日付タイプ</b> - 「計画開始日」を選択した場合は、指定したカットオフ日の値より前の計画開始日が指定されたすべての計画が削除されます。「計画終了日」を選択した場合は、指定したカットオフ日の値より前の計画終了日が指定されたすべての計画が削除されます。</p> <p><b>カットオフ日</b> - 計画を削除するためのカットオフ日 (MM/DD/YYYY 形式)。この日付より前の計画開始日または計画終了日を指定したすべての計画が削除されます。</p>

タスク・タイプ	タスク定義	タスクの詳細
プロモーション・データ・メンテナンス	<p><b>プロモーションの消去</b> - プロモーションの管理および最適化の実行中にソフト削除されたプロモーションを永続的に削除します。</p> <p><b>プロモーションの自動予測</b> - 日付範囲、計算ステータス、ワークフロー・ステータス、およびカテゴリ別にプロモーションを自動予測するよう選択できます。自動予測を実行するスケジュールを指定できます。プロモーションを再予測して、カテゴリの再モデル化やモデルの再調整などの適用を更新することもできます。このタスクは、特定の条件を満たすプロモーションを再予測します。</p> <p>タスク・スケジューラーで、パブリック・カレンダーにあるプロモーションを以下の条件での自動予測に適格になるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークフロー・ステータスで自動予測するプロモーションを選択します。以下のステータスを任意に組み合わせることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ドラフト</li> <li>パブリック・カレンダー</li> <li>チーム・カレンダー</li> <li>チームおよびパブリック・カレンダー</li> </ul> </li> <li>自動予測されるプロモーションの日付の時間枠を定義します。例えば、今日の日付から 6 週間から 8 週間の間に始まるよう設定されたすべてのプロモーションの自動予測を指定することができます。これにより、今後 6 週間以内に開始するように設定されているプロモーションの自動予測が防止されます。</li> <li>自動予測を終了する日時を設定します。</li> </ul> <p>プロモーション・タスク・スケジューラーのオプションは、システム設定により制御されます。システム設定について詳しくは、IBM 担当員にお問い合わせください。</p> <p><b>UEF 割り振りの消去</b> - プロモーションの管理および最適化の実行中にソフト削除された UEF 割り振りを永続的に削除します。</p> <p><b>ロケーション・グループ・クラスの消去</b> - プロモーションの管理および最適化の実行中にソフト削除されたロケーション・グループ・クラスを永続的に削除します。</p> <p><b>プロモーション価格競合レポート</b> - プロモーション価格競合レポートを実行します。</p> <p><b>商品カウントの更新</b> - 商品カウントを更新して、最新のカウントを反映させます。</p> <p><b>プロモーションの日次 POS の消去</b> - プロモーションの管理および最適化の実行中にソフト削除された日次 POS データを永続的に削除します。</p> <p><b>プロモーション商品カテゴリーの消去</b> - プロモーションの管理および最適化の実行中にソフト削除された商品カテゴリーを永続的に削除します。</p>	

4. 指定した時刻、タイム・ゾーン、および指定した日付に 1 回実行されるようにタスクのスケジュールを設定でき、また繰り返しの頻度、繰り返しの回数、および繰り返しの範囲を指定して、繰り返し発生するスケジュールを作成することもできます。

次に、「**繰り返しの範囲**」のオプションを示します。

- **終了なし** - タスクは永久に繰り返されます (デフォルト)。
- **回数を指定し、実施後終了** - タスクは指定された発生回数の後に完了し、アクティブでなくなります。
- **日付を指定し、その日までに終了** - タスクは指定した日付の後に完了し、アクティブでなくなります。終了日は、開始日より前ではありません。

使用されないタスクによってシステム・パフォーマンスが低下しないように、繰り返すには次の制限があります。

- カスタム・タスクの繰り返しは、59 分を超えてはなりません。
- 毎時間タスクの繰り返しは、23 時間を超えてはなりません。
- 毎日タスクの繰り返しは、6 日を超えてはなりません。
- 毎月タスクの繰り返しは、11 カ月を超えてはなりません。

毎週または毎年のタスクに繰り返しの制限はないことに注意してください。

**注:** 毎週のタスクは、例えば毎月曜日など、週ごとに 1 日のみ実行されます。複数の曜日に実行される毎週のタスクをスケジュールに入れる場合は、各曜日のタスクを作成する必要があります。

5. タスクの詳細の入力を完了したら、「保存」をクリックします。「タスク・スケジューラー」ページに新規タスクが表示されます。

#### 関連トピック

『タスクの編集』

タスクを編集するには、この手順を使用します。

---

## タスクの編集

タスクを編集するには、この手順を使用します。

### このタスクについて

タスク・ステータスが「アクティブ」の場合に、既存のタスクを編集できます。タスクの編集は、「タスク・スケジューラー」ページで行います。

### 手順

1. 「管理」 > 「設定」 > 「タスク・スケジューラー」を選択して、「タスク・スケジューラー」ページを開きます。

**注:** タスク・スケジューラー・サービスが使用できない場合は、エラー・メッセージが表示され、タスクを編集できなくなります。IBM Omni-Channel Merchandising 担当員に連絡して、支援を受けてください。

2. タスクを選択して右クリックし、「詳細」を選択して「タスクの編集」ダイアログ・ボックスを開きます。
3. 「タスク・タイプ」と「タスク定義」の選択内容を編集できます。タスクが 1 回以上実行された場合は、タスクのスケジュールの開始日を変更することはできません。発生回数は、タスクが既にスケジュールに従って実行された回数以下であってはなりません。
4. 編集が完了したら「保存」をクリックします。「タスク・スケジューラー」ページに編集したタスクが表示されます。

---

## タスクの削除

タスクを削除するには、この手順を使用します。

### このタスクについて

タスクが開始される予定であるか、既に開始されている場合に、既存のタスクを削除できます。「タスク・スケジューラー」ページからタスクが削除されます。

### 手順

1. 「管理」 > 「設定」 > 「タスク・スケジューラー」を選択して、「タスク・スケジューラー」ページを開きます。

注: タスク・スケジューラー・サービスが使用できない場合は、エラー・メッセージが表示され、タスクを削除できなくなります。 IBM Omni-Channel Merchandising 担当員に連絡して、支援を受けてください。

2. タスクを選択します。
3. 「削除」を選択します。
4. 表示される確認メッセージの「はい」をクリックします。 削除したタスクが、「タスク・スケジューラー」ページから削除されます。

---

## タスク実行履歴の表示

タスク実行履歴を表示するには、この手順を使用します。

### このタスクについて

開始日、ジョブ・ステータス、タスクを開始したユーザーなど、タスク実行の履歴を表示できます。

### 手順

1. 「管理」 > 「設定」 > 「タスク・スケジューラー」を選択して、「タスク・スケジューラー」ページを開きます。
2. タスクを選択します。
3. 「実行履歴」を選択して「タスクの実行履歴」ダイアログ・ボックスを開きます。 上部のサマリーに、タスク・タイプ、説明、タスク定義、およびタスクの頻度が表示されます。 開始時刻、実行ステータス、およびタスクを開始したユーザーを含む、タスクのすべての実行がリストされます。



---

## 第 9 章 ヘルプおよびサポートの利用

IBM Omni-Channel Merchandising はユーザー・フレンドリーな設計を採用していますが、機能について疑問点が生じるときがあるかもしれません。IBM Omni-Channel Merchandising は、必要な答えを迅速に見つけるために役立つ、さまざまなヘルプおよびサポートのソリューションを提供しています。

### 関連トピック

184 ページの『リリース・ノート』

IBM Omni-Channel Merchandising のお客様を対象とした毎四半期のアップグレードをサポートするために、リリース・ノートがアプリケーションの「ヘルプ」メニューに直接掲載されています。それぞれのリリース・ノート資料には、次の情報が記載されています。

184 ページの『オンライン・ヘルプ』

すべての IBM Omni-Channel Merchandising ソフトウェア・サービスに、ヘルプ機能が備わっています。このヘルプ機能は、現在表示している画面に関係のある情報を自動的に表示するように設計されています。

185 ページの『印刷可能なユーザー・ガイド』

それぞれの IBM Omni-Channel Merchandising ソフトウェア・サービスにはユーザー・ガイドが完備されており、Adobe Acrobat PDF ファイルとしてアクセスできます。PDF ファイルは電子的に表示することも、印刷して従来の紙のマニュアルとして読むこともできます。

186 ページの『IBM Omni-Channel Merchandising お客様サポートへのお問い合わせ』

何か問題が発生した場合は、IBM Omni-Channel Merchandising お客様サポートから直接、個人別の支援を受けることができます。

188 ページの『問題のログ送信』

フィードバック、問題、または質問を記載して問題のログ送信を行うプロセスは簡単です。また、問題の解決について新しい情報が提供されると、E メール通知を受け取ります。

192 ページの『Internet Explorer のポップアップ・ブロックの無効化』

Web サイトのポップアップを許可するには、この手順を使用します。

194 ページの『IBM Omni-Channel Merchandising 実習およびトレーニング』

IBM Omni-Channel Merchandising 実習部門は、すべてのソフトウェア・サービスに関する詳細なトレーニング・セッションを実施しています。

194 ページの『資料に関するご質問とコメント』

このオンライン・ヘルプに関するご提案、アイデア、ご質問、またはコメントがありましたら、是非 IBM Omni-Channel Merchandising にお知らせください。



---

## リリース・ノート

IBM Omni-Channel Merchandising のお客様を対象とした毎四半期のアップグレードをサポートするために、リリース・ノートがアプリケーションの「ヘルプ」メニューに直接掲載されています。それぞれのリリース・ノート資料には、次の情報が記載されています。

- **リリース概要** - IBM Omni-Channel Merchandising アプリケーションの現行リリースの全般的な概要と重要点。
- **新機能** - リリースの新機能の概要説明。
- **修正されたバグ** - IBM Omni-Channel Merchandising は、お客様から報告されたすべてのバグを可能な限り早期に解決するよう努力しています。修正されたバグは、リリース・ノートに記載されています。
- **既知の問題** - 現行リリースの既知の問題と、回避策があればその説明。既知の問題は、後続のリリースで修正されます。

---

## オンライン・ヘルプ

すべての IBM Omni-Channel Merchandising ソフトウェア・サービスに、ヘルプ機能が備わっています。このヘルプ機能は、現在表示している画面に関係のある情報を自動的に表示するように設計されています。

### 関連トピック

『オンライン・ヘルプへのアクセス』

オンライン・ヘルプにアクセスするには、この手順を使用します。

185 ページの『ヘルプのナビゲート』

オンライン・ヘルプ・システムは、印刷書籍のレイアウトを模したデザインになっています。左側のパネルにあるブックのアイコンをクリックすることによって、セクション間をナビゲートできます。ブックの章をクリックすると、章が開いてトピック・ページが表示されます。トピック・ページをクリックすると、右側のパネルに詳細が表示されます。

## オンライン・ヘルプへのアクセス

オンライン・ヘルプにアクセスするには、この手順を使用します。

### このタスクについて

オンライン・ヘルプは別のウィンドウで開きます。ご使用のコンピューターでポップアップ・ブロックを有効にしている場合は、オンライン・ヘルプを使用する前に無効にする必要があります。詳しくは、192 ページの『Internet Explorer のポップアップ・ブロックの無効化』を参照してください。

### 手順

1. オンライン・ヘルプにアクセスするには、ページの右上隅にある疑問符 (?) のアイコンをクリックします。
2. ドロップダウン・メニューでは、「オンライン・ヘルプ」をクリックするとオンライン・ヘルプが開きます。

## ヘルプのナビゲート

オンライン・ヘルプ・システムは、印刷書籍のレイアウトを模したデザインになっています。左側のパネルにあるブックのアイコンをクリックすることによって、セクション間をナビゲートできます。ブックの章をクリックすると、章が開いてトピック・ページが表示されます。トピック・ページをクリックすると、右側のパネルに詳細が表示されます。



ブックのページの上には、「コンテンツ」、「索引 (Index)」、「検索」、および「お気に入り」の 4 つのメインナビゲーション・ボタンがあります。

- **コンテンツ** - このボタンは、選択可能なすべてのオンライン・ヘルプ・トピックをブック形式で表示します。これは、オンライン・ヘルプを最初に開いたときのデフォルト・ビューです。
- **索引 (Index)** - このボタンは、選択可能なすべてのオンライン・ヘルプ・トピックをアルファベット順にリストします。
- **検索** - このボタンを使用して、オンライン・ヘルプ内で特定の用語を検索できます。ボックスに検索語を入力して、「実行」をクリックすると結果が表示されます。
- **お気に入り** - このボタンを使用して、特定のトピックの一覧を個人用のクイック・リファレンス・リストに保存できます。「お気に入り」ボタンをクリックして、保存したお気に入りにいつでもアクセスできます。

---

## 印刷可能なユーザー・ガイド

それぞれの IBM Omni-Channel Merchandising ソフトウェア・サービスにはユーザー・ガイドが完備されており、Adobe Acrobat PDF ファイルとしてアクセスできます。PDF ファイルは電子的に表示することも、印刷して従来の紙のマニュアルとして読むこともできます。



PDF ファイルにアクセスするには、オンライン・ヘルプ画面の右上隅にある Adobe Acrobat アイコンを探します。Adobe Acrobat アイコンをクリックして PDF をロードします。

PDF を正しく表示するには、最新バージョンの Adobe Acrobat Reader がシステムにインストールされている必要があります。Adobe Acrobat Reader は、次に示す Adobe の Web サイトからダウンロードできます。

---

## IBM Omni-Channel Merchandising お客様サポートへのお問い合わせ

何か問題が発生した場合は、IBM Omni-Channel Merchandising お客様サポートから直接、個人別の支援を受けることができます。

IBM Omni-Channel Merchandising お客様サポート・チームには、電話、E メール、または Web 経由でご連絡いただけます。

サポートにご連絡いただく際には、次の情報を用意しておいてください。

- 名前
- 企業名
- 電話番号
- 問題の詳細説明
- 問題の優先順位

### 関連トピック

『電話によるサポート』

IBM Omni-Channel Merchandising お客様サポートは、電話でご利用いただけます (+1-866-460-0501)。

187 ページの『Web サポート』

IBM Omni-Channel Merchandising お客様サポートには、IBM Omni-Channel Merchandising ログイン・ページ ([www.mydt.demandtec.com](http://www.mydt.demandtec.com)) からアクセスできません。

## 電話によるサポート

IBM Omni-Channel Merchandising お客様サポートは、電話でご利用いただけます (+1-866-460-0501)。

これは、米国在住のお客様を対象とした通話料無料の番号です。海外からお電話いただく場合は、電話会社から通話料金が課金される場合があることに注意してください。

### 電話対応時間

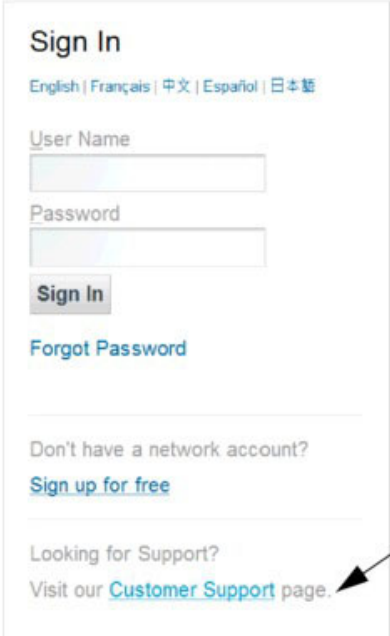
IBM Omni-Channel Merchandising は、最大限のオペラビリティを確保するために、3 組のお客様サポート・チームを用意しています。

- 米国を拠点とするサポート・チームは、月曜日から金曜日、太平洋標準時刻の午前 6 時から午後 6 時までご利用いただけます。
- 欧州を拠点とするサポート・チームは、月曜日から金曜日、中央ヨーロッパ標準時の午前 8 時から午後 5 時までご利用いただけます。
- 日本を拠点とするサポート・チームは、月曜日から金曜日、日本標準時の午前 8 時から午後 5 時までご利用いただけます。

IBM Omni-Channel Merchandising は夏時間調整を実施しています。お客様の地域で夏時間調整を実施していない場合は、時刻を適宜調整してください。

## Web サポート

IBM Omni-Channel Merchandising お客様サポートには、IBM Omni-Channel Merchandising ログイン・ページ ([www.mydt.demandtec.com](http://www.mydt.demandtec.com)) からアクセスできます。



Sign In

English | Français | 中文 | Español | 日本語

User Name

Password

Sign In

Forgot Password

Don't have a network account?  
[Sign up for free](#)

Looking for Support?  
Visit our [Customer Support page](#).

Contact Support link

問題のログ送信を開始できるお客様サポート・ポータルに接続するには、まず無料の Web サポート・アカウントを使用してログインする必要があります。

Web サポート・アカウントを既にお持ちの場合は、ユーザー名を入力してから、「パスワードをお忘れですか?」リンクをクリックすることにより、新規パスワードを要求する必要があります。ログイン手順を記載した一時パスワードが、E メール・アドレスに送信されます。アカウントをまだ持っていない場合は、お客様サポート Web ポータルに登録してアクセス権を取得してください。

### 関連トピック

#### 188 ページの『問題のログ送信』

フィードバック、問題、または質問を記載して問題のログ送信を行うプロセスは簡単です。また、問題の解決について新しい情報が提供されると、E メール通知を受け取ります。

#### 190 ページの『送信したケースの確認』

前にお客様サポートに送信したケースを開き、確認できます。ケースを編集して再送信したり、対処がなくなかったケースを閉じたりすることもできます。

#### 190 ページの『お客様サポート・ポータルの使用』

IBM Omni-Channel Merchandising お客様サポート・ポータルは、サポートに必要なすべての機能を 1 カ所で提供します。ページの上にあるタブを使用して、さまざまなタイプの情報に容易にアクセスできます。

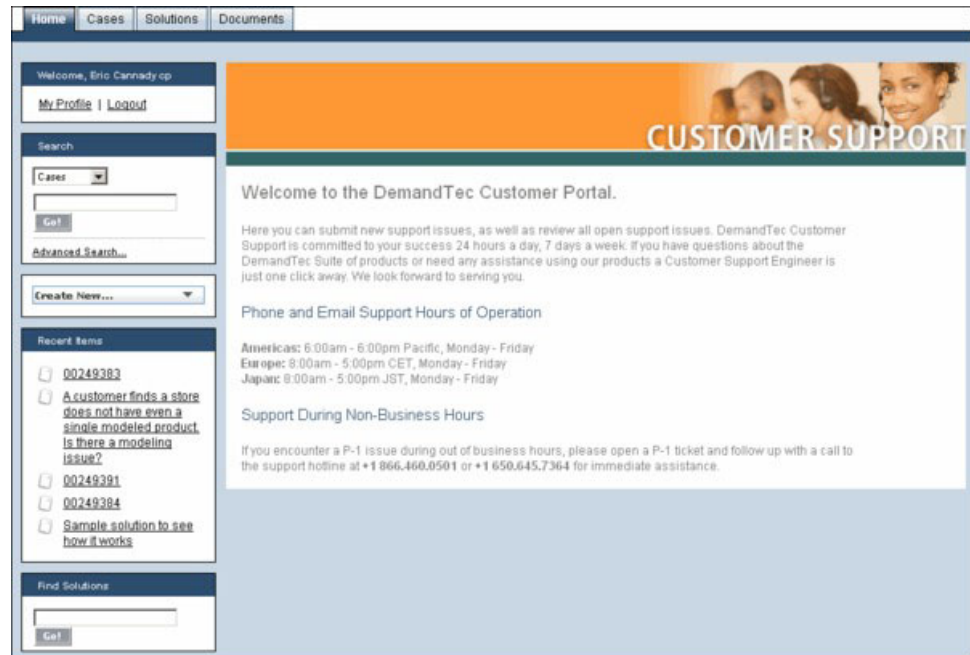
## 問題のログ送信

フィードバック、問題、または質問を記載して問題のログ送信を行うプロセスは簡単です。また、問題の解決について新しい情報が提供されると、Eメール通知を受け取ります。

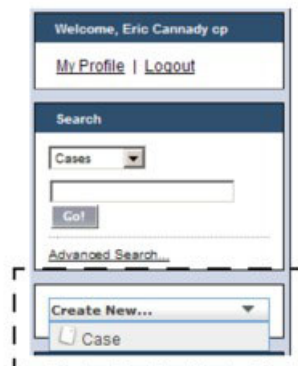
## このタスクについて

### 手順

1. 正常にログインすると、IBM Omni-Channel Merchandising お客様サポート・ポータルが表示されます。



2. 問題を入力するには、「新規作成 (Create New)」ドロップダウン・リストをクリックして、「ケース」を選択します。



3. 「新規ケース (New Case)」ページに情報を入力します。必須フィールドは、フィールドの隣に赤い垂直バーを付けて示されます。

- 連絡先名 (Contact Name) - フルネームを入力します (必須)
  - ステータス - (デフォルトでは必須、ただし読み取り専用)
  - 優先度 - 問題の優先順位を選択します。
    - P1 致命的 (P1 Critical) - アプリケーションを使用できないか、システムが安定性に欠けるために実装スケジュールに重大な影響があります。
    - P2 緊急 (P2 Urgent) - 一般的なビジネス機能を実行する能力に障害が生じています。
    - P3 重要 (P3 Important) - 小規模な機能が期待どおりに動作していません。
    - P4 必要 (P4 Necessary) - 一般の問い合わせや機能の要求を行います。
    - P5 モデル化要求 (P5 Modeling Request) - モデル化要求を行います。
  - 商品 - 問題が見つかったときに使用していた IBM Omni-Channel Merchandising アプリケーションを選択します (必須)。
  - 問題が見つかったバージョン (Found in version) - IBM Omni-Channel Merchandising アプリケーションのバージョンを選択します。
  - サブ商品 1 (Sub Product 1) - IBM Omni-Channel Merchandising アプリケーションの関連した領域を選択します。
  - サブ商品 2 (Sub Product 2) - IBM Omni-Channel Merchandising アプリケーションの関連した領域を選択します (使用可能な場合)。
  - 件名 - 問題の分かりやすいタイトルを入力します (必須)。
  - 説明 - 問題の詳しい説明を入力します (必須)。問題を再現するために必要なステップすべてのリストを含めてください。この情報は、お客様サポートが適時に問題を診断してお客様に回答するために役立ちます。
4. 「送信」をクリックします。要求が受領されたという確認が、チケット番号とともに表示されます。ケースはお客様ポータルに保管され、後で確認、変更、および再送信できます。詳しくは、190 ページの『送信したケースの確認』を参照してください。



5. または、「送信と添付ファイルの追加 (Submit & Add Attachment)」をクリックして、問題の例示に役立つ添付ファイル (画面キャプチャーなど) を組み込み、送信します。添付ファイルのサイズは最大 5 MB です。

#### 関連トピック

『送信したケースの確認』

前にお客様サポートに送信したケースを開き、確認できます。ケースを編集して再送信したり、対処が必要なくなったケースを閉じたりすることもできます。

### 送信したケースの確認

前にお客様サポートに送信したケースを開き、確認できます。ケースを編集して再送信したり、対処が必要なくなったケースを閉じたりすることもできます。

#### 手順

1. IBM Omni-Channel Merchandising サポート・センター Web サイトにログインします。
2. 「ケース」タブをクリックします。最近表示したケースのサマリーが、お客様ポータル中央に表示されます。

「表示」ドロップダウン・リストで、すべてのケース、オープン・ケースのみ、または最近表示したケース (デフォルト) を表示するように選択できます。

3. ケース番号をクリックして、ケースを開きます。「ケースの詳細 (Case Detail)」セクションの「編集」ボタンをクリックして、問題の詳細を編集し、再送信できます。また、新規コメントを入力し、添付ファイルを追加し、推奨される解決策を表示し、問題の現在の進行状況を確認することもできます。
4. ケースが有効でなくなった場合、またはお客様サポートからのフィードバックを必要としなくなった場合は、「ケースのクローズ (Close Case)」ボタンをクリックしてケースを閉じます。ポータルからケースを削除することはできません。

### お客様サポート・ポータルの使用

IBM Omni-Channel Merchandising お客様サポート・ポータルは、サポートに必要なすべての機能を 1 カ所で提供します。ページ上部にあるタブを使用して、さまざまなタイプの情報に容易にアクセスできます。





## タブ

- ・「ホーム」タブ - お客様ポータルのメインページ。「マイ・プロフィール」リンクをクリックして、ユーザー・プロフィール情報を編集または更新できます。
- ・「ケース」タブ - ケースを作成、編集、および表示するためのページ。
- ・「解決策 (Solutions)」タブ - 一般的な問題の解決策を検索および表示します。すべての解決策、最もよく表示された解決策、または最近表示した解決策のみの表示を選択できます。ケース・タイトルの先頭文字によってケースを選択することもできます。解決策の検索は、「ホーム」タブの下部にある「解決策の検索 (Find Solutions)」検索フィールドから直接実行できます。
- ・「文書」タブ - IBM Omni-Channel Merchandising アプリケーションの使用に役立つ補足資料、またはお客様サポートがケースを処理および管理する方法について詳しく説明する補足資料を検索し、表示します。

## 検索

ポータル内のすべてのタブに備わっているサイドバーで、「検索」領域を使用できます。入力したキーワードを使用してケースを検索でき、拡張検索では正確な言い回しを使用して検索できます。

拡張検索は、注、説明、コメントなど、ケース内の詳細フィールドを検索します。次のことを実行できます。

- ・ AND、OR、AND NOT などの演算子を使用して検索を絞り込む。
- ・ 複数のキーワードを囲む引用符を追加して、正確な言い回しのマッチングを実行する (例えば、"receive error when enter values in the Edit field")。
- ・ キーワードの最後にアスタリスクを追加して、そのワードから始まる項目を検索する (receive\* など)。

## 新規ケースの作成

ポータル内のすべてのタブに備わっているサイドバーで、「新規ケースの作成 (create new case)」ドロップダウン・リストを使用できます。

## 最近の項目

ケース、文書、ケースの解決策など、最近表示した項目を開くことができます。

---

## Internet Explorer のポップアップ・ブロックの無効化

Web サイトのポップアップを許可するには、この手順を使用します。

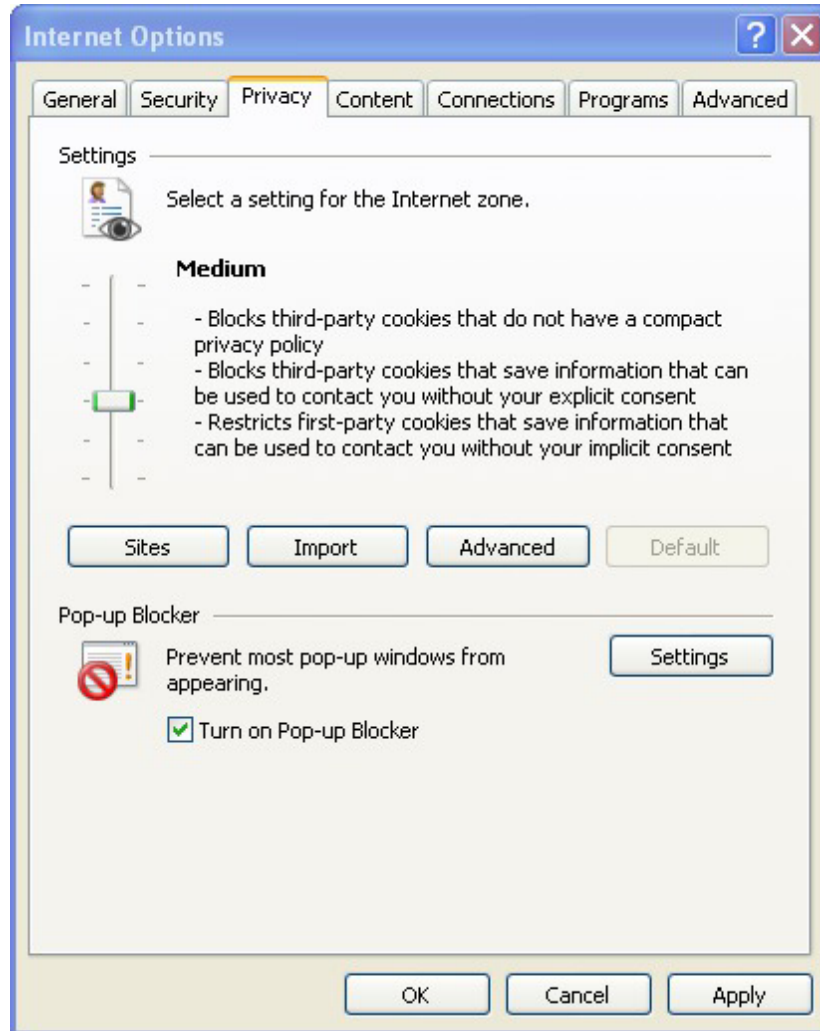
### このタスクについて

ポップアップ・ブラウザ・ウィンドウを無効にするソフトウェアを使用している場合は、IBM Omni-Channel Merchandising を正常に使用するために、この機能を無効にする必要が生じることがあります。IBM Omni-Channel Merchandising は、Microsoft Excel にファイルをエクスポートするときなど、アプリケーション全体でさまざまな場所にポップアップ・ウィンドウを使用します。

IBM Omni-Channel Merchandising など、特定の Web サイトのポップアップを許可するには、そのサイトを承認済みサイト・リストに追加する必要があります。

### 手順

1. Internet Explorer 7 を開きます。
2. メニュー・バーから「ツール」 > 「インターネット オプション」を選択します。「インターネット オプション」ダイアログ・ボックスが表示されます。
3. 「プライバシー」タブをクリックします。



4. ウィンドウの下部にポップアップ・ブロックの設定が表示されます。Internet Explorer 7 のポップアップ・ブロックを完全に無効にする場合は、「**ポップアップ ブロックを有効にする**」の隣のボックスにチェック・マークが付いていないことを確認します。ポップアップ・ブロックを有効のままにして、IBM Omni-Channel Merchandising を承認済みホワイトリストに追加する場合は、「**設定**」ボタンをクリックします。 ホワイトリストは、ポップアップ・ブロックに無視され、干渉を受けずに動作できる承認済みサイトのリストです。ホワイトリストの概念は、E メール・プログラムでは一般的なものです。この場合は、選択した E メール・アドレスをホワイトリストに追加すれば、これらのアドレスはスパム・フィルターをバイパスできます。このホワイトリストも、同様に動作します。
5. 「ポップアップ ブロックの設定」ダイアログ・ボックスに、サイトの名前を入力して (例: IBM Omni-Channel Merchandising の場合は mydt.demandtec.com)、「**追加**」ボタンをクリックします。

**注:** この手順は Internet Explorer 7 用のものです。Google、MSN、Yahoo! のソフトウェアなど、サード・パーティーのポップアップ・ブロックを使用している場合、手順は異なることがあります。

#### 関連トピック

『ポップアップ・ブロックの無効化の一時使用』

システムのポップアップ・ブロックを無効にしないようにする場合は、Ctrl キーを一時使用のショートカットとして使用して、Internet Explorer 7 ポップアップ・ブロックを一時的に無効にすることができます。単に Ctrl キーを押したまま Web リンクをクリックします。

## ポップアップ・ブロックの無効化の一時使用

システムのポップアップ・ブロックを無効にしないようにする場合は、Ctrl キーを一時使用のショートカットとして使用して、Internet Explorer 7 ポップアップ・ブロックを一時的に無効にすることができます。単に Ctrl キーを押したまま Web リンクをクリックします。

---

## IBM Omni-Channel Merchandising 実習およびトレーニング

IBM Omni-Channel Merchandising 実習部門は、すべてのソフトウェア・サービスに関する詳細なトレーニング・セッションを実施しています。

各リリースの新機能について説明する E プレゼンテーションを見て、リリース・トレーニングに参加できます。これらのプレゼンテーションは、Web ベースの e-learning システムで、いつでも都合のよいときにご利用いただけます。詳しくは、プロジェクト・リーダーまたは IBM Omni-Channel Merchandising トレーナーにお問い合わせください。

---

## 資料に関するご質問とコメント

このオンライン・ヘルプに関するご提案、アイデア、ご質問、またはコメントがありましたら、是非 IBM Omni-Channel Merchandising にお知らせください。

このオンライン・ヘルプに関するご提案、アイデア、ご質問、またはコメントがありましたら、是非 IBM Omni-Channel Merchandising にお知らせください。技術出版チーム (jessicae@us.ibm.com) に直接ご連絡いただけます。

---

## 第 10 章 用語集

この用語集では、アプリケーション内で使用される用語について説明します。

**アクティビティー・ベースの原価計算 (Activity-Based Costing):** すべての活動原価を、各アイテムに割り当てる会計システム (これに対し、従来の原価計算などの単純な手法では、原価をすべてのアイテムに均等に割り振っていた)。この方法により、運送費、人件費、間接費などすべてのサプライ・チェーン・コストを含めた場合、1 つのアイテムを販売する際の原価がいくらなのかを正確に知ることができると。

**見越し資金 (Accrual Fund):** 値引き、またはアカウントに協賛金を割り当てるのに使用される資金調達方式。値引きとして適用された場合、メーカーは小売業者がこの年に購入したケースごとに、決められた金額を支払うことになる (すべての基本数量、および、プロモーション時の数量を含む)。その代わりに、小売業者はそのメーカーに対し、決められた数のプロモーションを年間を通して実行する。見越し資金とケース・アローワンスの違いは、見越し資金は年間のすべてのプロモーションに対しての一括取り決めであり、ケース・アローワンスはイベントごとに異なる条件を交渉して決めることである。

見越し資金方式を使用して協賛金を割り当てる場合、特定のアカウントに対して協賛金をいくら割り当てるかが決まる。小売業者は一般に、見越し金をプロモーションのためだけの資金として積み立てる。

**広告 (Ad):** 印刷物、ラジオ、テレビなどの様々なメディア・チャンネルにおける商品のプロモーション。

**広告アローワンス (Ad Allowance):** 小売業者がメーカーから購入する各ケースに対して受ける金額 (広告の実施後に支払う)。

**広告ゾーン (Ad Zone):** 同じ広告プロモーションを実施する店舗の集合体。

**アローワンス (Allowance):** 小売業者がメーカーから受ける割引金額。アローワンスには、パフォーマンス・アローワンスと非パフォーマンス・アローワンスの 2 種類がある。

**品揃え (Assortment):** 小売業者の在庫にあるアイテムの構成。小売業者は、品揃えを定期的に確認し、取扱停止にするアイテムや、追加する新規アイテムなどについて検討する。

**返路輸送 (Backhaul):** 物流で使用される用語で、トラックが元の積荷を降ろした後に、別の積荷を載せて帰ること。

**返送アローワンス (Backhaul Allowance):** 小売業者が契約したトラックを使用してメーカーの倉庫から集荷する場合、商品 1 ケースあたりに適用される値引き。

**基本価格 (Base Price):** プロモーション対象外の通常の棚価格。

**ベシス・ポイント (Basis Point):** ベシス・ポイントは、財務リターンを見積もるために使用される最小単位である。1 ベシス・ポイントは 1 パーセントの 100 分の 1。例えば、純利益幅 2.25% と 2.50% の間の差は、25 ベシス・ポイントになる。

**ベイズ推論 (Bayesian Inference):** データ不足の状況で有効な、極めて洗練された統計上のモデル化手法。ベイズ推論は、200 年以上も前にトーマス・ベイズ牧師によって提唱された理論に基づいている。フィル・デラージオは、学术界の外で大規模で強固なベイズ・モデルを構築した専門家の 1 人である。

**ベイズ縮小 (Bayesian Shrinkage):** ベイズの方法論による情報を商品と店舗を越えて共有することで、モデルを高度に「縮小」し、突出した値を適度にする。

**BOGO: Buy One Get One Free** (1 つ購入するともう 1 つ無料) の略。消費者に商品のをまとめ買いを奨励するためによく実施されるプロモーション戦術の 1 つ。

**ブロック (Blocks):** 「店舗ゾーン (Store Zones)」を参照。

**ブランド (Brand):** メーカーがアイテム・グループに割り当てる名前 (通常は登録商標)。メーカーが複数のブランドを持っている場合もあるため、ブランド名とメーカー名が同じとは限らない。例えば、Clorox ブランドには、Clorox、Pine-Sol、Armor All、Brita などがあり、Proctor & Gamble ブランドには、Tide、Mr. Clean、Cover Girl などがある。

**ブランド・クラス (Brand Class):** ブランドの分類。最適化のルールを設定するために、ブランド クラスを使用して商品間のブランド関係を作成できる。例えば、ノーブランドのソーダは自社ラベル・クラスに、コカコーラはナショナル・ラベル・ブランド・クラスに入れることができます。

**ブランド・クラス・ルール (Brand Class Rule):** ブランド間に適用し、価格関係を決定する制約。例えば、プレミアム・ブランドはエコノミー・ブランドよりも常に高額である。

**ブランド・ファミリー (Brand Family):** ブランド・ファミリーでは、ブランド・クラスの一部分をより詳細に定義できる。ナショナル・ラベル・ブランド・クラスにはコカコーラと Pepsi が、自社ラベル・クラスにはノーブランドのソーダ A とソーダ B が含まれているとする。コカコーラとノーブランドのソーダ A の間の価格関係を制御するようなルールを設定するには、コカコーラ製品をコカコーラ・ブランド・ファミリーに、ソーダ A をソーダ A ブランド・ファミリーに入れる必要がある。

**ブランド・マネージャー (Brand Manager):** ブランド・マネージャーは、ブランド計画に関わる戦略や実施を計画する (どの新商品を開発し、どのマーケティング・ミックス・イベントを行うかなど)。マーケット・リサーチ部門が、ブランド・マネージャーをサポートする。

**ビジネス・ルール (Business Rules):** 最適化の結果がカスタマーのニーズを満たすよう、ユーザーが重要な戦略やポリシーを指定するためのルールで、最適化に対する制約。



**カニバリゼーション (Cannibalization):** 消費者が、(価格設定、プロモーション、新規の好ましい属性などの理由で) ある商品の代わりに別の商品を購入した場合に生じる、商品の売上に対するマイナスの影響。例えば、新しいフレーバーのヨーグルトが発売になると、他のフレーバーやブランドのヨーグルトとの間に「カニバリゼーション (共食い現象)」が始まる場合がある。なぜなら、消費者のヨーグルト購入量が全体として増える (カテゴリー拡張する) わけでなく、いつも購入している商品の代わりに新商品を購入することがあるからである。

**カテゴリー (Category):** 代替可能な、または補完しあう関連商品の集合体。小売業者はカテゴリーを使用して、商品をグループ化し、管理する (生鮮食料品、乳製品、冷凍食品など)。

**カテゴリー・マネージャー (Category Manager):** 価格、プロモーション、配置、品揃えなど、商品のカテゴリーのすべてのマーチャンダイジング・アクティビティの責任者。

**カテゴリー計画 (Category Plan):** 指定された日付範囲と時間的に交差する 1 つのカテゴリーに対するすべてのプロモーション。これは、カテゴリーの予測の基準となるもので、異なるプロモーション計画の正確な what-if 分析を実行するために使用できる。

**チェーン (Chain):** 同一の所有者による、ブランド名を冠した店舗の集合体 (例えば、Longs、Winn-Dixie)。

**クライアント (Client):** お客様のサイトにインストールされるユーザー・インターフェース・アプリケーション。

**係数 (Coefficient):** 依存しあう変数 (例えば、売上数量、シェア) と依存しない変数 (例えば、基本価格、割引) との間の関係を表す数値。

**競合ショップ (Comp Shop):** 小売業者が、競合相手価格を知るために使用するテクニック。例えば、Longs の「競合ショップ・リスト」に Dove のせっけんがある場合、または Longs が Dove を「競合ショップ」に入れた場合、Longs は定期的に競合相手の店舗をチェックし、Dove に関して競合相手と同程度かそれ以下の価格を維持する。これは、「競合相手価格の監査 (Competitor Price Audit)」とも呼ばれる。

**競合価格 (Competitive Prices):** 競合店の価格に比べて、より価値があると認識される価格。

**競合相手価格 (Competitor Prices):** 競合店 (消費者が、代わりに買い物する可能性のある他の店舗) が同じ商品に対して設定している価格。

**競合相手価格ルール (Competitor Price Rule):** ビジネス・ルールの 1 つで、価格に確実に競争力を持たせるためにユーザーが実行できるルール。例えば、シリアルの価格を競合価格の 5% の範囲内にとどめるようにルールを設定できる。

**補完商品 (Complementary Products):** 消費者が通常一緒に購入するアイテムのこと。典型的な例として、ホットドッグ用のソーセージとホットドッグ用のパンがある。

**制約 (Constraint):** 最適化の生成結果がある範囲内に収まるように強制するルール。



**消費者 (Consumer):** 店舗で商品を購入する人。

**消費者需要モデル (Consumer Demand Model):** 価格、季節、プロモーションなどの要因によって、消費者がどの程度購入するかを予測する方式。

**消費者反応モデル (Consumer Response Model):** 「消費者需要モデル (Consumer Demand Model)」を参照。

**消費者ロイヤリティー (Consumer Loyalty):** 商品や小売業者に対して、消費者が持つ類似性で、特定の商品を購入したり、特定の店舗で買い物をしたりする要因となるもの。

**貢献利益 (Contribution Margin):** 調整済みの総粗利から、変動費を差し引いた金額。利益を算出するには、総粗利よりも正確である。

**貢献利益率 (Contribution Margin %):** 貢献利益を収益で割った数値。

**資本原価 (Cost of Capital):** マーチャンダイジング在庫の実施に関連付けられた原価。

**商品原価 (Cost of Goods):** 小売業者が商品の代金としてメーカーに支払う金額。例えば、ケース、単位、ポンド、オンスなどの条件で指定できる。

**単位増分当たりの原価 (Cost Per Incremental Unit):** オリジナル価格からプロモーション価格を引き、協賛金を足した金額。

**クロス弾力性 (Cross-Elasticity):** ある商品を購入することと、別の商品を購入することの間の関係。商品が互いに完全に独立している場合、クロス弾力性はゼロである。商品が補完しあっている場合、クロス弾力性は正の数になる。商品が代替可能である場合、クロス弾力性は負の数になる。

**需要のクロス弾力性 (Cross-Elasticity of Demand):** 「クロス弾力性 (Cross-Elasticity)」を参照。

**取り決め (Deal):** 商品のプロモーション用の価格設定。

**需要 (Demand):** ある特定の価格で購入される商品の量。

**需要曲線 (Demand Curve):** ある価格帯における、ある期間の需要。

**デマンド・グループ (Demand Group):** 代替可能性の高い商品の集合体。グループ内のあるアイテムの価格とプロモーションは、他のアイテムの需要に直接影響する。

**割引価格 (Discount Price):** 商品の販売価格。TPR (Temporary Price Reduction: 一時値引き) とも呼ばれる。

**陳列 (Display):** 店舗内のプロモーション形態の 1 つで、特定の商品や商品ラインに興フレーバーを引き付けるためのもの。

**直送方式 (Drop Ship Method):** 中間業者が在庫を抱えるコストを削減するために、単位ごとの商品オーダーをメーカー (または主要な在庫管理業者) に注文し、カスタマーに対して直接商品を配送する方法。

**DSD:** Direct Store Delivery (店舗直送) の略。流通業者や問屋などの中間業者を迂回して、メーカーから小売業者の店舗へと配送されること。

**EDLP:** Every Day Low Pricing (毎日低価格) の略。EDLP で成功した例には Wal-Mart などがある。商品を毎日低価格で提供することにより、消費者の信頼を得ることができる。他店は、日常価格はより高額であっても、大幅なプロモーションや割引を実施する。

**エンド・キャップ (End Cap):** 通路の終端の店内陳列。

**換算小売価格 (Equivalent Retail Price):** 換算単位ごとの価格で、棚価格を標準計測単位で割ったもの。

**換算単位 (Equivalent Unit):** 換算による標準数量単位。

**換算 (Equivalentization):** 標準計測単位を、商品に基づいた商品説明と、説明に適用するサイズ/数に割り当てること。これにより、広範囲のサイズについて直接比較を行うことができる。例えば、コカコーラ 1 ケース分と 12 個パックのコカコーラ 2 パックは、両方とも 1 換算ケースとなる。

**イベント (Event):** あるテーマに基づいた一連のプロモーション。長期計画や、チラシ、FSI、広告、ラッピングなどのメディアの作成、イベントごとの計画会議などに基づき、プロモーションをグループ化する。

**IBM Everyday Price Optimization と Everyday Price Management (Price Optimization and Price Management):** IBM Omni-Channel Merchandising のソフトウェア・システム。あらゆる店舗の全商品に最適価格を設定することで、小売業者とメーカーの利益の最大化を促進する。

**財務モデル化 (Financial Modeling):** 小売業者が、固定および変動サプライ・チェーン・コストを含む、自らの事業のコスト推進要因を把握するプロセス。「アクティビティー・ベースの原価計算 (Activity-Based Costing)」を参照。

**固定費(Fixed Cost):** 製造量や売上数量に影響を受けない原価。

**定額 (Flat Fee):** メーカーが店内陳列や広告を確保するために、小売業者に支払う一括払い金額。店内陳列場所や広告の設置場所のための賃料とみなすことができるが、その用途として直接支払われるわけではない。

**先行購入 (Forward Buy):** プロモーションのための有利な価格設定のメリットを得るために、当面の必要量を超える商品を購入すること。

**総粗利 (Gross Margin):** 収益から商品原価を差し引いた金額。

**総粗利率 (Gross Margin%):** 総粗利を純売上で割った値を、パーセントで表したものの。

**総粗利ルール (Gross Margin Rule):** 最適化結果が総粗利の範囲内に収まるように設定する制約。

**総利益 (Gross Profit):** 「総粗利 (Gross Margin)」を参照。

**総利益率 (Gross Profit%):** 「総粗利率 (Gross Margin%)」を参照。

**増分額 (Incremental Value):** プロモーションの増分利益変更と、プロモーション対象商品の原価を、日々のビジネス結果に基づき予測すること。プロモーションの価値の真の指標とみなされることが多い。

**KPI (重要業績評価指標)(KPI (Key Performance Indicators)):** 事前に定義された主要な目標に対し、成功かどうかを評価するための一連の測定指標。

**賃金率 (Labor Rate):** 賃金と手当を含む、一時間あたりの人件費。

**最終桁 (Last Digits):** 価格の、小数点以下の桁。

**ライン価格 (Line Pricing):** 同様の商品のグループに同じ価格を割り当てること。通常は、タイプの違いに適用される (例えば、6 個パックのソーダ、ゼリー 1 箱など)。

**会員カード・プログラム (Loyalty Card Program):** 割引や、消費者の行動パターンの分析の見返りに受け取る景品のために、消費者が登録するプログラム。FSP (Frequent Shopper Program) とも呼ばれる。

**マジック価格 (Magic Price):** 需要が急激に増加する価格。例えば、6 個パックのソーダの価格設定を ¥1.99 にすると、¥2.00 の場合より一般に需要が急激に伸びる。

**マークダウン (Markdown):** 売上向上のために、値下げされる価格。

**マーチャндаイジング (Merchandising):** 生産とマーケティングの調整、広告の作成、陳列、販売戦略などを含めた商品のプロモーション。

**複数割引 (Multiples):** 複数の商品をおある金額で提供すること。例えば、2 個で ¥1.00 など。

**売上純粗利 (Net Margin):** 「純利益 (Net Profit)」を参照。

**売上純粗利率 (Net Margin%):** 「純利益率 (Net Profit%)」を参照。

**純利益 (Net Profit):** 総売上から、販売された分の原価、運転費用、税、利息、減価償却などを差し引いた金額。

**純利益率 (Net Profit%):** 純利益を収益で割った数値。

**非算入アローワンス (Non-Performance Allowance):** プロモーションに無関係な、メーカーから小売業者への追加資金拠出。貨物輸送アローワンス、返送アローワンス、損傷アローワンス、購入アローワンスなどがこれにあたります。

**オファー (Offer):** プロモーション対象の商品、商品のプロモーション方法 (広告、陳列、一時値引きなど)、プロモーションを行う期間、小売業者がメーカーから受け取る金額 (協賛内容といわれる、一括払いの現金または商品原価からの値引き) など、メーカーが小売業者に行う提案。

**最適化 (Optimization):** 決められたマーチャндаイジング目標を達成するための最適な方法 (例えば、価格、商品構成、プロモーション計画) を見出すプロセス。

**間接費 (Overhead):** サプライ・チェーン・コスト以外のすべての運用コスト。

**間接費の割り振り (Overhead Allocation):** 特定の商品に属性設定された間接費の金額。

**パネル・データ (Panel Data):** 個別の消費者の動向をある期間追跡し、個別の消費パターン、プロモーションの影響、乗り換え行動を評価すること。

**パントリー・ローディング (Pantry Loading):** セール中またはプロモーション中のため、商品を多く購入すること。タイム・カニバリゼーションまたは買いだめとも呼ばれる。

**パフォーマンス・アローワンス (Performance Allowance):** プロモーションを実施した後に、小売業者が行う割引。パフォーマンス・アローワンスには、ケース・アローワンス (メーカーから小売業者に出荷された商品の量に基づく、つまり、出荷ベース)、および、スキャン・アローワンス (小売業者から消費者が購入した商品の量に基づく、つまり、消費ベース) の 2 つの主な種類がある。

**パフォーマンス期間 (Performance Period):** プロモーションが実施される期間。プロモーション、つまり、商品が陳列、広告、一時値引きされている期間。

**POS データ (POS Data):** 購入時にスキャナーで収集された販売時点情報。POS データには、日付、数量、購入金額が、販売されたすべての商品に関して記載される。

**事前設定価格 (Pre-Price):** メーカーによって、事前に価格がパッケージに印刷されている商品。

**価格チェック (Price Check):** 商品の販売価格または小売価格を確認すること。

**需要の価格弾力性 (Price Elasticity of Demand):** 価格の変更に応じて需要が変更する比率。需要の変動を、価格の変動で割った値。

**価格差 (Price Gap):** 2 つの似た商品間の価格の差。

**価格のイメージ (Price Image):** 小売業者の価格と価値についての消費者の認識。

**価格ゾーン (Price Zone):** 商品間で常に同じ価格を設定している一連の店舗。

**商品原価 (Product Costs):** 小売業者がメーカーに支払う卸売原価またはバンダー原価。

**商品体積 (Product Cube):** 商品が占めるスペースの体積を立方フィートで表したものの。

**商品弾力性 (Product Elasticity):** 特定の商品の需要に対する価格弾力性。

**商品グループ (Product Groups):** IBM Omni-Channel Merchandising ユーザーが使用する商品のグループ。

**商品ペア (Product Pairs):** プロモーション上の制約が設定された 2 つの商品の組。例えば、Dial White Bar Soap 3CT は Dial Gold Bar Soap 3CT の 90% の価格を付ける必要がある。

**商品のシェア (Product Share):** 1 店舗の合計収益に対する、個別の商品 (在庫管理単位ごと) の収益の (パーセンテージで表した) 割合。

**商品保管タイプ (Product Storage Type):** 店舗内の商品を格納するロケーション。IBM Omni-Channel Merchandising 値では、棚と同じ値になる (冷凍または冷蔵)。

**利益 (Profit):** 収益から、変動費、固定原価、ABC 原価を差し引いた金額。

**プロモーション (Promotion):** 商品の購入に直接関連付けられた、一時的な価格調整または消費者特典、またはその両方。

**プロモーション計画および最適化 (Promotion Planning & Optimization):** IBM Omni-Channel Merchandising ソフトウェア・サービスの 1 つ。小売業者やメーカーが商品のプロモーションについて最適な決断をするのを支援する。

**補充頻度 (Replenishment Frequency):** 一定の期間内に、店舗や配送センターの在庫が置き換えられた回数。

**小売価格 (Retail Price):** 消費者が商品に対して支払う販売価格または棚価格。

**協賛金の利益 (Return on Trade Funds):** プロモーションの増分値 (プロモーション額から日々の売上を差し引いた金額) を、協賛金 (円) で割ったもの。

**収益 (Revenue):** 消費者から集めた金額または企業間取引で集めた金額を、円または現地の通貨で表したもの。

**ROI:** Return on investment (投資収益率) の略。税引き後の営業収入/資産の純 (減価償却後) 帳簿価格。

**売上 (Sales):** 「収益 (Revenue)」を参照。

**売上数量 (Sales Volume):** 対消費者または企業間取引で販売された商品の単位数。

**同一店舗売上高 (Same-Store Sales):** 同一店舗での売上の増加を比較する基準 (新規店舗の開店の影響を除く)。

**スキャナー・データ (Scanner Data):** バーコード・スキャナーで収集された POS データ。「POS データ (POS Data)」を参照。

**シナリオ (Scenario):** 商品、店舗、価格、原価データに適用される一連の制約とルールで、利益、売上、数量などに対して設定されたビジネス目標を達成するために最適化されたもの。用語「シナリオ (scenario)」は「プロモーション (promotion)」と同義の場合がある。

**季節性 (Seasonality):** 年間のある期間に基づく、消費者行動の基本となるトレンド (例えば、七面鳥の購入行動に対する感謝祭の影響)。

**棚の奥行き (Shelf Depth):** 棚の前面から背面までで占めるスペース。

**棚の高さ (Shelf Height):** 棚が垂直方向に占めるスペース。

**棚の幅 (Shelf Width):** 棚が水平方向に占めるスペース。



**単一商品ルール (Single Product Rules):** 1 つの商品または在庫管理単位に適用される最適化制約。

**サイズ・クラス (Size Class):** 商品に割り当てられる属性の 1 つで、サイズ、量、重さに応じて商品を特定のグループに含めること。サイズ・クラスにより、最適化のためのルールを設定するために、商品間にサイズ関係を作成できる。指定可能なサイズ・クラスは、XXX-Small から XXX-Large までである。

**サイズ・ファミリー (Size Family):** サイズ・ファミリーでは、サイズ・クラスの一部をより詳細に定義できる。例えば、Small サイズ・クラスに 12 オンスのコカコーラがあり、Medium サイズ・クラスに 16 オンスのコカコーラがあるとすると、2 つのクラスの間、「16 オンスのコカコーラは常に 12 オンスのコカコーラよりも高いが、ただし価格が倍以上ではない」などのルールを作成するには、コカコーラという名のサイズ・ファミリーを作成する必要がある。サイズ・ファミリーを作成しないと、ルールは 12 オンスのサイズ・クラスおよび 16 オンスのサイズ・クラスのすべての商品に適用される。

**サイズ・グループ (Size Group):** 比較サイズに基づいた、商品グループの分類 (例えば、0 オンスから 8 オンスは small、9 オンスから 12 オンスは medium、> 12 オンスは large)。

**サイズ・ルール (Size Rule):** 数量、重さ、またはカウントに基づき、2 つの似た商品間に事前に定義された関係。

**SKU: Stock Keeping Unit (在庫保管単位) の略。** 小売業者が商品に割り当てる番号。

**スロット料金 (Slotting Fees):** 新商品を棚に置く (「スロット」する) ために、小売業者がメーカーに課する料金。

**各店舗ごとの売上 (Store-For-Store Sales):** 「同一店舗売上 (Same-Store Sales)」を参照。

**店舗グループ (Store Groups):** ビジネス目標を達成するために、1 つの単位として扱われる個々の店舗の集合体 (例えば、地域)。

**来店者数 (Store Traffic):** 単位時間内の買い物客数。

**店舗ゾーン (Store Zones):** 一連の価格を共有する店舗のグループ。ゾーン、店舗価格ゾーン、ブロックなどとも呼ばれる。

**戦略 (Strategy):** 特定のビジネス目標を達成するための、相互に補完する一連の価格設定およびプロモーションのイニシアチブまたはアクティビティー。

**代替商品 (Substitute Products):** 同一または似通った有用性があることを消費者が認識している商品。消費者が知覚品質についてあまり妥協することなく、他の商品の代わりに購入する商品である。

**計画対象期間 (Time Horizon):** プロモーションのタイム・スパン。

**時系列 (Time Series):** 定期的に発生する一連の変数値。

**TPR:**Temporary Price Reduction (一時値引き) の略。一時的な期間における、商品の消費者価格の割引。

**協賛金 (Trade Funds):** メーカーから小売業者に対し、一連の商品のプロモーションのために拠出される金額。取引費用とも呼ばれる。この基金は、通常小売業者における、広告、陳列、一時値引き (TPR) などのプロモーション・アクティビティーに割り当てられる。

**トレンド (Trend):** あるデータ・ポイントのグループにおける、基礎となる関係。

**二商品ルール (Two Product Rules):** 2 つの商品を関連付ける制約やルール。

**計測単位 (Unit of Measure):** サイズ測定の種類。

**単位売上 (Unit Sales):** 「売上数量 (Sales Volume)」を参照。

**UPC:** Universal Product Code (汎用商品コード) の略。メーカーによって発行される、個々の消費者商品を一意的に識別する数値とバーコード。IBM Omni-Channel Merchandising 標準は 14 桁。

**変動費 (Variable Cost):** 1 つの在庫管理単位の生産、在庫、購入に関連する支出。

**ベンダー/メーカー (Vendor/Manufacturer):** 小売業者が購入する商品を製造する企業。プロモーション・カレンダーを計画し、オファーを決めるために、ベンダーは、陳列、広告、一時値引 (TPR) の 3 つの主要なマーチャンダイジング・アクティビティーを検討する。

**ベンダー原価変更 (Vendor Cost Change):** メーカー主導による商品の販売価格の変更。

**数量 (Volume):** 特定の在庫管理単位が販売された単位数。

**数量ルール (Volume Rule):** ある商品や商品グループに対する、最適化における数量範囲の制約。

**What-If:** 異なる主要前提条件により、分析の結果がどのように変化するか判断すること。

**ゾーン価格 (Zone Prices):** 同じアカウントの複数の店舗にわたって適用される共通価格。

**リリース (Release)**

IBM Omni-Channel Merchandising アプリケーション・スイートに計画されていて、指定日に全ユーザーが使用可能になる一連の新機能。



---

## 第 11 章 クイック・リファレンス・ガイド

このセクションでは、IBM OpenLink のすべての主要コマンドおよび機能の概要を説明します。

このセクションでは、IBM OpenLink のすべての主要コマンドおよび機能の概要を説明します。

### 関連トピック

#### 『属性設定プロセス』

属性設定プロセスは、11 の基本ステップに分かれています。

#### 208 ページの『PIF と OpenLink UI の使用比較』

この手順は、PIF を使用する場合と「コンテンツの編集」機能を使用する場合を把握するために使用します。

#### 209 ページの『デマンド・グループに関するヒント』

この参照は、デマンド・グループをよりよく理解するために使用します。

#### 209 ページの『サイズ/計測単位に関するヒント』

この参照は、サイズ/計測単位の詳細をよりよく理解するために使用します。

#### 209 ページの『ドロップ (モデルに含まれない)』

この手順は、PIF に商品をドロップする場合に使用します。

#### 210 ページの『商品情報ファイル (PIF) に関する一般的注意』

これは、PIF の参照として使用します。

#### 210 ページの『PIF の詳細』

この参照は、PIF の詳細をよりよく理解するために使用します。

---

## 属性設定プロセス

属性設定プロセスは、11 の基本ステップに分かれています。

属性設定プロセスは、11 の基本ステップに分かれています。

	説明	注	ツール
1	カテゴリ移動を承認/却下する	孤立商品については、「未カテゴリー化」カテゴリをチェックします。	OpenLink

	説明	注	ツール
2	商品ステータスの実行	ステータス・ファイルがお客様の会社から毎週送られている場合、商品ステータスを実行する必要はありません。商品のステータスが確実に更新されるよう、価格更新処理の前に必ず PSR を実行してください。	OpenLink
3	PIF をエクスポートする	E メールまたはアプリケーションの受信箱の自動メッセージより、PIF (商品情報ファイル) にアクセスします。	OpenLink
4	PIF を使用してコンテンツを編集する <ul style="list-style-type: none"> <li>• デマンド・グループ</li> <li>• サイズ</li> <li>• 計測単位</li> <li>• ブランド</li> <li>• モデルに含まれる</li> <li>• サイズ・ファミリー**</li> <li>• サイズ・クラス**</li> <li>• ブランド・ファミリー**</li> <li>• ブランド・クラス**</li> <li>• 事前設定価格**</li> <li>• ライン・グループ**</li> <li>• その他ファミリー 1 および 2 **</li> <li>• その他クラス 1 および 2 **</li> </ul>	<p>PIF は Excel スプレッドシートであり、そのように扱う必要があります。PIF を OpenLink に戻すためにインポートする前に、すべての式を必ず削除します。商品情報ファイル (PIF) の行は削除しないでください。モデル化しない商品は PIF からドロップしてください。</p> <p><b>注:</b> ライン・グループ、事前設定価格、サイズ・ファミリー/サイズ・クラス、ブランド・ファミリー/ブランド・クラス、およびその他ファミリー/その他クラスの値は、シナリオ準備の目的でのみ、構成可能な PIF に追加できますが、モデル化処理には不要です。</p>	Excel PIF

	説明	注	ツール
5	PIF をインポートする	PIF を OpenLink にインポートして戻す前に、式を削除します。インポートするファイル名の長さを制限します。潜在的なエラーについて、インポート自動メッセージをチェックします。	OpenLink
6	換算単位を実行する	カテゴリーのモデル化を処理依頼する前に、換算対象 POS 数が 0 であることを確認します。	OpenLink
7	整合性チェックを実行する	カテゴリー明細レポート: ブランドおよびデマンド・グループ集約を使用します。必要に応じてエラーを受け入れるか修正します。	OpenLink
8	コンテンツを編集する (該当する場合)	ブランド名を再度チェックして、換算の問題を修正します。必要な単位を設定します。この手順を再度完了するまでに、いくつかの手順のプロンプトが表示される場合があります。	OpenLink
9	デマンド・グループ関係の完成	デマンド・グループ間に関係が存在しない場合、デマンド・グループ関係表を完成させる必要はありません。「カテゴリー・マネージャー」ページに表示されます。	OpenLink

	説明	注	ツール
10	商品に属性設定済みのマークを付ける	商品に属性設定済みのマークを付けます。また、「属性未設定数」列をゼロに「リセット」して、初回の属性設定が IBM Omni-Channel Merchandising の統計担当者に送信された後に、新商品を簡単に識別できるようにします。	OpenLink
11	カテゴリ・ステータスを設定する	IBM Omni-Channel Merchandising の統計担当者に、カテゴリをモデル化する準備ができたことを示すアラートを送ります。統計担当者がこのアラート通知を受け取るように登録している場合には、Eメールを統計担当者が受け取ります。	OpenLink

## PIF と OpenLink UI の使用比較

この手順は、PIF を使用する場合と「コンテンツの編集」機能を使用する場合を把握するために使用します。

以下の場合には、PIF を使用します。

- 新しいデマンド・グループ名を設定する必要がある場合。通常は、以下の条件に該当する場合です。
- カテゴリの属性設定を初めて行った
- カテゴリに新しい商品ラインが導入された
- 最後の属性設定から 1 年を超える日数が経過した
- PIF を使用して、「オフライン」で属性設定を行う方が都合が良い
- Excel スプレッドシートを使用する (オフィスから外出中、UI が使用不可など)

以下の場合には、「コンテンツの編集」を使用します。

- 価格メンテナンスのため、新商品に属性を設定する必要がある

注: 新商品は、既存のデマンド・グループに入れる必要があります。

- ブランド名を修正する (「カテゴリ明細」機能を使用)
- 20 未満の商品の属性を設定する必要がある

---

## デマンド・グループに関するヒント

この参照は、デマンド・グループをよりよく理解するために使用します。

- デマンド・グループは、代替可能性が非常に高い商品です。
- デマンド・グループ内の商品は、価格と計測単位価格での商品間の差が比較的小さい必要があります。
- デマンド・グループでは、同じデマンド・グループに属していても、プライス・ポイントが均等でない商品を区別するため、サフィックスを付けることができます。
- PRM = プレミアム (プライス・ポイントが高く、最高品質のデザイナー商品とみなされる)
- REG = 標準 (良い商品、平均プライス・ポイントの商品。)
- ECON = エコノミー (プライス・ポイントが低く、最低品質のエントリー・レベル商品とみなされる)
- TS = 試供品サイズ (通常は店舗の別の場所で販売される)
- IND = 業務用または大口サイズ (標準サイズ商品との「代替可能性」が低い)
- 試供品サイズおよび業務用サイズの商品は、それぞれ専用のデマンド・グループに分離します。
- 1 商品から成るデマンド・グループの使用は、特別な状況のみに限定します。
- デマンド・グループの商品は、お互いに対称になる形でカニバリゼーションを起こすことに注意してください。デマンド・グループに非対称の関係が存在する場合は、商品を 2 つのデマンド・グループに分離し、デマンド・グループ関係表により関係を制御します。

---

## サイズ/計測単位に関するヒント

この参照は、サイズ/計測単位の詳細をよりよく理解するために使用します。

- 計測単位 (UOM) はデマンド・グループ内で一貫性がある必要があります。
- 試供品サイズや「ボーナス」商品は、サイズ・ファミリー/サイズ・クラス関係に含めないでください。
- 場合によっては、顧客が実際に購入するものを反映するようサイズを変更する必要があります (洗濯用液体洗剤の使用回数に対する重さなど)。

---

## ドロップ (モデルに含まれない)

この手順は、PIF に商品をドロップする場合に使用します。

PIF からは絶対に商品を削除しないでください。削除せずに、PIF から商品を「ドロップ」してください。これは、商品がモデル化されないことを意味します。

PIF の商品をドロップするには、以下のようにします。

- 「モデルに含まれる」列を「いいえ」に変更します。

ドロップの対象となる商品は、以下のとおりです。

- 非売品
- 古くなった商品

- 統計的に有意でない商品 (3 つ基準をすべて満たす必要があります)
- 顧客ステータス = 取扱停止
- 最終スキャン > カテゴリの最終スキャン日より前 90 日
- 週平均数量が非常に少ない
- POS データがない商品 - POS データが欠落している商品はモデル化されません。これらの商品は PIF から「ドロップ」するか、あるいはそれらが新しい商品/取扱中商品の場合は既存商品にリンクする必要があります。

---

## 商品情報ファイル (PIF) に関する一般的注意

これは、PIF の参照として使用します。

- PIF から情報を削除しないでください。モデル化しない商品はドロップしてください。
- PIF を DT OpenLink に正常にインポートするには、PIF に式を含めないでください。
- Excel ワークブックの先頭のスプレッドシートのみが DT OpenLink にインポートされます。PIF をインポートする前に、ピボット・テーブルやフォーマット設定を含む追加シートを削除してください。
- PIF のインポート時に追加列が組み込まれる場合があります。インポート処理では列ヘッダーを検索するので、ヘッダーを削除しないでください。
- PIF の列を再配列することもできます。インポートの際には順序は関係ありません。列の先頭の 2 行 (列の名前) のみが関係します。
- PIF をインポートした後は、OpenLink アプリケーションで行う変更は、保存済みの PIF Excel スプレッドシートには反映されません。カテゴリの処理の完了後に、完成した PIF を再エクスポートすることをお勧めします。

---

## PIF の詳細

この参照は、PIF の詳細をよりよく理解するために使用します。

PIF の属性:

注:

名前	説明	完成方法	ソース
参照商品コード	小売業者の商品コード	変更不可	小売業者が定義する商品コード
参照顧客商品キー	小売業者の商品番号付けシステム。利用できない場合は、商品コードがデフォルトになります。	変更不可	マップで定義される商品コードまたは小売業者 ID

名前	説明	完成方法	ソース
モデルに含まれる	商品がモデルに含まれないように、「ドロップ」してください。これらの商品はシナリオにも含まれません。	商品をモデル化しない場合は、「いいえ」に変更します。	デフォルトは「はい」です。
説明	Everyday Price Management に送信される商品説明。	通常は変更しません。	小売業者の説明。小売業者の説明が複数ある場合には、マップを確認します。
デマンド・グループ	代替可能性の高い商品の集合体。	最大 50 文字の英数字、スペースなし (語句を分ける場合には、下線を使用します)。英字から開始する必要があります。	デフォルトは、「 <b>DEFAULT_demand_group</b> 」です。
サイズ	小売業者/ディビジョン/カテゴリー・レベルでのモデル化に使用されるサイズ (測定量)。このサイズは予測できます。	数値。「無料またはボーナス」商品である場合、基本サイズにプラスして「無料」の商品量を含めます。	小売業者の商品ファイル
計測単位 (UOM)	モデル化および最適化に使用する計測単位。デマンド・グループ内で一貫している必要があります。	英字 CT、OZ、LOAD、SHEET、LB	小売業者の商品ファイル
ブランド	モデル化に使用する修正済み/予測済みのブランド。ブランドは、PIF または OpenLink の「カテゴリー明細」ページで簡素化できます。	英字のみ。スペースや正しくない文字 (&、/、"、*) を含まないこと。	小売業者の商品ファイル
参照 DT ステータス	商品ステータス・リゾルバー・ルールの結果の集約により決定されます。	変更不可	商品ステータス・リゾルバーの結果 (実行する場合)
参照顧客ステータス	小売業者から送信されるときの商品ステータス。	変更不可	小売業者のロケーション・ステータス・ファイル。値が送信されていない場合は、ACTIVE がデフォルトになります。



名前	説明	完成方法	ソース
参照現行小売価格	サマリー統計: 店舗間での過去 12 カ月間の現行小売価格の平均 (読み込まれている場合)	変更不可	小売業者の価格ファイル
参照平均スキャン価格	サマリー統計: 過去 12 カ月間の数量加重平均スキャン価格	変更不可	POS スキャン・データから
計測単位当たりの参照価格	サマリー統計: PIF の情報で割った単位価格	変更不可	PIF で算出
参照週平均数量	サマリー統計: チェーン・レベルの全店舗間での過去 12 カ月間の週平均数量。  アプリケーションにある週の記録がない場合でも、数量のカウントはゼロにはなりません。	変更不可	POS スキャン・データから
参照原価	サマリー統計: 現行原価ファイルで送られた原価の、店舗間の単純平均 (利用可能な場合)。	変更不可	POS スキャン・データから
参照スキャン日 (最初)	商品を最初にスキャンした日付 (全店舗間)	変更不可	POS スキャン・データから
最終スキャン日付 (最後)	商品を最後にスキャンした日付 (全店舗間)	変更不可	POS スキャン・データから
商品 ID	IBM Omni-Channel Merchandising が割り当てる固有の在庫管理単位 ID	変更不可	システムにより割り当て

強調表示された行は、PIF での入力が必要なフィールドであることを示しています。

名前	説明	完成方法	ソース
サイズ・クラス	IBM OpenLink または IBM Price Management に適用されます。サイズ・ファミリーの各アイテムに番号/レベルが指定されます: 8 oz = SMALL、16 oz = MEDIUM、24 oz = LARGE	許容されるサイズ・クラス・フォーマットは、IBM Price Management のファミリーに定義されたサイズ・クラスです。サイズ・クラスが定義されていない場合は、デフォルトのサイズ・クラス (XXX-LARGE、XX-LARGE、X-LARGE、LARGE、MEDIUM、SMALL、X-SMALL、XX-SMALL、XXX-SMALL) が使用されます。これらは後ほど IBM Price Management で変更できます。最大 50 文字。  サイズ・クラスには、ボーナス商品や試供品/トラベル・サイズを含めないでください。	空欄
サイズ・ファミリー	OpenLink または価格に適用されます。サイズ・ファミリーは、絶対的な基準を基本にして (例えば、Small < Medium < Large の価格設定など)、また、換算価格による相対的な基準を基本にして (例えば、大きなサイズの商品は中サイズの商品よりも良い換算価格があるなど)、同じ商品の異なるサイズの価格をどのように設定するかを決定するルールとなります。	英字。  最大 50 文字	空欄

名前	説明	完成方法	ソース
ブランド・クラス	ファミリー内の 2 つの商品を差別化する値。この場合、ブランド・クラスがブランド・ファミリー内の商品を差別化します。	ナショナル、自社ラベル、その他必要に応じて定義される値。最大 50 文字。	小売業者の商品ファイル。通常は空欄。
ブランド・ファミリー	ルールにより比較する目的で 2 つの商品を互いにリンクする値。ブランド・ファミリーは、通常、ブランド間で比較される商品のタイプとサイズを示します。	英字。正しくない文字文字 (&、/、*) を含まないこと。最大 50 文字	小売業者の商品ファイル。通常は空欄。
事前価格設定済み	小売業者により提供される事前価格設定済みの商品を示します。事前価格設定済みの商品の場合、1 が入ります。事前価格設定済み商品の価格は、最適化中に変更されません。	事前価格設定済み商品 = 1 事前に価格が設定されない商品 = 0	デフォルトでは 0 です。小売業者がこの値を指定する場合、値 1 は事前価格設定商品であることを示します。
ライン・グループ	小売業者により送信されるライン価格グループの値。	英数字。スペースや正しくない文字 (&、/、*) を含まないこと。最大 50 文字	小売業者の商品ファイル
その他ファミリー/その他クラス 1 および 2	ブランド・ファミリー/ブランド・クラスがすでに利用されている場合に、その他の関係を確立します。	必要に応じて定義します。	空欄
参照レベル 1 から 12 のコード/説明	通常は、ホスト・システムから取得した商品階層フィールドです。デマンド・グループ構造の概略を把握するのに役立ちます。	変更不可	小売業者のデータから

名前	説明	完成方法	ソース
参照属性 昇順 (0 から 9)	店舗または在庫管理 単位属性値を店舗フ ァイルまたは商品フ ァイルで送る場合 (通 常は IT 部門が送り ます)、商品テーブル の属性フィールドを 使って PIF にそれら の値を取り込むこと ができます。	変更不可	小売業者のデータか ら



---

## 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510  
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
法務・知的財産  
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation

1001 E Hillsdale Blvd.

Foster City, CA 94404

USA

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

## 商標

IBM、IBM ロゴ、および [ibm.com](http://ibm.com)<sup>®</sup> は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。



他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。

現時点での IBM の商標リストについては、[www.ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml) をご覧ください。







Printed in Japan